指定番號 第33102號(統計廳 告示 第1994－2號)

# 韓國人의 保健意識行態

## －1995年度 國民健康 및 保健意識行態調査－

南 貞 子
崔 晶 秀
金 泰 貞
桂 勳 邦

韓國保健社會研究院

# 머 리 말

이 報告書는 國家 保健政策 樹立 및 評價를 위하여 1989년부터 本 硏究院이 전담하여 매 3년마다 실시해 온 「國民健康 및 保健意識行態 調査」 중 「1995年度 保健意識行態」 결과를 수록한 것이다.

우리나라 국민의 평균수명은 1970年 63세에서 1995年 73세로 현저히 연장되었으나, 인구의 고령화 등으로 인한 難治性 만성질환이 증가함에 따라 건강에 관한 국민들의 관심이 점차 고조되고 있다. 만성질환은 飮酒, 吸煙, 肥滿, 運動不足 등 바람직하지 못한 健康行爲에 기인된다는 점에서 健康生活 實踐의 중요성이 그 어느 때보다 강조되고 있다.

이러한 점에서 우리나라 국민의 健康行爲 實踐水準과 1989~1995년간의 變化推移를 제시하고 있는 본 조사는 21세기에 대비하여 국가적 차원에서 본격적으로 疾病豫防 및 健康增進事業을 전개하는데 필수적인 保健敎育·弘報 프로그램 開發에 매우 유익하게 활용될 것이다. 특히 본 연구 결과는 국민건강 상태 및 의료이용 수준을 심층적으로 파악한 「韓國人의 健康과 醫療利用實態(1995)」와 함께 「國民健康增進法」의 본격적 시행을 위한 분야별 國民健康 目標設定에 매우 유용한 정보가 될 것으로 확신한다.

硏究陣들은 조사에 참여한 標本地域의 保健要員과 大都市地域 조사팀, 조사를 위하여 行政的 支援을 아끼지 않은 保健福祉部 朴騎駿 保健政策課長과 각 市道 關係官에게 감사를 표하고 있다. 이외에도 표본설계와 방대한 조사 자료를 정리·분석하는데 성실히 지원해 준

本 硏究院 調査統計室 都世綠 책임연구원, 李熙龍 치과 공중보건의사, 그리고 원고를 검독해 주신 宋建鏞 박사, 孔世權 연구위원, 鄭宇鎭 박사께 감사를 표하고 있다.

끝으로 本 報告書에 수록된 모든 내용은 참여한 硏究陣들의 개인적 견해이며, 본원의 公式見解가 아님을 밝혀 둔다.

1995年 12月

韓國保健社會硏究院

院 長 延 河 淸

# 目　次

要　約 ..... 19

第 1 章　序 論 ..... 34

第 1 節　研究背景 ..... 34

第 2 節　研究目的 ..... 36

第 2 章　研究方法 ..... 37

第 1 節　調査 母集團 ..... 37

1. 青少年(15～19歲) 對象 追加 理由 ..... 37

2. 60～69歲 老人對象 追加 理由 ..... 38

第 2 節　調査規模 ..... 38

第 3 節　調査期間 및 方法 ..... 39

第 4 節　調査結果 家口數 및 調査對象者數 ..... 39

第 5 節　推定値 ..... 41

第 6 節　調査內容 ..... 41

1. 調査票의 構成 ..... 41

2. 調査內容 選定을 위한 理論的 根據 ..... 41

3. 調査項目 ..... 52

第 7 節　分析方法 ..... 56

1. 記述統計分析 ..... 56

2. 健康行爲實踐 程度別 慢性疾患 有病率 分析 ..... 58

3. 主要 慢性疾患의 危險要因 分析 ..... 59

第 3 章 研究結果 ..... 60
第 1 節 記述的 分析 ..... 60
1. 調査對象者의 人口社會的 特性 ..... 60
2. 健康實態 ..... 60
3. 健康危險行爲實態 ..... 65
4. 豫防保健行爲實態 ..... 120
5. 健康關聯 知識 ..... 128
6. 其他 健康關聯 行爲 ..... 134
第 2 節 健康行爲實踐과 健康과의 關聯性 ..... 141
1. 健康行爲實踐 程度와 慢性疾患 有病水準과의 關聯性 ..... 141
2. 主要 慢性疾患의 危險要因 分析 ..... 146
第 4 章 結論 및 政策建議 ..... 153
第 1 節 結論 ..... 153
第 2 節 政策建議 ..... 161
參考文獻 ..... 162
附 錄 ..... 169
Ⅰ. 統計表 ..... 171
Ⅱ. 標本設計 槪要 ..... 307
Ⅲ. 職業分類表 ..... 320
Ⅳ. 調査票 ..... 325

# 表 目 次

〈表 1- 1〉 5大 死因 順位와 行動的 要因 및 保健敎育의 領域 ..... 35
〈表 2- 1〉 調査結果 家口數 ..... 40
〈表 2- 2〉 家口基本調査結果 ..... 40
〈表 2- 3〉 調査項目 比較(1989～1995) ..... 52
〈表 3- 1〉 調査對象者의 健康實態 ..... 61
〈表 3- 2〉 主要 慢性疾患 有病率 ..... 63
〈表 3- 3〉 社會的 支持의 程度 ..... 64
〈表 3- 4〉 스트레스 및 健康에 대한 念慮 ..... 65
〈表 3- 5〉 性別 成人(15歲 以上) 吸煙率의 國家間 比較 ..... 66
〈表 3- 6〉 國家別 靑少年 吸煙率 比較 ..... 70
〈表 3- 7〉 靑少年 吸煙率 및 吸煙經驗率 ..... 70
〈表 3- 8〉 性·年齡別 吸煙經驗者의 平均 吸煙始作年齡 ..... 71
〈表 3- 9〉 性·年齡代別 吸煙經驗者의 吸煙始作年齡 分布 ..... 72
〈表 3-10〉 性·年齡別 吸煙經驗者의 吸煙動機 ..... 73
〈表 3-11〉 吸煙經驗者의 吸煙始作年齡別 吸煙動機(男子) ..... 73
〈表 3-12〉 吸煙經驗者의 吸煙始作年齡別 吸煙動機(女子) ..... 74
〈表 3-13〉 年齡別 現吸煙者의 吸煙期間(男子) ..... 74
〈表 3-14〉 年齡別 現吸煙者의 吸煙期間(女子) ..... 75
〈表 3-15〉 年齡別 現吸煙者의 吸煙日數 및 1日 平均吸煙量(男子) ..... 75
〈表 3-16〉 年齡別 現吸煙者의 吸煙日數 및 1日 平均吸煙量(女子) ..... 76
〈表 3-17〉 性·年齡 및 地域別 禁煙率 ..... 77
〈表 3-18〉 年齡別 現吸煙者의 禁煙試圖 與否 및 禁煙必要性
認識(男子) ..... 78

〈表 3-19〉 年齡別 現吸煙者의 禁煙試圖 與否 및 禁煙必要性 認識(女子) ..... 78
〈表 3-20〉 性・地域別 禁煙者(過去 吸煙者)의 吸煙期間, 平均 吸煙量 및 禁煙理由 ..... 79
〈表 3-21〉 男子의 年齡別 禁煙率 推移(1989～1995) ..... 80
〈表 3-22〉 男子의 年齡別 禁煙試圖率 推移(1989～1995) ..... 81
〈表 3-23〉 男子의 年齡別 禁煙 必要性 認識率 推移(1989～1995) ... 82
〈表 3-24〉 年齡別 吸煙에 關한 態度 ..... 83
〈表 3-25〉 年齡別 吸煙 關聯 法的 規制에 關한 態度 ..... 84
〈表 3-26〉 年齡別 吸煙의 危害에 관한 認知度 ..... 85
〈表 3-27〉 年齡・性・地域別 現飮酒率 ..... 86
〈表 3-28〉 性・年齡別 現飮酒率 推移(1989～1995) ..... 88
〈表 3-29〉 性・地域・年齡別 지난 1個月間 飮酒頻度 ..... 89
〈表 3-30〉 年齡別 지난 1個月間 飮酒頻度 ..... 89
〈表 3-31〉 性・年齡別 지난 1個月間 飮酒頻度 ..... 90
〈表 3-32〉 性・年齡別 每日飮酒率 推移(1989～1995) ..... 91
〈表 3-33〉 年齡・性・地域別 平均 飮酒始作年齡 ..... 92
〈表 3-34〉 年齡別 現飮酒者의 즐겨 마시는 술 ..... 93
〈表 3-35〉 年齡別 現飮酒者의 飮酒期間 ..... 93
〈表 3-36〉 性・地域別 現飮酒者의 지난 1個月間 飮酒頻度 ..... 94
〈表 3-37〉 年齡別 現飮酒者의 지난 1個月間 飮酒頻度 ..... 94
〈表 3-38〉 性・地域別 現飮酒者의 지난 1個月間 1回 飮酒量 ..... 95
〈表 3-39〉 年齡別 現飮酒者의 지난 1個月間 1回 飮酒量 ..... 95
〈表 3-40〉 性・地域別 現飮酒者의 過飮頻度 ..... 96
〈表 3-41〉 年齡別 現飮酒者의 지난 1年間 過飮頻度 ..... 96
〈表 3-42〉 性・年齡別 現飮酒者의 지난 1年間 過飮頻度 ..... 97

〈表 3-43〉 性・地域別 現飮酒者의 過飮時 飮酒量 ..... 97
〈表 3-44〉 年齡別 現飮酒者의 過飮時 飮酒量 ..... 98
〈表 3-45〉 性・年齡別 지난 1年間 現飮酒者의 過飮時 飮酒量 ..... 99
〈表 3-46〉 性・地域・年齡別 現飮酒者의 禁酒試圖率 ..... 100
〈表 3-47〉 性・地域別 過去 飮酒者의 禁酒 理由 ..... 101
〈表 3-48〉 性・地域別 알코올依存의 程度 ..... 102
〈表 3-49〉 年齡別 現飮酒者의 알코올依存의 程度 ..... 103
〈表 3-50〉 心理的 狀態와 알코올依存의 程度 ..... 103
〈表 3-51〉 年齡別 體位(身長 및 體重) 基準値의 實 計測値와
同 調査結果의 比較 ..... 104
〈表 3-52〉 諸特性別 BMI에 의한 過多體重率 ..... 106
〈表 3-53〉 年齡・性・地域別 BMI에 의한 過多體重率 ..... 106
〈表 3-54〉 年齡・性・地域別 體重調節 實踐率 ..... 107
〈表 3-55〉 아침食事 및 規則的 食事 與否 ..... 112
〈表 3-56〉 間食 및 過食 頻度 ..... 114
〈表 3-57〉 地域・性・年齡別 飮食의 調味 程度 ..... 115
〈表 3-58〉 地域・性・月家口所得水準別 肉食 및 菜食 選好度 ..... 116
〈表 3-59〉 年齡・性・地域 및 醫療保障種類別 健康檢診 受診率 ..... 121
〈表 3-60〉 年齡別 健康檢診 受診 動機 ..... 122
〈表 3-61〉 地域・性別 年間 健康檢診率(團體 및 個人) 推移
(1989~1995) ..... 122
〈表 3-62〉 年齡別 年間 健康檢診率(團體 및 個人) 推移
(1989~1995) ..... 124
〈表 3-63〉 性・年齡別 各種 癌 檢査率 ..... 125
〈表 3-64〉 年齡 및 諸變數別 平生 血壓測定 比率 ..... 126
〈表 3-65〉 最近 血壓測定 時期別 血壓測定 累積比率 ..... 126

〈表 3-66〉 最近 血壓을 測定한 場所 ..... 127
〈表 3-67〉 性・地域別 健康關聯 知識源 ..... 128
〈表 3-68〉 年齡別 健康關聯 知識源 ..... 129
〈表 3-69〉 性・地域別 에이즈關聯 知識源 ..... 130
〈表 3-70〉 年齡別 에이즈關聯 知識源 ..... 131
〈表 3-71〉 年齡別 에이즈에 관한 知識 正答率 ..... 132
〈表 3-72〉 年齡別 에이즈에 관한 態度 ..... 133
〈表 3-73〉 地域・家口所得水準別 食水種類 ..... 136
〈表 3-74〉 地域・家口所得水準別 食水 安全性에 對한 認識 ..... 136
〈表 3-75〉 地域・家口所得水準別 食水方法 ..... 137
〈表 3-76〉 食水種類別 安全性 認識 및 食水方法 分布 ..... 138
〈表 3-77〉 自家運轉者의 性・地域別 安全벨트 着用與否 ..... 139
〈表 3-78〉 自家運轉者의 性・地域別 飮酒運轉 頻度 ..... 139
〈表 3-79〉 性・地域別 他人車에 同乘시 安全벨트 着用與否 ..... 140
〈表 3-80〉 性・地域別 飮酒運轉者와 同乘 回數 ..... 140
〈表 3-81〉 健康行爲實踐 變數 및 慢性疾患의 分類表 ..... 142
〈表 3-82〉 性・年齡・健康行爲實踐 程度別 人口 1,000名當
慢性疾患 有病率 ..... 144
〈表 3-83〉 健康行爲實踐 程度別 人口 1,000名當 主要 慢性疾患
有病率 ..... 145
〈表 3-84〉 性・健康行爲實踐 程度別 人口 1,000名當 主要
慢性疾患 有病率 ..... 146
〈表 3-85〉 健康行爲實踐이 慢性循環器系疾患에 미친 影響 ..... 149
〈表 3-86〉 健康行爲實踐이 慢性呼吸器系疾患에 미친 影響 ..... 150
〈表 3-87〉 健康行爲實踐이 糖尿病에 미친 影響 ..... 152

# 圖 目 次

〔圖 3- 1〕 性別 吸煙實態 ..... 66
〔圖 3- 2〕 年齡別 吸煙率 ..... 67
〔圖 3- 3〕 性別 吸煙率 推移(1989～1995) ..... 68
〔圖 3- 4〕 年齡別 吸煙率 推移(1989～1995) ..... 68
〔圖 3- 5〕 男子의 年齡別 吸煙率 推移(1989～1995) ..... 69
〔圖 3- 6〕 女子의 年齡別 吸煙率 推移(1989～1995) ..... 69
〔圖 3- 7〕 性・年齡別 禁煙率(1995) ..... 77
〔圖 3- 8〕 男子의 年齡別 禁煙率 推移(1989～1995) ..... 80
〔圖 3- 9〕 男子의 年齡別 禁煙試圖率 推移(1989～1995) ..... 81
〔圖 3-10〕 男子의 現吸煙者의 禁煙 必要性 認識率 推移
(1989～1995) ..... 82
〔圖 3-11〕 性別 飮酒實態(1995) ..... 86
〔圖 3-12〕 性別 成人(20～59歲)의 現飮酒率 推移(1989～1995) .... 87
〔圖 3-13〕 年齡別 現飮酒率 推移(1989～1995) ..... 88
〔圖 3-14〕 性別 每日飮酒率 推移(1989～1995) ..... 91
〔圖 3-15〕 性別 主觀的 體重認識 ..... 105
〔圖 3-16〕 性別 體重調節 實踐率 推移(1989～1995) ..... 108
〔圖 3-17〕 年齡別 體重調節 實踐率 推移(1989～1995) ..... 108
〔圖 3-18〕 性別 體重調節 理由 ..... 109
〔圖 3-19〕 性別 平素 運動 頻度 ..... 110
〔圖 3-20〕 性別 아침食事 缺食率 推移(1989～1995) ..... 112
〔圖 3-21〕 年齡別 아침食事 缺食率 推移(1989～1995) ..... 113

〔圖 3-22〕 性別 不規則的 食事比率 推移(1989～1995) ..... 113
〔圖 3-23〕 性・年齡別 睡眠不足率 ..... 119
〔圖 3-24〕 年齡別 休息의 程度 ..... 119
〔圖 3-25〕 性別 健康檢診率 推移(1989～1995) ..... 123
〔圖 3-26〕 地域別 健康檢診率 推移(1989～1995) ..... 123
〔圖 3-27〕 期間別 血壓測定 累積比率 ..... 127
〔圖 3-28〕 性・健康行爲實踐 程度別 人口 1,000名當 慢性疾患 有病率 ..... 143
〔圖 3-29〕 健康行爲實踐 程度別 人口 1,000名當 主要 慢性疾患 有病率 ..... 145

# 附 表 目 次

1. 一般的 特性

〈附表 Ⅰ- 1〉 地域 및 性別 人口社會的 特性 ..... 171

2. 15～69歲 對象

〈附表 Ⅰ- 2〉 社會經濟的 特性別 主觀的 健康認識狀態 ..... 174
〈附表 Ⅰ- 3〉 社會經濟的 特性 및 性別 吸煙實態 ..... 175
〈附表 Ⅰ- 4〉 社會經濟的 特性 및 性別 現吸煙者의 吸煙期間 ..... 177
〈附表 Ⅰ- 5〉 社會經濟的 特性別 現吸煙者의 지난 1個月間 吸煙日數 ..... 178
〈附表 Ⅰ- 6〉 社會經濟的 特性 및 性別 現吸煙者의 지난 1個月間 1日 平均吸煙量 ..... 179
〈附表 Ⅰ- 7〉 社會經濟的 特性 및 性別 現吸煙者의 禁煙試圖率 및 禁煙에 대한 認識 ..... 183
〈附表 Ⅰ- 8〉 社會經濟的 特性 및 性別 飮酒實態 ..... 186
〈附表 Ⅰ- 9〉 社會經濟的 特性 및 性別 現飮酒者의 飮酒頻度 ..... 188
〈附表 Ⅰ-10〉 社會經濟的 特性 및 性別 現飮酒者의 지난 1年間 過飮頻度 ..... 191
〈附表 Ⅰ-11〉 社會經濟的 特性 및 性別 現飮酒者의 節酒 및 禁酒 試圖 與否 ..... 194
〈附表 Ⅰ-12〉 社會經濟的 特性 및 性別 主觀的 體重認識 分布 .. 195

〈附表 Ⅰ-13〉 社會經濟的 特性 및 性別 지난 1年間 體重調節 與否 ..... 197
〈附表 Ⅰ-14〉 社會經濟的 特性 및 性別 運動頻度 ..... 198
〈附表 Ⅰ-15〉 社會經濟的 特性別 肉體的인 일의 程度 ..... 201
〈附表 Ⅰ-16〉 社會經濟的 特性別 平素 健康維持方法 ..... 202
〈附表 Ⅰ-17〉 社會經濟的 特性 및 性別 아침食事 與否 및 不規則的 食事率 ..... 203
〈附表 Ⅰ-18〉 社會經濟的 特性 및 性別 過食頻度 ..... 206
〈附表 Ⅰ-19〉 社會經濟的 特性 및 性別 間食頻度 ..... 208
〈附表 Ⅰ-20〉 社會經濟的 特性別 食性 - 짠 程度 ..... 210
〈附表 Ⅰ-21〉 社會經濟的 特性別 食性 - 단 程度 ..... 211
〈附表 Ⅰ-22〉 社會經濟的 特性別 營養劑 服用頻度 ..... 212
〈附表 Ⅰ-23〉 社會經濟的 特性別 肉食選好度 ..... 213
〈附表 Ⅰ-24〉 社會經濟的 特性別 菜食選好度 ..... 214
〈附表 Ⅰ-25〉 社會經濟的 特性 및 性別 外食頻度 ..... 215
〈附表 Ⅰ-26〉 社會經濟的 特性別 하루 커피를 마시는 程度 ..... 218
〈附表 Ⅰ-27〉 社會經濟的 特性別 牛乳를 마시는 程度 ..... 219
〈附表 Ⅰ-28〉 社會經濟的 特性 및 性別 熟眠與否 ..... 220
〈附表 Ⅰ-29〉 社會經濟的 特性 및 性別 睡眠時間 分布 ..... 222
〈附表 Ⅰ-30〉 社會經濟的 特性 및 性別 充分한 休息與否 ..... 224
〈附表 Ⅰ-31〉 社會經濟的 特性 및 性別 하루 칫솔질 頻度 ..... 226
〈附表 Ⅰ-32〉 社會經濟的 特性別 아침 칫솔질 時期 ..... 229
〈附表 Ⅰ-33〉 社會經濟的 特性 및 性別 저녁 혹은 잠자기전 칫솔질 與否 ..... 230
〈附表 Ⅰ-34〉 社會經濟的 特性 및 性別 齒科 訪問頻度 ..... 232
〈附表 Ⅰ-35〉 社會經濟的 特性 및 性別 健康檢診 與否 ..... 235

〈附表 Ⅰ-36〉 社會經濟的 特性 및 性別 지난 1年間 各種 檢査率 ..... 236
〈附表 Ⅰ-37〉 社會經濟的 特性 및 性別 血壓檢査 與否 ..... 239
〈附表 Ⅰ-38〉 社會經濟的 特性 및 性別 健康知識源 ..... 240
〈附表 Ⅰ-39〉 社會經濟的 特性別 食水種類 ..... 243
〈附表 Ⅰ-40〉 社會經濟的 特性別 食水方法 ..... 243
〈附表 Ⅰ-41〉 社會經濟的 特性 및 性別 現在 運轉與否 ..... 244
〈附表 Ⅰ-42〉 社會經濟的 特性 및 性別 安全벨트着用 與否 ..... 245
〈附表 Ⅰ-43〉 社會經濟的 特性 및 性別 飮酒運轉者와 同乘回數 ..... 248
〈附表 Ⅰ-44〉 社會經濟的 特性別 實踐 가지數 ..... 251
〈附表 Ⅰ-45〉 健康關聯變數別 吸煙實態 ..... 252
〈附表 Ⅰ-46〉 健康關聯變數別 現吸煙자의 吸煙期間 分布 ..... 253
〈附表 Ⅰ-47〉 健康關聯變數別 飮酒實態 ..... 254
〈附表 Ⅰ-48〉 健康關聯變數別 現飮酒者의 飮酒頻度 ..... 255
〈附表 Ⅰ-49〉 健康關聯變數別 現飮酒者의 지난 1年間 過飮頻度 ..... 256
〈附表 Ⅰ-50〉 健康關聯變數別 現飮酒者의 節酒 및 禁酒 試圖 與否 ..... 257
〈附表 Ⅰ-51〉 健康關聯變數別 主觀的 體重認識 分布 ..... 258
〈附表 Ⅰ-52〉 健康關聯變數別 지난 1年間 體重調節與否 ..... 259
〈附表 Ⅰ-53〉 健康關聯變數別 運動頻度 ..... 260
〈附表 Ⅰ-54〉 健康關聯變數別 아침食事 與否 및 不規則的 食事率 ..... 261
〈附表 Ⅰ-55〉 健康關聯變數別 過食頻度 ..... 262
〈附表 Ⅰ-56〉 健康關聯變數別 間食頻度 ..... 263

〈附表 Ⅰ-57〉 健康關聯變數別 하루 커피를 마시는 程度 ..... 264
〈附表 Ⅰ-58〉 健康關聯變數別 牛乳를 마시는 程度 ..... 265
〈附表 Ⅰ-59〉 健康關聯變數別 熟眠與否 ..... 266
〈附表 Ⅰ-60〉 健康關聯變數別 睡眠時間 分布 ..... 267
〈附表 Ⅰ-61〉 健康關聯變數別 充分한 休息與否 ..... 268
〈附表 Ⅰ-62〉 健康關聯變數別 健康檢診 與否 ..... 269
〈附表 Ⅰ-63〉 健康關聯變數別 지난 1年間 各種 檢査率 ..... 270
〈附表 Ⅰ-64〉 健康關聯變數別 血壓檢査 與否 ..... 271

3. 青少年(15～24歲)

〈附表 Ⅰ-65〉 社會經濟的 特性別 主觀的 健康認識 狀態 ..... 272
〈附表 Ⅰ-66〉 社會經濟的 特性別 스트레스 與否 ..... 273
〈附表 Ⅰ-67〉 社會經濟的 特性別 吸煙實態 ..... 274
〈附表 Ⅰ-68〉 社會經濟的 特性別 現吸煙者의 吸煙期間 ..... 275
〈附表 Ⅰ-69〉 社會經濟的 特性別 現吸煙者의 지난 1個月間 吸煙日數 ..... 276
〈附表 Ⅰ-70〉 社會經濟的 特性別 現吸煙者의 지난 1個月間 1日平均 吸煙量 ..... 277
〈附表 Ⅰ-71〉 社會經濟的 特性別 現吸煙者의 禁煙試圖率 및 禁煙에 대한 認識狀態 ..... 278
〈附表 Ⅰ-72〉 社會經濟的 特性別 飮酒實態 ..... 279
〈附表 Ⅰ-73〉 社會經濟的 特性別 現飮酒者의 飮酒頻度 ..... 280
〈附表 Ⅰ-74〉 社會經濟的 特性別 現飮酒者의 지난 1年間 過飮頻度 ..... 281
〈附表 Ⅰ-75〉 社會經濟的 特性別 現飮酒者의 節酒 및 禁酒 試圖 與否 ..... 282

〈附表 Ⅰ-76〉 社會經濟的 特性別 主觀的 體重認識 分布 ..... 283
〈附表 Ⅰ-77〉 社會經濟的 特性別 지난 1年間 體重調節 與否 ..... 284
〈附表 Ⅰ-78〉 社會經濟的 特性別 運動頻度 ..... 285
〈附表 Ⅰ-79〉 社會經濟的 特性別 平素 健康維持 方法 ..... 286
〈附表 Ⅰ-80〉 社會經濟的 特性別 아침食事 與否 및 不規則的 食事率 ..... 287
〈附表 Ⅰ-81〉 社會經濟的 特性別 過食頻度 ..... 288
〈附表 Ⅰ-82〉 社會經濟的 特性別 間食頻度 ..... 289
〈附表 Ⅰ-83〉 社會經濟的 特性別 外食頻度 ..... 290
〈附表 Ⅰ-84〉 社會經濟的 特性別 牛乳를 마시는 程度 ..... 291
〈附表 Ⅰ-85〉 社會經濟的 特性別 熟眠與否 ..... 292
〈附表 Ⅰ-86〉 社會經濟的 特性別 睡眠時間 分布 ..... 293
〈附表 Ⅰ-87〉 社會經濟的 特性別 充分한 休息與否 ..... 294
〈附表 Ⅰ-88〉 社會經濟的 特性別 하루 칫솔질 頻度 ..... 295
〈附表 Ⅰ-89〉 社會經濟的 特性別 아침 칫솔질 時期 ..... 296
〈附表 Ⅰ-90〉 社會經濟的 特性別 저녁 혹은 잠자기전 칫솔질 與否 ..... 297
〈附表 Ⅰ-91〉 社會經濟的 特性別 齒科 訪問頻度 ..... 298
〈附表 Ⅰ-92〉 社會經濟的 特性別 身體檢査 與否 ..... 299

4. 年度別 推移

〈附表 Ⅰ-93〉 性 및 年齡別 吸煙率 推移(1989～1995) ..... 300
〈附表 Ⅰ-94〉 男子의 年齡別 禁煙率, 禁煙試圖率 및 禁煙必要性 認識率 推移(1989～1995) ..... 301
〈附表 Ⅰ-95〉 性別 飮酒率 推移(1989～1995) ..... 302
〈附表 Ⅰ-96〉 性 및 年齡別 食習慣 推移(1989～1995) ..... 303

〈附表 Ⅰ- 97〉 性 및 年齡別 體重調節 實踐率 및 健康檢診率 推移(1989～1995) ..... 304
〈附表 Ⅰ- 98〉 性 및 年齡別 7～8時間 睡眠 與否 推移 (1992～1995) ..... 305
〈附表 Ⅰ- 99〉 性 및 年齡別 間食與否 推移(1989～1995) ..... 305
〈附表 Ⅰ-100〉 性 및 年齡別 運動實踐率 推移(1989～1995) ..... 307

〈附表 Ⅱ- 1〉 層別 基本標本調査數 配分內譯 ..... 311
〈附表 Ⅱ- 2〉 層別 基本標本 規模 ..... 312
〈附表 Ⅱ- 3〉 基本 標本調査區를 利用한 標本調査區 抽出結果 ..... 313
〈附表 Ⅱ- 4〉 新築아파트 標本調査區 抽出結果 ..... 314
〈附表 Ⅱ- 5〉 地域別 標本調査區 抽出結果 細部內譯 ..... 315
〈附表 Ⅱ- 6〉 調査結果 家口數 ..... 316
〈附表 Ⅱ- 7〉 家口基本調査結果 ..... 316
〈附表 Ⅱ- 8〉 保健意識行態 調査結果 ..... 319

# 要 約


## 1. 硏究目的

本 硏究는 우리나라 國民의 健康行爲의 實踐水準과 變化 推移를 제시하고 健康行爲實踐과 健康과의 關聯性을 살펴보며 主要 慢性疾患의 危險要因을 把握하기 위해 實施하였다.

## 2. 硏究對象 및 方法

調査對象은 전국에서 標本으로 추출된 家口의 만 15~69세 家口員 중 1인을 표본으로 추출한 6,480명이며 調査員에 의한 面接調査에 의해 자료를 수집하였다. 資料蒐集은 1995년 7월 1일~7월 30일에 걸쳐 실시되었다. 分析方法은 記述分析과 로지스틱 回歸分析을 사용하였다.

## 3. 硏究結果

연구결과, 健康行爲의 實踐程度는 性, 年齡, 地域, 敎育水準, 家口의 所得水準에 따라 다르게 나타났으며 健康習慣을 많이 가지고 있을수록 健康한 경향을 보였고 慢性疾患의 有病率도 낮게 나타났다. 이와 같은 결과는 1960년대 중반 이후 실시된 여러 硏究結果들과 일치된다. 로지스틱 回歸分析에 의해 주요 만성질환에 대한 健康危險行爲의 相對危險度를 산출한 결과 또한 여러 先行硏究의 結果와 유사한 傾向을 보여주었다.

## 가. 吸煙 實態

### 1) 吸煙率

15~69세 성인의 現吸煙率은 32.2%로 나타났으며 性別 差異가 상당히 컸다(남자 61.0%, 여자 5.6%). 성인 남자(15~69세)의 吸煙率은 61.0%로 美國 28.6%('92), 英國 29.0%('92)의 두 배 이상이며, 獨逸 36.8%('92), 프랑스 38.0%('92)에 비해서도 월등히 높은 수준이다.

〈表 1〉 15歲 以上 成人 吸煙率의 國際比較

(單位: %)

| 國 家 | 한국 (1995) | 일본 (1990) | 독일 (1992) | 미국 (1992) |
|---|---|---|---|---|
| 男 子 | 61.0 | 59.8 | 36.8 | 28.6 |
| 女 子 | 5.6 | 13.8 | 21.5 | 24.6 |

### 2) 吸煙率 推移(1989~1995)

우리나라 성인 흡연율(20~59세 人口 100명당 吸煙者數)은 1989년 35.8%에서 1995년 35.5%로 다소 감소하는 경향을 보였다.[1)]

1989~1995년간 남자흡연율은 다소 감소한 반면 여자흡연율은 증가하였다. 同 期間中 20대 흡연율은 5.1% 포인트 증가하였으며(30.4%→35.5%), 특히 20대 여자의 흡연율이 크게 증가되었다(1.4%→5.0%).

---

1) 20~59세 성인 1인당 담배소비량은 1989年 148갑에서 1994年 143갑으로 감소되었음.

〈表 2〉 成人(20~59歲) 吸煙率 推移

(單位: %)

| 區 分 | 1989 | 1995 |
|---|---|---|
| 全 體 | 35.8 | 35.5 |
| 男 子 | 70.8 | 67.7 |
| 女 子 | 3.9 | 5.0 |

연령별 흡연율은 남자의 경우 20대에서 급증한 후 60대에 현저한 감소 경향을 보이는 반면, 여자는 60대에서 급격한 증가현상을 보였다.

〈表 3〉 性・年齡別 吸煙率

(單位: %)

| 區 分 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 男 子 | 18.8 | 69.7 | 68.7 | 67.4 | 63.4 | 54.6 |
| 女 子 | 2.7 | 5.0 | 3.4 | 6.1 | 6.5 | 14.2 |

3) 吸煙 危險集團

吸煙率이 높은 집단은 남자 20代와 30代, 專門大卒 以上, 技能職, 獨身이었으며 吸煙量은 40대 남성흡연자에서 가장 많았다.

4) 習慣的 吸煙始作年齡

吸煙經驗者의 습관적 흡연시작연령은 남자 22세, 여자 30세로 나타났다. 男子吸煙者의 91.7%가 20대 이전에 흡연을 시작하였는데 반해 여자는 53.1%만이 20대 이전에 吸煙을 시작했고 나머지 절반 정도(46.9%)는 30세 이후에 習慣的으로 吸煙을 始作한 것으로 나타났다.

〈表 4〉 男子 吸煙經驗者의 吸煙始作 年齡 分布

(單位: %)

| 區 分 | 10~19세 | 20~29세 | 30~39세 | 40세 이후 |
|---|---|---|---|---|
| 比 率 | 21.6 | 70.1 | 6.7 | 1.6 |

5) 吸煙動機

吸煙動機는 남녀 모두 吸煙始作年齡이 빠를수록 好奇心이 가장 큰 동기로 나타난 반면, 흡연시작을 늦게 했을수록 慾求不滿이나 스트레스 解消가 주요 동기로 나타났다. 이러한 傾向은 여자에게서 더욱 두드러지게 나타나 30대 이후에 吸煙을 시작한 여자의 약 60%가 慾求不滿이나 스트레스를 解消하기 위해 吸煙을 시작한 것으로 나타났다.

6) 禁煙率, 禁煙試圖 與否 및 禁煙 必要性 認識

禁煙率은 男子는 60대, 女子는 20대에서 가장 높았다. 男子 吸煙者의 60% 이상이 담배를 끊고자 시도해 본 經驗이 있었으며 20년 이상 吸煙한 男子가 禁煙한 경우는 대체로 健康에 異常이 생겼기 때문인 것으로 나타났다.

7) 吸煙에 關한 態度

조사대상자의 60% 이상이 '吸煙·飮酒는 法으로 禁해야 한다'고 응답했으며, '술·담배 廣告는 規制되어야 한다'라는 문항에 대해서도 15~39세의 60% 이상, 40~69세의 70% 이상이 찬성하였다.

8) 吸煙과 健康과의 關聯性

흡연자는 非흡연자에 비해 만성호흡기계질환 유병률(인구 100명당 罹患者數)이 높았다. 특히 40세 이상에서 차이가 컸다.

〈表 5〉 吸煙與否別 慢性呼吸器系疾患 有病率

(單位: %)

| 구 분 | 15~69세 | 15~39세 | 40~69세 |
|---|---|---|---|
| 吸 煙 | 3.4 | 1.8 | 5.2 |
| 非吸煙 | 1.6 | 1.0 | 2.5 |

## 나. 飮酒實態

1) 飮酒率

成人(15~69세) 飮酒率은 31.4%로 나타났고 男子의 飮酒率(50.8%)이 여자(13.5%)보다 훨씬 높았다. 都市居住者의 음주율(32.7%)이 군지역 거주자(26.9%)보다 높았고 연령별로는 20代의 음주율(39.4%)이 가장 높게 나타났다.

2) 飮酒率 推移(1989~1995)

성인 음주율(20~59세 人口 100명당 飮酒者數: 남이 권할 때 극소량 마시는 경우 제외)은 1989년 49.3%에서 1995년에는 35.5%로 저하되었다.[2)]

健康上 문제가 되는 매일음주율(人口 100명당 매일 飮酒者數)은 거의 변화가 없었다.

---

2) 20~59세 성인 인구 1인당 酒類소비량은 1989年 87*l*에서 1993年 80*l*로 감소하였음.

〈表 6〉 成人(20～59歲) 飮酒率 및 每日 飮酒率 推移

(單位: %)

| 區　　分 | 1989 | 1995 |
|---|---|---|
| 飮 酒 率 | 49.3 | 35.5 |
| 每日飮酒率 | 6.8 | 6.6 |

남자의 12.8%(남자 음주자의 24.8%), 여자의 1.2%(여자 음주자의 7.7%)가 매일 음주하는 것으로 나타났으며 특히 50대 남자의 매일음주율은 22.3%나 되었다.

청소년(15～19세) 음주율은 9.6%이며, 이들의 21.8%가 1회 평균 2홉 소주 2병 이상을 마시고 있었다.

3) 飮酒 危險集團

問題 飮酒로 간주되는 每日 飮酒率은 남자 50대와 60대가 가장 높았고(각각 22.3%, 21.5%) 飮酒量(1회 평균 음주량과 과음시의 음주량)은 15～19歲 靑少年이 가장 많았다. 過飮하는 頻度가 가장 높은 集團은 60代 男子 飮酒者로 把握되었다.

4) 飮酒始作年齡

飮酒를 始作하는 年齡은 평균 23.6세로서 연령이 낮을수록 빨랐다. 남자는 전연령층이 23세 전후에 飮酒를 시작하였고 여자는 연령대에 따라 飮酒始作年齡이 다르게 나타났는데 40대는 34세, 50대와 60대는 40세 이후에 음주를 시작한 것으로 나타났다.

自家 運轉者의 19.2%가 한 달간 1회 이상 음주운전을 한 것으로 나타났다.[3)]

---

3) 1989～1993년간 음주운전으로 인한 교통사고는 연평균 29.2%씩 증가한 것으로 나타남.

## 다. 肥滿 및 體重調節

### 1) 過多體重率

남자 16.7%와 여자 11.0%가 BMI指數(신장에 대한 체중의 비)에 의해 산출한 過多體重으로 나타났다. 過多體重率의 地域別 차이는 없었으나 연령은 增加할수록 過多體重率도 增加하는 傾向을 보였다. 또한 소득수준이 증가할수록 過多體重程度도 증가하였으며 慢性疾患이 있는 경우의 過多體重程度는 없는 경우에 비해 훨씬 높았다.

### 2) 지난 1年間 體重調節 與否

調査 對象者의 약 1/4정도가 지난 1년간 원하는 몸무게가 되기 위해 體重調節을 했었던 것으로 나타났으며 市地域 居住者, 여자, 교육수준, 月平均 家口所得水準이 높을수록 體重調節 實踐率이 높게 나타났다. 10대와 20대 女性의 40% 이상이 지난 1년간 體重調節을 했었던 것으로 나타났으며 年齡이 증가할수록 體重調節 實踐率은 낮아졌다.

### 3) 體重調節 理由

남자는 주로(67.4%) 健康維持를 위해 체중조절을 한 반면, 여자는 주로(62.9%) 外貌管理를 위해 體重調節을 한 것으로 나타났다.

## 라. 身體活動

### 1) 運動

우리나라 성인인구의 58.8%는 평소에 運動을 전혀 하지 않고 있는 반면 주 1회 이상 運動하는 경우는 불과 24.1%에 지나지 않았다.

運動을 전혀 하지 않는다는 비율은 市地域(55.0%)보다 郡地域 거주자(72.7%)가, 남자(48.9%)보다 여자(68.0%)에게서 높게 나타났고 年齡이 증가할수록 높았다.

규칙적으로 健康維持에 유익한 運動(일주일에 최소 2 번이상, 20분 이상)을 실천하는 인구는 6.2%에 불과하였다.

2) 肉體的인 일의 程度

肉體的인 일의 程度는 17.0%가 전혀 하지 않는다고 응답하였다. 일상생활에서 肉體的인 일을 전혀 하지 않는다는 경우는 시지역(18.6%)이 郡地域(11.4%)보다 높았고 여자(15.3%)보다 男子(19.0%)가 높았다.

### 마. 食習慣 實態

건강상 바람직하지 못한 食習慣(아침식사 결식, 불규칙적 식사)을 갖고 있는 인구비율이 크게 증가되었다(表 7 참조).

〈表 7〉 成人(20～59歲) 食習慣 變化推移

(單位: %)

| 區 分 | 1989 | 1995 |
|---|---|---|
| 아침食事 缺食率 | 26.0 | 34.6 |
| 不規則的 食事率 | 35.2 | 47.6 |
| 間食人口 比率 | 45.6 | 77.5 |

### 바. 睡眠의 適切性

15세 이상 69세 성인의 약 40%만이 충분한 睡眠을 취하고 있다고 응답하였다.

睡眠不足을 느끼는 비율은 연령별로는 30대(21.7%)와 40대(21.9%)에서 가장 높게 나타났으며 40대와 50대 여자의 睡眠 不足率(24.4%)이 가장 높았다.

### 사. 口腔保健 實態

치아우식증의 豫防을 위해서는 잠자기전과 아침 식후 잇솔질이 매우 중요하나 우리나라 성인의 약 절반(55.5%)만이 잠자기전에 잇솔질을 하고, 62.8%만이 아침 식후에 이를 닦는 것으로 나타났으며[4] 成人의 25%만이 하루 3번 이상 잇솔질을 하는 것으로 나타났다.

〈表 8〉 性別 하루 잇솔질 頻度

(單位: %)

| 區 分 | 3번 이상 | 하루 2번 | 하루 1번 | 닦지않음 |
|---|---|---|---|---|
| 全體 | 25.0 | 56.9 | 17.7 | 0.4 |
| 男子 | 19.0 | 55.2 | 25.2 | 0.6 |
| 女子 | 30.5 | 58.5 | 10.8 | 0.3 |

齒科訪問 頻度를 보면 대부분이 齒牙에 問題가 있을 때 齒科를 訪問하며 豫防的인 目的에 의해 定期的으로 방문하는 경우는 극히 드물었다.

〈表 9〉 齒科訪問 頻度

(單位: %)

| | 전혀가지않음 | 치아 문제시 | 몇년에 한 번 | 1년에 1회 이상 |
|---|---|---|---|---|
| 全體 | 30.6 | 56.5 | 6.2 | 7.7 |
| 男子 | 35.8 | 51.3 | 5.8 | 7.0 |
| 女子 | 25.8 | 61.3 | 6.5 | 6.3 |

4) 우리나라의 치아우식증 유병률은 인구 1,000명당 3.3명으로서 만성질환중 소화성궤양 및 위염, 관절염에 이에 3번째로 높음.

## 아. 健康檢診 및 豫防行爲

### 1) 健康檢診率

지난 1년간 健康檢診을 받은 비율은 전체 대상자의 36.1%로 나타났다. 健康檢診率은 시지역(36.9%)이 군지역(33.1%)보다 높았으며 남자(41.8%)가 여자(30.9%) 보다 높았다. 연령별로는 40대(42.7%)가 가장 높았다.

### 2) 健康檢診率 推移(1989~1995)

건강검진율(20~59세 인구 100명당 연간 건강검진자수)은 1989년의 22.5%에서 1995년에 36.3%로 증가하였다.

특히 40~59세 성인의 건강검진율은 1989년의 19.6%에서 1995년에는 40.7%로 크게 증가하였다. 여성의 자궁암과 유방암 검진율도 다소 증가하였다.

〈表 10〉 子宮癌 및 乳房癌 檢診率 推移

(單位: %)

| 區 分 | 1989 | 1995 |
|---|---|---|
| 子宮癌(20~59) | 17.0 | 19.6 |
| 乳房癌(50세 이상) | 1.3 | 7.5 |

## 자. 其他 健康關聯 行爲

### 1) 安全行爲

다른 사람이 운전하는 自動車에 탔을때, 41.0%가 안전벨트를 매지 않는 것으로 나타났다.

自家運轉者 1,649명 중 71.2%(대체로 매는편 18.4%, 항상맴 53.0%)는 안전벨트를 대체로 매는편으로 나타났으나 거의 매지 않는다는 경우도 10.4%(거의 매지 않는 편 8.2%, 절대로 매지않음 2.2%)나 되었다.

2) 飮用水

조사대상자의 약 절반 정도(51.5%)만이 수돗물을 食用水로 사용하고 있었고 수돗물을 먹는 사람의 90.3%가 끓여먹으며 6.0%는 정수기를 사용하며, 3.7%만이 그냥 먹는 것으로 나타났다.

### 차. 健康行爲 實踐水準

7가지 主要 健康行爲(① 금연, ② 절주, ③ 적당한 수면, ④ 규칙적 운동, ⑤ 적당한 체중의 유지, ⑥ 간식을 피하는것, ⑦ 규칙적인 아침식사) 중 6가지 이상을 실천하는 인구는 단지 1.6%에 불과하였다.

〈表 11〉 實踐하고 있는 健康行爲數

(單位: %)

| 가지수 | 2 이하 | 3 | 4~5 | 6~7 |
|---|---|---|---|---|
| 比 率 | 24.3 | 35.8 | 38.4 | 1.6 |

건강행위실천을 많이 할수록 만성질환 유병률은 낮았다.

〈表 12〉 健康行爲實踐 程度別 慢性疾患 有病率

(單位: %)

| 가지수 | 2 이하 | 3 | 4 이상 |
|---|---|---|---|
| 有病率 | 29.2 | 21.2 | 15.8 |

### 카. 健康關聯 知識源

15세 이상 69세 성인의 약 2/3 정도가 TV, 라디오, 신문, 잡지 등 大衆媒體를 통해 평소 健康에 관한 知識을 습득하며 10.3%는 健康과 관련한 知識을 얻는 곳이 없는 것으로 나타났다.

大衆媒體 다음으로는 市地域은 家族이나 冊子·포스터를 통해 건강에 관한 지식을 얻었고 郡地域은 책자·포스터 보다는 保健·醫療人을 통해 知識을 얻는 것으로 나타났다.

### 타. 主要 慢性疾患의 危險要因

慢性疾患 중 10大 死亡原因에 속하며 健康行態와 특히 관련성이 높은 것으로 알려진 慢性循環器系疾患, 慢性呼吸器系疾患, 糖尿病의 세 가지 질환과 관련된 위험요인을 파악해 본 결과 過多體重과 年齡(40歲 以上)은 이들 세 가지 질환에서 모두 危險要因으로 파악되었다.

스트레스는 慢性循環器系疾患과 糖尿病의 危險要因으로 나타났고 吸煙과 性(男子)은 慢性呼吸器系疾患의 위험요인으로 나타났다. 吸煙, 飮酒, 運動이 慢性疾患에 미친 영향이 미미하게 나타난 것은 橫斷的 調査자료가 지닌 制限點으로 해석된다.

慢性疾患과 健康行爲實踐간의 보다 명확한 因果關係를 규명하기 위해서는 縱斷的 硏究가 필요하다.

## 4. 政策建議

### 가. 國民의 健康行爲 實踐을 誘導하기 위한 汎國民的 次元의 保健敎育弘報事業 强化 및 健康生活實踐運動 展開

1) 保健敎育弘報事業 强化

- 保健敎育開發센터 設置를 통한 각종 敎育弘報資料 제작·배부
- 大衆媒體를 이용한 保健敎育弘報事業 强化
- 地域單位의 健康展示會(각종 홍보물, 건강체크기구 등) 開催 및 保健所의 健康增進敎室 運營

2) 健康生活實踐運動 展開

- 地域單位 健康生活實踐協議會 構成·運營
- 地域社會參與 活性化를 위한 健康增進 경진 및 평가대회 開催 (사업실적보고 및 평가, 모범사례발표, 우수단체 및 기관표창)
- 健康增進 示範初等學校 運營

### 나. 健康危險要因別 對策 講究

1) 吸煙

- 大衆媒體를 이용한 國民禁煙敎育弘報 강화와 保健所의 禁煙敎室 運營
- 中·高等學校의 保健敎育 關聯 교과목 시간에 禁煙敎育을 强化 실시하며 學校 구내를 禁煙區域으로 지정하고, 별도의 吸煙室을 設置·運營

- 軍人對象 禁煙敎育의 定期的 實施 및 內務班 등에서의 吸煙 禁止
- 모든 産母의 임신기간중 禁煙을 실시토록 유도하여 平生禁煙으로 이어지도록 함.
- 國民健康增進法에서 규정한 公衆利用施設의 禁煙區域의 指定擴大, 靑少年 對象의 담배판매금지 및 담배자판기 設置規制 등 地方自治團體長의 管理强化

2) 飮酒

- 건전한 飮酒文化를 定着시키기 위한 弘報活動展開
- 未成年에 대한 酒類販賣 및 음주운전자에 대한 處罰强化

3) 運動

- 全國民의 運動生活化를 위한 동네 體育施設의 擴充 및 生活體育公園의 造成
- 각급 學校運動場, 體育施設 등의 開放을 통한 지역주민의 이용증대

4) 食習慣

- 국민들의 바람직한 食習慣을 유도하기 위해 食生活 指針의 개발 보급과 大衆媒體 등을 통한 營養敎育 실시

5) 口腔保健

- 學校와 職場에서의 점심식사후의 이닦이 운동의 전개

### 다. 國民健康增進法의 效率的 施行을 위한 基盤 造成

1) 主要 疾病豫防 및 健康增進(흡연, 영양, 운동, 암 등)의 目標設定과 구체적인 推進戰略 樹立

2) 國民健康增進과 관련된 硏究評價事業의 活性化 및 데이터베이스 構築

3) 國民健康增進事業 推進에 필요한 인력, 시설, 장비, 예산 등의 資源 確保

## 5. 期待效果

本 硏究에서 提示한 우리나라 國民의 健康行爲實踐水準은 國民健康增進 目標設定을 위한 指標가 되며, 본 연구를 통해 파악된 危險集團의 特性과 規模, 危險要因 등은 保健敎育의 優先順位 및 主題의 選定, 危險要因 減少對策을 위한 戰略開發 등에 寄與할 수 있을 것이다.

# 第1章 序 論

## 第1節 研究背景

健康과 관련된 生活樣式(life style)을 바람직하게 誘導함으로써 疾病豫防과 健康增進을 도모하려는 오늘날의 保健·醫療的 接近은 다음의 몇 가지 사실에 근거하고 있다. 첫째, 疾病樣相과 死因構造가 急性傳染性疾患에서 慢性退行性疾患으로 變化하고 있는 점이며 둘째, 平均壽命은 연장되었으나 만성질환을 지닌 不健康한 狀態에서의 壽命延長이 문제가 되고 있는 점이다. 만성질환은 飮酒, 吸煙, 肥滿, 運動不足 등 바람직하지 못한 生活樣式에 의해 起因된다는 점과 건강할 때에 건강을 관리할 수 있어야만 '健康하게 사는 삶의 期間(The Span of Healthy Life)'을 연장할 수 있게 된다는 점에서 '健康行爲實踐'의 重要性이 强調된다.

이와 같은 관점에서 아직까지 건강하다고 생각하는 사람들의 行動變化를 목적으로 대두된 것이 健康增進의 槪念이다. 그러므로 健康增進分野에서는 專門醫療人의 역할보다 個人의 健康行爲實踐의 重要性이 강조된다. 따라서 醫療制度 또는 醫療傳達體系가 현재까지 차지하던 역할과 중요성은 적어지는 반면 國民의 健康行爲實踐을 유도할 수 있는 保健敎育의 重要性이 强調된다. 定期 健康檢診과 豫防接種을 소극적 1次豫防이라고 칭하는데 비해 健康增進은 積極的인 1次豫防이라고 불리우며 미생물의 발견에 의한 제1의 公衆保健革命에 이은 제2의 公衆保健革命이라고 지칭할 정도로 중요시되고 있다.

健康增進을 위한 主要 수단인 保健敎育은 〈表 1-1〉에서 보는 바와 같이 主要 死亡原因疾患과 관련된 行動的 要因을 수정하기 위한

知識 및 態度를 個人과 家族, 地域社會에 提供하는 過程이다. 개인의 價値觀은 적절한 건강을 유지하기 위한 行動의 根據가 되며 價値觀 定立은 科學的인 知識에 바탕을 둔다. 그러므로 健康行爲實踐을 위한 가치관의 정립은 계획된 의미있는 보건교육과정을 통해야만 성취할 수 있다(表 1-1 참조).

〈表 1-1〉 5大 死因 順位와 行動的 要因 및 保健敎育의 領域

| 사망원인[1] | 행동적 요인 | 보건교육의 영역 |
|---|---|---|
| 계(63.5%) | 흡연, 운동, 음주, 약물남용, 휴식 | V |
| 암(21.4 %) | 흡연, 운동, 영양 | V |
| 뇌혈관질환(16.0%) | 흡연, 운동, 영양 | V |
| 불의의 사고(12.3%) | 음주와 약물남용 | V |
| 심장병(8.3%) | 흡연 | V |
| 만성간질환(5.5%) | 흡연, 음주, 영양, 휴식 | V |

註: 1) 資料 - 보건복지부, 『보건사회통계연보』, 1994.

우리나라는 지난 30여 년간 國民生活水準의 向上, 醫療技術의 進步 등에 의해 平均壽命이 현저하게 延長[1]되었으며 疾病樣相과 死因構造도 크게 변화하였다. 20세 이상 70세 미만의 早期死亡중 만성퇴행성질환으로 인한 사망은 1983년의 55.2%에서 1993년에는 64.1%로 급격히 증가하였으며(통계청, 1993), 인구 1,000명당 慢性疾患 有病率도 1989년의 168명에서 1992년의 205명으로 현저하게 증가하였다(한국보건사회연구원, 1989, 1992). 이와 같은 점을 감안할 때, 앞으로 우리나라에서도 健康增進과 健康保護의 두 가지 개념이 매우 중요하게 대두될 것으로 전망된다. 이미 1995년 1월 積極的 健康(positive health)을 강조하는 國民健康增進法이 제정되었고 이를 기반으로 2000年代를 향한 國民健康增進 目標設定을 위한 作業이 着手되고 있다.

1) 평균수명은 1970년의 63세에서 1995년에는 73세로 연장되었음.

이와 같은 시점에서 우리나라 국민의 健康行爲實踐水準과 지난 6년간(1989~1995년)의 變化 推移를 제시해 줄 수 있는 保健意識行態調査는 그 어느 때보다도 活用性이 클 것으로 기대된다. 이 조사는 國民健康調査와 병행하여 1989년부터 3년 간격으로 실시해 왔으며 이번 조사는 1989년과 1992년 조사에 이은 세 번째 조사가 된다.

本 硏究에서 제시될 우리나라 국민의 健康行爲實踐水準은 國民健康增進 目標設定을 위한 주요한 指標로 活用될 수 있을 것이며 본 연구를 통해 밝혀질 수 있는 危險集團의 特性과 規模, 危險要因 等은 보건교육의 優先順位 및 主題의 選定, 危險要因 減少對策을 위한 戰略開發 등, 健康增進政策의 方向設定에 寄與할 것으로 期待된다. 본 연구의 具體的 目的을 제시하면 다음과 같다.

## 第 2 節 硏究目的

1. 地域別, 人口 社會 經濟變數別 健康行爲實踐水準 提示
2. 健康關聯 危險集團의 特性 및 規模 把握
3. 年度別 健康行爲實踐 推移 提示
4. 健康行爲實踐과 健康과의 關聯性 把握
5. 主要 慢性疾患의 危險要因 把握

# 第 2章 硏究方法

## 第 1節 調査 母集團

標本調査區는 全國을 調査對象地域으로 하여 抽出하는 것이 바람직하지만, 交通이 불편한 섬지역에서 標本調査區가 抽出되면 調査費用이 많이 소요될 뿐만 아니라 現地調査가 곤란하게 되는 경우가 있으므로, 各 市·道의 섬地域은 모두 除外시켰다(各 市·道의 섬地域의 總家口數는 全國 家口數의 1% 未滿에 불과함).

調査對象家口에는 普通家口, 1人家口, 非血緣家口가 모두 包含되어야 하지만, 국민건강부문 조사에서 非血緣家口의 경우에는 家口員 서로가 다른 사람의 醫療利用, 罹患 등에 관한 事項을 알지 못하는 경우가 大部分이기 때문에 非血緣家口는 調査對象家口에서 除外시키기로 하였다.

調査對象 家口員에는 家口員이 모두 包含되어야 하지만, 위와 같은 이유로 非血緣家口員은 調査對象 家口員에서 제외시켰다(附錄 Ⅱ. 標本設計 槪要 참조).

그리고 保健意識行態部門 調査의 경우에는 조사의 特殊性을 고려하여 國民健康部門 調査의 가족원 중에서 15~69歲의 家族員을 調査對象으로 삼았다. 종전(1989, 1992년도)의 保健意識行態調査의 對象이 20~59세이었던 것을 이번 조사에서 15~69세로 年齡範圍를 擴大한 이유는 다음과 같다.

### 1. 靑少年(15~19歲) 對象 追加 理由

첫째, 成人의 健康習慣(식습관, 운동, 흡연, 음주, 수면 등)은 주로 靑少年期에 習得되어진 것이라는 점에서 靑少年은 保健學的으로 특별한 關心이 要求되는 對象이다.

둘째, 靑少年期(10~19세) 주요 死亡原因의 第1位인 不意의 事故(47.9%)와 第3位인 自殺(7.6%)은 음주, 폭력, 약물남용 등 청소년기 특유의 健康危害行動(risk taking behavior)에서 초래된 것으로 청소년들의 意識과 行動의 變化를 유도함으로써 상당 부분 豫防可能한 것들이다.

셋째, 청소년의 保健意識行態에 대한 全國的 調査資料가 우리나라에는 거의 없는 실정이다.

### 2. 60~69歲 老人對象 追加 理由

慢性疾患의 有病率이 높은 60대 이상의 노인 연령층을 조사대상에 포함시킴으로써 慢性疾患과 健康習慣의 關聯性 分析을 위해 보다 많은 分析對象을 確保하기 위해서다.

## 第 2 節 調査規模

1990년 人口總調査의 普通調査區와 人口總調査 이후의 신축아파트에서 추출한 110개 調査區의 7,696家口 중에서 7,320家口를 방문하여 適格家口 여부를 확인하였으며, 이 중에서 7,262가구가 適格家口로 확인되었다. 適格家口로 확인된 7,262가구 중에서 家口基本調査票를 작성한 가구는 6,791가구이었다.

家口基本調査票를 완료한 6,791가구 중에서 15~69세의 가족원이 없는 311가구를 제외한 6,480가구에서 각각 15~69세의 家族員 중 생일이 가장 빠른 한 사람씩 총 6,480명을 抽出하여 調査를 實施하였다(附錄 Ⅱ. 標本設計 槪要 참조).

## 第 3節 調査期間 및 方法

조사는 指導員과 調査員으로 구성된 조사팀에 의해 1995년 7월 1일부터 7월 30일 까지 실시되었다. 首都圈 및 大都市地域(특별시, 광역시, 경기도)은 專門調査員에 의해 조사를 실시하였고 市·郡地域은 標本地域內 保健(支)所의 保健要員이 조사를 담당하였다. 조사원과 조사지도원을 위해 3일간의 理論 및 모델實習訓練을 실시하였다.

調査方法은 조사원의 입회 하에 조사대상자가 자가기재하는 방법을 원칙으로 하였으나 조사대상자가 學歷水準이나 視力 또는 高齡 등으로 인해 조사표를 읽고 이해하지 못할 경우에는 조사원이 조사표를 읽어주면서 그때 그때 응답한 내용을 기입하도록 하였다. 자가기재만이 적합한 일부 조사내용은 자가기재가 不可能할 경우엔 조사하지 않도록 하였다[2]. 불가피하여 調査票를 留置(해당 가구에 배부한 다음 후에 수거하는 경우)해야 할 경우에는 조사대상자 本人이 반드시 조사표를 작성해야만 된다는 사실을 명심토록 하였으며 유치했던 조사표를 회수할 경우엔 다시 한번 調査票가 本人에 의해 作成된 것인지 확인토록 하고 빠진 문항이 있는지 檢討하도록 하였다. 선정된 調査對象者를 만나기 어렵다는 이유로 인해 調査者가 임의로 조사대상 가구원을 바꾸는 일이 없도록 調査員 敎育當時 그 重要性을 强調하였다.

## 第 4節 調査結果 家口數 및 調査對象者數

標本調査區에서는 모든 家口에 대하여 全數調査토록 하였으며, 이를 위하여 指導員은 3名의 調査員에게 각 調査員이 擔當하여야 할 區域을

---

2) 조사표 내용 중 '사회·심리적 건강'에 해당되는 3~10번 항목과 '건강관련 지식'에 관한 65~68번 항목은 자가기재용으로 개발된 내용이므로 자가기재가 불가능할 경우엔 조사하지 않도록 하였다.

設定하여 주었다. 調査員은 각각 擔當 區域 內의 家口를 順序대로 訪問하면서 家口名簿에 각 家口에 관한 事項을 記入한 다음, 家口基本調査票를 먼저 作成하고, 이에 따라 해당 個人調査票를 作成토록 하였다.

그런데, 住宅의 新築으로 家口가 많이 增加한 調査區, 낮에는 應答者를 만날 수 없는 경우가 특히 많은 調査區, 不應家口가 많아 說得에 많은 時間이 所要되는 調査區에서는 모든 家口를 다 調査할 경우에 수반되는 豫算 및 行政上의 문제가 있어, 調査區別로 정해진 期間 內에 調査를 못하게 된 家口는 허락을 받아 家口名簿만 作成토록 하였다.

現地調査 結果, 110個 標本調査區의 家口名簿에 記入된 總家口數는 7,696家口가 되었으며, 이 중 家口基本調査를 위하여 訪問한 家口數는 7,320家口가 되었다. 家口基本調査를 위하여 訪問한 家口 중에서 58家口는 不適格 家口(非血緣家口)이었으며 適格家口는 7,262家口가 되었다. 이 適格家口 중에서 實際로 調査를 完了한 家口는 6,791家口이었다. 이에 관한 細部內譯은 〈表 2-1, 表 2-2〉와 같다. 그리고 각 家口에서는 15~69세의 家族員 한 사람씩을 抽出하여 調査하였으며, 6,480명 중에서 5,805명에 대하여 조사를 완료하였다.

〈表 2-1〉 調査結果 家口數

| 地 域 | 調査區數 | 家口數 | 未訪問家口數 | 訪問 家口數 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 計 | 不適格 | 適格 |
| 市地域 | 69 | 4,840 | 328 | 4,512 | 51 | 4,461 |
| 郡地域 | 41 | 2,856 | 48 | 2,808 | 7 | 2,801 |
| 全 國 | 110 | 7,696 | 376 | 7,320 | 58 | 7,262 |

〈表 2-2〉 家口基本調査結果

| 地 域 | 調査區數 | 適格家口數 | 調査完了 | 調査未完 | 調査完了率 |
|---|---|---|---|---|---|
| 市地域 | 69 | 4,461 | 4,119 | 342 | 92.3 |
| 郡地域 | 41 | 2,801 | 2,672 | 129 | 95.4 |
| 全 國 | 110 | 7,262 | 6,791 | 471 | 93.5 |

## 第 5 節 推定値

이 調査結果에 의한 各種 統計値는 표본으로 추출된 6,480명을 기준으로 한 加重標本合計値와 이에 의한 平均 및 構成比이다. 여기서 實際調査結果를 그대로 合算한 單純標本合計値를 사용하지 않고 加重標本合計値를 사용한 이유는 각 標本調査區가 標本으로 抽出된 確率이 다를 뿐만 아니라 未訪問家口率, 適格家口率 및 家口基本調査 및 個人調査(보건의식행태조사)完了率이 조사구마다 다르기 때문에 이를 반영한 가중치를 적용하는 것이 타당하기 때문이다(附錄 II. 標本設計 槪要 참조).

## 第 6 節 調査內容

### 1. 調査票의 構成

調査票는 健康과 밀접한 관련이 있는 요인으로 지적되어 온 ① 運動, 吸煙, 肥滿, 飮酒, 睡眠, 아침食事, 間食에 관한 전통적인 일곱 가지의 행위(Alameda 7) 항목과 ② 主觀的 健康認識, 스트레스, 社會的 支持度, 삶에 대한 滿足度, 憂鬱性向 등 社會·心理的 健康에 관한 문항 ③ 安全意識, 에이즈, 口腔保健에 관한 문항 ④ 健康檢診 및 기타 豫防活動 그리고 ⑤ 健康關聯 知識 및 態度 문항으로 구성하였다.

### 2. 調査內容 選定을 爲한 理論的 根據

#### 가. 健康變數

人口集團의 健康水準을 測定하는 데 있어서 종래의 疾病範疇別 接近으로 부터 보다 새롭고 原初的인 接近이 必要하다는 인식 하에 1962년에 Alameda County에 설립된 Human Population Laboratory에서는 건강에

대한 새로운 개념을 개발했으며 그것을 측정하기 위한 適合한 指標를 開發하였다. 그들은 건강을 세 가지 축 - 身體的, 精神的, 社會的 측면 - 에서 고려하였다. 인간은 위의 세 가지 차원에서 持續的인 位置를 維持하려는 경향이 있고 生活樣式은 신체적, 정신적, 사회적인 건강에 영향을 미치거나 그에 의해 영향을 받는다고 가정하였다(California State Department of Public Health, 1966).

본 연구에 포함시킨 건강변수는 社會的 健康變數로 主觀的 健康認識을 포함시켰고 身體的 健康變數는 慢性疾患을 포함시켰으며 精神的 健康變數로는 憂鬱症과 삶에 대한 滿足度를 포함시켰다. 이들 변수는 각각 社會的 健康, 身體的 健康, 心理的 健康을 대표할 수 있다고 간주하였다.

1) 主觀的 健康認識

건강에 대한 主觀的인 認識은 건강을 社會的으로 정의할 때 매우 중요한 변수이다. 아픈 사람은 行動上의 變化와 아프다는 感情을 갖게 되며, 그러한 행동과 감정은 사회적 형태로 나타나기 때문이다. 사람들은 疾病을 지니고 있어도 그것을 인지하지 못하는 수가 많으며, 질병에 대한 명백한 증거가 없어도 아프다고 느끼는 경우도 흔하다. 아프다는 의식이 없이 疾病行爲는 있을 수 없기 때문에 사회학적 측면에서 보면, 전자의 경우는 患者라고 불려질 수 없으며 후자의 경우만이 患者로 간주된다.

2) 慢性疾患

본 연구에 포함시킨 만성질환은 전체적인 만성질환의 유무와 慢性心血管系疾患, 慢性呼吸器系疾患, 慢性消化器系疾患, 關節炎 및 糖尿病 등이다.

3) 精神的 健康

精神的 健康狀態를 測定하기 위한 변수로서는 삶의 滿足度와 憂鬱症의 程度를 조사항목에 포함시켰다. 삶의 滿足度는 개인의 정신건강을 측정하는 데 널리 쓰여지는 방법으로서 본 연구에서는 'The Life-3-Scale(Andrews & Robinson, 1991)'을 사용하였다. 이 도구는 높은 信賴度(0.8)와 妥當度(0.52~0.77)로 인해 서구 특히, 미국에서 人口調査 뿐만 아니라 臨床的으로도 널리 쓰여지고 있다. 측정방법은 응답자가 그들의 삶을 전반적으로 평가하여 '1(끔찍하다)'부터 '7(아주 즐겁고 행복하다)'까지의 스케일 중 하나를 선택함으로써 삶의 滿足度를 나타내도록 하였다. 憂鬱症은 심리적인 安寧에 '否定的인 影響'을 미치는 변수로서 不安感과 함께 心理的인 苦痛을 測定하는 핵심요소이다(Usala and Hertzog, 1989: 403~426). 본 조사에서 憂鬱症의 측정은 세계적으로 가장 널리 사용되어지고 있는 자기보고형 우울증 간이 선별검사 도구의 하나인 CES-D(The Center for Epidemiologic Studies Depression Scale)의 한국판 척도[3]를 사용하였다.

나. 社會的 支持 變數

일생을 살펴보면 평화롭게 안정해 있는 시기와 변화하여 흔들리는 시기가 있으며 후자, 다시 말해서 危機의 時期에는 社會的 支持의 정도가 健康의 維持와 增進에 커다란 영향을 미친다. 그 외에도 社會的 支持와 관련된 많은 연구에서, 개인에 대한 주위사람들의 지지 및 지원은 일상생활의 스트레스를 완화시켜 그로 인한 발병을 감소시킨다고 한다. 본 연구에서 社會的 支持度의 測定은 여러 측정도구 중에서 Sarason(1983)의 'Social Support Questionnaire'(SSQ)와 Seeman과

3) 본 연구에서 사용한 CES-D 한국어 판은 서울대학교 병원 정신과 전문의 조맹제 등에 의해 완성된 것임(조맹제, 1993).

Syme(1987)의 측정방법을 기초로 ① 주위사람들로부터 사랑받고 있다고 생각하는 정도, ② 신뢰할만한 사람의 유무 및 수, ③도와줄 수 있다고 생각되는 사람의 유무 및 수의 세 가지 형태로 측정하였다.

調査項目: 스트레스의 유무, 스트레스 원인, 스트레스가 건강에 미친 영향, 사회적 지지의 정도, 삶에 대한 만족도, 우울증의 정도

다. 吸 煙

吸煙과 健康과의 관련성은 1964년이래 公共保健 關聯硏究에서 가장 광범위하게 연구되어 왔으며 전반적으로 吸煙이 死亡과 밀접하게 관련되어 있음이 반복적으로 지적되어 왔다. 이와 관련하여 1975년 미국의 公衆保健衛生局에서 발간한 '*The Health Consequence of Smoking*'에서는 흡연이 癌, 心血管疾患, 慢性呼吸器系疾患을 유발하는 중요한 요인임을 입증하였고 같은 해 世界保健機構는 흡연과 건강과의 관련성에 관한 재조명에서 같은 결론을 도출하였다(U.S. D.H.E.W., 1975).

美國 癌協會에서 25개의 다른 주로부터 일백 만명 이상의 남녀를 대상으로 설문조사한 결과 吸煙家들의 死亡率은 적정 연령별 표준사망률 보다 높았고 흡연은 특히 폐기종과 폐암같은 질환의 사망원인으로 나타났다. 1959년에서 1963년까지 4년 동안 추적조사하는 동안 담배를 많이 피우는 사람, 깊이 吸入하면서 피우는 사람, 젊은 시절부터 吸煙을 始作한 사람에게서 死亡率이 높게 나타났다. 또한 禁煙한 사람의 사망률은 禁煙期間이 길수록 낮았다(Hammond, 1966).

調査項目: 흡연여부, 흡연시작연령, 최초 흡연동기, 흡연기간, 흡연량, 금연시도여부, 금연의도, 금연이유 등

라. 飮 酒

美國의 保健福祉部에서 발간한 『飮酒와 健康, 새로운 知識』(1975)에서는 過量의 飮酒, 특히 알코올중독이 癌, 心臟疾患, 肝臟과 中樞神經系疾患, 先天性 畸形, 事故와 매우 밀접한 관련이 있음을 제시하고 있다. 또한 음주는 전반적인 死亡率과도 밀접하게 관련된다고 제시하였다. 한편, 지나친 음주가 건강에 나쁜 영향을 미치는데 비해 적정한 飮酒는 오히려 健康에 效果的일 수 있다는 연구들도 많이 있다.

犯罪記錄, 事例調査, 臨床的 事例 또는 飮酒習慣에 대한 報告書 등에 의하면 慢性的인 過飮者들은 早期死亡의 위험이 매우 높았다(Schmidt, 1980). 즉, Schmidt와 DeLint(1972)는 토론토 알코올중독 환자의 치료후 사망률과 전체 온타리오 인구의 적정 연령별 표준사망률과 비교한 결과, 남자의 경우 2.2배, 여성의 경우 3.19배나 높았다. Pell과 D'Alonzo(1973)는 듀폰회사 직원 중 알코올의존자에 대해 전향적 연구를 한 결과 이들의 사망률은 대조집단 사망률에 비해 알코올중독자는 3.61, 의심되는 알코올중독자는 3.10, 회복된 알코올중독자는 2.91배로 높게 나타났다.

調査項目: 음주여부, 즐겨 마시는 술 종류, 음주시작연령,
지난 한 달간 음주 및 과음빈도, 절주 및 금주
시도 여부, 알코올의존, 금주이유 등

마. 肥滿 및 體重調節

肥滿은 오래 전부터 疾病 및 死亡과 밀접하게 연관되는 것으로 알려져 왔다. 비만은 심장질환과 폐질환, 탄수화물 대사장애를 증가시킬 위험이 크다(Levinson, 1977; U.S. D.H.E.W., 1966). 비만은 또한 고혈압, 당뇨, 관절염을 악화시키며 手術이나 姙娠에 대한 위험을 가중시킨다(Levinson, 1977; U.S. D.H.E.W., 966).

1935~1953년 기간의 미국과 캐나다의 500만 생명보험 가입자를 대상으로 분석한 결과에 의하면, 肥滿은 높은 사망률과 연관되어 있음이 나타났다. 체중이 10% 過體重일 경우 남녀 각각 13%, 9%의 높은 사망률이 나타났고 30% 과체중이었을 때 사망률은 남녀 각각 42%, 30%로 증가하였다. 비만과 관련된 높은 사망률은 주로 心臟과 循環器系疾患에 기인한 것으로 나타났다(Metropolitan Life Insurance Company, 1959, 1960).

1960년 Stamler등은 公益事業會社에 고용된 784명의 남자를 대상으로 연구하였는데 4년 후 비만인 노동자들에게서 事故와 心血管疾患이 많았다고 보고하였다. 반면에 신체적으로 활동하는 사람들은 心血管疾患 발생률이 평균보다 낮게 나타났다(Stamler, et al., 1960). Framingham 연구에서도 성인의 心血管疾患에 대한 危險度는 체중이 증가할수록 높게 나타났다(Kannel, 1971). Paffenbarger와 Wing(1971)은 중년기 이후 腦卒中에 영향을 주는 요인으로 過剩體重, 吸煙, 약한 身體構造, 高血壓의 네 가지 요인을 지적하였다. 腦卒中에 대한 이들 네 가지 요인의 영향은 附加的인(additive) 것으로 나타났다.

調査項目: 신장, 체중, 자신이 인식하는 체중, 체중조절 노력 등

바. 運 動

運動은 心血管疾患(CHD)과 관련된 요인으로서 광범위하게 연구되어 왔다. 包括的인 文獻 檢討를 통해 Froelicher는 運動不足이 심혈관질환을 일으키는 危險要因이나 고지혈증, 고혈압, 흡연 등의 다른 위험요인처럼 확신할 수 있을 만큼 높은 수준은 아니라는 결론을 내렸다(Froelicher, 1976).

남녀 5,127명을 대상으로 한 Framingham Study에서는 하루 24시간을 기준으로 여러 가지 수준의 運動에 가중치를 가한 運動量의 指標를 考案하였으며 체중증가, 폐활량, 休息時 심박동수로써 간접적으로 운동량을 평가하였다. 그의 분석에 의하면 心血管疾患과 死亡은

좌식생활양식과 관련된다(Kannel, 1967). Paffenbarger와 Hale은 1951년 샌프란시스코의 6,351명의 항만노동자를 대상으로 작업과 관련한 운동의 정도를 심함, 적정, 심하지 않음으로 분류한 후 22년 이후 적정 연령별 표준사망률을 산출하였는데 연간 사망률은 인구 만 명당 심한 운동을 하는 사람은 26.9명, 적정한 운동을 하는 사람은 46.3명, 심하지 않게 한 사람은 49.0명으로 나타났다. 이러한 관계는 갑작스런 죽음에서 더 강하게 나타났으며, 年齡, 作業變化, 吸煙과 肥滿 등을 포함한 다섯 가지 다른 기타 요인들을 통제했을 때도 유지되었다(Paffenbarger & Hale, 1975).

規則的인 활발한 運動은 심장 및 호흡기계 건강을 증진시키고 관상동맥질환을 예방한다(Blair et al., 1989; Paffenbarger et al., 1978). 肉體的 活動은 고혈압, 관상동맥질환, 당뇨병 등의 豫防 및 管理에 도움이 되는 혈압, 혈중지방, 혈액응고, 혈당조절능력 등의 변화를 일으킬 수 있다(Leon, 1989).

규칙적인 운동의 부족은 심혈관질환, 고혈압, 뇌졸중, 대장암, 폐암, 골다공증, 요통 및 비만증과 관련이 있다(Powell, 1989).

調査項目: 운동여부, 운동빈도, 운동강도, 운동기간, 육체적인 일의 정도, 건강유지 방법 등

사. 食生活

1) 食習慣(規則性 및 頻度)

아침식사를 거르거나 규칙적이지 못한 食習慣이 신체적 건강과 사망 危險을 증가시킬 수 있는 要因이라는 것에 대한 연구의 관심은 비교적 적었다. 식이 형태에 관한 연구의 대부분은 동물 혹은 소규모 임상기초 인구에 의해 이루어졌으며 體系的인 疫學 硏究는 없는 편이다(Berkman, 1983).

식사빈도를 바꿈으로써 新陳代謝의 變化가 초래될 수 있다는 것이 여러 동물실험에 의해 증명되었다(Cohn & Joseph, 1960; Fabry & Braun, 1967; Leveille, 1972b; Tepperman et al., 1943; Wadhwa et al., 1973). 또한 음식먹는 빈도는 적고 과식을 하는 것이 과다체중과 관련된 것으로 여러 疫學硏究에서 나타났다(Hejda & Farby, 1964; Metzner et al., 1977). 특히 老人集團에서는 그와 같은 식습관이 고지혈증, 글르코스 허용치 악화, 당뇨, 혈청콜레스테롤 수준 증가, 허혈성 심질환과 연관된다는 연구결과도 있다(Farby와 Tepperman, 1970). 청년층에 대한 연구에서는 음식먹는 頻度의 變化와 관련하여 신진대사의 변화가 발생한다고 제시하였다(Wadhwa et al., 1973; Young et al., 1972). 좀 더 실질적인 식사를 거부하는 小食(nibbling)은 더 낮은 혈청 콜레스테롤과 관련되어 있으며, 暴食은 비정상적인 인슐린 반응을 나타낸다. 젊고 비만한 사람을 대상으로 한 연구에서는 음식빈도가 體重減少, 營養均衡, 전체 혈청액, 또는 혈청콜레스테롤에 영향을 미치지 않는 것으로 나타났다(Finkelstein & Fryer, 1971; Young et al., 1971). 하루에 한 끼만을 食事하는 젊은 사람이 탄수화물 내성의 저하와 더불어 혈청 콜레스테롤과 혈청지질(serum gryceride)의 수준이 높다는 것이 신진대사연구에 의해 발견되었다. 또한 동물연구에서 불규칙적으로 먹은 쥐를 관찰한 결과 체지방의 증가, 체단백질과 수분의 감소, 혈청콜레스테롤 水準의 增加가 나타났다. 그러나 규칙적으로 음식을 먹여 준 쥐들은 수시로 마음대로 먹게 한 쥐보다 전체적으로는 더 적게 먹었으며 체중이 적은 반면 수명은 증가하였다(Leveille, 1972).

2) 攝取飮食(飮食種類, 均衡的 營養攝取)

飮食이 健康에 미치는 影響에 대한 연구는 많이 있다. 美國에서 전체 癌으로 인한 사망의 30%는 吸煙으로 起因되나, 이들 사망의 35%는 飮食에 기인하는 것으로 보고되고 있다(Doll & Peto, 1981). 飮食

과 癌의 관계를 종합적으로 검토한 미국 National Research Council의 보고서에 의하면, 飮食이 癌의 危險을 發生시킬 수 있음을 밝히면서 脂肪攝取의 減少, 과일·채소의 섭취, 염장 및 훈제식품 消費의 最小化 등을 勸奬하고 있다(NRC, 1982). 특히 식사에서 채소와 과일의 섭취를 권장하고 있다(NAP, 1989). 미국의 厚生省과 農業省에 의하여 발간된 '健康增進 및 慢性疾患을 위한 食餌指針'에서도 다양한 식품을 먹고, 포화지방 및 콜레스테롤이 낮은 식품과 채소, 과일, 곡물 등을 많이 섭취하고, 설탕, 소금 등은 절제할 것을 勸奬하고 있다.

調査項目: 아침식사여부, 세끼 규칙적 식사여부, 과식여부, 간식여부, 식성, 영양제 복용여부, 육·채식 선호도, 외식빈도, 커피 및 우유 섭취 빈도 등

아. 睡眠

睡眠은 비교적 건강과 사망에 있어 적은 관심을 보여 왔다. 수면형태와 관련된 死亡危險에 관한 情報의 두 가지 주요 원천은 Human Population Laboratory에 의해 행해진 현재 통용되고 있는 전향적(prospective)연구와 Hammond(1964), Hammond와 Garfinkel(1969)과 Kripke et al.(1979)에 의해 보고되어진 1959~1960년 미국 癌協會에 의해 시작된 전향적(prospective)연구이다. 睡眠習慣에 관한 최근 가장 자세한 보고서에 의하면 보통 4시간 이하의 잠을 자는 30세 이상 남자들이 7~8시간을 자는 사람보다 6년간 사망이 2.8배에 달하는 것으로 나타났다. 반면에 10시간 이상 자는 사람들은 1.8배가 사망하였다. 이러한 차이는 의미있는 年齡, 心臟疾患 病歷, 高血壓, 糖尿 및 腦卒中 등이 통제되었을 때 나타났다. 또한 분석결과 아주 길거나 아주 짧은 수면은 심질환, 뇌졸중, 암, 그리고 자살과 관련성이 있는 것으로 나타났다.

調査項目: 충분한 수면의 정도, 하루평균 수면시간, 충분한 휴식의 정도 등

자. 口腔保健

음식물의 齒牙를 통한 咀嚼過程은 消化過程의 첫 번째 단계로 정상적인 咀嚼過程을 통해 위장이 소화하기 적당한 상태로 음식물을 만들어 줌으로써 健康한 身體를 維持하는데 기본적이면서도 매우 중요한 위치를 차지하고 있다. 그러나, 이러한 정상적인 저작활동은 구강내에 생기는 다양한 질환에 의해 방해받을 수 있는데 그 대표적인 질환이 치아우식증과 齒周疾患이다. 1990년 서울대학교 치과대학이 세계보건기구의 재정적인 지원을 받아 실시한 우리나라 국민의 口腔健康實態調査에 따르면 永久齒 우식유병자율이 35~44세의 경우 57%에 이르고 있으며 15세의 경우 63.5%에 이르고 있어 美國, 濠洲 등의 선진국에 비해 3배 가량의 높은 수치를 보이고 있으며 현재도 계속 증가하는 추세에 있어 매우 우려할만한 상황이다. 또한 齒周疾患의 경우 치면세균막관리 필요자율도 35~44세에서 81%를 보이고 있으며 65세 이상에서는 82%를 보이고 있어 결국 이러한 질환으로 인해 65세 이상 인구의 25%가 가공의치를 해주어야 할 필요가 있고, 59%가 의치를 해주어야 하는 상태에 이르렀다. 치아우식증은 우식의 직접적 원인이 되는 구강내의 산도를 낮추는 식사후 일정시간 이내에 이닦기와 치아의 내산성을 높여주는 다양한 방식의 불소투여를 통해 예방될 수 있으며 齒周疾患은 적절한 이닦기를 통해 구강내 잔류물과 탈락상피잔사를 제거해 줌으로써 예방될 수 있다. 또한 定期的인 齒科訪問을 통해 초기에 질환을 치료함으로써 齒牙喪失과 같은 극단적인 상황을 방지할 수 있다.

調査項目: 하루 이닦는 횟수, 아침에 이 닦는 시기, 저녁식사 후 또는 잠자기 전에 이를 닦는지 여부, 치과방문 빈도 등

차. 健康檢診 및 其他 豫防活動

健康檢診은 질병을 早期發見하고 早期治療를 가능케 한다. 관리되지 않은 고혈압증을 가진 사람은 정상적인 혈압을 지닌 사람과 비교할 때 심혈관질환으로 진전하는 위험이 3~4배 높고, 뇌졸중으로 진전하는 위험은 7배 정도 높다(Dawber, 1980). 高血壓은 성인 심장병 및 뇌졸중의 잘 알려진 위험요인이며 전체 심장병 사망의 절반, 뇌졸중 사망의 2/3는 고혈압에 기인한다(U.S. D.H.H.S., 1984). 高血壓은 육체적 활동과 체중감소, 알코올과 소금섭취의 감소, 스트레스관리, 투약 등을 통해 관리될 수 있다(U.S. D.H.H.S., 1984).

調査項目: 건강검진 여부, 암검사, 고혈압검진항목 등

카. 에이즈, 健康關聯 知識 및 態度

AIDS와 HIV는 차세대의 삶과 희망을 심각하게 위협하고 있는 질환이다. WHO의 보고에 의하면 신규 HIV감염자의 2/3가 15~24세 靑少年層에서 발생하며 AIDS로 인한 사망은 2000년대에는 8백만이 넘을 것으로 예측된다(WHO, 1995).

健康에 관한 知識과 態度는 건강행위에 직접·간접적으로 영향을 미치는 요인이다. 따라서 保健敎育이란 건강에 관한 올바른 지식을 제공하고 바람직한 태도를 취할 수 있도록 동기를 부여함으로써 건강에 해로운 행위를 피하고 이로운 습관을 형성케 하여 그 자신을 더욱 건강하게 관리할 수 있는 능력을 길러주는 과정이다(Green et al., 1980).

調査項目: 건강에 관한 지식원, 에이즈 인지여부, 에이즈에 관한 정보원, 에이즈에 관한 지식 및 태도, 흡연·음주에 관한 지식 및 태도 등

타. 飮用水

調査項目: 식수의 종류, 식수의 신뢰도, 식수방법 등

파. 安全意識

최근 事故로 인한 사망이 死亡原因 중 3位(12.3%)를 차지하고 있다(통계청, 1993). 술을 마시면 운전자의 시야가 좁아지고 속도감각이 둔해지며 거리감을 잘 느끼지 못해 사고를 일으킬 위험성이 높다. 따라서 交通事故를 일으킬 危險이 높다.

외국에서의 연구에 의하면 혈중 알코올농도가 80mg/100ml인 경우에는 음주운전으로 인한 사고의 가능성이 음주하지 않은 운전자의 경우에 비해 2배나 높았으며 150mg/100ml인 경우에는 10배, 200mg/100ml인 경우에는 20배로 높게 나타났다.

調査項目: 운전여부, 안전벨트 착용여부, 음주운전 여부 등

## 3. 調査項目

본 조사에서 선정된 調査項目과 전년도(1989, 1992년)에 조사된 항목을 비교하면 〈表 2-3〉 과 같다.

〈表 2-3〉 調査項目 比較(1989～1995)

| 변 수 | | 1995년 | 1992년 | 1989년 |
|---|---|---|---|---|
| 주관적 건강인식 | | ○ | ○ | ○ |
| 건강염려정도 | | ○ | × | × |
| 스트레스 | 여부 | ○ | × | × |
| | 종류 | ○ | × | × |
| | 건강에 미친 영향 | ○ | × | × |
| 신뢰할만한 사람 여부 | | ○ | × | × |
| 도와줄 수 있는 사람 여부 | | ○ | × | × |
| 현재 자신의 위치 | | ○ | × | × |
| 현 생활에 대한 느낌 | | ○ | × | × |
| 지난 1주일동안 우울정도(20문항) | | ○ | × | × |

〈表 2-3〉 계속

| 변 수 | | | 1995년 | 1992년 | 1989년 |
|---|---|---|---|---|---|
| 자 살 | 생각여부 | | ○ | × | × |
| | 시도여부 | | ○ | × | × |
| | 시도횟수 | | ○ | × | × |
| | 병원방문여부 | | ○ | × | × |
| 흡 연 | 흡연여부 | | ○ | ○ | ○ |
| | 흡연시작연령 | | ○ | × | × |
| | 습관적 흡연시작연령 | | ○ | × | × |
| | 흡연동기 | | ○ | × | × |
| | 현 재 흡 연 | 현흡연기간 | ○ | ○ | ○ |
| | | 지난 한 달간 흡연일수 | ○ | × | × |
| | | 지난 한 달간 하루 평균 흡연량 | ○ | ○(하루) | ○(하루) |
| | | 금연시도여부 | ○ | ○ | ○ |
| | | 금연에 대한 인식 | ○ | ○ | ○ |
| | 과 거 흡 연 | 과거흡연기간 | ○ | ○ | ○ |
| | | 과거 하루 평균 흡연량 | ○ | × | × |
| | | 금연시기 | × | ○ | × |
| | | 금연동기 | ○ | × | × |
| 음 주 | 음주여부 | | ○ | ○ | × |
| | 현음주 | 즐겨 마시는 술 종류 | ○ | × | × |
| | | 즐겨 마시기 시작한 연령 | ○ | × | × |
| | | 음주빈도 | ○ | ○ | ○ |
| | | 지난 한 달간 음주빈도 | ○ | × | × |
| | | 지난 한 달간 음주량 | ○ | × | × |
| | | 지난 1년간 과음빈도 | ○ | ○ | × |
| | | 과음시 음주량 | ○ | × | × |
| | | 절주/금주 시도여부 | ○ | ○ | × |
| | | 알코올의존(4문항) | ○ | × | × |
| | 과 거 음 주 | 과거 즐긴 술종류 | ○ | × | × |
| | | 과거 음주빈도 | ○ | × | × |
| | | 음주시작연령 | ○ | × | × |
| | | 금주동기 | ○ | × | × |

〈表 2-3〉 계속

| 변 수 | | 1995년 | 1992년 | 1989년 |
|---|---|---|---|---|
| 비만 및 체중 조절 | 신 장 | ○ | × | × |
| | 체 중 | ○ | × | × |
| | 체중인식 | ○ | ○ | ○ |
| | 지난 1년간 체중조절여부 | ○ | ○ | ○ |
| | 현재 체중조절여부 | ○ | × | × |
| | 지난 일주일동안 체중조절방법 | ○ | × | × |
| | 체중을 줄이는 이유 | ○ | × | × |
| 운 동 | 운동종류 | × | ○ | ○ |
| | 평소 운동빈도 | ○ | ○ | ○ |
| | 운동강도 | ○ | ○ | ○ |
| | 운동기간 | ○ | × | × |
| 육체적 일의 정도 | | ○ | ○ | × |
| 평소 건강유지방법 | | ○ | ○ (항목차이) | ○ (항목차이) |
| 건강위해요인 | | × | × | ○ |
| 식생활 | 아침식사여부 | ○ | ○ | ○ |
| | 아침식사 종류 | × | ○ | ○ |
| | 규칙적 식사여부 | ○ | ○ | ○ |
| | 과식여부 | ○ | × | ○ |
| | 간식여부 | ○ | ○ | ○ |
| | 식성 - 짠 정도 | ○ | ○ | ○ |
| | 식성 - 매운 정도 | × | ○ | ○ |
| | 식성 - 단 정도 | ○ | ○ | ○ |
| | 영양제 복용여부 | ○ | ○(6가지) | ○(6가지) |
| | 육식선호 | ○ | × | × |
| | 채식선호 | ○ | × | × |
| | 외식빈도 | ○ | × | × |
| | 하루 커피의 양 | ○ | ○ | × |
| | 하루 우유 섭취량 | ○ | × | × |
| | 식사조절(6문항) | × | ○ | × |

〈表 2-3〉 계속

| 변 수 | | | 1995년 | 1992년 | 1989년 |
|---|---|---|---|---|---|
| 수 면 | 충분한 수면 여부 | | ○ | ○ | ○ |
| | 하루 수면시간 | | ○ | ○ | × |
| | 충분한 휴식여부 | | ○ | × | × |
| 구강 보건 | 하루 칫솔질 횟수 | | ○ | × | × |
| | 아침 칫솔질 시기 | | ○ | × | × |
| | 저녁칫솔질 여부 | | ○ | × | × |
| | 치과방문빈도 | | ○ | × | × |
| 건강 검진 및 기타 예방 활동 | 건강 검진 | 지난 1년간 건강검진여부 | ○ | ○(종류) | ○ |
| | | 건강검진 동기 | ○ | × | × |
| | 각종 검사 여부 | 위암 | ○ | × | ○ |
| | | 간암 | ○ | × | ○ |
| | | 폐암 | ○ | × | ○ |
| | | 장암 | ○ | × | × |
| | | 유방암 | ○ | × | ○ |
| | | 자궁암 | ○ | ○ | ○ |
| | | 에이즈 | ○ | × | × |
| 기타 예방 활동 | 혈압 | 측정여부 | ○ | ○ | ○ |
| | | 최근 측정시기 | ○ | ○ | × |
| | | 최근 측정장소 | ○ | ○ | × |
| | | 혈압측정결과 | × | ○ | × |
| | | 결과에 대한 조치 | × | ○ | × |
| 건강 관련 지식 | 건강지식원 | | ○ | ○ | ○ |
| | 에이즈 | 정보원 | ○ | × | × |
| | | 내용인식(9문항) | ○ | × | × |
| | 흡연 및 음주 내용인식(7문항) | | ○ | × | × |
| 식수 | 종 류 | | ○ | ○ | ○ |
| | 안전성 | | ○ | ○ | ○ |
| | 방 법 | | ○ | ○ | ○ |

〈表 2-3〉 계속

| 변 수 | | | 1995년 | 1992년 | 1989년 |
|---|---|---|---|---|---|
| 안 전 의 식 | 현재 운전여부 | | ○ | × | × |
| | 운전시 안전벨트 착용여부 | | ○ | × | × |
| | 운전시 음주운전 횟수 | | ○ | × | × |
| | 他車 동승시 안전벨트 착용여부 | | ○ | × | × |
| | 음주운전자와 동승 횟수 | | ○ | × | × |
| 건 강 실 천 정 도 (만성 이환자) | 만성질환여부 | | ○ | ○ | × |
| | 건 강 실 천 행 위 | 금연 | ○ | ○ | × |
| | | 절주 | ○ | ○ | × |
| | | 체중조절 | ○ | ○ | × |
| | | 운동 | ○ | ○ | × |
| | | 식사조절 | ○ | ○ | × |
| 지난 1년간 큰 걱정거리 | | | × | × | ○ |
| 조사표기재방식 | | | ○ | × | × |

## 第 7 節 分析方法

### 1. 記述統計分析(Descriptive statistical analysis)

우리나라 국민의 健康行爲 實踐程度를 성, 연령, 지역, 가구소득수준별로 제시하고 健康習慣, 豫防保健行爲, 기타 健康과 관련되는 變數의 관계를 記述分析한다.

> 假說: 건강습관의 실천정도, 예방보건행위, 기타 건강관련행위는 성, 연령, 지역, 사회경제적 수준에 따라 내용과 정도가 다를 것이다.

가. 分析方法: 교차분석(t-test 또는 $\chi^2$ 검증)

나. 分析變數

1) 健康習慣(life-style)

- 飮酒(음주여부, 음주량, 음주시작연령, 음주기간, 과음빈도, 알코올의존도)
- 吸煙(흡연여부, 흡연시작연령, 흡연기간, 흡연량, 금연시도여부, 금연에 대한 인식)
- 肥滿 및 體重調節(체중인식, 체중조절 여부, 체중조절 방법, 체중조절 이유)
- 食生活(아침식사 여부, 규칙적 식사여부, 과식여부, 간식여부, 식성, 균형된 식사습관)
- 運動(운동여부, 운동빈도, 운동강도, 육체적인 일의 정도)
- 睡眠(충분한 수면 여부, 수면시간)

2) 豫防保健行爲

- 健康診斷 및 豫防活動(건강진단 여부, 건강진단 동기, 자궁암검사 여부, 혈압검사여부, 혈압을 재 본 시기, 혈압을 재 본 장소)

3) 其他 健康과 關聯되는 行爲

- 口腔習慣(칫솔질 빈도, 칫솔질 시기)
- 健康食品攝取(비타민등 영양제 복용)
- 飮用水(식수종류, 식수에 대한 안전성, 식수방법)
- 安全管理(운전여부, 안전벨트 착용여부, 음주운전 여부)
- 苦悶 스트레스 與否 및 種類, 自殺에 대한 試圖與否

4) 其他 項目

- 健康知識源
- 健康을 위한 努力

5) 社會經濟的 變數

- 성, 연령, 거주지역, 결혼상태, 직업, 의료보장종류, 교육수준, 가구소득수준(월평균)

다. 結果의 活用度

- 바람직하지 않은 건강습관을 지닌 危險集團의 特性把握
- 향후 保健敎育事業의 主題(subject), 對象(target group), 目標設定에 기여할 基礎資料 提供
- 국제비교 가능한 국가수준의 保健意識行態 指標의 산출

## 2. 健康行爲實踐 程度別 慢性疾患 有病率 分析

| |
|---|
| 假說: 건강행위실천 정도에 따라 만성질환의 유병수준이 다르게 나타날 것이다. |

가. 分析方法: 건강행위실천 정도별 만성질환 종류별 유병률 산출

만성질환 유병률 = (만성질환자수÷해당 인구수)×1,000

나. 結果의 活用度: 만성질환과 관련이 있는 건강행위를 파악함으로써 保健敎育 戰略開發을 위한 基礎資料로 活用

## 3. 主要 慢性疾患의 危險要因 分析

| |
|---|
| 假說: 건강습관은 단독 또는 복합적으로 특정 만성질환에 매우 중대한 영향을 미칠 것이다. |

### 가. 分析方法

多變量 로지스틱回歸分析(multiple logistic regression)에 의해 odds ratio를 산출하여 독립변수의 종속변수에 대한 相對的 危險度를 提示한다.

### 나. 分析變數

1) 獨立變數: 건강행위 변수

2) 從屬變數: 주요 만성질환 - 만성순환기계질환(고혈압, 중풍, 심장병), 만성호흡기계질환(만성기관지염, 해소기침), 당뇨병

# 第 3 章 硏究結果

## 第 1 節 記述的 分析

### 1. 調査對象者의 人口社會的 特性

조사대상자의 人口社會的 特性은 총 대상자 6,480명 중 市地域(1개 특별시, 5개 광역시 및 기타시) 거주자가 78.5%이며 郡地域 거주자는 21.5%로 나타났다. 성별 분포는 남자가 48.0%였고 여자는 남자보다 다소 많은 52.0%로 나타났다. 年齡 分布를 보면 15~19세가 11.8%, 20대 22.1%, 30대 24.8%, 40대 18.4%, 50대 14.2%, 60대가 8.7%를 차지하였다. 교육수준은 41.3%가 고등학교 졸업이었고 전문대졸 이상이 21.5%였으며 무학이 6.3%를 차지하였다. 配偶者가 있는 경우는 65.2%였고 미혼이 28.2%였다. 醫療保障種類를 보면 공교의료보험 9.7%, 직장의료보험 34.0%, 지역의료보험 52.3%, 의료보호 2.1%로 나타났다(附表 Ⅰ-1 참조).

### 2. 健康實態

#### 가. 健康水準

조사대상자의 25.0%가 한 가지 이상의 慢性疾患을 지니고 있었다. 慢性疾患의 有病率은 군지역 거주자(100명당 33.3명)가 市地域 거주자(100명당 22.8명)보다 높았고, 성별로는 女子가 남자보다 만성질환 유병률이 높았다(남자 21.3%, 여자 28.5%).

조사대상자가 스스로 느끼는 主觀的 健康狀態를 보면 약 절반 가량(48.9%)이 健康한 편이라고 응답한 반면 15.9%는 弱한 편이라고 응답하였다.

憂鬱症의 유병률은 15.1%로 나타났으며 여성(17.4%)이 남성(12.6%)보다 높게 나타났다[4](表 3-1 참조).

본 연구에서의 健康實態는 건강생활습관(life style) 변수와 건강과의 관련성을 파악하기 위한 從屬變數로서의 의미를 지닌다.

〈表 3-1〉 調査對象者의 健康實態

(單位: %)

| | 전 국 | 시지역 | 군지역 | 남 자 | 여 자 |
|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (6,480) | (5,089) | (1,391) | (3,107) | (3,373) |
| 만성질환 | | | | | |
| 없음 | 75.0 | 77.2 | 66.7 | 78.7 | 71.5 |
| 있음 | 25.0 | 22.8 | 33.3 | 21.3 | 28.5 |
| 주관적 건강인식 | | | | | |
| 매우 좋음 | 10.3 | 10.8 | 8.2 | 12.3 | 8.3 |
| 좋음 | 38.6 | 39.2 | 36.3 | 41.4 | 35.9 |
| 보통 | 35.3 | 36.5 | 30.6 | 35.7 | 34.9 |
| 안 좋음 | 15.9 | 13.5 | 24.9 | 10.6 | 20.8 |
| 우울증[1)] | | | | | |
| 없음 | 84.9 | 84.6 | 86.6 | 87.4 | 82.6 |
| 있음 | 15.1 | 15.4 | 13.4 | 12.6 | 17.4 |

註: 1) 자가기재 불능 및 무응답 937명 제외

4) 본 조사에서 우울증의 측정은 세계적으로 가장 널리 사용되어지고 있는 자기보고형 우울증 간이 선별검사 도구의 하나인 CES-D(The Center for Epidemiologic Studies Depression Scale)의 한국판 척도를 사용하였다. 우울증의 판별은 절단점 21점을 기준으로 하였다.

나. 慢性疾患 種類別 有病率

만성질환 종류별 유병률을 파악하기 위해서는 國民健康調査 部門에서 수집된 保健意識行態 調査對象者의 罹患調査 資料를 분석하였다. 따라서 만성질환의 분류체계는 國民健康調査의 分類體系를 따랐다. 이 분류체계는 다시 다음의 여섯 가지 疾病群으로 재분류하였다. 즉, 고혈압, 중풍, 심장병을 묶어 '心血管系疾患'으로 분류하였고, 만성기관지염, 해소기침을 '慢性呼吸器系疾患'에 분류하여 포함시켰으며, 소화성 궤양과 간염을 '慢性消化器系疾患'에 포함시켰다. 관절염과 통풍, 골다공증을 묶어 '關節炎 等'으로 분류하였으며 기타 분류되지 않은 폐결핵, 신경쇠약, 정신병, 만성 중이염, 축농증, 백내장, 녹내장, 각종 암은 '其他 慢性疾患'에 포함시켰다. 各種 癌은 건강생활습관과 밀접한 관계가 있으나 사례수가 적어(총 7사례) 별도로 분류하지 못하고 기타 만성질환에 포함시켰다.

이와 같이 분류한 주요 慢性疾患의 有病率을 살펴보면 〈表 3-2〉와 같다.

조사대상자의 4.7%가 心血管系疾患을 지니고 있었다. 심혈관계질환 유병률은 군지역이 시지역보다 높았고 여자가 남자보다 높았다. 慢性呼吸器系疾患은 2.8%가 앓고 있는 것으로 나타났는데 시지역보다 군지역이 높았고 여자보다 남자가 높았다. 慢性消化器系疾患은 7.8%가 호소하고 있었는데 군지역이 시지역보다 높았고 여자가 남자보다 높았다. 關節炎 等은 5.3%가 앓고 있었는데 군지역이 시지역보다 훨씬 높았고 여자가 남자보다 훨씬 높았다. 糖尿 有病率은 1.8%로 나타났으며 지역별 차이는 없었으나 남자가 여자보다 높게 나타났다. 위에서 분류되지 않은 其他 慢性疾患을 지니고 있는 경우는 3.7%에 해당되었다. 이들 주요 만성질환 종류는 第2節에서 健康行爲實踐과 健康과의 關聯性을 살펴보기 위한 분석에서 종속변수로 사용될 것이다.

〈表 3-2〉 主要 慢性疾患 有病率

(單位: %)

| | 전 국 | 시지역 | 군지역 | 남 자 | 여 자 |
|---|---|---|---|---|---|
| (N) | (6,480) | (5,089) | (1,391) | (3,107) | (3,373) |
| 심혈관계질환 | 4.7 | 4.2 | 6.3 | 3.5 | 5.7 |
| 만성 호흡기계질환 | 2.3 | 2.2 | 2.9 | 2.7 | 1.9 |
| 만성 소화기계질환 | 7.8 | 7.3 | 9.6 | 7.3 | 8.3 |
| 관절염 등 | 5.3 | 4.3 | 8.9 | 2.1 | 8.3 |
| 당뇨 | 1.8 | 1.8 | 1.9 | 2.1 | 1.6 |
| 기타 만성질환 | 3.7 | 3.6 | 4.1 | 2.7 | 4.7 |

다. 社會的 支持의 程度

최근들어 社會的 支持(social support)는 健康에 미치는 效果가 증명되면서 많은 관심을 불러일으키고 있다. 社會的 支持는 흡연, 음주, 정기적 건강검진 등과 같은 健康增進行爲를 促進시킴으로써 건강에 영향을 미치는 것으로 지적되고 있다. House는 社會的 支持(social support)를 情緖的 關心(emotional concern), 道具的 도움(instrumental aid), 사람간의 情報 또는 評價(information or appraisal)의 흐름이라고 정의하였다(House et al., 1978).

본 연구에서 社會的 支持의 程度는 ① 신뢰할만한 사람의 수 ② 도와줄 수 있다고 생각되는 사람의 수 ③ 주위 사람들로부터 사랑받고 있다는 느낌의 정도 ④ 자신의 삶에 대해 느끼는 만족도 등 네 가지에 의해 측정하였다. 연구결과, 주위에 신뢰할만한 사람이 없다고 응답한 경우가 15.5%로 나타났으며 도와줄 수 있다고 생각되는 사람이 없다고 응답한 경우가 9.9%나 되었다. 사랑받고 있다는 느낌이 들지 않는다는 경우가 2.8%였으며 삶에 대해 불만족하다고 느끼는 경우가 18.3%로 나타났다(表 3-3 참조).

〈表 3-3〉 社會的 支持의 程度

(單位: %)

| 사회적 지지 변수 | 대상자(명) | % |
|---|---|---|
| 신뢰할 만하다고 생각되는 사람[1] | | |
| 없음 | 934 | 15.5 |
| 1명 | 2,834 | 46.9 |
| 2명 | 1,517 | 25.1 |
| 3명 이상 | 759 | 12.5 |
| 도와줄 수 있다고 생각되는 사람[2] | | |
| 없음 | 590 | 9.9 |
| 1명 | 1,982 | 33.1 |
| 2명 | 1,523 | 25.5 |
| 3명 이상 | 1,885 | 31.5 |
| 사랑받고 있다는 느낌[3] | | |
| 못 받고 있음 | 167 | 2.8 |
| 그저 그렇다 | 2,320 | 38.6 |
| 받고 있음 | 3,522 | 58.6 |
| 삶에 대한 만족도[4] | | |
| 불만족 | 1,106 | 18.3 |
| 그저 그럼 | 2,178 | 36.3 |
| 만족 | 1,917 | 31.9 |
| 아주 만족 | 809 | 13.4 |

註: 1) 자가기재 불능으로 인한 무응답 436명 제외
2) 자가기재 불능으로 인한 무응답 500명 제외
3) 자가기재 불능으로 인한 무응답 471명 제외
4) 자가기재 불능으로 인한 무응답 470명 제외

### 라. 스트레스 및 健康에 대한 念慮

스트레스가 건강에 미치는 중요성은 이미 널리 알려져 있다. 본 연구의 조사대상자에게 스트레스의 유무를 질문한 결과 대다수(77.5%)가 스트레스가 있다고 응답하였다. 평소 健康에 대한 念慮程度는 17.9%는 항상 걱정하는 편이라고 응답한 반면에 19.4%는 걱정을 하지 않는다고 응답하였다(表 3-4 참조).

健康에 대한 念慮는 健康信念모델(Health Belief Model)(Rosen Stock, 1966, Becker et al., 1977)과 健康統制모델(Health Locus of Control Model)(Rotter, 1966; Dhares, 1976)에서 중요시하고 있는 변수이다. 이들 모델에 의하면 건강에 대해 염려를 많이 하는 사람은 그렇지 않은 사람보다 健康保護行爲를 취할 가능성이 크다고 한다.

〈表 3-4〉 스트레스 및 健康에 대한 念慮

(單位: %)

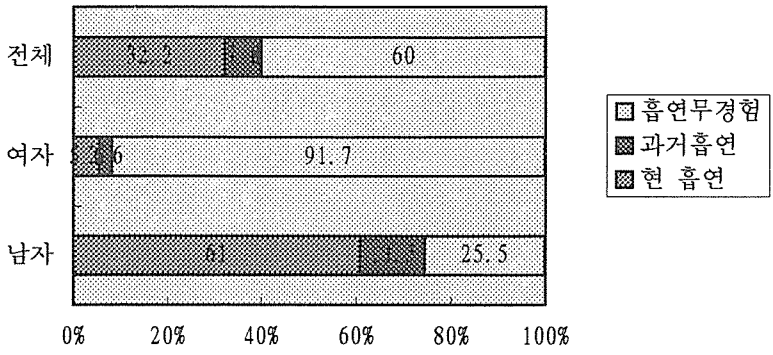
| 기타 건강관련 변수 | 대상자(명) | % |
|---|---|---|
| 스트레스 | | |
| 없음 | 1,360 | 22.5 |
| 있음 | 4,686 | 77.5 |
| 건강에 대한 염려 | | |
| 항상 걱정 | 1,153 | 17.9 |
| 가끔 걱정 | 4,038 | 62.7 |
| 걱정 안함 | 1,249 | 19.4 |

## 3. 健康危險行爲實態

### 가. 吸煙實態

#### 1) 吸煙率 및 吸煙經驗率

본 조사에서 吸煙率은 '담배를 피운 적이 있습니까' 라는 질문에 의해 측정하였다. 조사결과 '현재 피우고 있다'고 응답한 成人(15~69세)의 比率(現 吸煙率)은 32.2%로 나타났다. 성별로는 남자 61.0%, 여자 5.6%가 현재 흡연을 하고 있는 것으로 나타나 성별차이가 상당히 컸다. 과거에는 피웠으나 현재 피우지 않는다고 응답한 사람을 포함한 吸煙經驗率은 남자의 경우 74.5%나 되었다(圖 3-1 참조).




〔圖 3-1〕 性別 吸煙實態

전체 成人吸煙率은 전세계적인 수준(약 30%)과 비슷하였다[5]. 그러나 性別로 보면 우리나라 成人 男子(15~69세) 吸煙率(61.0%)은 日本(59.8%)보다도 높으며 美國(28.6%), 英國(29.0%), 獨逸(36.8%), 프랑스(38.0%)에 비해 월등히 높은 수준이다. 반면에 女子 吸煙率은 5.6%로서 아직까지는 비교적 낮은 수준이다(表 3-5 참조).

〈表 3-5〉 性別 成人(15歲 以上) 吸煙率의 國家間 比較

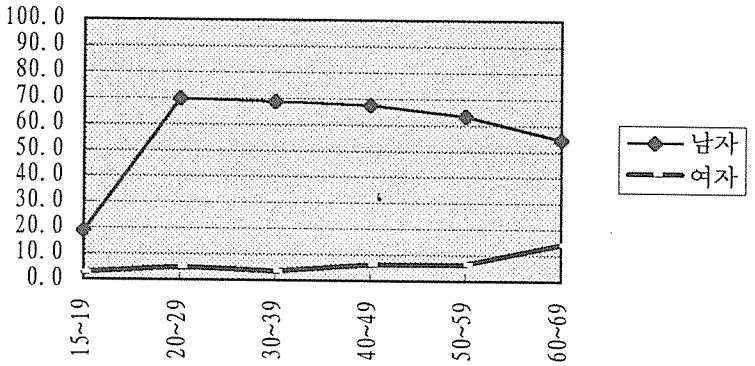
(單位: %)

| | 한국[1] (1995) | 일본[2] (1990) | 미국[2] (1992) | 영국[2] (1992) | 독일[2] (1992) | 프랑스[2] (1992) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 남 자 | 61.0 | 59.8 | 28.6 | 29.0 | 36.8 | 38.0 |
| 여 자 | 5.6 | 13.8 | 24.6 | 28.0 | 21.5 | 20.0 |

資料: 1) 본 조사결과(조사대상: 15~69세)
2) OECD, OECD HEALTH-DATA(CREDES/OECD), 1995.

5) WHO에 의하면 전세계적으로, 성인의 약 30%(남자의 48%, 여자의 12%)가 습관적 흡연자이다(WHO, 1995; 34).

年齡別로 吸煙率을 살펴보면 20세 이상 성인의 흡연율은 약 35% 전후로 연령계층별 큰 차이가 없었다. 그러나 15~19세에서 20대로 넘어가면서 吸煙率의 急增加가 나타났다(圖 3-2 참조).




[圖 3-2] 年齡別 吸煙率

흡연율을 사회경제적 특성별로 살펴보면 地域別, 生活水準別로는 유의한 차이가 나타나지 않았으나 性, 結婚狀態, 職業, 醫療保障種類에 따라 有意한 差異가 나타났다. 男子, 專門大卒 以上, 技能職, 獨身의 경우 흡연율이 높았다(附表 Ⅰ-3 참조).

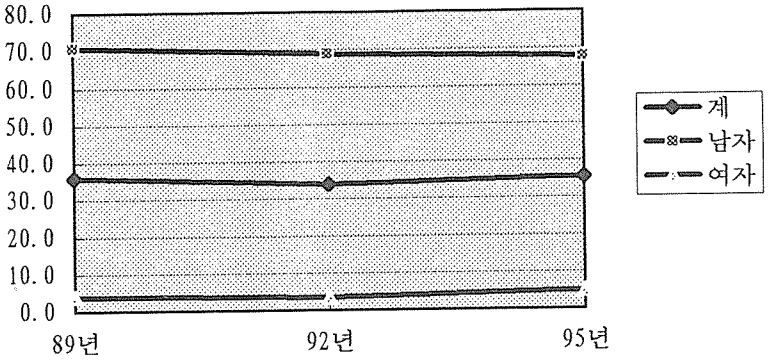
2) 吸煙率 推移(1989~1995)

가) 性別 吸煙率 推移

1989[6]~1995년간 성인(20~59세) 吸煙率의 變化推移를 살펴보면 男子 흡연율은 다소 減少되는 경향을 보이는데 비해 女子 흡연율은 增加하는 추세를 보였다. 그러나 전체적으로는 별 차이가 없었다(圖 3-3, 附表 Ⅰ-93 참조).

---

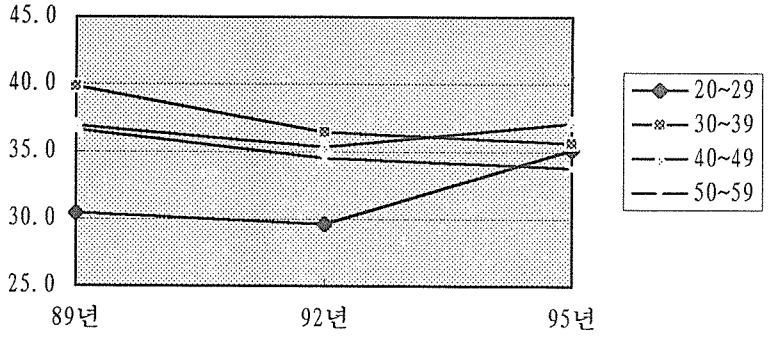
6) 전국 규모의 보건의식행태조사는 한국보건사회연구원에 의해 1989년에 처음 실시되었으며, 그 후 매 3년마다 실시되고 있음.




〔圖 3-3〕 性別 吸煙率 推移(1989～1995)

나) 年齡別 吸煙率 推移

吸煙率 推移를 年齡別로 살펴보면, 20대의 吸煙率이 두드러지게 증가하고 있음을 볼 수 있다(圖 3-4, 附表 Ⅰ-93 참조).

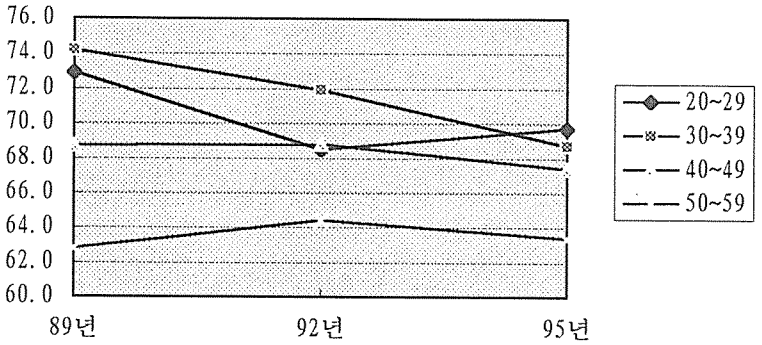



〔圖 3-4〕 年齡別 吸煙率 推移(1989～1995)

20代 흡연율의 增加趨勢가 他年齡群에 비해 두드러지고 있음은 豫防保健的 次元에서 매우 주목할만한 사실이다. 왜냐하면, 대부분의 흡연자는 靑少年期에 吸煙을 始作하며 그 외에도 성인기의 死亡과 不拘를 초래하는 各種 不健康한 行動이 靑少年期에 始作되기 때문이다.

다) 男子의 年齡別 吸煙率 推移

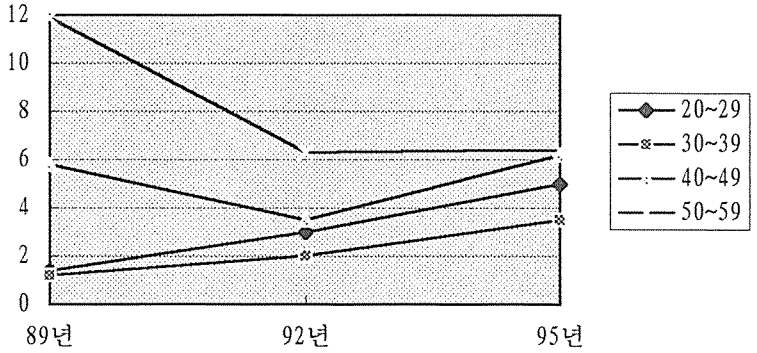
남자의 年齡別 吸煙率 推移를 보면 30대는 흡연율이 다소 減少하는 傾向을 보이고 있는 반면 타연령군은 별 차이가 없었다(圖 3-5, 附表 Ⅰ-93 참조).




〔圖 3-5〕 男子의 年齡別 吸煙率 推移(1989～1995)

라) 女子의 年齡別 吸煙率 推移

여자 흡연율이 20代와 30代에서 뚜렷이 增加하고 있는 것은 이 집단이 西歐化와 開放化의 물결에 민감하게 영향을 받은 것으로 간주된다. 반면에 50代는 減少하는 경향을 보였다(圖 3-6, 附表 Ⅰ-93 참조).




〔圖 3-6〕 女子의 年齡別 吸煙率 推移(1989～1995)

3) 青少年(15~24세) 吸煙率

본 조사결과 15~19세 青少年 吸煙率은 10.4%(男子 18.8%, 女子 2.8%)로 나타나 아직은 프랑스나 필리핀, 타일랜드에 비해 낮은 수준이다(表 3-6 참조). 반면에 20~24세 青少年 男子 吸煙率은 61.3%로서 成人(15~69세) 男子 吸煙率과 비슷하였다. 남자흡연율이 15~19세의 18.8%에서 20대 초반에 61.3%로 크게 增加하고 있는 것은 대부분이 이 시기에 흡연을 시작하는 것이 반영된 결과라고 하겠다. 따라서 20대 초반에 흡연을 시작하지 않도록 하는 교육이 절실히 요구된다. 한 사람 끊게 하는 것보다 열 사람 피우지 않도록 하는 것이 가장 效果的인 禁煙敎育이라고 볼 때, 양호교사나 체육교사를 통한 學校保健敎育 强化가 무엇보다도 중요하다고 본다. 10대 청소년(15~19세)은 금년도에 처음으로 조사대상에 포함시켰으므로 이들 年齡群의 吸煙率 變化 推移를 알 수 없었다(表 3-7 참조).

〈表 3-6〉 國家別 青少年 吸煙率 比較

| 국가 | 연도 | 연령집단 | 규칙적 흡연자(%) | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 남자 | 여자 |
| 한 국 | 1995 | 15~19세 | 18.8 | 2.8 |
| 프 랑 스 | 1990 | 12~18세 | 49.0 | 40.0 |
| 필 리 핀 | 1987 | 15~19세 | 38.0 | 38.0 |
| 타일랜드 | 1991 | 15~19세 | 23.0 | 1.0 |

〈表 3-7〉 青少年 吸煙率 및 吸煙經驗率

(單位: %)

| | 흡연경험률[1] | | | 현흡연율 | | | 과거흡연(금연)율 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 전체 | 남자 | 여자 | 전체 | 남자 | 여자 | 전체 | 남자 | 여자 |
| 15~24세 | 25.4 | 45.7 | 8.3 | 19.8 | 38.4 | 4.1 | 5.6 | 7.3 | 4.2 |
| 15~19세 | 15.2 | 25.9 | 5.5 | 10.4 | 18.8 | 2.8 | 4.8 | 7.1 | 2.7 |
| 20~24세 | 36.5 | 68.9 | 11.3 | 29.9 | 61.3 | 5.5 | 6.6 | 7.6 | 5.8 |

註: 1) 흡연경험률 = 현흡연율 + 과거흡연율

4) 吸煙始作年齡 및 動機

가) 吸煙始作年齡

흡연경험자(현 흡연자와 과거흡연자)의 平均 吸煙始作年齡은 男子 20세, 女子 28세로 나타났으며 習慣的으로 피우기 시작한 年齡은 처음 시작한 연령보다 각각 2세가 많은 22세와 30세로 나타났다. 연령별로 보면, 男子의 경우 15~19세 흡연자의 평균 흡연시작연령이 16세 인 것에 비해 20~69세 흡연자는 거의 모두 20歲를 前後하여 吸煙을 始作한 것으로 나타났다. 그러나 女子의 경우는 연령에 따라 흡연시작연령에 많은 차이를 보였는데 29세 이하의 여성흡연자는 평균 20세 이전에 흡연을 시작했으나 30대는 평균 25세에, 40대는 30세에 50대는 37세, 60대는 40세에 흡연을 시작한 것으로 나타나 연령이 높아질수록 흡연시작연령도 높게 나타났다(表 3-8 참조).

〈表 3-8〉 性·年齡別 吸煙經驗者의 平均 吸煙始作年齡

(單位: 歲)

| | 평균 흡연시작연령 | | 평균 습관적 흡연연령 | |
|---|---|---|---|---|
| | 남자(2,317) | 여자(278) | 남자(2,317) | 여자(278) |
| 전 체 | 20.2 | 28.1 | 22.3 | 30.1 |
| 15~19세 | 16.2 | 17.0 | 17.0 | 17.5 |
| 20~29세 | 19.2 | 19.7 | 20.6 | 21.0 |
| 30~39세 | 19.7 | 24.8 | 21.8 | 28.5 |
| 40~49세 | 20.9 | 30.1 | 23.6 | 32.8 |
| 50~59세 | 22.3 | 36.7 | 24.3 | 38.0 |
| 60~69세 | 21.2 | 39.3 | 23.8 | 40.7 |

性, 年齡別로 습관적 흡연시작연령 분포를 보면, 남자 흡연자의 91.7%가 30세 이전에 흡연을 시작하였는데 반해 여자는 53.1%만이 30세 이전에 흡연을 시작했고 나머지 절반 정도(46.9%)는 30세 이후에 습관적으로 흡연을 시작한 것으로 나타났다(表 3-9 참조).

〈表 3-9〉 性·年齡代別 吸煙經驗者의 吸煙始作年齡 分布

(單位: %)

| 연 령 | 남자 (1,967명) | | 여자 (222명) | |
|---|---|---|---|---|
| | 비율 | 누적 비율 | 비율 | 누적 비율 |
| 15~19세 | 21.6 | 21.6 | 22.1 | 22.1 |
| 20~29세 | 70.1 | 91.7 | 31.0 | 53.1 |
| 30~39세 | 6.7 | 98.4 | 22.0 | 75.1 |
| 40~49세 | 1.5 | 99.9 | 16.3 | 91.3 |
| 50~69세 | 0.1 | 100.0 | 8.7 | 100.0 |

나) 吸煙始作 動機

처음 吸煙을 시작한 動機를 보면, 20대를 제외한 全年齡層 男子 吸煙者는 과반수 이상이 好奇心에서 吸煙을 시작한 것으로 나타났다. 그러나 20대 男子의 약 1/3 程度가 스트레스 解消를 위해 吸煙을 시작한 것으로 나타나 주목된다. 20대 男子의 平均 吸煙時期가 만 19세인 점을 감안하면 고등학교 3학년의 입시부담에서 오는 스트레스 또는 재수시기에 받는 각종 스트레스와 무관하지 않을 것으로 추측된다.

女子의 경우 30대까지는 吸煙者의 과반수 이상이 好奇心에서 吸煙을 시작한 것으로 나타났으나 40대 이후는 약 절반 정도가 스트레스를 解消하기 위해서 吸煙을 시작한 것으로 나타났다(表 3-10 참조). 스트레스를 해소하기 위해 吸煙을 하는 행태가 20대 남성과 40대 이후의 여자에게서 두드러지게 나타나는 것에 관심을 가질 필요가 있다.

〈表 3-10〉 性・年齡別 吸煙經驗者의 吸煙動機

(單位: %)

| | 전체 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 남자(N) | (2,317) | (94) | (517) | (644) | (502) | (356) | (204) |
| 호기심 | 56.8 | 58.1 | 46.9 | 64.5 | 57.8 | 54.5 | 58.6 |
| 주위사람의 권유 | 21.7 | 23.3 | 18.9 | 18.5 | 25.1 | 26.6 | 21.8 |
| 스트레스 해소 | 18.1 | 17.5 | 32.3 | 13.3 | 15.4 | 13.9 | 11.2 |
| 기분좋기 위해 | 2.2 | - | 1.0 | 2.6 | 0.7 | 3.9 | 6.2 |
| 기 타 | 1.1 | 1.0 | 0.8 | 1.2 | 1.0 | 1.1 | 2.3 |
| 여자(N) | (278) | (22) | (79) | (44) | (44) | (35) | (54) |
| 호기심 | 34.5 | 50.8 | 55.4 | 53.5 | 21.2 | 2.8 | 12.2 |
| 주위사람의 권유 | 11.9 | 13.6 | 7.9 | 5.1 | 18.5 | 6.5 | 21.1 |
| 스트레스 해소 | 42.8 | 35.6 | 34.7 | 41.4 | 48.8 | 57.4 | 44.7 |
| 기분좋기 위해 | 2.4 | - | - | - | 2.1 | 9.4 | 4.5 |
| 기 타 | 8.4 | - | 1.9 | - | 9.4 | 23.8 | 17.5 |

吸煙動機를 吸煙始作年齡과 관련하여 性別로 살펴본 결과는 〈表 3-11〉, 및 〈表 3-12〉와 같다. 남녀 모두 吸煙始作年齡이 빠를수록 好奇心이 가장 큰 동기로 나타난 반면, 吸煙始作을 늦게 했을수록 慾求不滿이나 스트레스 解消가 주요 동기로 나타났다. 이러한 경향은 여자에게서 더욱 두드러지게 나타나 30대 이후에 흡연을 시작한 여자의 약 60%가 욕구불만이나 스트레스를 해소하기 위해 흡연을 시작한 것으로 나타났다.

〈表 3-11〉 吸煙經驗者의 吸煙始作年齡別 吸煙動機(男子)

(單位: %)

| | 전체 | 19세 이하 | 20~29세 | 30~39세 | 40세 이상 |
|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (2,317) | (94) | (517) | (644) | (1,062) |
| 호기심 | 56.4 | 67.8 | 49.2 | 35.7 | 5.8 |
| 주위사람의 권유 | 22.2 | 19.4 | 24.2 | 21.7 | 44.9 |
| 스트레스 해소 | 18.1 | 11.4 | 22.4 | 31.7 | 37.2 |
| 기타 | 3.3 | 1.5 | 4.2 | 10.9 | 12.1 |

〈表 3-12〉 吸煙經驗者의 吸煙始作年齡別 吸煙動機(女子)

(單位: %)

| | 전체 | 19세 이하 | 20~29세 | 30~39세 | 40세 이상 |
|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (278) | (22) | (79) | (44) | (133) |
| 호기심 | 32.3 | 60.5 | 38.6 | 9.2 | 2.4 |
| 주위사람의 권유 | 12.5 | 10.2 | 11.8 | 12.2 | 17.0 |
| 스트레스 해소 | 43.7 | 27.2 | 38.8 | 59.3 | 61.9 |
| 기타 | 11.5 | 2.2 | 10.9 | 19.3 | 18.7 |

6) 吸煙期間

남·녀 吸煙者의 吸煙期間은 모두 年齡增加와 함께 증가하는데 男子의 경우 30대 이상 吸煙者의 90% 이상이 20년 이상 吸煙을 해 온 것으로 나타났고 그 중 60대는 거의 모두(99%)가 20년 이상 吸煙을 해온 것으로 나타났다. 女子吸煙者의 경우 20년 이상 吸煙者가 40대의 24%, 50대의 43%로 나타나 같은 연령대 남자에 비해 吸煙期間이 짧았다. 이는 흡연시작연령이 男子에 비해 女子가 늦은 것을 감안하면 당연한 결과라고 하겠다(表 3-13, 表 3-14 참조).

〈表 3-13〉 年齡別 現吸煙者의 吸煙期間(男子)

(單位: %)

| | 전체 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (1,896) | (68) | (465) | (545) | (406) | (281) | (131) |
| 9년 이하 | 26.1 | 100.0 | 77.5 | 9.7 | 1.7 | 0.8 | - |
| (0~4년) | (10.8) | (100.0) | (26.4) | (1.1) | (0.5) | (0.3) | - |
| (5~9년) | (15.3) | - | (51.1) | (8.6) | (1.2) | (0.5) | - |
| 10~19년 | 29.0 | - | 22.1 | 69.9 | 14.5 | 3.2 | 1.0 |
| 20년 이상 | 44.9 | - | 0.5 | 20.5 | 83.8 | 96.0 | 99.0 |

〈表 3-14〉 年齡別 現吸煙者의 吸煙期間(女子)

(單位: %)

| | 전체 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (190) | (11) | (38) | (28) | (36) | (31) | (46) |
| 9년 이하 | 43.1 | 100.0 | 87.2 | 52.9 | 35.5 | 14.3 | 12.0 |
| (0~4년) | (22.6) | (100.0) | (44.7) | (18.0) | (19.6) | (6.9) | (0.6) |
| (5~9년) | (20.5) | - | (42.5) | (34.9) | (15.9) | (7.4) | (11.4) |
| 10~19년 | 29.8 | - | 12.8 | 47.1 | 40.3 | 42.3 | 23.9 |
| 20년 이상 | 27.1 | - | - | - | 24.2 | 43.3 | 64.1 |

7) 吸煙量

男子 吸煙者의 경우, 15~19세 청소년층을 제외한 全年齡層 吸煙者의 90% 이상이 한 달에 30일 이상 每日 吸煙을 하는 것으로 나타났다. 이들의 吸煙量을 年齡別로 살펴보면, 하루 평균 한 갑 반 이상을 흡연하는 高度吸煙者의 比率이 40대가 28.7%로 가장 높았고 30대와 50대가 20% 내외로 비슷하였으며 60대 이상이 되면서 高度吸煙者의 比率은 약 15%로 감소되었다. 이와 같이 40대 男性吸煙者 중 高度吸煙者의 比率이 가장 높은 것은 이 집단의 높은 死亡率과 연관이 있을 것으로 추측할 수 있다(表 3-15 참조).

〈表 3-15〉 年齡別 現吸煙者의 吸煙日數 및 1日 平均吸煙量(男子)

(單位: %)

| | 계 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (1,896) | (68) | (465) | (545) | (406) | (281) | (131) |
| 한 달간 흡연일수 | | | | | | | |
| 9일 이하 | 0.7 | 8.1 | 1.1 | - | 0.3 | 0.6 | - |
| 10~19일 | 1.6 | 1.9 | 2.0 | 1.4 | 1.7 | 1.2 | 1.6 |
| 20~29일 | 6.2 | 14.0 | 6.7 | 6.5 | 6.4 | 4.5 | 2.4 |
| 매 일 | 91.5 | 75.9 | 90.2 | 92.1 | 91.7 | 93.7 | 96.0 |
| 하루 평균흡연량 | | | | | | | |
| 반 갑 이하 | 24.8 | 59.1 | 26.7 | 20.9 | 17.5 | 27.7 | 33.0 |
| 약 한 갑 | 53.6 | 35.3 | 55.0 | 57.1 | 53.7 | 49.7 | 51.6 |
| 한 갑 반 | 15.7 | 3.3 | 13.8 | 17.1 | 21.7 | 14.6 | 7.2 |
| 두 갑 이상 | 5.8 | 2.4 | 4.5 | 4.8 | 7.0 | 8.0 | 8.2 |

女子 吸煙者의 한 달간 흡연일수를 살펴보면, 40대와 60대 이상 吸煙者는 거의 모두(약 97%)가 每日(30일 이상) 吸煙하는 것으로 나타났다. 또한, 20대, 30대, 40대 女子吸煙者의 10% 이상이 하루 한 갑 반 이상의 高度吸煙을 하는 것으로 나타났으며 50대부터 高度吸煙者의 比率이 낮아졌다(表 3-16 참조).

〈表 3-16〉 年齡別 現吸煙者의 吸煙日數 및 1日 平均吸煙量(女子)

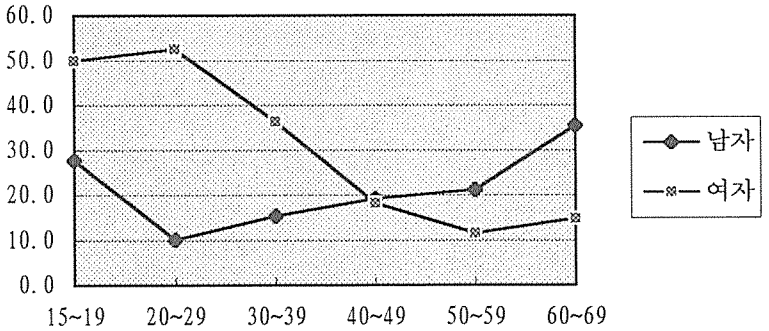
(단위: %)

| | 전체 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (190) | (11) | (38) | (28) | (36) | (31) | (46) |
| 한 달간 흡연일수 | | | | | | | |
| 9일 이하 | 1.6 | 4.4 | - | 5.9 | 1.9 | - | 0.1 |
| 10~19일 | 5.8 | 42.5 | 2.0 | 5.9 | 0.6 | 9.4 | 1.2 |
| 20~29일 | 4.7 | - | 11.6 | 6.4 | 0.8 | 6.9 | 1.0 |
| 매 일 | 87.9 | 53.1 | 86.4 | 81.8 | 96.7 | 83.7 | 97.3 |
| 하루 평균흡연량 | | | | | | | |
| 반 갑 이하 | 54.0 | 57.5 | 51.9 | 55.8 | 46.9 | 61.3 | 54.4 |
| 약 한 갑 | 36.5 | 9.4 | 36.4 | 33.3 | 42.0 | 33.3 | 42.9 |
| 한 갑 반 | 6.0 | 33.1 | 9.5 | 3.3 | 4.8 | 1.4 | 2.1 |
| 두 갑 이상 | 3.6 | - | 2.2 | 7.7 | 6.2 | 4.0 | 0.7 |

8) 禁煙實態

가) 禁煙率

吸煙經驗者(과거흡연자+현흡연자) 중 禁煙한 사람의 比率 즉, 禁煙率은 男子는 60대, 女子는 20대에서 가장 높았다. 15~19세층의 禁煙率은 남녀 모두 두 번째로 높게 나타났다. 年齡別로 禁煙率을 살펴보면, 男子는 20대부터 서서히 증가하여 60대에 가장 높게 나타난 반면, 女子는 20대의 禁煙率이 가장 높고 年齡이 增加할수록 禁煙率은 낮아지는 경향을 보여 男子와 대조적이었다(圖 3-7, 表 3-17 참조).




〔圖 3-7〕 性・年齡別 禁煙率(1995)

〈表 3-17〉 性・年齡 및 地域別 禁煙率[1)]

(單位: %)

| | 전체 | 성 | | 지역 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 남자 | 여자 | 시지역 | 군지역 |
| 15~19세 | 31.9 | 27.7 | 50.0 | 25.8 | 61.1 |
| 20~29세 | 15.7 | 10.1 | 52.5 | 15.6 | 15.9 |
| 30~39세 | 16.7 | 15.4 | 36.4 | 20.0 | 17.0 |
| 40~49세 | 19.0 | 19.1 | 18.2 | 24.2 | 20.0 |
| 50~59세 | 20.2 | 21.1 | 11.4 | 22.0 | 16.3 |
| 60~69세 | 31.1 | 35.5 | 14.8 | 33.3 | 27.9 |

註: 1) {과거흡연자/흡연경험자(과거흡연자+현흡연자)}×100

나) 禁煙試圖 與否 및 禁煙 必要性 認識

男子 吸煙者의 60% 이상이 담배를 끊고자 시도해 본 경험이 있는 것으로 나타났다. 年齡別로 보면, 15~19세 청소년층의 禁煙試圖率이 他年齡群에 비해 높았다. '앞으로 담배를 끊어야 한다고 생각하십니까'라는 질문에 대해서는 40% 이상이 반드시 끊어야 한다고 생각하는 것으로 나타났으며 그러한 의도는 40대에서 가장 높게 나타났다(表 3-18 참조).

〈表 3-18〉 年齡別 現吸煙者의 禁煙試圖 與否 및 禁煙必要性 認識(男子)

(單位: %)

| | 계 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (1,896) | (68) | (465) | (545) | (406) | (281) | (131) |
| 금연시도 | | | | | | | |
| 예 | 62.8 | 71.1 | 59.1 | 62.8 | 65.6 | 64.4 | 60.1 |
| 아니오 | 37.2 | 28.9 | 40.9 | 37.2 | 34.4 | 35.6 | 39.9 |
| 금연인식 | | | | | | | |
| 끊을 필요없다 | 20.1 | 6.9 | 18.0 | 17.4 | 18.6 | 26.0 | 38.0 |
| 반드시 끊어야 한다 | 48.5 | 45.9 | 41.3 | 49.5 | 58.3 | 48.4 | 41.2 |
| 모름 | 31.3 | 47.3 | 40.7 | 33.1 | 23.1 | 25.5 | 20.8 |

女子吸煙者의 경우도 50% 이상이 禁煙을 試圖한 經驗이 있는 것으로 나타났다. 禁煙試圖率은 여자의 경우 20대에서 가장 높았다. 또한 女子吸煙者의 약 41%가 장래 반드시 禁煙을 해야한다고 생각하고 있었으며 이 比率도 20대 女子性吸煙者에서 가장 높았다(表 3-19 참조).

〈表 3-19〉 年齡別 現吸煙者의 禁煙試圖 與否 및 禁煙必要性 認識(女子)

(單位: %)

| | 계 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (190) | (11) | (38) | (28) | (36) | (31) | (46) |
| 금연시도 | | | | | | | |
| 예 | 54.6 | 28.1 | 62.4 | 50.4 | 54.1 | 53.1 | 58.8 |
| 아니오 | 45.4 | 71.4 | 37.6 | 49.6 | 45.9 | 46.9 | 41.2 |
| 금연인식 | | | | | | | |
| 끊을 필요없다 | 25.9 | 25.2 | 14.2 | 7.7 | 21.4 | 34.2 | 44.9 |
| 반드시 끊어야 한다 | 40.5 | 41.7 | 54.3 | 40.0 | 32.7 | 39.7 | 36.0 |
| 모름 | 33.6 | 33.1 | 31.5 | 52.3 | 45.9 | 26.1 | 19.1 |

다) 禁煙者의 禁煙前 吸煙期間 및 平均 吸煙量

禁煙者의 禁煙前 吸煙期間을 보면 女子는 대부분(75.8%)이 吸煙을 시작한지 4년 이전에 禁煙을 한 것으로 나타났으나 男子는 상당수(38.6%)가 20년 이상 흡연한 후에 禁煙한 것으로 나타났다. 禁煙理由는 남녀 모두 주로 健康上의 理由로 禁煙한 것으로 나타났는데 男子

의 경우 건강이 나빠졌기 때문에 禁煙한 경우가 30.8%, 건강에 해로울까봐 禁煙을 한 경우가 41.1%나 되었다. 20년 이상 흡연한 남자가 금연한 경우는 대체로 健康에 異常이 생겼기 때문일 것으로 추측된다.

과거 흡연자의 성별 하루 平均 吸煙量을 살펴본 결과, 금연자는 남녀 각각 47.5%, 75.5%로서 모두 하루 평균 반 갑 이하를 피우던 低度吸煙者가 대부분이었다(表 3-20 참조).

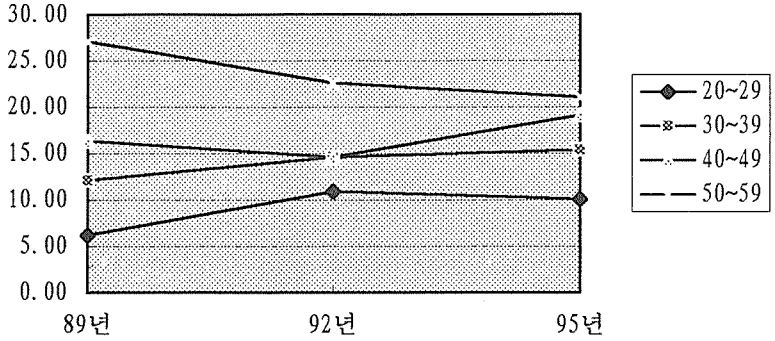
〈表 3-20〉 性·地域別 禁煙者(過去 吸煙者)의 吸煙期間, 平均 吸煙量 및 禁煙理由

(單位: %)

| | 전체 | 성 | | 지 역 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 남자 | 여자 | 시지역 | 군지역 |
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (509) | (421) | (88) | (398) | (111) |
| 과거 흡연기간 | | | | | |
| 4년 이하 | 32.1 | 24.1 | 75.8 | 34.3 | 23.9 |
| 5~9년 | 12.4 | 13.4 | 6.9 | 12.5 | 11.9 |
| 10~14년 | 12.2 | 13.9 | 3.0 | 12.0 | 13.1 |
| 15~19년 | 9.0 | 9.9 | 4.2 | 9.0 | 9.2 |
| 20년 이상 | 34.2 | 38.6 | 10.1 | 32.1 | 41.9 |
| 과거 하루 평균 흡연량 | | | | | |
| 반 갑 이하 | 52.3 | 47.5 | 75.5 | 53.3 | 48.6 |
| 약 한 갑 | 33.4 | 36.4 | 18.4 | 33.7 | 32.1 |
| 한 갑 반 | 11.0 | 12.6 | 3.0 | 10.3 | 13.5 |
| 두 갑 이상 | 3.4 | 3.4 | 3.1 | 2.7 | 5.8 |
| 금연이유 | | | | | |
| 건강이 나빠져서 | 29.0 | 30.8 | 20.6 | 27.3 | 35.3 |
| 건강에 해가 될까봐 | 41.2 | 41.1 | 41.4 | 42.5 | 36.3 |
| 경제적 이유 | 3.5 | 2.8 | 6.7 | 3.4 | 3.5 |
| 종교적 이유 | 9.6 | 10.2 | 6.8 | 10.3 | 7.3 |
| 타인의 권유 | 10.6 | 9.3 | 16.8 | 10.5 | 11.1 |
| 기 타 | 6.1 | 5.7 | 7.8 | 6.0 | 6.5 |

라) 禁煙率 推移(1989~1995)

성인 男子의 年度別 禁煙率 추이를 보면, 20대, 30대, 40대는 증가하는 경향을 보였으나 그 차이는 미미하였다. 반면에 50대는 감소하는 경향이 뚜렷하게 나타났다(圖 3-8, 表 3-21 참조).




〔圖 3-8〕 男子의 年齡別 禁煙率 推移(1989～1995)

〈表 3-21〉 男子의 年齡別 禁煙率[1)]推移(1989～1995)

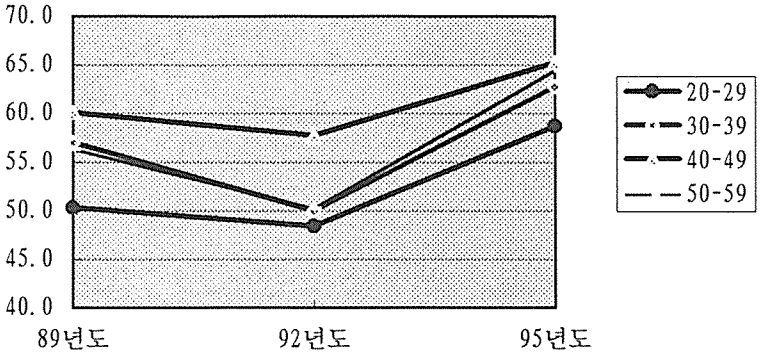
(단위: %)

| | 1989 | 1992 | 1995 |
|---|---|---|---|
| 20～29세 | 6.2 | 10.9 | 10.1 |
| 30～39세 | 12.1 | 14.6 | 15.4 |
| 40～49세 | 16.3 | 14.6 | 19.1 |
| 50～59세 | 27.1 | 22.6 | 21.1 |

註: 1) {과거흡연자수÷흡연경험자수(과거흡연자＋현 흡연자)}×100

마) 禁煙試圖率 推移

남자 흡연자의 연도별 禁煙試圖率은, 1989년도에 비해 1992년도에는 전연령구간에서 다소 저하되었다가 1995년도에 다시 증가하는 추세를 나타냈다(圖 3-9, 表 3-22 참조)




〔圖 3-9〕 男子의 年齡別 禁煙試圖率 推移(1989～1995)

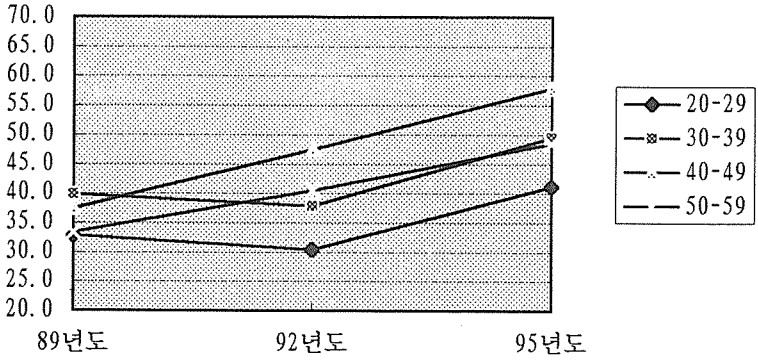
〈表 3-22〉 男子의 年齡別 禁煙試圖率 推移(1989～1995)

(單位: %)

| | 1989 | 1992 | 1995 |
|---|---|---|---|
| 대상자수(현흡연자) | 1,733 | 949 | 1,896 |
| 20～29세 | 50.3 | 48.4 | 58.7 |
| 30～39세 | 57.0 | 50.0 | 62.8 |
| 40～49세 | 60.1 | 57.7 | 65.3 |
| 50～59세 | 56.3 | 50.2 | 64.4 |

바) 禁煙 必要性 認識率 推移(1989～1995)

男子 吸煙者의 年度別 禁煙必要性 認識率은 40대와 50대는 增加傾向이 直線을 그리며 뚜렷한 반면에 20대와 30대는 1989년도에 비해 1992년도에 다소 감소되었다가 1995년도에 다시 큰 폭으로 增加하였다(圖 3-10, 表 3-23 참조).




[圖 3-10] 男子의 現吸煙者의 禁煙 必要性 認識率 推移(1989~1995)

〈表 3-23〉 男子의 年齡別 禁煙 必要性 認識率 推移(1989~1995)

(單位: %)

| | 1989 | 1992 | 1995 |
|---|---|---|---|
| 대상자수(현흡연자) | 1,733 | 949 | 1,896 |
| 20~29세 | 32.8 | 30.4 | 41.1 |
| 30~39세 | 39.8 | 37.8 | 49.4 |
| 40~49세 | 37.4 | 47.5 | 57.7 |
| 50~59세 | 33.3 | 40.5 | 48.4 |

사) 吸煙에 관한 態度

吸煙에 관한 態度는 吸煙行爲를 좌우할 것이라는 관점에서 전체 대상자를 대상으로 몇 가지 문항을 금년도에 처음으로 본 조사에 포함시켰다. 첫째, '吸煙은 集中力을 增加시킨다'라는 항목에 대한 연령별 반응을 살펴보면, '확실히 그렇다' 또는 '대체로 그렇다'라고 긍정적으로 응답한 비율은 25%를 넘지 못하였다. 年齡別로 보면 30대와 40대가 다소 肯定的으로 생각하고 있는 반면에 10대와 20대는 이에 대해 보다 否定的인 態度를 지녔다. 둘째, '吸煙은 흥분된 感情을 가라

앉힌다'라는 문항에 대해서는 15~19세를 제외한 전연령층의 약 50% 이상이 '그렇다'라고 긍정적인 대답을 했다. 셋째, '吸煙은 疲勞를 回復시킨다'라는 문항에 대한 반응은 매우 부정적이어서 전연령구간에서 15% 미만만이 '그렇다'라는 답변을 했으며 15~19세는 단지 6.1% 만이 '그렇다'는 반응을 했다(表 3-24 참조).

〈表 3-24〉 年齡別 吸煙에 關한 態度[1)]

(單位: %)

| | 전 체 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (5,828) | (734) | (1,383) | (1,533) | (1,092) | (732) | (354) |
| 흡연-집중력 증가 | | | | | | | |
| 확실히 그렇다 | 7.5 | 1.8 | 4.9 | 10.8 | 10.3 | 6.1 | 10.5 |
| 대체로 그렇다 | 19.4 | 7.4 | 16.7 | 22.6 | 24.1 | 23.0 | 19.6 |
| 그저 그렇다 | 22.2 | 13.9 | 23.7 | 20.6 | 25.9 | 23.8 | 25.4 |
| 별로 그렇지 않다 | 21.2 | 18.3 | 22.7 | 22.5 | 19.8 | 20.9 | 20.8 |
| 전혀 그렇지 않다 | 29.7 | 58.7 | 32.1 | 23.6 | 20.0 | 26.1 | 23.7 |
| 흥분을 가라앉힘 | | | | | | | |
| 확실히 그렇다 | 13.9 | 4.3 | 12.0 | 17.2 | 18.0 | 13.5 | 15.0 |
| 대체로 그렇다 | 38.1 | 22.7 | 39.5 | 41.7 | 42.2 | 39.3 | 33.9 |
| 그저 그렇다 | 20.1 | 25.0 | 21.3 | 16.5 | 18.5 | 20.2 | 25.5 |
| 별로 그렇지 않다 | 12.1 | 12.5 | 11.7 | 12.0 | 11.4 | 13.6 | 11.9 |
| 전혀 그렇지 않다 | 15.8 | 35.4 | 15.6 | 12.5 | 9.9 | 13.4 | 13.8 |
| 흡연- 피로회복 | | | | | | | |
| 확실히 그렇다 | 3.1 | 1.7 | 2.6 | 4.1 | 2.8 | 3.2 | 3.5 |
| 대체로 그렇다 | 9.2 | 4.4 | 7.4 | 9.1 | 10.4 | 14.8 | 11.1 |
| 그저 그렇다 | 18.7 | 16.7 | 18.6 | 17.2 | 19.5 | 20.4 | 24.6 |
| 별로 그렇지않다 | 26.4 | 21.7 | 28.9 | 25.1 | 28.9 | 25.8 | 25.0 |
| 전혀 그렇지않다 | 42.7 | 55.5 | 42.4 | 44.5 | 48.6 | 35.9 | 35.8 |

註: 1) 무응답 652명 제외

아) 吸煙과 關聯한 法的 規制에 대한 態度

조사대상자의 60% 이상이 '吸煙·飮酒는 法으로 禁해야 한다'고 응답했으며, '술·담배 廣告는 規制되어야 한다'라는 문항에 대해서도 15~39세의 60% 이상, 40~69세의 70% 이상이 찬성하는 태도를 보였다 (表 3-25 참조).

〈表 3-25〉 年齡別 吸煙 關聯 法的 規制에 關한 態度[1)]

(單位: %)

| | 전체 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (5,828) | (734) | (1,383) | (1,533) | (1,092) | (732) | (354) |
| 흡연·음주를 법으로 금해야 한다 | | | | | | | |
| 확실히 그렇다 | 40.9 | 39.2 | 36.5 | 43.6 | 42.6 | 43.1 | 40.5 |
| 대체로 그렇다 | 23.9 | 21.8 | 24.3 | 23.4 | 24.0 | 24.4 | 28.5 |
| 그저 그렇다 | 16.8 | 18.1 | 19.2 | 15.1 | 16.3 | 14.7 | 17.9 |
| 별로 그렇지않다 | 10.0 | 10.4 | 11.1 | 8.8 | 9.8 | 10.7 | 9.2 |
| 전혀 그렇지않다 | 8.4 | 10.5 | 8.9 | 9.2 | 7.3 | 7.2 | 4.0 |
| 술·담배 광고는 규제 되어야 한다 | | | | | | | |
| 확실히 그렇다 | 43.4 | 37.3 | 38.2 | 46.8 | 45.9 | 46.6 | 47.4 |
| 대체로 그렇다 | 22.7 | 20.0 | 23.2 | 21.8 | 24.0 | 24.2 | 23.5 |
| 그저 그렇다 | 16.8 | 17.4 | 19.2 | 14.9 | 16.5 | 15.9 | 17.5 |
| 별로 그렇지 않다 | 10.6 | 16.6 | 11.7 | 9.2 | 9.2 | 9.0 | 8.2 |
| 전혀 그렇지 않다 | 6.4 | 8.6 | 7.7 | 7.3 | 4.3 | 4.3 | 3.4 |

註: 1) 무응답 652명 제외

자) 吸煙의 危害에 關한 認知度

吸煙이 인체에 영향을 미칠 수 있는 危害에 대한 認知度를 살펴보면, '姙産婦의 吸煙은 流産, 早産, 死産의 危險이 높다'라는 사실에 대해 15~59세의 90% 이상, 60대의 84%가 인지하고 있으며, '間接吸煙은 肺癌 發生率을 높인다'라는 사실에 대해서도 85% 내외가 인지하고 있는 것으로 나타났다. 年齡別로 인지율의 차이는 미미하였다(表 3-26 참조).

〈表 3-26〉 年齡別 吸煙의 危害에 관한 認知度[1)]

(單位: %)

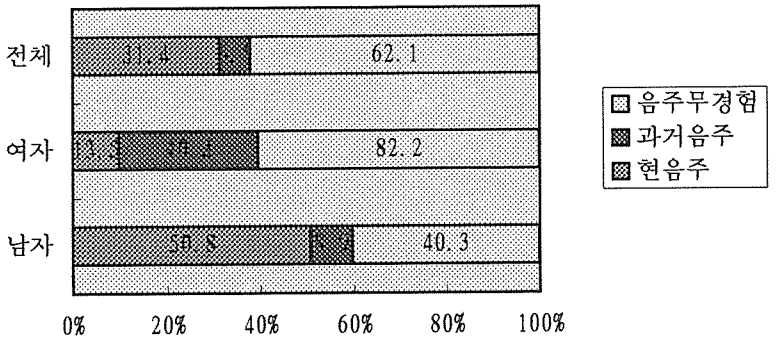
| | 계 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (5,828) | (734) | (1,383) | (1,533) | (1,092) | (732) | (354) |
| 임산부 흡연 - 유산, 조산, 사산의 위험이 높음 | | | | | | | |
| 확실히 그렇다 | 68.9 | 71.1 | 72.2 | 71.3 | 67.8 | 60.9 | 60.9 |
| 대체로 그렇다 | 22.1 | 20.2 | 20.3 | 20.2 | 23.6 | 28.5 | 23.1 |
| 그저 그렇다 | 5.0 | 4.4 | 4.3 | 4.1 | 4.2 | 6.6 | 11.2 |
| 별로 그렇지 않다 | 2.2 | 1.7 | 1.8 | 2.5 | 2.4 | 2.2 | 2.7 |
| 전혀 그렇지 않다 | 1.9 | 2.6 | 1.5 | 1.8 | 2.0 | 1.9 | 2.1 |
| 간접흡연 - 폐암 발생률을 높임 | | | | | | | |
| 확실히 그렇다 | 59.9 | 62.2 | 63.6 | 60.5 | 59.5 | 52.9 | 52.9 |
| 대체로 그렇다 | 27.8 | 25.5 | 26.9 | 26.7 | 28.7 | 31.6 | 30.5 |
| 그저 그렇다 | 7.6 | 6.5 | 6.3 | 8.5 | 6.6 | 9.0 | 11.2 |
| 별로 그렇지 않다 | 3.0 | 3.5 | 2.2 | 2.9 | 3.0 | 4.1 | 2.4 |
| 전혀 그렇지 않다 | 1.8 | 2.3 | 1.0 | 1.4 | 2.1 | 2.4 | 3.0 |

註: 1) 무응답 652명 제외

## 나. 飮酒實態

### 1) 飮酒率

飮酒率은 "현재 술을 즐겨 마시는 편입니까"라는 질문에 의해 측정하였다. 조사결과 15~69세 성인의 31.4%가 현재 술을 즐겨 마시는 편이라고 응답하였다. 男子의 現飮酒率(50.8%)이 여자(13.5%)보다 훨씬 높았으며 都市 居住者의 음주율(32.7%)이 군지역 거주자(26.9%)보다 높았고 연령별로는 20대의 음주율(39.4%)이 가장 높게 나타났다. 과거 음주율(과거에는 마셨으나 현재 마시지 않는 경우)은 남자 8.9%, 여자 4.2%로 나타났으며 지역별로는 거의 차이가 없었다(圖 3-11 참조).




〔圖 3-11〕 性別 飮酒實態

性, 年齡別로 飮酒率을 살펴보면, 남자는 30대와 40대의 음주율이 58.8%, 60.1%로 가장 높게 나타났으며 여자는 20대가 26.4%로 가장 높게 나타났다. 地域 및 年齡別로 보면 20대 都市居住者의 음주율이 40.3%로 가장 높았다(表 3-27 참조).

〈表 3-27〉 年齡·性·地域別 現飮酒率[1)]

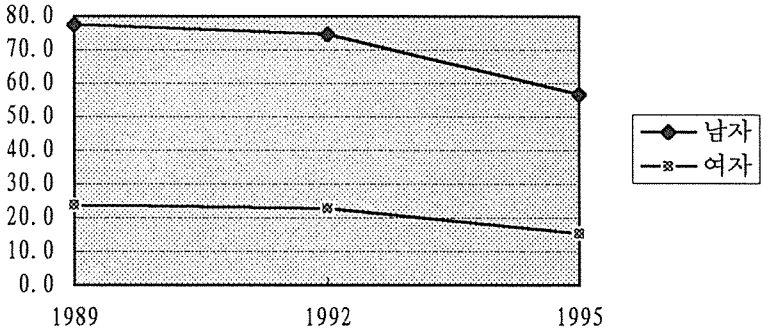
(單位: %)

| | 계 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (N) | (6,480) | (763) | (1,431) | (1,609) | (1,192) | (922) | (563) |
| 전체 | 31.4 | 9.6 | 39.4 | 36.5 | 35.2 | 27.9 | 23.8 |
| 성 | | | | | | | |
| 남자 | 50.8 | 14.1 | 54.4 | 58.8 | 60.1 | 51.6 | 45.1 |
| 여자 | 13.5 | 5.6 | 26.4 | 14.8 | 9.6 | 6.0 | 8.0 |
| 지역 | | | | | | | |
| 시지역 | 32.7 | 11.1 | 40.3 | 37.6 | 35.5 | 28.3 | 22.8 |
| 군지역 | 26.9 | 4.2 | 34.2 | 30.4 | 33.9 | 27.2 | 25.2 |

註: 1) (현음주자 ÷ 조사대상자) × 100

2) 飮酒率 推移(1989～1995)

1989～1995년간 飮酒率 推移를 보면 남녀 모두 減少하는 경향을 보여주었다. 감소 폭은 1989～1992년간에 비해 1992～1995년간이 훨씬 컸다. 1989년 남자 77.5%, 여자 23.6%이던 것이 1992년에는 남자 74.6%, 여자 22.6%로 미미한 감소에 그쳤으나 1995년에는 남자 56.7%, 여자 15.4%로 크게 감소되었다. 최근 3년(1992～1995)간 이와 같이 음주율이 급격히 감소된 것은 自家運轉者의 增加와 飮酒運轉 團束의 强化와 관련이 있을 것으로 추측된다(圖 3-12, 附表 Ⅰ-95 참조).



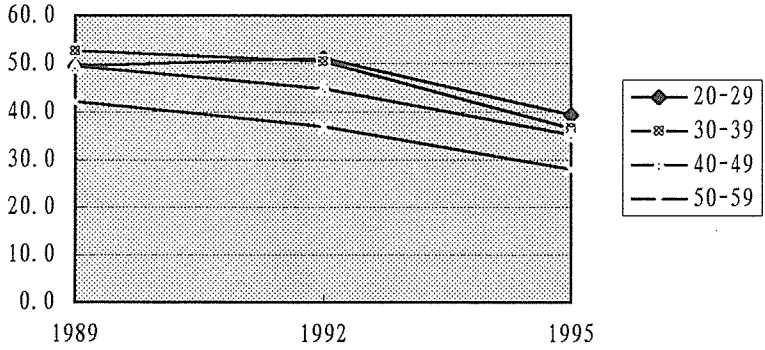

〔圖 3-12〕 性別 成人(20～59歲)의 現飮酒率 推移(1989～1995)

성, 연령별로 음주율 추이를 보면 40대와 50대의 음주율은 꾸준히 감소해 온 반면 20대와 30대는 1989～1992년간에는 변화를 보이지 않다가 1992～1995년간에 큰 폭으로 감소된 것을 알 수 있다. 이와 같은 현상은 남자 음주율의 경우에도 마찬가지였다(表 3-28, 圖 3-13 참조).

〈表 3-28〉 性・年齡別 現飲酒率 推移(1989～1995)

(單位: %)

| | 전체 | | | 남자 | | | 여자 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1989 | 1992 | 1995 | 1989 | 1992 | 1995 | 1989 | 1992 | 1995 |
| 계 | 49.3 | 46.8 | 35.5 | 77.5 | 74.6 | 56.7 | 23.6 | 22.6 | 15.4 |
| 20～29세 | 49.4 | 51.0 | 39.3 | 81.5 | 78.5 | 54.2 | 27.4 | 32.2 | 26.4 |
| 30～39세 | 52.7 | 50.4 | 36.5 | 79.4 | 80.3 | 58.7 | 22.8 | 21.4 | 14.8 |
| 40～49세 | 49.4 | 44.8 | 35.2 | 77.4 | 74.3 | 60.1 | 22.1 | 16.8 | 9.6 |
| 50～59세 | 42.1 | 36.9 | 27.9 | 67.0 | 39.7 | 51.6 | 18.5 | 14.9 | 6.0 |




[圖 3-13] 年齡別 現飲酒率 推移(1989～1995)

3) 飲酒頻度

가) 地域・性・年齡別 飲酒頻度

지난 1개월간 飲酒頻度를 보면, 남자의 32.4%가 주 2회 이상 음주를 했으며 그 중 12.2%는 거의 매일 음주한 것으로 나타났다. 지역별로 보면, 郡地域 居住者가 시지역 거주자보다 每日飲酒하는 비율이 높았으며 연령별로는 40대 이후의 매일음주율이 전체 평균(6.6%)보다 높게 나타났다(表 3-29 참조).

〈表 3-29〉 性・地域・年齡別 지난 1個月間 飮酒頻度

(單位: %)

| | 계(N) | 무음주 | 월 1회 이하 | 월 2~4회 | 주 2~4회 | 거의 매일 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 전체 | 100.0(6,480) | 68.6 | 2.2 | 11.4 | 11.2 | 6.6 |
| 성 | | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 49.2 | 2.2 | 16.2 | 19.8 | 12.6 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 86.5 | 2.2 | 7.0 | 3.3 | 1.0 |
| 지역 | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 67.4 | 2.4 | 12.6 | 11.7 | 6.0 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 73.3 | 1.5 | 7.0 | 9.6 | 8.6 |
| 연령 | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 90.4 | 1.7 | 4.8 | 2.3 | 0.8 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 60.7 | 3.6 | 18.1 | 14.2 | 3.4 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 63.5 | 2.7 | 13.3 | 14.9 | 5.6 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 64.8 | 1.4 | 10.5 | 13.7 | 9.6 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 72.1 | 1.2 | 7.6 | 7.3 | 11.8 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 76.3 | 1.5 | 5.7 | 6.2 | 10.2 |

나) 性・年齡別 飮酒頻度

성・연령별 음주빈도를 보면, 年齡이 增加함에 따라 無飮酒者와 每日飮酒者의 비율이 增加하는 傾向을 볼 수 있다. 매일 음주자는 50대에서 11.8%로 가장 높게 나타났으며 무음주자는 60대가 76.3%로 가장 높았다(表 3-30 참조).

〈表 3-30〉 年齡別 지난 1個月間 飮酒頻度

(單位: %)

| | 전체 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (6,480) | (763) | (1,431) | (1,609) | (1,192) | (922) | (563) |
| 월 1회 이하 | 2.2 | 1.7 | 3.6 | 2.7 | 1.4 | 1.2 | 1.5 |
| 월 2~4회 | 11.4 | 4.8 | 18.1 | 13.3 | 10.5 | 7.6 | 5.7 |
| 주 2~4회 | 11.2 | 2.3 | 14.2 | 14.9 | 13.7 | 7.3 | 6.2 |
| 거의 매일 | 6.6 | 0.8 | 3.4 | 5.6 | 9.6 | 11.8 | 10.2 |
| 무음주 | 68.6 | 90.4 | 60.7 | 63.5 | 64.8 | 72.1 | 76.3 |

성별 연령별로 지난 1개월간 飮酒頻度를 보면 남자 20대는 한 달에 2~4회 음주하는 비율(23.0%)이 가장 높은 반면에 30, 40대는 주 2~4회 음주하는 비율(각각 26.7%, 24.4%)이 가장 높았고 50대와 60대는 거의 매일 음주하는 비율(각각 22.3%, 21.5%)이 높았다. 남자의 每日飮酒率은 年齡이 增加함에 따라 높아졌다. 女子의 飮酒率은 20대가 가장 높았으며(26.4%) 20대 여성의 13.9%가 월 2~4회 음주하는 것으로 나타났다. 50대 여성의 2.0%가 거의 매일 음주를 한다는 점에 관심을 가져야 한다(表 3-31 참조).

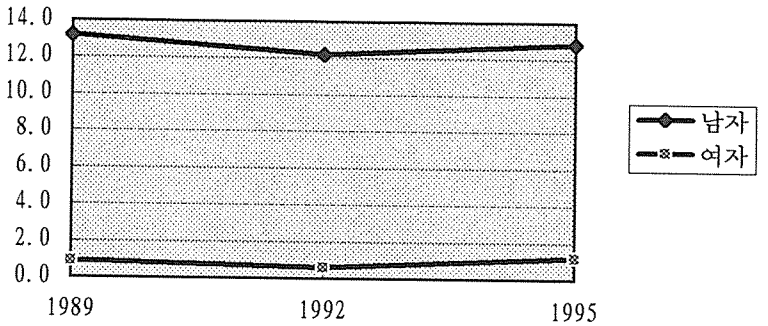
〈表 3-31〉 性·年齡別 지난 1個月間 飮酒頻度

(單位: %)

| | 남 자 | | | | | 여 자 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 월 1회 이하 | 월 2~4회 | 주 2~4회 | 거의 매일 | 무음주 | 월 1회 이하 | 월 2~4회 | 주 2~4회 | 거의 매일 | 무음주 |
| 전체 | 2.2 | 16.2 | 19.8 | 12.6 | 49.2 | 2.2 | 7.0 | 3.3 | 1.0 | 86.5 |
| 15~19세 | 2.8 | 5.4 | 4.3 | 1.6 | 85.9 | 0.7 | 4.2 | 0.5 | 0.1 | 94.4 |
| 20~29세 | 2.7 | 23.0 | 22.3 | 6.22 | 45.8 | 4.4 | 13.9 | 7.1 | 1.0 | 73.6 |
| 30~39세 | 2.0 | 19.1 | 26.7 | 10.9 | 41.3 | 3.3 | 7.7 | 3.4 | 0.5 | 85.2 |
| 40~49세 | 1.9 | 15.9 | 24.4 | 17.9 | 39.9 | 0.8 | 5.0 | 2.7 | 1.2 | 90.4 |
| 50~59세 | 1.6 | 13.1 | 14.6 | 22.3 | 48.4 | 0.8 | 2.6 | 0.6 | 2.0 | 94.0 |
| 60~69세 | 1.4 | 10.5 | 11.5 | 21.5 | 55.1 | 1.7 | 2.1 | 2.3 | 1.8 | 92.0 |

다) 每日飮酒率 推移(1989~1992)

1989~1995년간 매일음주자의 비율은 남녀 모두 거의 변화를 보이지 않고 있다. 동 기간 동안 음주율이 크게 떨어진 것과 대조적이다(圖 3-14, 附表 Ⅰ-95 참조)




〔圖 3-14〕 性別 每日飮酒率 推移(1989～1995)

每日飮酒率의 推移를 성, 연령별로 자세히 살펴보면 20, 30, 40대는 1989년에 비해 1992년에는 다소 낮아지는 경향을 보이다가 1995년에 다시 增加하는 현상을 보여주고 있다. 반면에 50대의 매일음주율은 거의 변화가 없었다. 연령별 남자의 매일음주율도 이와 비슷한 현상을 보여주었다(表 3-32 참조).

〈表 3-32〉 性・年齡別 每日飮酒率 推移(1989～1995)

(單位: %)

| | 전체 | | | 남자 | | | 여자 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1989 | 1992 | 1995 | 1989 | 1992 | 1995 | 1989 | 1992 | 1995 |
| 계 | 6.8 | 6.0 | 6.9 | 13.2 | 12.2 | 12.9 | 0.9 | 0.6 | 1.2 |
| 20～29세 | 2.4 | 1.5 | 3.4 | 4.9 | 3.7 | 6.2 | 0.7 | 0.1 | 1.0 |
| 30～39세 | 5.5 | 4.4 | 5.6 | 10.0 | 8.6 | 10.9 | 0.6 | 0.3 | 0.5 |
| 40～49세 | 10.6 | 8.5 | 9.6 | 20.0 | 16.9 | 17.9 | 1.4 | 0.7 | 1.2 |
| 50～59세 | 12.3 | 12.5 | 11.8 | 23.9 | 23.8 | 22.3 | 1.4 | 1.9 | 2.0 |

4) 飮酒始作年齡

음주를 시작하는 연령은 平均 23.6歲로 나타났다. 음주시작연령은 연령이 낮을수록 빨라졌다. 성별, 연령별로 음주시작연령을 살펴보면 男子는 全年齡層이 23歲 前後에 음주를 시작하였으나 女子는 연령이 增加할수록 飮酒始作年齡도 增加하여 40대는 34세, 50대와 60대는 40세 이후에 술을 마시기 시작한 것으로 나타났다. 음주시작연령은 성별 지역별로는 별 차이가 없었다(表 3-33 참조).

〈表 3-33〉 年齡·性·地域別 平均 飮酒始作年齡

(單位: 歲)

| | 전체 | 성 | | 지역 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 남자 | 여자 | 시지역 | 군지역 |
| 계 | 23.6 | 22.7 | 26.7 | 23.4 | 24.3 |
| 15~19세 | 17.3 | 17.1 | 17.8 | 17.3 | 17.7 |
| 20~29세 | 20.8 | 20.5 | 21.2 | 20.8 | 20.6 |
| 30~39세 | 23.6 | 22.8 | 26.9 | 23.6 | 23.3 |
| 40~49세 | 25.4 | 23.9 | 33.8 | 25.4 | 25.5 |
| 50~59세 | 27.2 | 25.4 | 40.9 | 27.5 | 26.7 |
| 60~69세 | 26.4 | 23.6 | 40.1 | 26.7 | 25.8 |

5) 즐겨 마시는 술

우리나라 국민은 주로 맥주와 소주를 즐겨 마시는 것으로 나타났다. 연령별로 보면 20대 이하는 맥주를 가장 즐겨 마시는 반면, 30대 이후는 소주를 가장 즐기는 것으로 나타났다. 특히 남자 음주자는 연령이 낮을수록 맥주를 즐기는 반면 연령이 증가할수록 소주를 즐기는 경향이 매우 뚜렷하였다. 여자는 60대를 제외한 전 연령층이 주로 맥주를 즐기는 것으로 나타났으나 60대 여자음주자의 약 절반 정도는 소주를 즐기는 것으로 나타났다(表 3-34 참조).

〈表 3-34〉 年齡別 現飲酒者의 즐겨 마시는 술

(單位: %)

| | 계 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (2,035) | (73) | (564) | (587) | (419) | (258) | (134) |
| 종류를 안가림 | 26.0 | 31.8 | 30.5 | 24.3 | 26.9 | 22.3 | 15.6 |
| 맥주 | 30.9 | 50.5 | 44.7 | 31.9 | 21.8 | 15.9 | 14.5 |
| 소주 | 36.5 | 17.7 | 22.8 | 41.2 | 41.9 | 48.0 | 44.6 |
| 막걸리 | 5.8 | - | 0.8 | 1.6 | 8.4 | 13.6 | 24.8 |
| 기타 | 0.9 | - | 2.0 | 0.9 | 0.9 | - | - |

5) 飮酒期間

현 음주기간을 보면 40대 음주자의 57.3%와 50대 음주자의 대부분(82.7%)이 20년 이상 음주를 한 것으로 나타났다(表 3-35 참조).

〈表 3-35〉 年齡別 現飲酒者의 飮酒期間

(單位: %)

| | 계 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (2,035) | (73) | (564) | (587) | (419) | (258) | (134) |
| 9년 이하 | 43.4 | 100.0 | 95.6 | 35.5 | 11.1 | 3.4 | 2.1 |
| (0~4년) | 26.0 | 100.0 | 62.5 | 12.5 | 4.5 | 1.4 | 1.0 |
| (5~9년) | 17.4 | - | 33.1 | 23.0 | 6.6 | 2.0 | 1.1 |
| 10~19년 | 26.7 | - | 4.3 | 60.8 | 31.6 | 14.0 | 4.9 |
| 20년 이상 | 29.9 | - | - | 3.6 | 57.3 | 82.7 | 32.0 |

6) 飮酒頻度

음주자의 飮酒頻度는 대부분(72.0%)이 월 2~4회(36.3%), 주 2~4회(35.7%)로 나타났고 1/5정도는 거의 매일 마시는 것으로 나타났다. 성, 지역별로 살펴보면, 郡地域 음주자가 市地域 음주자보다 음주빈도가 더 많았으며 여자 음주자에 비해 男子 음주자의 음주빈도가 훨씬 더 많았다(表 3-36 참조).

〈表 3-36〉 性·地域別 現飲酒者의 지난 1個月間 飲酒頻度

(單位: %)

| | 지역 | | | 성 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 전국 | 시지역 | 군지역 | 남자 | 여자 |
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (2,035) | (1,662) | (373) | (1,579) | (456) |
| 월 1회 이하 | 7.0 | 7.3 | 5.9 | 4.2 | 16.7 |
| 월 2~4회 | 36.3 | 38.6 | 26.1 | 31.9 | 51.4 |
| 주 2~4회 | 35.7 | 35.7 | 35.8 | 39.1 | 24.2 |
| 거의 매일 | 20.9 | 18.4 | 32.1 | 24.8 | 7.7 |

연령별로 多頻度 飲酒回數를 보면 15~19歲層과 20~29歲層은 월 2~4회 마시는 비율이 가장 높게 나타났고(각각 50.0%, 46.1%), 30, 40대는 주 2~4회 마시는 비율이 가장 높았으며(각각 40.9%, 38.8%), 50대와 60대 음주자는 거의 매일 마시는 비율(42.1%, 43.0%)이 가장 높게 나타나 연령이 증가할수록 음주빈도가 잦아지는 경향이 뚜렷했다(表 3-37 참조).

〈表 3-37〉 年齡別 現飲酒者의 지난 1個月間 飲酒頻度

(單位: %)

| | 계 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (2,035) | (73) | (564) | (587) | (419) | (258) | (134) |
| 월 1회 이하 | 7.0 | 17.6 | 9.1 | 7.3 | 3.9 | 4.2 | 6.6 |
| 월 2~4회 | 36.3 | 50.0 | 46.1 | 36.4 | 29.9 | 27.4 | 24.0 |
| 주 2~4회 | 35.7 | 24.1 | 36.1 | 40.9 | 38.8 | 26.3 | 26.4 |
| 거의 매일 | 20.9 | 8.3 | 8.7 | 15.3 | 27.4 | 42.1 | 43.0 |

7) 飲酒量

음주자의 1回 飲酒量은 2홉 소주 반 병(37.0%)과 2홉 소주 한 병(31.4%)을 마신다는 비율이 가장 높았으며 군지역에 비해 시지역 음

주자의 음주량이 다소 더 많았고 여자에 비해 남자 음주자의 1회 음주량이 훨씬 더 많았다(表 3-38 참조).

〈表 3-38〉 性·地域別 現飮酒者의 지난 1個月間 1回 飮酒量

(單位: %)

| | 지역 | | | 성 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 전국 | 시지역 | 군지역 | 남자 | 여자 |
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (2,035) | (1,662) | (373) | (1,579) | (456) |
| 소주 1~2잔 | 21.5 | 20.5 | 26.4 | 14.1 | 47.9 |
| 2홉 소주 반 병 | 37.0 | 37.0 | 36.5 | 36.9 | 37.0 |
| 2홉 소주 한 병 | 31.4 | 32.6 | 25.9 | 36.9 | 11.8 |
| 2홉 소주 2병 | 7.0 | 7.2 | 6.5 | 8.4 | 2.4 |
| 2홉 소주 3병 이상 | 3.1 | 2.7 | 4.7 | 3.7 | 0.9 |

1회 음주량을 음주자의 연령별로 보면 15~19세 靑少年層 음주자의 21.8%가 2홉 소주 2병을 마시는 것으로 나타나 他年齡層에 비하여 현저하게 높았다(表 3-39 참조).

〈表 3-39〉 年齡別 現飮酒者의 지난 1個月間 1回 飮酒量

(單位: %)

| | 계 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (2,035) | (73) | (564) | (587) | (419) | (258) | (134) |
| 소주 1~2잔 | 21.5 | 10.0 | 17.8 | 18.9 | 21.7 | 31.4 | 36.0 |
| 2홉 소주 반 병 | 37.5 | 39.6 | 40.6 | 39.2 | 36.1 | 30.5 | 25.5 |
| 2홉 소주 한 병 | 31.4 | 28.6 | 33.4 | 30.7 | 32.1 | 28.2 | 31.8 |
| 2홉 소주 2병 | 7.0 | 16.2 | 5.5 | 8.7 | 6.2 | 7.3 | 3.2 |
| 2홉 소주 3병 이상 | 3.0 | 5.6 | 2.6 | 2.6 | 3.9 | 2.6 | 3.5 |

8) 過飲實態

가) 過飲頻度

過飲頻度는 현 음주자에게 '지난 1년간 몸을 가눌 수 없을 정도로 과음한 횟수'를 질문하여 파악하였다. 전체 음주자의 4.8%, 군지역 음주자의 8.1%, 남자 음주자의 5.8%가 주 1회 이상 과음한 것으로 나타났다(表 3-40 참조).

〈表 3-40〉 性·地域別 現飲酒者의 過飲頻度

(單位: %)

| | 지역 | | | 성 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 전국 | 시지역 | 군지역 | 남자 | 여자 |
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (2,035) | (1,662) | (373) | (1,579) | (456) |
| 없음 | 39.5 | 39.3 | 40.4 | 31.9 | 65.6 |
| 1년에 3회 이내 | 28.2 | 29.3 | 23.7 | 29.8 | 22.8 |
| 3개월에 1~3회 | 15.7 | 16.0 | 14.5 | 18.9 | 4.7 |
| 1개월에 1~3회 | 11.8 | 11.4 | 13.3 | 13.6 | 5.3 |
| 주 1회 이상 | 4.8 | 4.1 | 8.1 | 5.8 | 1.6 |

現飲酒者의 年齡別 過飲頻度를 살펴보면, 60대의 10.0%, 40대의 6.2%가 주 1회 이상 과음한 것으로 나타났다. 특히 15~19歲 飲酒者의 5.1%가 주 1회 이상 과음했다는 점이 주목된다(表 3-41 참조).

〈表 3-41〉 年齡別 現飲酒者의 지난 1年間 過飲頻度

(單位: %)

| | 계 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (2,035) | (73) | (564) | (587) | (419) | (258) | (134) |
| 없음 | 39.5 | 54.5 | 42.2 | 34.9 | 37.7 | 33.7 | 56.9 |
| 1년 3회 이내 | 28.2 | 27.6 | 27.0 | 31.2 | 29.3 | 28.6 | 16.7 |
| 3개월에 1~3회 | 15.7 | 7.9 | 16.3 | 18.0 | 13.5 | 18.2 | 9.6 |
| 1개월에 1~3회 | 11.8 | 4.9 | 11.0 | 12.0 | 13.3 | 14.9 | 6.8 |
| 주 1회 이상 | 4.8 | 5.1 | 3.5 | 3.9 | 6.2 | 4.7 | 10.0 |

성별 연령별 과음빈도를 살펴보면, 타연령층에 비해 주 1회 이상 과음경험이 15~19세(6.4%)와 60대 남자 음주자(11.8%)에서 특히 높게 나타난 점이 매우 주목된다. 여자 음주자 중에는 60대 이상이 주 1회 이상 과음빈도가 높게 나타났다(表 3-42 참조).

〈表 3-42〉 性·年齡別 現飲酒者의 지난 1年間 過飲頻度

(單位: %)

| | 전체 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 남자 | (1,579) | (51) | (362) | (466) | (362) | (229) | (108) |
| 없음 | 31.9 | 63.4 | 31.2 | 25.9 | 32.9 | 27.7 | 50.4 |
| 1년 3회 이내 | 29.8 | 15.7 | 29.6 | 33.1 | 30.5 | 30.7 | 18.8 |
| 3개월에 1~3회 | 18.9 | 11.3 | 22.0 | 21.4 | 15.0 | 19.9 | 11.9 |
| 1개월에 1~3회 | 13.6 | 3.2 | 13.0 | 14.8 | 14.4 | 16.7 | 7.0 |
| 주 1회 이상 | 5.8 | 6.4 | 4.2 | 4.7 | 7.2 | 5.0 | 11.8 |
| 여자 | (456) | (22) | (202) | (121) | (57) | (29) | (26) |
| 없음 | 65.6 | 33.9 | 61.7 | 69.6 | 68.1 | 80.6 | 83.3 |
| 1년 3회 이내 | 22.8 | 54.9 | 22.4 | 23.7 | 21.8 | 12.0 | 8.2 |
| 3개월에 1~3회 | 4.7 | - | 6.1 | 4.7 | 3.5 | 4.5 | - |
| 1개월에 1~3회 | 5.3 | 9.0 | 7.3 | 1.5 | 6.5 | 0.9 | 5.8 |
| 주 1회 이상 | 1.6 | 2.2 | 2.4 | 0.6 | - | 2.0 | 2.6 |

나) 過飲時 飲酒量

과음시 음주량을 지역별 성별로 보면 지역별로 음주량에 큰 차이가 없었으며 성별로만 큰 차이를 보여주었다(表 3-43 참조).

〈表 3-43〉 性·地域別 現飲酒者의 過飲時 飲酒量

(單位: %)

| | 지역 | | | 성 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 전국 | 시지역 | 군지역 | 남자 | 여자 |
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (1,173) | (973) | (200) | (1,021) | (152) |
| 2홉 소주 반 병 | 4.9 | 4.5 | 6.9 | 3.1 | 17.1 |
| 2홉 소주 1병 | 25.2 | 25.4 | 24.4 | 21.0 | 53.3 |
| 2홉 소주 2~3병 | 53.9 | 54.5 | 50.9 | 58.3 | 24.4 |
| 2홉 소주 4~5병 | 11.4 | 11.2 | 12.4 | 12.7 | 2.6 |
| 2홉 소주 6병 이상 | 4.6 | 4.4 | 5.4 | 4.9 | 2.6 |

다) 年齡別 過飮時 飮酒量

현음주자의 연령별 과음시 음주량을 보면 15~19세 음주자의 음주량이 현저하게 많은 것을 볼 수 있다. 이 연령층의 40.7%가 과음시 2홉 소주 4병 이상을 마시며 18.1%가 과음시 2홉 소주 6병 이상을 마시는 것으로 나타났다(表 3-44 참조).

〈表 3-44〉 年齡別 現飮酒者의 過飮時 飮酒量

(單位: %)

| | 계 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (1,173) | (33) | (305) | (367) | (253) | (159) | (55) |
| 2홉 소주 반 병 | 5.0 | 1.7 | 4.5 | 3.6 | 4.7 | 9.4 | 7.2 |
| 2홉 소주 1병 | 25.1 | 22.7 | 25.6 | 26.9 | 21.8 | 23.2 | 33.2 |
| 2홉 소주 2~3병 | 53.9 | 34.9 | 53.4 | 55.0 | 55.6 | 54.1 | 51.5 |
| 2홉 소주 4~5병 | 11.5 | 22.6 | 10.6 | 11.0 | 14.0 | 9.6 | 6.2 |
| 2홉 소주 6병 이상 | 4.6 | 18.1 | 5.9 | 3.4 | 3.9 | 3.7 | 1.8 |

성, 연령별로 과음시 음주량을 살펴본 결과 15~19세 靑少年의 飮酒行態에 問題가 있는 것으로 나타났다. 즉, 15~19세 남자 음주자의 62.2%가 과음시 2홉 소주 4병 이상을 마시며 2홉 소주 6병 이상을 마신다는 비율도 21.9%나 되었고 여성의 경우도 15~19세의 여자음주자의 과음시 음주량이 2홉 소주 6병 이상이라는 비율이 13.3%나 되었다. 이와 같은 음주빈도, 과음빈도, 과음시 음주량 등의 음주 행태로 볼 때 매우 危險集團에 속한다고 하겠다. 음주가 社會的으로 許容되지 않는 이 시기(15~19세)의 음주는 非行次元에서 다루어져야 함을 암시하고 있다고 하겠다(表 3-45 참조).

〈表 3-45〉 性·年齡別 지난 1年間 現飮酒者의 過飮時 飮酒量

(單位: %)

| | 전체 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 남자 | (1,021) | (19) | (230) | (331) | (237) | (153) | (51) |
| 2홉 소주 반 병 | 3.1 | 3.1 | 1.0 | 1.7 | 2.8 | 8.5 | 7.8 |
| 2홉 소주 1병 | 21.0 | 4.1 | 15.0 | 24.3 | 21.1 | 21.6 | 30.0 |
| 2홉 소주 2~3병 | 58.3 | 30.6 | 64.4 | 58.0 | 57.0 | 56.1 | 54.8 |
| 2홉 소주 4~5병 | 12.8 | 40.3 | 12.6 | 12.2 | 15.0 | 9.9 | 5.5 |
| 2홉 소주 6병 이상 | 4.9 | 21.9 | 7.0 | 3.8 | 4.2 | 3.9 | 2.0 |
| 여자 | (152) | (15) | (75) | (36) | (16) | (6) | (4) |
| 2홉 소주 반 병 | 17.2 | - | 15.4 | 21.0 | 31.9 | 33.7 | - |
| 2홉 소주 1병 | 53.3 | 46.4 | 58.2 | 51.3 | 32.2 | 66.3 | 71.0 |
| 2홉 소주 2~3병 | 24.3 | 40.3 | 19.4 | 27.7 | 35.9 | - | 13.5 |
| 2홉 소주 4~5병 | 2.6 | - | 4.4 | - | - | - | 15.5 |
| 2홉 소주 6병 이상 | 2.6 | 13.3 | 2.6 | - | - | - | - |

9) 節酒 및 禁酒 試圖率

현 음주자중 節酒나 禁酒를 시도한 적이 있다고 응답한 비율은 38.9%로 나타났다. 성별로 보면 남자 음주자가 여자 음주자 보다 절주나 금주를 시도한 비율이 높게 나타났다(각각 44.5%, 19.2%). 지역별로는 郡地域 居住者가 시지역 거주자보다 禁酒試圖率이 높게 나타났다. 연령별는 40대와 50대의 금주시도율이 각각 47.6%와 47.3%로 가장 높았다. 성 및 지역별로 현음주자의 금주시도율을 보면 금주시도율이 가장 높은 집단은 40대와 50대 남자로서 각각 51.5%, 50.6%로 나타났다. 이들 40대와 50대 남자의 경우는 군지역 거주자보다 시지역 거주자의 금주시도율이 더 높았다. 분명한 이유는 알 수 없다 하더라도 이 집단이 禁酒의 必要性을 스스로 가장 느끼고 있는 集團임은 틀림없다(表 3-46 참조).

〈表 3-46〉 性・地域・年齡別 現飲酒者의 禁酒試圖率[1)]

(單位: %)

| | 전체 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (2,035) | (73) | (564) | (587) | (419) | (258) | (134) |
| 전체 | 38.9 | 18.3 | 31.7 | 39.2 | 47.6 | 47.3 | 35.4 |
| 성 | | | | | | | |
| 남자 | 44.5 | 15.2 | 39.9 | 43.8 | 51.5 | 50.6 | 40.6 |
| 여자 | 19.2 | 26.9 | 16.9 | 20.5 | 22.9 | 22.3 | 14.2 |
| 지역 | | | | | | | |
| 시지역 | 38.1 | 20.4 | 30.5 | 39.4 | 48.1 | 49.5 | 24.7 |
| 군지역 | 42.2 | - | 40.5 | 37.5 | 45.6 | 42.6 | 50.2 |

註: 1) (금주시도자 ÷ 현 음주자) × 100

10) 禁酒者 實態(過去 飲酒者 實態)

과거에는 술을 마셨으나 현재 마시지 않는 408명의 禁酒者를 대상으로 술을 끊은 주된 理由를 질문한 결과 대부분(69.4%)이 '건강이 나빠져서' 또는 '건강에 해가 될까봐'라는 등 健康上의 理由를 들었다. 특히 남자 금주자의 40.3%는 이미 건강이 나빠져서 금주한 것으로 나타났으며 32.7%는 健康에 害가 될까봐 금주를 한 것으로 나타났으며, 여자 금주자는 주로(45.1%) 健康에 害가 될까봐 금주한 것으로 나타났다. 지역별로 보면 건강이 나빠져서 금주한 비율은 군지역 거주자(44.9%)가 시지역 거주자(29.3%)보다 높았다. 연령별로 보면 50대와 60대는 건강이 나빠져서 금주한 경우가 가장 많았고 30대와 40대는 건강에 해가 될까봐 금주한 경우가 가장 높게 나타났다. 이와 같은 현상으로부터 飲酒로 인한 健康上의 問題가 30~40대에 시작되어 50~60대에 발병이 됨을 유추할 수 있다(表 3-47 참조).

〈表 3-47〉 性·地域別 過去 飮酒者의 禁酒 理由

(單位: %)

| | 계(N) | 건강이 나빠져서 | 건강에 해가 될까봐 | 경제적 이유 | 종교적 이유 | 타인의 권유 | 기타 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 전체 | 100.0(418) | 32.7 | 36.7 | 2.1 | 13.2 | 5.0 | 10.3 |
| 성 | | | | | | | |
| 남자 | 100.0(275) | 40.3 | 32.7 | 1.8 | 14.8 | 5.2 | 5.2 |
| 여자 | 100.0(143) | 17.1 | 45.1 | 2.7 | 9.7 | 4.4 | 20.9 |
| 지역 | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(326) | 29.3 | 36.6 | 2.1 | 14.9 | 5.1 | 11.9 |
| 군지역 | 100.0( 92) | 44.9 | 37.0 | 1.9 | 6.8 | 4.6 | 4.8 |
| 연령 | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 29) | 7.3 | 70.0 | - | - | 9.7 | 12.9 |
| 20~29세 | 100.0(125) | 25.0 | 31.4 | 2.1 | 14.8 | 6.3 | 20.4 |
| 30~39세 | 100.0( 82) | 28.5 | 43.8 | 5.6 | 11.3 | 3.7 | 7.0 |
| 40~49세 | 100.0( 64) | 23.6 | 43.0 | 0.7 | 21.9 | 6.3 | 4.6 |
| 50~59세 | 100.0( 63) | 56.6 | 19.2 | - | 18.9 | 3.7 | 1.6 |
| 60~69세 | 100.0( 55) | 51.9 | 34.7 | 1.7 | 1.9 | 1.7 | 8.0 |

11) 알코올依存 實態

適切한 飮酒는 오히려 健康에 效果的일 수 있다는 연구들도 많은 반면에 지나친 음주, 특히 알코올중독은 癌, 肝疾患, 中樞神經系疾患, 事故의 위험을 높여주는 것으로 널리 알려져 있다. 알코올중독은 健康問題인 동시에 家庭的 社會的인 問題를 야기하고 있어 이에 대한 對策이 時急한 分野이다. 社會調査(survey)를 통해 알코올중독을 측정하기 위한 조사도구에는 미국 國立精神保健硏究院에서 개발한 DIS(Diagnostic Interview Schedule)를 비롯하여 미시간 대학에서 개발한 MAST (Michigan Alcoholism Screening Test) 등 여러 가지가 있으나 본 연구에서는 가장 간편하게 알코올중독을 판별할 수 있는 CAGE(Cut, Annoyed, Guilty, Eye Opener 의 첫 글자를 따서 만든 낱말) 문항을 사용하였다. CAGE 의 네 가지 질문 중에서 두 가지 이상에 '예'로 답하면 의존으로 본다(附錄 Ⅳ. 調査票 30-1부터 30-4까지의 문항 참조).

가) 性・地域・年齡別 알코올依存의 程度

CAGE 의 네 가지 질문 중에서 두 가지 이상에 '예'로 답한 알코올의존자는 9.9%로 나타났으며 남자(18.8%)가 여자(1.6%)에 비해 훨씬 높게 나타났다. 지역별로는 시지역(9.7%)에 비해 군지역(10.7%)이 다소 높았다. 이는 미국 ECA 조사자료인 New Haven(11.5%)과 St. Louis(15.7%)와 비교하면 다소 낮은 수준이다. 그러나 이정균 등(이정균 등, 1985)의 조사결과(서울, 21.8%; 농촌, 22.4%)와 비교하면 매우 큰 차이가 있다[7](表 3-48 참조).

〈表 3-48〉 性・地域別 알코올依存의 程度

(單位: %)

| | 계(N) | 없음[1] | 미미함[2] | 보통[3] | 심각[4] | 매우 심각[5] |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 전체 | 100.0(6,480) | 81.4 | 8.7 | 5.6 | 3.1 | 1.2 |
| 성 | | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 66.0 | 15.2 | 10.5 | 5.9 | 2.4 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 95.7 | 2.7 | 1.1 | 0.5 | 0.1 |
| 지역 | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 81.2 | 9.2 | 5.7 | 2.8 | 1.2 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 82.5 | 6.8 | 5.4 | 4.0 | 1.3 |

註: 1) 무음주자와 CAGE 문항 네 개를 모두 아니오로 체크한 사람
2) CAGE (1+), 3) CAGE (2+), 4) CAGE (3+), 5) CAGE (4+)

〈表 3-49〉는 현음주자의 알코올의존 정도를 나타내고 있다. 현재 음주를 하고 있는 사람 중 32.0%가 알코올의존의 문제(CAGE 2+ 이상)를 지니고 있는 것으로 나타났다. 음주자의 알코올의존의 정도는 연령이 증가할수록 높아지는 경향을 보이다 60대에서 감소하였다. 40대와 50대 음주자가 각각 40.1%, 40.7%로서 알코올의존의 정도가 가장 높은 집단으로 나타났다(表 3-49 참조).

7) 미국 ECA와 이정균 등은 연구도구로 DIS를 사용하였으므로 이와 같은 차이는 연구도구의 차이에서 비롯된 것일 수 있음.

〈表 3-49〉 年齡別 現飮酒者의 알코올依存의 程度

(單位: %)

| | 계(N) | 없음[1] | 미미함[2] | 보통[3] | 심각[4] | 매우 심각[5] |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 전체 | 100.0(2,035) | 40.1 | 27.9 | 18.1 | 10.0 | 3.9 |
| 15~19세 | 100.0( 73) | 56.3 | 20.0 | 19.7 | 4.0 | - |
| 20~29세 | 100.0( 564) | 49.3 | 27.7 | 16.8 | 4.9 | 1.3 |
| 30~39세 | 100.0( 587) | 41.3 | 27.1 | 15.8 | 12.2 | 3.4 |
| 40~49세 | 100.0( 419) | 33.2 | 26.7 | 22.2 | 13.1 | 4.8 |
| 50~59세 | 100.0( 258) | 27.8 | 31.5 | 19.8 | 11.3 | 9.6 |
| 60~69세 | 100.0( 134) | 32.1 | 33.9 | 16.3 | 12.1 | 5.6 |

註: 1) 무음주자와 CAGE 문항 네 개를 모두 아니오로 체크한 사람
2) CAGE (1+), 3) CAGE (2+), 4) CAGE (3+), 5) CAGE (4+)

알코올의존의 정도와 心理的 狀態와의 관계를 살펴보면, 주위사람들로부터 사랑을 받고 있지 못하다는 사람일수록 알코올의존의 정도가 컸다. 또한 현재 자신의 생활과 삶에 대해 불만족하다고 느낄수록 알코올의존의 정도가 높았다(表 3-50 참조).

〈表 3-50〉 心理的 狀態와 알코올依存의 程度

(單位: %)

| | 계(N) | 없음[1] | 미미함[2] | 보통[3] | 심각[4] | 매우 심각[5] |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 전체 | 100.0(5,967)[6] | 81.4 | 8.7 | 5.7 | 3.0 | 1.2 |
| 사랑받고 있다는 느낌 | | | | | | |
| 못 받고 있음 | 100.0( 165) | 78.2 | 7.2 | 7.1 | 6.4 | 1.0 |
| 그저 그렇다 | 100.0(2,299) | 78.7 | 9.3 | 5.9 | 4.2 | 1.9 |
| 받고 있음 | 100.0(2,847) | 82.3 | 8.8 | 5.9 | 2.1 | 0.9 |
| 매우 받고 있음 | 100.0( 656) | 87.7 | 6.3 | 4.0 | 1.4 | 0.6 |
| 삶에 대한 만족도 | | 81.3 | 8.7 | 5.7 | 3.0 | 1.2 |
| 대체로 불만족 | 100.0(1,093) | 77.8 | 8.8 | 6.5 | 5.0 | 1.9 |
| 그저 그렇다 | 100.0(2,161) | 78.7 | 10.2 | 6.6 | 3.3 | 1.3 |
| 대체로 만족 | 100.0(1,907) | 83.9 | 7.5 | 5.7 | 2.0 | 0.9 |
| 아주 행복 | 100.0( 806) | 86.9 | 7.3 | 2.6 | 2.0 | 1.2 |

註: 1) 무음주자와 CAGE 문항 네 개를 모두 아니오로 체크한 사람
2) CAGE (1+), 3) CAGE (2+), 4) CAGE (3+), 5) CAGE (4+)
6) 무응답 513명 제외

## 다. 肥滿 및 體重調節

### 1) 身長 및 體重

본 조사에서 身長과 體重은 조사 대상자가 陳述하는 대로 조사원이 받아 적었다. 그러나 이 수치는 거의 동기간에 대규모 표본을 대상으로 實際로 測定한 數値[8]와 거의 일치하였다(表 3-51 참조).

〈表 3-51〉 年齡別 體位(身長 및 體重) 基準値의 實 計測値와 同 調査結果의 比較

| 연령 | 신장(cm) | | | | 체중(kg) | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 남자 | | 여자 | | 남자 | | 여자 | |
| | 실계측치 | 본조사 | 실계측치 | 본조사 | 실계측치 | 본조사 | 실계측치 | 본조사 |
| 15~19 | 172 | 172 | 160 | 161 | 63 | 61 | 54 | 52 |
| 20~29 | 172 | 173 | 160 | 160 | 66 | 66 | 53 | 52 |
| 30~39 | 170 | 171 | 158 | 159 | 67 | 67 | 55 | 55 |
| 40~49 | 170 | 169 | 158 | 158 | 67 | 68 | 55 | 57 |
| 50~59 | 168 | 169 | 157 | 157 | 64 | 67 | 57 | 57 |
| 60~69 | - | 168 | - | 156 | - | 61 | - | 55 |

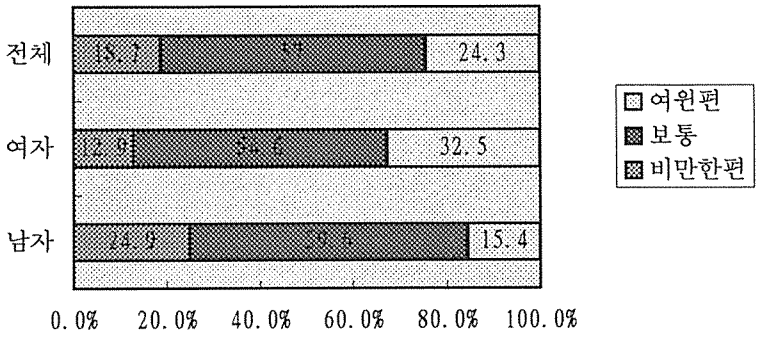
資料: 박순영, 「한국인의 체위기준치에 관한 연구」, 1995년도 학술발표회 연구논문 초록집, 한국보건교육학회, 1995, p.18.

### 2) 主觀的 體重認識

전체의 24.3%가 연령과 신장을 감안할 때 자신의 체중을 肥滿한 편이라고 응답하였으며 여윈 편이라고 응답한 경우는 18.7%였다. 자신을 비만한 편이라고 응답한 경우는 都市居住者와 女性에서 두드러졌다(圖 3-15 참조).

---

8) 1994년 3월 1일부터 8월 31일까지 6개월간 한국인의 영양권장량 제시를 위해 전국에서 표본으로 추출한 33,883명에 대해 측정자가 직접 측정한 수치임.




〔圖 3-15〕 性別 主觀的 體重認識

3) BMI(Body Mass Index) 指數에 의한 過多體重 與否

본 연구에서 過多體重의 程度는 조사대상자 자신이 主觀的으로 評價한 過多體重의 정도와 신장에 대한 체중의 비로 계산하여 산출한 BMI 指數[9]에 의해 評價하였다. BMI 指數에 의한 과다체중률은 남자의 16.7%와 여자의 11.0%가 해당되었다(表 3-52 참조).

BMI에 의한 과다체중정도는 지역별로는 별 차이가 없었으나 연령별로는 年齡이 增加할 수록 增加하는 경향을 보이다가 60대에서 다소 감소되었다. 또한 家口所得水準이 增加할수록 過多體重程度도 增加하였으며 慢性疾患이 있는 경우의 過多體重程度는 없는 경우에 비해 훨씬 높았다.

9) BMI = 체중(kg)÷신장(m)$^2$으로서 보편적으로 25 이상인 경우에 과다체중으로 간주한다. 이 연구에서 과다체중의 기준도 BMI가 25 이상인 경우로 정하였다.

〈表 3-52〉 諸特性別 BMI에 의한 過多體重率[1)]

| | 과다체중률(%) | | 과다체중률(%) |
|---|---|---|---|
| 전 체 | 13.9 | | |
| 성 | | 만성질환 | |
| 남자 | 16.7 | 있음 | 12.1 |
| 여자 | 11.0 | 없음 | 19.6 |
| 연령 | | 가구소득수준(월평균) | |
| 15~19세 | 5.4 | 50만원 이하 | 11.8 |
| 20~29세 | 8.0 | 51~100만원 | 13.6 |
| 30~39세 | 15.0 | 101~150만원 | 13.9 |
| 40~49세 | 21.1 | 151~200만원 | 14.1 |
| 50~59세 | 19.6 | 201만원 이상 | 15.4 |
| 60~69세 | 15.1 | | |

註: 1) BMI = {체중(kg)÷신장(m)$^2$}가 25 이상인 사람의 비율

성별 연령별로 BMI에 의한 過多體重率을 보면 과다체중률이 가장 높은 집단은 남자 40대(24.0%)와 여자 50대(20.7%)와 60대(20.6%)로 나타났다. 연령별 지역별로 과다체중률을 보면 15~19歲와 60代는 市地域 거주자가 과다체중률이 높았으나 20대, 30대, 40대는 군지역 거주자의 과다체중률이 높았다(表 3-53 참조).

〈表 3-53〉 年齡·性·地域別 BMI에 의한 過多體重率

(單位: %)

| | 계 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (N) | (6,480) | (763) | (1,431) | (1,609) | (1,192) | (922) | (563) |
| 전체 | 13.9 | 5.4 | 8.0 | 15.0 | 21.1 | 19.6 | 15.1 |
| 성 | | | | | | | |
| 남자 | 16.7 | 8.0 | 13.0 | 19.2 | 24.0 | 18.6 | 10.1 |
| 여자 | 11.0 | 3.0 | 3.5 | 10.7 | 17.9 | 20.7 | 20.6 |
| 지역 | | | | | | | |
| 시지역 | 13.6 | 6.2 | 7.6 | 14.2 | 20.8 | 19.7 | 17.1 |
| 군지역 | 14.9 | 2.6 | 10.3 | 19.1 | 22.3 | 19.2 | 11.2 |

4) 지난 1年間 體重調節 與否

조사 대상자의 약 1/4정도가 지난 1년간 원하는 몸무게가 되기 위해 體重調節을 했었던 것으로 나타났으며 사회경제적 특성별로 보면 市地域 居住者, 女性, 敎育水準이 높을수록, 月家口所得水準이 높을 수록 體重調節 實踐率이 높게 나타났다(表 3-54 참조).

특히 10대와 20대 여성은 40% 이상이 지난 1년간 체중조절을 해 보았던 것으로 나타났으며 연령이 증가할수록 體重調節 實踐率은 낮아졌다. 연령별 지역별로 보면 거의 전연령층에서 시지역 거주자가 군지역 거주자보다 體重調節을 하는 비율이 높게 나타났다(表 3-54 참조).

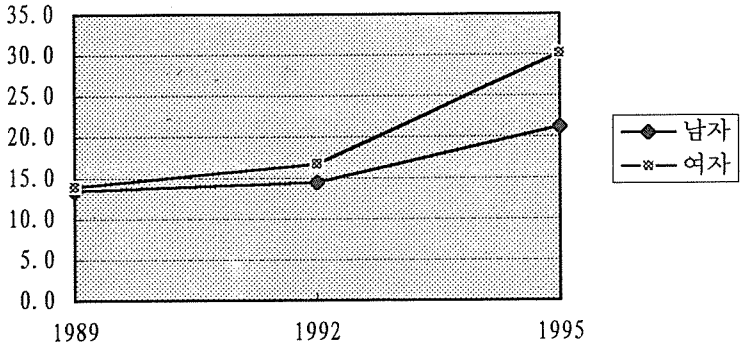
〈表 3-54〉 年齡·性·地域別 體重調節 實踐率

(單位: %)

| | 계 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (N) | (6,480) | (763) | (1,431) | (1,609) | (1,192) | (922) | (563) |
| 전체 | 25.2 | 31.8 | 32.7 | 26.0 | 22.8 | 18.9 | 10.0 |
| 성 | | | | | | | |
| 남자 | 20.0 | 18.9 | 24.3 | 22.1 | 21.3 | 14.9 | 9.6 |
| 여자 | 29.9 | 43.4 | 40.0 | 29.7 | 24.3 | 22.7 | 10.4 |
| 지역 | | | | | | | |
| 시지역 | 27.3 | 34.3 | 32.5 | 26.5 | 24.4 | 22.9 | 13.5 |
| 군지역 | 17.5 | 22.8 | 33.9 | 21.2 | 16.7 | 10.7 | 4.8 |

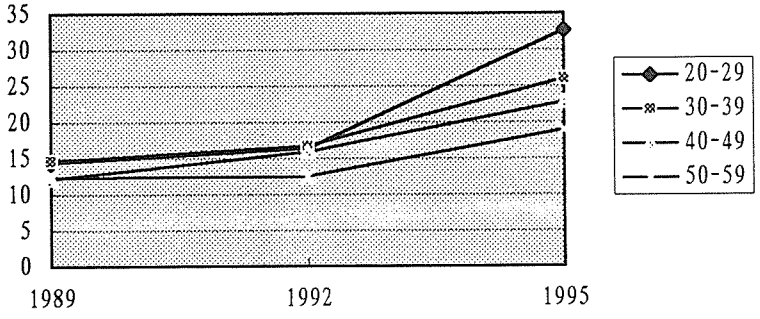
5) 體重調節 實踐率 推移

體重調節 實踐率의 年度別 推移를 보면 남녀 모두 1989년에 비해 꾸준히 증가하였으며 1992年과 1995年 사이에 특히 急增한 것으로 나타났다(圖 3-16, 附表 Ⅰ-97 참조).




〔圖 3-16〕 性別 體重調節 實踐率 推移(1989～1995)

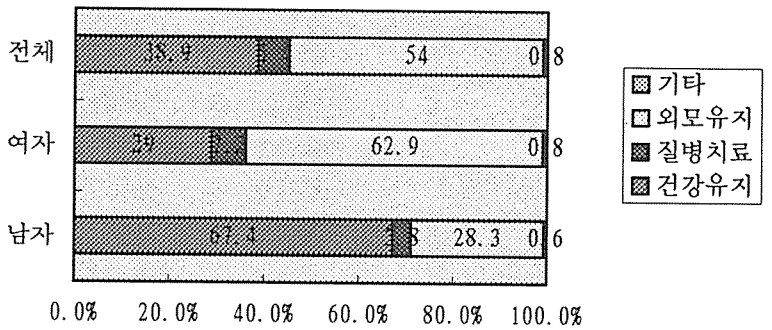
연령별로는 20대와 30대의 체중조절 실천율이 1992년 이후 크게 증가 하고 있음을 보여주었다(圖 3-17, 附表 Ⅰ-97 참조).




〔圖 3-17〕 年齡別 體重調節 實踐率 推移(1989～1995)

6) 體重調節 理由

체중을 줄이기 위한 주된 理由는 성별로 큰 차이를 나타냈는데 男子는 주로(67.4%) 健康維持를 위해 체중조절을 한 반면, 女子는 주로(62.9%) 外貌管理를 위해 체중조절을 한 것으로 나타났다(圖 3-18 참조).



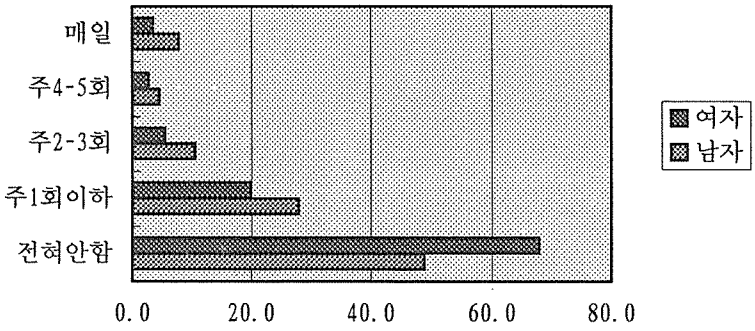

〔圖 3-18〕 性別 體重調節 理由

라. 運 動

1) 運動頻度

운동이 健康에 效果的이기 위해서는 그 운동으로 인해 땀이 나고 숨이 가쁘게 되어야 한다는 등 運動의 强度가 중요시된다. 일반적으로 최소 일주일에 3번 이상, 30분 이상 운동을 해야 효과가 있다. 본 연구에서는 운동에 관한 질문을 땀에 젖고 숨이 가쁜 운동에 한정하였는데, 조사대상자의 58.8%가 평소에 운동을 전혀 하지 않는다고 응답하였으며 주 1회 이상 운동하는 경우는 불과 24.1%에 지나지 않았다. 운동을 전혀 하지 않는다는 비율은 시지역(55.0%) 보다 郡地域 거주자(72.7%)가, 남자(48.9%) 보다 여자(68.0%)에게서 높게 나타났고 年齡

이 增加할수록 높았다. 職業別로는 專門·行政·管理職(43.1%)이나 事務, 販賣職(45.5%, 59.5%)에 비해 농어업(89.6%), 기능직(57.8%), 단순노무직(75.7%)이 평소에 운동을 전혀 하지 않는 비율이 높았다. 직업별 운동여부의 차이는 일상생활에서 하는 肉體的인 일의 程度와 밀접한 관련성이 있을 것으로 추측된다. 또한 月家口所得水準이 낮을수록 평소에 운동을 전혀 하지 않은 비율이 높은데 이 또한 평소 하는 육체적인 일의 정도와 관련성이 있을 것으로 추측된다(圖 3-19, 附表 Ⅰ-14 참조).




〔圖 3-19〕 性別 平素 運動 頻度

2) 肉體的인 일의 程度

육체적인 일의 정도는 17.0%가 전혀 하지 않는 편이다라고 응답하였다. 일상생활에서 육체적인 일을 전혀 하지 않는 편이라고 응답한 경우는 시지역(18.6%)이 군지역(11.4%)보다 높았고 여자(15.3%)보다 남자(19.0%)가 높았다. 직업별로는 역시 전문·행정·관리직(30.0%)과 사무직(30.6%)이 육체적인 일을 전혀 하지 않는 편이라는 경우가 많았다. 육체적인 일을 하지 않는 사람이 그렇지 않은 사람보다 心血管疾患의 危險度가 높다는 데에서 평소에 하는 肉體的인 일의 程度는 意味를 지닌다(附表 Ⅰ-15 참조).

3) 平素 健康維持方法

平素 健康維持를 위해 주로 사용하는 방법은 運動이 24.5%로 가장 많았으며 다음이 食事調節로 13.9%가 사용하였고 沐浴(10.4%)이 세 번째로 나타났다. 평소 건강유지방법으로 아무 것도 하지 않는다는 경우도 조사대상자의 41.0%나 되었다(附表 Ⅰ-16 참조).

마. 食習慣 實態

아침식사를 거르거나 不規則한 食習慣이 身體的 健康과 死亡의 危險을 增加시키며 그밖에 過食과 間食與否, 食性, 肉·菜食 選好度 등이 건강과 밀접하게 관련되어 있음(Breslow, 1980)을 감안하여 이들 변수에 대한 실태를 파악하였다.

1) 아침食事 및 規則的 食事 與否

아침식사를 거르는(가끔 먹음 또는 안 먹음) 사람이 34.2%나 되며 연령이 낮아질수록 아침식사를 거르는 비율이 높아져 10대와 20대는 약 절반 가량(각각 49.1%, 51.9%)이 아침식사를 거르는 것으로 나타났다. 아침식사를 거르는 비율은 군지역 거주자에 비해 시지역 거주자가, 남자보다 여자가 높게 나타났다(表 3-55 참조).

평소 하루 세끼 식사를 규칙적으로 하고 있는 사람은 조사대상자의 약 절반 정도(53.0%)에 지나지 않았으며 市地域 居住者와 女子, 年齡이 낮을수록 不規則的으로 食事하는 비율이 높게 나타났다(表 3-55 참조).

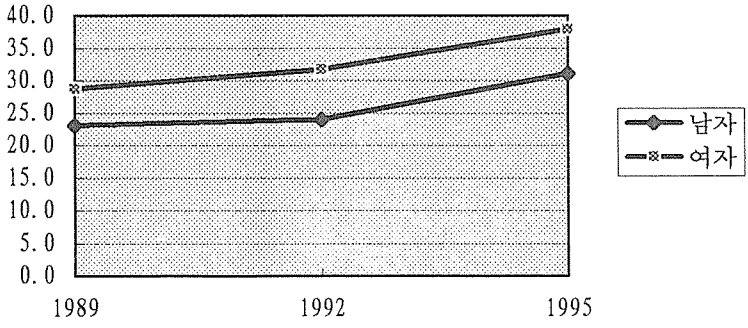
〈表 3-55〉 아침食事 및 規則的 食事 與否

(單位: %)

| | 계(N) | 아침식사 여부 | | | 규칙적 식사 여부 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 꼭 먹음 | 가끔 먹음 | 안 먹음 | 예 | 아니오 |
| 전체 | 100.0(6,480) | 65.8 | 25.1 | 9.1 | 53.0 | 47.0 |
| 거주지 | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 62.8 | 27.0 | 10.2 | 49.5 | 50.5 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 76.9 | 18.1 | 5.0 | 65.5 | 34.5 |
| 성 | | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 69.4 | 22.5 | 8.1 | 56.3 | 43.7 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 62.4 | 27.5 | 10.1 | 49.8 | 50.2 |
| 연령 | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 50.9 | 36.1 | 13.0 | 37.7 | 62.3 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 48.1 | 36.9 | 15.0 | 35.0 | 65.0 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 63.5 | 27.3 | 9.2 | 50.4 | 49.6 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 73.9 | 18.5 | 7.6 | 60.8 | 39.2 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 84.8 | 12.3 | 3.0 | 71.9 | 28.1 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 89.4 | 8.5 | 2.0 | 78.8 | 21.2 |

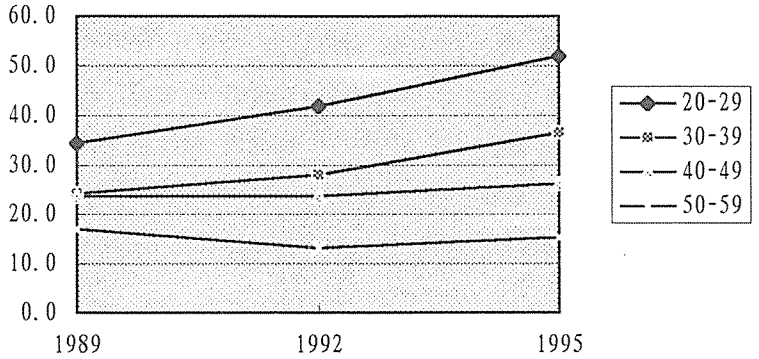
2) 아침食事 缺食率 및 不規則的 食事 推移

아침식사 결식률을 연도별로 살펴보면, 남녀 각각 1989년 23.1%, 28.7%이던 것이 1992년 24.0%, 31.7%로, 1995년에는 31.1%, 37.9%로 증가하였다. 증가폭은 1989~1992년에 비해 최근 3년간인 1992~1995년이 더 컸다(圖 3-20, 附表 Ⅰ-96 참조).



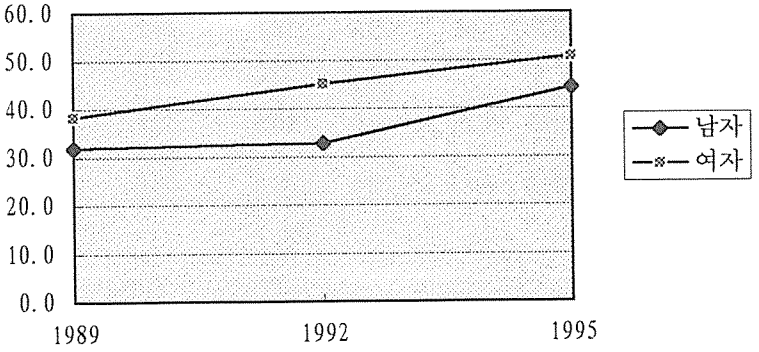

[圖 3-20] 性別 아침食事 缺食率 推移(1989~1995)

연령별로 아침식사 결식률 추이를 보면 20, 30대의 증가 정도가 큰 반면 40, 50대는 별 변화가 없었다(圖 3-21, 附表 Ⅰ-96 참조).




〔圖 3-21〕 年齡別 아침食事 缺食率 推移(1989～1995)

성별 不規則的 食事比率의 變化推移를 살펴보면 남녀 각각 1989년 31.8%, 38.3%이던 것이 1992년에는 32.7%, 45.7%로 增加하였으며 1995년에는 44.3%, 50.8%로 크게 증가하였다. 연령별로는 20代가 不規則的으로 食事하는 比率의 增加幅이 컸다(圖 3-22, 附表 Ⅰ-96 참조).




〔圖 3-22〕 性別 不規則的 食事比率 推移(1989～1995)

3) 間食 및 過食 頻度

조사대상자의 77.7%가 가끔 또는 항상 간식을 하는 것(가끔함, 66.9%; 항상함, 10.8%)으로 나타났으며 郡지역 거주자보다 市지역 거주자가 間食을 더 자주 하는 것으로 나타났고 여자가 남자보다 간식을 더 자주 했으며 연령이 낮을수록 間食하는 頻度가 높았다. 과식을 가끔 또는 항상 하는 경우도 66.0%나 되었으며 過食의 頻度는 시지역 거주자가 군지역 거주자 보다 높았으나 성별로는 차이가 없었다. 연령별로 보면 연령이 낮을수록 過食하는 頻度가 높게 나타났다(表 3-56 참조).

〈表 3-56〉 間食 및 過食 頻度

(單位: %)

| | 계(N) | 간식빈도 | | | 과식빈도 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 하지 않음 | 가끔함 | 항상함 | 하지 않음 | 가끔함 | 항상함 |
| 전체 | 100.0(6,480) | 22.3 | 66.9 | 10.8 | 34.0 | 63.3 | 2.7 |
| 지역 | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 20.9 | 67.3 | 11.8 | 31.5 | 65.7 | 2.8 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 27.3 | 65.5 | 7.2 | 43.2 | 54.7 | 2.1 |
| 성 | | | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 24.4 | 67.1 | 8.5 | 34.5 | 63.6 | 2.0 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 20.4 | 66.7 | 12.9 | 33.5 | 63.2 | 3.3 |
| 연령 | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 8.3 | 73.5 | 18.1 | 15.2 | 80.0 | 4.8 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 13.9 | 74.5 | 11.7 | 21.5 | 76.3 | 2.1 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 22.1 | 68.5 | 9.4 | 27.6 | 69.6 | 2.8 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 27.0 | 62.6 | 10.5 | 38.1 | 59.2 | 2.7 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 31.0 | 61.0 | 8.0 | 53.3 | 44.4 | 2.3 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 38.9 | 52.8 | 8.3 | 69.6 | 29.2 | 1.2 |

4) 飮食의 간

음식의 짠 정도 및 단 정도는 心血管疾患 및 糖尿病 등 特定疾患과 매우 밀접하게 관련되어 있는 要因이다. 본 연구에서 음식의 짠 정

도는 짠 음식, 밑반찬, 젓갈류, 장아찌, 자반, 김치 등을 많이 들거나 식탁에서 간장, 소금을 추가로 사용하는 정도로 구분하였다. 조사결과 약 1/4정도가 음식을 짜게 먹는 편으로 나타났으며 남자가 여자보다 다소 더 짜게 먹는 것으로 나타났고 연령별로는 10대와 50대, 60대가 타연령군에 비해 음식을 더 짜게 먹는 편이라고 응답하였다.

'평소 단 음식을 많이 드십니까'라는 질문에 대해서는 18.2%가 달게 먹는 편이라고 응답을 하였다. 단 음식에 대한 예로서는 과자, 초콜릿, 아이스크림, 꿀, 청량음료 등 설탕이 많이 들어있는 음식을 예로 제시하였다. 단 음식의 섭취정도는 지역별로는 별 차이가 없었으나 성별로는 여성이 남성보다 달게 먹는 것으로 나타났으며 10대와 50대, 60대가 20, 30, 40대에 비해 더 달게 먹는 것으로 나타났다(表 3-57 참조).

〈表 3-57〉 地域·性 및 年齡別 飮食의 調味 程度

(單位: %)

| | 계(N) | 음식의 짠 정도 | | | 음식의 단정도 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 싱겁게 | 보통 | 짜게 | 안달게 | 보통 | 달게 |
| 전체 | 100.0(6,480) | 18.3 | 56.0 | 25.8 | 36.4 | 45.5 | 18.2 |
| 지역 | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 18.8 | 56.2 | 25.0 | 36.0 | 46.0 | 18.1 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 16.5 | 55.0 | 28.5 | 38.0 | 43.5 | 18.5 |
| 성 | | | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 17.6 | 55.6 | 26.8 | 35.4 | 48.6 | 15.9 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 19.0 | 56.3 | 24.8 | 37.3 | 42.5 | 20.2 |
| 연령 | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 9.2 | 61.4 | 29.4 | 16.7 | 57.3 | 26.0 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 16.6 | 58.6 | 24.8 | 34.0 | 52.8 | 13.1 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 19.9 | 58.2 | 21.9 | 38.4 | 47.7 | 14.0 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 21.2 | 56.2 | 22.5 | 42.2 | 42.3 | 15.5 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 17.2 | 52.3 | 30.4 | 39.8 | 35.2 | 25.0 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 25.7 | 40.8 | 33.4 | 45.6 | 27.8 | 26.7 |

5) 肉食 및 菜食 選好度

음식으로 섭취되는 콜레스테롤과 포화지방산은 心血管系疾患의 危險을 높인다고 알려져 있다. 그와 관련하여 肉食을 選好하는 집단이 채식을 선호하는 집단에 비해 심혈관계질환에 대한 위험이 높다는 報告도 있다(고응린 외, 1986). 본 연구를 통해 살펴본 肉食選好 傾向은 지역별로는 차이가 없는 것으로 나타났으나 성별로는 有意한 差異를 보여주어 여자에 비해 남자가 육식을 선호하는 경향이 높았다. 가구소득수준별로도 유의한 차이를 보여주었는데 가구소득수준이 높을수록 육식을 선호하는 경향이 뚜렷이 나타났다.

한편, 菜食選好에 대해 살펴보면 지역, 성, 소득수준별로 유의한 차이를 보여주었는데 郡地域이 시지역에 비해, 女子가 남자에 비해 菜食을 選好하는 것으로 나타났으며 월가구소득수준이 낮을수록 채식을 선호하는 경향이 높게 나타나 육식선호의 경우와는 대조적이었다(表 3-58 참조).

〈表 3-58〉 地域·性·月家口所得水準別 肉食 및 菜食 選好度

| | 육식선호도[1)] (평균점수) | 채식선호도[1)] (평균점수) |
|---|---|---|
| 지역 | NS | *** |
| 전 국 | 3.06 | 3.70 |
| 시지역 | 3.05 | 3.64 |
| 군지역 | 3.08 | 3.88 |
| 성 | *** | *** |
| 남자 | 3.23 | 3.62 |
| 여자 | 2.91 | 3.77 |
| 가구소득수준(월평균) | *** | *** |
| 50만원 이하 | 2.90 | 3.88 |
| 51~100만원 | 3.04 | 3.75 |
| 101~150만원 | 3.09 | 3.67 |
| 151~200만원 | 3.10 | 3.64 |
| 201만원이상 | 3.16 | 3.59 |

註: 1) 각각의 부여점수{매우 선호(5점), 선호하는 편(4점), 보통(3점) 선호하지 않음(2점), 전혀 선호하지 않음(1점)}에 대한 평균점수임.
***: $p<0.001$

6) 外食頻度

거의 매일 外食하는 사람이 5.4% 정도 되며 일주일에 1회 이상 외식을 하는 경우는 26.4%나 되었다. 外食을 하는 頻度는 군지역 비해 市地域이 많았고 여자보다 男子가 많았으며 20대와 30대, 未婚, 專門·行政·管理職, 事務職의 외식빈도가 높았다. 그리고 職場이나 公敎 醫療保險 對象者의 외식빈도가 높았으며 월가구소득수준이 높을수록 외식빈도가 높았다(附表 Ⅰ-25 참조).

7) 커피를 마시는 程度

하루 1잔 이상 커피를 마시는 사람이 43.2%나 되었으며 2잔 이상 마시는 사람은 23.4%, 5잔 이상 마신다는 경우도 2.0%나 되었다. 하루 2잔 이상 커피를 마신다는 경우는 군지역 거주자(14.3%)보다 시지역 거주자(25.9%)가 많았으며 남자(26.8%)가 여자(20.2%)보다 많았다. 하루 2잔 이상 커피를 마시는 비율은 연령별로는 20대, 30대, 40대에서 높았으며(각각 28.2%, 33.2%, 27.0%), 교육수준별로는 전문대졸 이상이 가장 높게 나타났다. 직업별로는 전문·행정·관리직, 사무직, 판매·서비스직(각각 31.9%, 41.8%, 31.1%)에서 높게 나타났다. 가구소득수준별로 보면, 소득수준이 높을 수록 하루 2잔 이상 커피를 마시는 비율이 높았다(附表 Ⅰ-26 참조).

8) 牛乳를 마시는 程度

우유를 안 마신다는 비율이 34.2%로 나타났으며 하루 한 컵 이상 우유를 마신다는 경우는 21.6%로 나타났다. 군지역 거주자가 우유를 덜 마시는 것으로 나타났으며 성별로는 차이가 없었다. 연령이 증가할수록 우유를 안 마시는 경우가 많았다. 15~19세의 경우는 38.6%가 우유를 하루 한 컵 이상 마신다고 응답한 반면에 50대와 60대는 각각 14.8, 17.3%만이 하루 한 컵 이상 마신다고 응답하였다. 교육수준별로

는 전문대졸 이상이 우유를 마시는 빈도가 높았으며 월가구소득이 높을수록 우유를 마시는 빈도가 높게 나타났다(附表 Ⅰ-27 참조).

9) 비타민等 營養劑 服用頻度

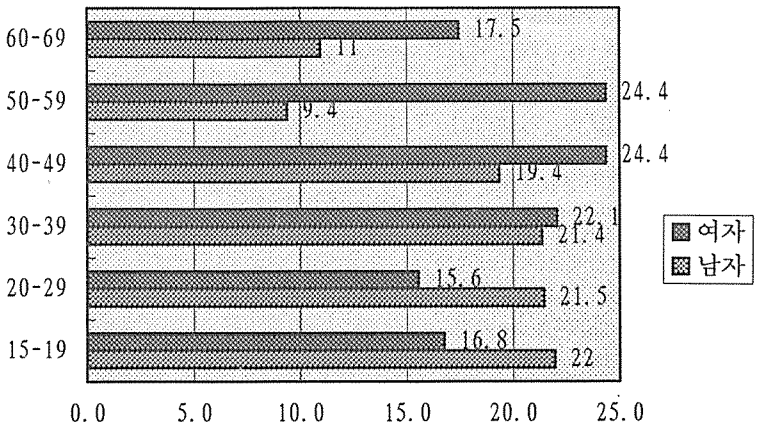
비타민등 영양제를 복용한다는 비율이 31.0%로 나타났으며 매일 복용한다는 비율은 4.0%로 나타났다. 비타민등 영양제의 복용빈도는 지역이나 성별로는 차이가 없었으나 연령과는 관련성이 높아 年齡이 增加할수록 服用率도 높게 나타났다. 또한 월가구소득수준이 높을수록 비타민 등 영양제의 복용빈도가 높게 나타났다(附表 Ⅰ-22 참조).

바. 睡眠 및 休息

1) 睡眠

평소 睡眠이 充分한 지의 程度는 두 가지 질문에 의해 파악하였다. 첫째, "평소 충분한 잠을 자는 편입니까"라는 질문으로 스스로 생각하는 睡眠의 充分程度를 把握하였으며 둘째, 하루 평균 몇 시간 정도 자는지를 물어 그 시간이 적절한지 부적절한 지를 파악하였다. 스스로 느끼고 있는 睡眠時間에 대해서는 약 40%만이 충분하다는 응답을 하였으며 19.5%는 부족하다는 응답을 하였다. 연령별로 스스로 느끼는 수면의 충분정도를 살펴보면, 연령이 낮을수록 수면이 부족하다는 비율이 높았으며 睡眠이 不足하다는 比率은 30대(21.7%)와 40대(21.9%)에서 다소 높게 나타났다. 수면시간을 適切한 睡眠時間(7~8시간)과 不適切한 睡眠時間(6시간 이하 또는 9시간 이상)으로 구분하여 파악한 결과에 의하면 47.6%가 不適切한 睡眠을 취하는 것으로 나타났다(附表 Ⅰ-28, 附表 Ⅰ-29 참조).

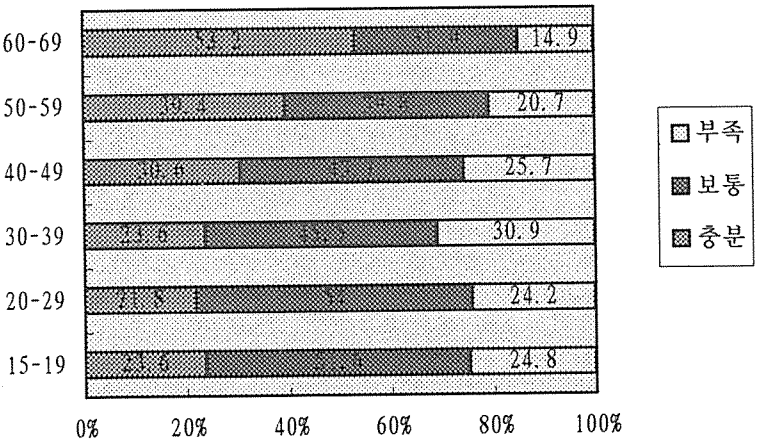
성별, 연령별로 스스로 睡眠이 不足하다고 느끼는 비율을 살펴보면, 40대와 50대 女子의 睡眠不足率(24.4%)이 가장 높게 나타났다. 반면에 50대와 60대 男子는 睡眠不足率이 각각 9.4%, 11.0%로서 가장 낮게 나타났다(圖 3-23 참조).




[圖 3-23] 性・年齡別 睡眠不足率

2) 休息의 程度

'일하는 것과 잠자는 것 이외에 휴식을 충분히 취하시는 편입니까'라는 질문에 대해서도 부족하다라고 응답한 경우는 30대(30.9%)와 40대(25.7%)에서 가장 높게 나타났다(圖 3-24, 附表 Ⅰ-30 참조).




[圖 3-24] 年齡別 休息의 程度

## 4. 豫防保健行爲實態

### 가. 健康檢診 實態

#### 1) 健康檢診率

健康檢診은 병리적 상태가 진전되어 있음에도 불구하고 증상으로 나타나지 않는 疾病을 早期에 發見하기 위한 목적으로 실시한다. 따라서 疾病의 早期治療를 위해 필수적이다. 특히 癌과 같이 치유가 어려운 질환일수록 健康檢診을 통한 早期發見이 매우 중요하다.

본 조사결과 지난 1년간 健康檢診을 받았다는 경우가 조사대상자의 약 1/3(36.1%) 정도였으며 나머지 2/3는 받지 않은 것으로 나타났다. 健康檢診率은 시지역(36.9%)이 군지역(33.1%)보다 높았으며 남자(41.8%)가 여자(30.9%)보다 높았다. 연령별로는 40대(42.7%)가 가장 높았으며 교육수준이 높을수록 건강검진율이 높았고 전문·행정·관리직(52.3%)과 사무직(62.7%)에서 높게 나타났다. 의료보장종류별로 보면 公敎(52.8%)와 職場醫療保險(46.5%)이 지역의료보험(27.3%)이나 의료보호(24.9%)보다 높았다. 또한 월 가구소득수준이 높을수록 건강검진을 받은 비율이 높았다(附表 Ⅰ-35 참조).

성, 연령별로 보면 남자 40대의 健康檢診率이 가장 높았고(49.2%), 지역, 연령별로는 시지역 거주 40대 남자(44.0%)가 가장 높게 나타났다. 의료보장종류별로 보면, 공교, 직장, 지역의료보험, 의료보호의 순으로 높게 나타났으며(각각 52.8%, 46.5%, 27.3%, 24.9%) 연령별 의료보장종류별로 보면 가장 건강검진율이 높은 집단은 40대와 50대 공교의료보험 대상자로서 각각 67.8%와 65.6%가 건강검진을 받은 것으로 나타났으며 세번째로 검진율이 높은 집단은 40대 직장의료보험 대상자로서

60.9%가 지난 1년간 건강검진을 받은 것으로 나타났다. 40~60대 의료보호 대상자의 건강검진율은 20% 전후로 매우 저조하였다(表 3-59 참조).

〈表 3-59〉 年齡·性·地域·醫療保障種類別 健康檢診 受診率[1)]

(單位: %)

| | 전체 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 성 | | | | | | | |
| 남자 | 41.8 | 39.5 | 33.7 | 43.8 | 49.2 | 46.1 | 34.3 |
| 여자 | 30.9 | 39.3 | 30.3 | 25.4 | 35.9 | 30.8 | 26.2 |
| 거주지 | | | | | | | |
| 시지역 | 36.9 | 38.9 | 32.3 | 34.5 | 44.0 | 41.8 | 31.0 |
| 군지역 | 33.1 | 41.1 | 29.3 | 34.8 | 37.3 | 30.5 | 27.6 |
| 의료보장 | | | | | | | |
| 공교의료보험 | 52.8 | 42.8 | 44.8 | 47.8 | 67.8 | 65.6 | 41.8 |
| 직장의료보험 | 46.5 | 42.7 | 40.8 | 49.7 | 60.9 | 41.6 | 37.4 |
| 지역의료보험 | 27.3 | 37.2 | 23.5 | 24.0 | 28.9 | 30.7 | 23.3 |
| 의료보호 | 24.9 | 28.9 | 25.0 | 43.3 | 21.7 | 22.4 | 19.6 |
| 기타 | 16.8 | - | 13.6 | 26.0 | 31.5 | - | - |

註: 1) (건강검진 수진자 ÷ 조사대상자) × 100

2) 健康檢診 受診 動機

지난 1년간 건강검진을 받은 2,325명을 대상으로 건강검진을 받게 된 동기를 질문한 결과 職場에서 團體로 받았다는 경우가 43.2%로 가장 많았으며 健康에 異常을 느껴서 받았다는 경우(21.4%)가 두 번째로 많았고 세 번째가 疾病豫防을 위해서 받았다는 경우(16.9%)였다. 연령별로 보면 15~19세는 대다수(89.8%)가 學校에서 團體로 받았으며 20대~50대는 職場에서 團體로 받은 비율이 가장 많았으며 60대는 健康에 異常이 생겨서 받았다는 비율(41.9%)이 가장 높았다. 保健所의 案內로 건강검진을 받았다는 비율은 5.7%에 지나지 않았다. 健康檢診受診率은 年齡이 增加할수록 增加하는 경향을 보였다. 건강에 이상을 느껴서 건강검진을 받게 된 경우도 연령이 증가할수록 증가하였다(表 3-60 참조).

〈表 3-60〉 年齡別 健康檢診 受診 動機[1)]

(單位: %)

| | 계 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (N) | (2,325) | (299) | (455) | (551) | (505) | (350) | (165) |
| 보건소 안내 | 5.7 | 1.9 | 3.3 | 5.6 | 7.3 | 6.1 | 13.7 |
| 직장에서 단체 | 43.2 | 1.9 | 59.2 | 51.7 | 49.6 | 42.7 | 27.0 |
| 학교에서 단체 | 14.3 | 89.8 | 7.8 | 3.1 | 1.2 | 1.8 | - |
| 질병예방을 위해 | 16.9 | 3.1 | 10.8 | 20.9 | 22.0 | 23.0 | 16.7 |
| 건강 이상 | 21.4 | 6.0 | 17.3 | 21.4 | 21.4 | 30.2 | 41.9 |
| 타인의 권유 | 3.3 | 1.4 | 5.0 | 2.4 | 3.3 | 3.5 | 5.1 |

註: 1) 복수 체크 항목임.

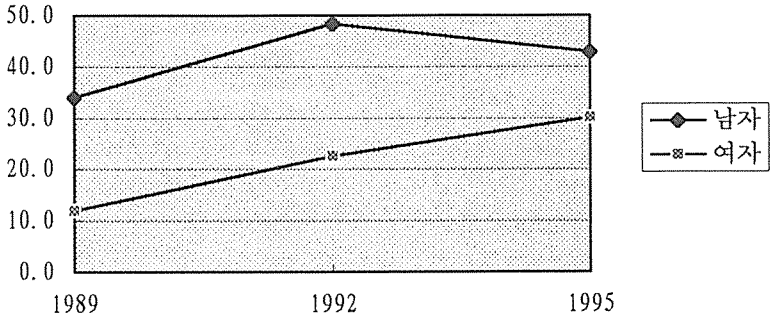
3) 健康檢診率 推移

연도별로 年間 健康檢診 受診率의 推移를 살펴보면 연도의 증가에 따라 전반적으로 健康檢診率이 增加하였다. 이를 지역별 성별로 보면 군지역이 시지역보다, 여자가 남자보다 검진율의 증가 폭이 훨씬 컸다(表 3-61, 圖 3-25, 圖 3-26 참조).

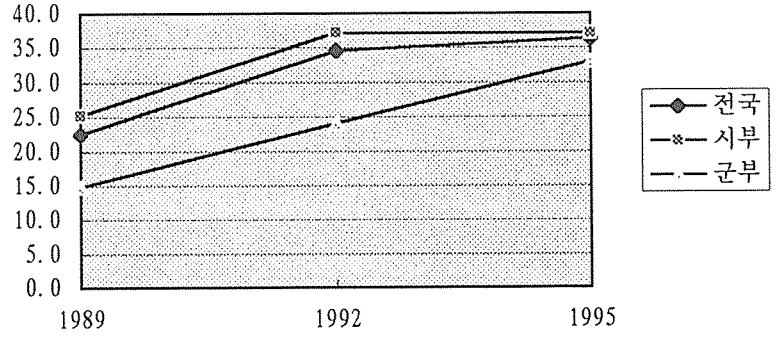
〈表 3-61〉 地域·性別 年間 健康檢診率(團體 및 個人) 推移(1989~1995)

(單位: %)

| | 1989 | 1992 | 1995 |
|---|---|---|---|
| 전 국 | 22.5 | 34.6 | 36.3 |
| 거주지 | | | |
| 시지역 | 25.2 | 37.2 | 37.1 |
| 군지역 | 14.8 | 24.1 | 33.0 |
| 성 | | | |
| 남자 | 34.0 | 48.4 | 42.8 |
| 여자 | 11.9 | 22.5 | 30.1 |




〔圖 3-25〕 性別 健康檢診率 推移(1989～1995)




〔圖 3-26〕 地域別 健康檢診率 推移(1989～1995)

年齡別로 健康檢診 受診率을 보면 20代와 30代의 수진비율은 1989년에 비해 1992년에 상당히 증가하였다가 1995년에 다소 減少하는 추세를 보인 반면에 40代와 50代는 1989～1992년의 증가폭과 비슷하게 1992～1995년에도 꾸준히 增加하였다(表 3-62 참조).

〈表 3-62〉 年齡別 年間 健康檢診率(團體 및 個人) 推移(1989～1995)

(單位: %)

| | 1989 | 1992 | 1995 |
|---|---|---|---|
| 20～29세 | 22.4 | 37.7 | 31.9 |
| 30～39세 | 25.8 | 36.1 | 34.5 |
| 40～49세 | 22.1 | 37.1 | 42.7 |
| 50～59세 | 16.3 | 24.7 | 38.1 |

나. 癌 檢査

지난 1년간 各種 癌(위암, 간암, 폐암, 장암, 유방암, 자궁암) 및 에이즈의 早期發見을 위해 검사를 받았는지의 여부를 파악해 본 결과 子宮癌檢査(여성의 19.6%)를 제외하고는 전반적으로 癌檢査率은 7.0% 이하(위암: 7.0, 간암: 6.8, 폐암: 5.1, 장암: 4.0, 유방암: 6.1)에 지나지 않았으며 불과 3.8%만이 에이즈 검사를 받은 것으로 나타났다. 각종 암과 에이즈 검사율은 전반적으로 시지역이 군지역보다 높았고 남자가 여자보다 높았다. 대체로 40, 50대에서 이들 검사율이 높았고 공교나 직장 의료보험 가입자가 높게 나타났다. 또한 가구소득수준이 높을수록 검사율이 높게 나타났다(附表 Ⅰ-36 참조).

성별 연령별로 이들 癌檢査率을 살펴보면, 40대와 50대 남자가 위암(각각 16.2%, 13.0%), 간암(각각 16.3%, 15.6%), 폐암(각각 12.5%, 10.8%), 장암검사 비율(각각 9.7%, 7.7%)이 가장 높게 나타났다. 이들 癌 有病率이 40, 50대 남자에게서 높은 점을 감안하면 이 연령계층 남자에게서 암 검사율이 높게 나타난 것은 순수한 豫防次元이나 早期發見을 위한 檢査뿐만 아니라 이미 症狀이 나타났기 때문에 검사를 받게 된 경우도 포함되었을 것으로 추측된다. 여자의 경우 乳房癌 검사율은 40대에서 가장 높았고 子宮癌 검사율은 30대와 40대가 각각 31.5%와 32.4%로 높게 나타났다(表 3-63 참조).

〈表 3-63〉 性·年齡別 各種 癌 檢査率[1)]

(單位: %)

| | 계 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (N) | (6,480) | (763) | (1,431) | (1,609) | (1,192) | (922) | (563) |
| 위암 (전체) | 7.0 | 0.6 | 3.7 | 7.0 | 12.7 | 10.4 | 6.0 |
| 남자 | 8.9 | 0.3 | 5.2 | 8.5 | 16.2 | 13.0 | 6.9 |
| 여자 | 5.2 | 0.9 | 2.3 | 5.5 | 9.2 | 8.0 | 5.4 |
| 간암 (전체) | 6.8 | 0.3 | 3.4 | 7.2 | 11.6 | 10.3 | 6.8 |
| 남자 | 9.9 | 0.2 | 4.8 | 11.0 | 16.3 | 15.6 | 8.6 |
| 여자 | 3.9 | 0.5 | 2.2 | 3.6 | 6.9 | 5.5 | 5.5 |
| 폐암 (전체) | 5.1 | 1.7 | 2.8 | 4.8 | 8.5 | 7.9 | 5.1 |
| 남자 | 7.2 | 0.5 | 3.2 | 7.2 | 12.5 | 10.8 | 8.0 |
| 여자 | 3.3 | 2.9 | 2.3 | 2.6 | 4.4 | 5.3 | 2.9 |
| 장암 (전체) | 4.0 | 0.4 | 1.8 | 3.7 | 7.4 | 6.5 | 4.3 |
| 남자 | 5.2 | - | 2.5 | 4.5 | 9.7 | 7.7 | 6.5 |
| 여자 | 3.0 | 0.8 | 1.3 | 3.0 | 4.9 | 5.4 | 2.7 |
| 유방암 (여자) | 6.1 | - | 2.7 | 9.2 | 10.2 | 7.5 | 3.6 |
| 자궁암 (여자) | 19.6 | - | 8.2 | 31.5 | 32.4 | 22.7 | 12.9 |

註: 1) (암 검사 받은 사람 ÷ 조사대상자) × 100

다. 血壓測定

'지금까지 혈압을 한 번이라도 재어 본 적이 있는가'라는 질문에 대해 대다수(78.4%)가 측정한 적이 있다고 대답을 하였다. 血壓測定 經驗率은 지역별 성별 교육수준, 소득수준별로 큰 차이가 없었으며, 연령별로도 10대를 제외하고는 큰 차이가 없었다(表 3-64 참조).

가장 최근에 혈압을 재어 본 시기를 질문한 결과는 〈表 3-65〉와 같다. 전국적으로 볼 때, 최근 2주 이내에 혈압을 재 본 사람은 7.0%, 1개월 이내에는 13.4%, 최근 3개월 이내에는 25.5%, 최근 6개월 이내는 34.4%, 최근 1년 이내에 혈압을 재 본 사람은 조사대상자의 52.8%로 나타났다. 지난 1년간의 血壓測定 比率은 성별, 지역별로는 큰 차이를 보이지 않았다. 高血壓은 심혈관계질환, 특히 뇌혈관질환, 허혈성 심질환, 고혈압성 심질환의 가장 중요하고 큰 영향을 미치는 위험요인

이다. 따라서 이들 질환의 豫防的 側面에서 볼 때 고혈압 환자발견을 위한 週期的 血壓測定은 매우 중요하다. 定期的인 血壓測定과 持續的인 管理를 통해 이들 질환으로 인한 死亡을 減少시킬 수 있을 것이다 (圖 3-27 참조).

〈表 3-64〉 年齡 및 諸變數別 平生 血壓測定 比率[1)]

(單位: %)

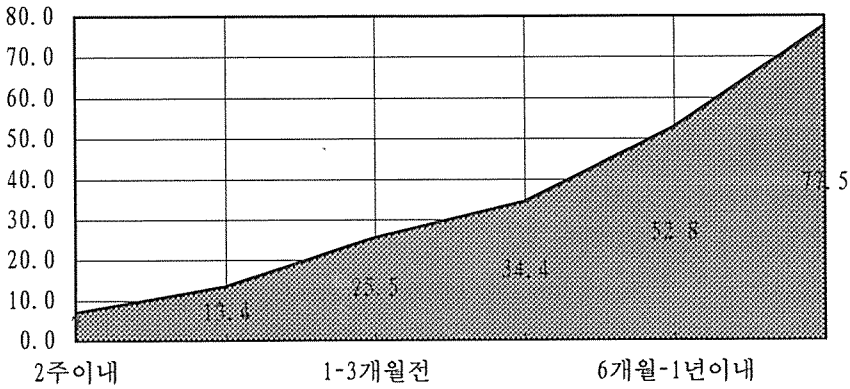
| | 전 체 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (N) | (6,480) | (763) | (1,431) | (1,609) | (1,192) | (922) | (563) |
| | 78.4 | 36.4 | 76.3 | 84.6 | 87.1 | 87.7 | 88.9 |
| 성 | | | | | | | |
| 남자 | 77.6 | 37.8 | 77.5 | 82.2 | 86.3 | 85.4 | 85.8 |
| 여자 | 79.1 | 35.2 | 75.3 | 86.9 | 87.9 | 89.9 | 91.2 |
| 거주지 | | | | | | | |
| 시지역 | 78.5 | 38.6 | 76.4 | 84.7 | 86.8 | 88.3 | 90.6 |
| 군지역 | 77.8 | 28.6 | 75.8 | 83.9 | 88.4 | 86.5 | 86.2 |
| 의료보장 종류 | | | | | | | |
| 공교의료보험 | 82.8 | 40.4 | 80.5 | 85.9 | 95.6 | 96.5 | 89.9 |
| 직장의료보험 | 82.2 | 40.5 | 79.7 | 89.6 | 92.7 | 88.9 | 90.6 |
| 지역의료보험 | 75.4 | 34.2 | 73.5 | 81.6 | 82.0 | 85.5 | 88.0 |
| 의료보호 | 80.2 | 30.1 | 77.3 | 91.5 | 84.8 | 84.2 | 88.8 |
| 기 타 | 68.5 | 11.2 | 61.2 | 74.2 | 96.9 | 78.7 | 70.0 |

註: 1) 평생 혈압측정 비율 = (한 번이라도 혈압측정을 한 사람 ÷ 조사대상자)×100

〈表 3-65〉 最近 血壓測定 時期別 血壓測定 累積比率

(單位: %)

| | 거주지 | | | | | | 성 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 전국 | | 시지역 | | 군지역 | | 남자 | | 여자 | |
| | 비율 | 누적비율 | 비율 | 누적비율 | 비율 | 누적비율 | 비율 | 누적비율 | 비율 | 누적비율 |
| 2주 이내 | 7.0 | 7.0 | 6.6 | 6.6 | 8.4 | 8.4 | 7.9 | 7.9 | 6.0 | 6.0 |
| 2주~1개월전 | 6.4 | 13.4 | 6.1 | 12.7 | 7.7 | 16.1 | 7.6 | 15.5 | 5.2 | 11.2 |
| 1~3개월전 | 12.1 | 25.5 | 11.8 | 24.5 | 13.3 | 29.4 | 11.5 | 27.0 | 12.8 | 24.0 |
| 3~6개월전 | 8.9 | 34.4 | 9.0 | 33.5 | 8.5 | 37.9 | 8.8 | 35.8 | 8.9 | 32.9 |
| 6개월~1년전 | 18.4 | 52.8 | 18.3 | 51.8 | 18.5 | 56.3 | 16.9 | 52.7 | 19.9 | 52.8 |
| 1년 이상 | 24.7 | 77.5 | 25.7 | 77.5 | 21.1 | 77.4 | 25.4 | 78.1 | 24.0 | 76.8 |
| 재어 본 적 없음 | 22.5 | 100.0 | 22.4 | 100.0 | 22.7 | 100.0 | 21.8 | 100.0 | 23.3 | 100.0 |




〔圖 3-27〕 期間別 血壓測定 累積比率

가장 최근에 혈압을 측정한 場所를 보면 인구의 약 절반 정도가 病·醫院에서 혈압을 측정하였으며 도시지역은 韓醫院과 藥局에서 측정한 경우가 각각 5.6%, 6.8%로 나타났다. 保健(支)所에서 측정한 비율은 군지역은 11.0%로 나타났으나 도시지역은 불과 2.5% 밖에 되지 않았다(表 3-66 참조).

〈表 3-66〉 最近 血壓을 測定한 場所

(單位: %)

| | 지 역 | | | 성 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 전국 | 시 | 군 | 남자 | 여자 |
| 병의원 | 52.4 | 53.3 | 49.5 | 52.1 | 52.7 |
| 보건(지)소 | 4.3 | 2.5 | 11.0 | 4.2 | 4.5 |
| 한의원(방) | 5.1 | 5.6 | 3.4 | 3.7 | 6.4 |
| 보건진료소 | 2.2 | 1.2 | 6.1 | 2.4 | 2.1 |
| 약국(방) | 5.9 | 6.8 | 2.6 | 4.7 | 7.0 |
| 기 타 | 7.9 | 8.7 | 4.9 | 9.8 | 6.1 |
| 재본 적 없음 | 22.1 | 22.0 | 22.5 | 23.0 | 21.2 |

## 5. 健康關聯 知識

### 가. 健康關聯 知識源

조사 대상자의 약 2/3정도가 TV, 라디오, 신문, 잡지 등 大衆媒體를 통해 평소 건강에 관한 지식을 가장 많이 얻는 것으로 나타났으며 10.3%는 건강과 관련한 지식을 얻는 곳이 없다고 했다. 지역별로 건강에 관한 지식을 주로 얻는 곳을 살펴보면 市地域은 家族이나 冊子·포스터 등을 통해 지식을 받아들이는 경우가 大衆媒體 다음으로 많았으나 郡地域은 책자·포스터보다는 保健·醫療人을 통해 지식을 얻는 경우가 두 번째로 많았다. 성별로는 거의 차이가 없었다(表 3-67 참조).

〈表 3-67〉 性·地域別 健康關聯 知識源[1)]

(單位: %)

| | 전국 | 지 역 | | 성 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 시지역 | 군지역 | 남자 | 여자 |
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (6,088) | (4,956) | (1,132) | (2,944) | (3,144) |
| 없음 | 10.3 | 9.9 | 12.1 | 10.0 | 10.5 |
| 대중매체 | 66.7 | 66.7 | 66.5 | 67.2 | 66.2 |
| 가족 | 7.9 | 7.9 | 5.6 | 7.4 | 7.6 |
| 학교선생 | 1.6 | 1.6 | 2.9 | 1.9 | 1.9 |
| 보건·의료인 | 5.9 | 5.9 | 8.3 | 6.2 | 6.5 |
| 책자·포스터 | 7.1 | 7.1 | 4.1 | 6.4 | 6.7 |
| 기 타 | 0.9 | 0.9 | 0.6 | 0.9 | 0.7 |

註: 1) 무응답 392명 제외

연령별로 주로 건강에 관한 지식을 얻는 곳을 살펴보면 60대의 25.7%와 50대의 15.6%는 건강에 관한 지식을 얻는 곳이 없다고 응답했으며 20, 30, 40대 연령층은 大衆媒體를 통해 건강에 관한 지식을 가장 많이 얻는 것으로 나타났고 年齡이 增加할수록 保健·醫療人을

통해 지식을 얻는 비율이 증가하였다. 이와 같은 결과는 향후 保健敎育 戰略을 세울 때 참고할 수 있을 것으로 본다. 즉, 保健敎育은 大衆媒體를 活用하는 것이 全年齡層에 가장 效果的이며 특히 20, 30, 40대를 위해서는 거의 유일한 방법이 될 수 있다는 점이다. 또한 건강에 관한 지식을 얻지 못하는 비율이 가장 높은 50, 60대를 위해서는 大衆媒體를 통한 保健敎育과 더불어 訪問保健서비스 등 個別接觸을 통한 보건교육 또는 지리적 접근도가 높은 保健所 등의 保健·醫療人을 통한 보다 積極的인 保健敎育이 要求된다는 점이다(表 3-68 참조).

〈表 3-68〉 年齡別 健康關聯 知識源[1)]

(單位: %)

| | 전체 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (6,088) | (755) | (1,414) | (1,582) | (1,137) | (794) | (406) |
| 없음 | 10.3 | 9.5 | 6.7 | 6.9 | 10.8 | 15.6 | 25.7 |
| 대중매체 | 66.7 | 57.2 | 69.3 | 72.7 | 69.0 | 61.4 | 55.8 |
| 가족 | 7.5 | 11.4 | 6.7 | 7.1 | 5.7 | 9.3 | 5.8 |
| 학교선생 | 1.9 | 13.0 | 0.7 | - | 0.1 | 0.5 | 0.1 |
| 보건·의료인 | 6.3 | 2.3 | 6.1 | 5.5 | 7.1 | 8.4 | 11.3 |
| 책자·포스터 | 6.6 | 6.6 | 9.5 | 7.0 | 6.6 | 3.7 | 0.7 |
| 기 타 | 0.8 | - | 1.1 | 0.8 | 0.8 | 1.1 | 0.6 |

註: 1) 무응답 392명 제외

나. 에이즈關聯 知識源

에이즈는 1981년 미국에서 처음으로 인지된 性病 즉 性傳播疾患(Sexually Transmitted Diseases)으로서 국내에는 1985년 12월 처음으로 감염자가 보고된 이래 年度別로 계속 增加하는 趨勢를 보이고 있으나 정확한 규모는 파악되고 있지 못하다. 아직까지 治療藥이 발견되지 못한 상태이며 그 예후가 치명적이라는 점에서 豫防管理가 무엇보다도

중요한 질환이다. 따라서 본 연구에서는 에이즈에 관한 基本的인 知識의 水準과 態度를 파악하여 보았다. 먼저 에이즈에 관하여 들어본 적이 있는 지에 대해 질문한 결과 대부분(91.6%)이 들은 적이 있다고 응답했다. 이에 대한 지식은 주로 TV(69.3%)를 통해 얻고 있으며 14.3%는 신문을 통해 얻는다고 했다. 거주지별로 보면 시지역에 비해 군지역 거주자가, 성별로 보면 남자보다 여자가 에이즈에 관해 들어본 적이 없다는 경우가 많았다. 그리고 남자는 신문을 통해 지식을 얻는 경우가 여자보다 많은 반면 여자는 남자보다 TV를 통해 지식을 얻는 경우가 많았다. 保健所나 病·醫院을 통해 지식을 얻는 경우는 극소수에 지나지 않았다(表 3-69 참조).

〈表 3-69〉 性·地域別 에이즈關聯 知識源[1)]

(單位: %)

| | 거주지 | | | 성 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 전국 | 시지역 | 군지역 | 남자 | 여자 |
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (6,042) | (4,921) | (1,121) | (2,928) | (3,114) |
| 없음 | 8.4 | 5.9 | 19.3 | 6.1 | 10.5 |
| 라디오 | 1.4 | 1.3 | 1.7 | 1.8 | 1.0 |
| TV | 69.3 | 70.6 | 63.8 | 66.7 | 71.8 |
| 신문 | 14.3 | 15.9 | 7.6 | 18.8 | 10.1 |
| 보건소 | 0.4 | 0.3 | 0.7 | 0.4 | 0.4 |
| 교회 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.2 |
| 병·의원 | 0.4 | 0.4 | 0.4 | 0.5 | 0.3 |

註: 1) 무응답 438명 제외

연령별로 에이즈에 관한 主情報源을 보면 전연령층 모두 TV를 통해 정보를 얻은 비율이 첫 번째로 높았으며 신문/잡지가 두 번째로 높게 나타났다. 50대의 21.1%와 60대의 42.5%는 에이즈에 관해 들어본 적이 없다고 응답했다(表 3-70 참조).

〈表 3-70〉 年齡別 에이즈關聯 知識源[1)]

(單位: %)

| | 전체 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (6,042) | (753) | (1,399) | (1,570) | (1,134) | (788) | (398) |
| 들어본 적 없음 | 8.4 | 4.1 | 1.6 | 2.8 | 6.4 | 21.1 | 42.5 |
| 라디오 | 1.4 | 0.4 | 1.1 | 1.2 | 1.1 | 2.6 | 3.3 |
| TV | 69.3 | 60.2 | 69.9 | 76.1 | 75.7 | 65.1 | 47.9 |
| 신문/잡지 | 14.3 | 11.6 | 19.9 | 16.7 | 13.4 | 8.4 | 4.7 |
| 보건소 | 0.4 | - | 0.5 | 0.4 | 0.6 | 0.3 | 0.1 |
| 교회/종교기관 | 0.1 | 0.4 | 0.1 | 0.1 | - | 0.1 | - |
| 병의원 | 0.4 | - | 1.4 | 0.1 | 0.1 | - | 0.2 |

註: 1) 무응답 438명 제외

다. 에이즈에 관한 知識水準

에이즈에 관한 基本的인 知識水準을 파악하기 위해 다섯 가지 에이즈와 관련된 질문을 하였다. 이에 대한 정답률을 제시하면 〈表 3-71〉과 같다.

먼저 '에이즈는 男女의 性關係를 통하여 傳播될 수 있다'는 사실을 인지하고 있는 경우가 92.0%로 나타났다. 이에 대한 인지율은 20대가 가장 높았으며 60대가 가장 낮았다. 둘째, '産母가 에이즈에 感染된 경우 出生할 아이가 感染될 수 있다'라는 사실을 인지하고 있는 경우는 전체적으로는 85.9%로 나타났는데 15~19세층의 인식률이 타연령층에 비해 낮아 이와 같은 사실을 모르고 있는 경우가 23.4%나 되었다. 이 연령층은 에이즈의 感染可能性이 높은 계층이라는 점에서 앞으로 에이즈 敎育에 이와 같은 사실의 반영이 요구된다. 셋째, '輸血을 통하여 에이즈에 感染될 수 있다'라는 사실에 대한 인식률은 94.6%로 비교적 높게 나타났다. 넷째, '에이즈 患者와 악수나 포옹을 하면 에이즈에 感染될 수 있다'라는 그릇된 사실을 제시한 결과 82.5%가 '아니오'라고

올바르게 인식하고 있었다. 이에 대해 60대는 약 절반만이 올바른 인식을 하고 있었다. 다섯째, '에이즈에 感染된 사람도 정상인과 같이 健康하게 보일 수 있다'라는 사실은 단지 55.7%만이 정확히 알고 있었다. 20대가 올바르게 인식하는 율이 타연령군에 비해 높았으나 불과 61.8%에 지나지 않았다. 이 점은 앞으로 에이즈 豫防敎育을 위해 매우 강조되어야 할 부분으로 여겨진다. 특히 일부 에이즈에 감염된 사람들이 정상인으로부터 소외된 심정과 질병에 대한 두려움을 해소하기 위해 意圖的으로 疾病을 傳播하는 行態를 보일 수 있다는 점을 감안할 때 이에 대한 대책이 요구된다. 여섯째, '에이즈는 豫防할 수 있는 疾患이다'라는 사실에 대해 단지 63.3%만이 올바르게 인식하고 있었다. 20대와 30대의 인식률이 다소 높았으나 여전히 별도의 교육이 요구되는 수준이다. 따라서 이에 대한 교육이 무엇보다도 필요하다고 하겠다(表 3-71 참조).

〈表 3-71〉 年齡別 에이즈에 관한 知識 正答率[1)]

(單位: %)

| | 전체 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (5,534) | (727) | (1,384) | (1,530) | (1,053) | (618) | (222) |
| 남녀의 성관계로 전파 가능 | 92.0 | 92.0 | 95.1 | 92.5 | 92.1 | 86.1 | 85.6 |
| 산모감염-태아감염 가능 | 85.9 | 76.6 | 88.9 | 89.6 | 88.9 | 81.4 | 69.7 |
| 수혈을 통해 감염가능 | 94.6 | 94.2 | 95.9 | 96.3 | 94.2 | 92.0 | 85.6 |
| 악수나 포옹으로 감염가능 | 82.5 | 83.2 | 90.4 | 84.7 | 79.3 | 74.9 | 53.3 |
| 에이즈 감염자도 정상인처럼 보임 | 55.7 | 58.0 | 61.8 | 57.9 | 52.0 | 43.6 | 47.6 |
| 에이즈는 예방할 수 있는 질환 | 63.3 | 59.0 | 71.4 | 66.7 | 59.0 | 54.8 | 47.9 |

註: 1) 무응답 946명 제외

라. 에이즈에 관한 態度

에이즈에 대한 態度를 알아보기 위해서는 세 가지 질문을 하였다. 첫째 '學校에서 에이즈 豫防에 관한 敎育을 强化시켜야 한다'라는 문항에 대해 대부분(88.4%)이 찬성을 하였다. 둘째, '나도 에이즈에 걸릴 가능성이 있다'라는 질문에 대해 단지 28.8%만이 '그렇다'라고 인정을 하였다. 이에 대한 20대의 인정률이 타연령층에 비해 다소 높긴 하였으나 전반적으로 부진한 수준으로 에이즈 豫防敎育의 必要性을 강력하게 시사하는 문항이다. 셋째, '우리나라의 에이즈 問題가 深刻하다'는 문항에 대해 64.0%가 인정을 하였는데 15~19세층은 46.9%만이 이를 인정하였다(表 3-72 참조).

〈表 3-72〉 年齡別 에이즈에 관한 態度

| | 전체 | 15~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (5,534) | (727) | (1,384) | (1,530) | (1,053) | (618) | (222) |
| 에이즈에 관한 예방교육이 필요 | | | | | | | |
| 예 | 88.4 | 79.7 | 91.1 | 90.2 | 89.5 | 88.4 | 82.7 |
| 아니오 | 4.8 | 9.5 | 4.5 | 4.3 | 3.9 | 3.3 | 1.9 |
| 모름 | 6.8 | 10.8 | 4.4 | 5.5 | 6.7 | 8.3 | 15.4 |
| 나도 에이즈에 걸릴 가능성 있음 | | | | | | | |
| 예 | 28.8 | 24.8 | 35.3 | 31.0 | 25.8 | 23.4 | 16.1 |
| 아니오 | 55.6 | 57.3 | 51.5 | 54.6 | 58.3 | 58.2 | 62.8 |
| 모름 | 15.6 | 17.9 | 13.2 | 14.5 | 16.0 | 18.4 | 21.2 |
| 우리나라 에이즈 심각 | | | | | | | |
| 예 | 64.0 | 46.9 | 60.8 | 68.1 | 71.2 | 66.9 | 70.4 |
| 아니오 | 20.7 | 31.7 | 24.9 | 18.7 | 15.7 | 15.2 | 10.6 |
| 모름 | 15.3 | 21.3 | 14.2 | 13.2 | 13.1 | 17.9 | 19.0 |

註: 1) 무응답 946명 제외

에이즈에 관한 지식의 정도나 태도로 미루어 볼 때, 15~19歲層에 대한 豫防敎育이 특히 重要함을 알 수 있다.

## 6. 其他 健康關聯 行爲

### 가. 口腔保健 實態

#### 1) 저녁食事後 또는 잠자기前 칫솔질 與否

식사후 일정시간 이내에 이를 닦는 것은 치아우식의 직접적인 원인이 되는 口腔內의 酸度를 낮추어 주며 구강내 잔류물과 탈락상피 잔사를 제거해 줌으로써 齒周疾患의 豫防에 도움을 준다. 특히 저녁식사후 또는 잠자기전에 이를 닦는 것은 치아우식과 齒周疾患의 豫防을 위해 매우 중요하다.

이와 관련하여 저녁식사후 또는 잠자기전 이를 닦는지의 여부를 파악해 본 결과 닦지 않는다고 응답한 비율이 9.7%나 되었다. 저녁식사후 또는 잠자기전 이를 닦지 않는다는 비율은 군지역 거주자(16.1%), 남자(13.1%), 50대와 60대(각각 19.5%, 25.1%)에서 높았고 무학(27.9%)과 국졸(16.6%)에서 높았다. 직업별로는 농업과 단순 노무직(각각 25.1%, 13.9%)에서 높았으며 월가구소득 50만원 이하(20.2%)에서 높게 나타났다(附表 Ⅰ-33 참조).

성별 연령별로 저녁식사 후 또는 잠자기 전 이를 닦지 않는다는 비율을 보면 15~19세의 남자 청소년(62.4%)과 60대 남자(61.7%)에서 높게 나타났다.

#### 2) 하루 칫솔질 頻度

하루에 이를 닦는 빈도를 살펴보면 세 번 이상 닦는다는 비율이 25.0%, 두 번이 56.9%, 한 번 이하가 18.1%로 나타났다. 이를 전혀 닦지 않는다는 비율이 군지역 거주자의 1.0%에 달했으며 60대 연령층의 2.3%, 무학인 경우의 1.8%, 농업 종사자의 1.1%, 월가구소득 50만원

이하인 경우의 1.6%로 나타나 이들이 口腔保健을 위한 1次的인 對象集團으로 把握되었다(附表 Ⅰ-31 참조).

3) 아침에 이닦는 시기

口腔保健의 측면에서 보면 아침에 이닦는 시기는 식사 전 보다는 食事 後가 더 重要하다. 본조사에서는 아침에 이닦는 시기를 식사 전, 식사 후, 식사 전후, 닦지 않음으로 나누어 파악한 결과 약 1/3(37.5%) 정도가 식사전에만 이를 닦는 것으로 나타났으며 아침에 이를 닦지 않는 경우도 2.1%나 되었다(附表 Ⅰ-32 참조)

4) 定期的 齒科訪問 頻度

定期的인 齒科訪問을 통해 치아우식이나 齒周疾患을 早期에 發見하고 治療함으로써 齒牙喪失과 같은 극단적인 상황을 방지할 수 있어 口腔保健的 次元에서 매우 중요하다. 그러나 조사결과 1년에 한 번 이상 치과를 방문하는 비율은 단지 6.7%에 지나지 않았으며 30.6%가 치과를 전혀 방문하지 않았으며 齒牙에 問題가 있을 때에 방문한 경우가 56.5%로 나타났다. 대체로(50% 이상) 齒牙에 問題가 있을 때만 齒科를 訪問하는 것으로 나타나 豫防保健的 次元에서 弘報敎育이 요구된다(附表 Ⅰ-34 참조).

나. 飮用水 實態

1) 食水種類

조사대상자의 약 절반 정도(51.5%) 만이 음용수로서 수돗물을 사용하고 있으며 藥水를 사용하는 경우가 26.6%로 나타났고 地下水를 사용하는 경우도 16.3%나 되었다. 거주지별로 보면 市地域은 수돗물과 藥水를 주로 사용하며(각각 56.4%, 31.1%) 郡地域은 地下水와 수돗물의 순으로(각각 54.6%, 33.5%) 식수를 사용하는 것으로 나타났다(表 3-73 참조).

〈表 3-73〉 地域·家口所得水準別 食水種類

(單位: %)

| | 지역 | | | 가구소득수준(월평균) | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 전국 | 시지역 | 군지역 | 상상[1] | 중상[2] | 중[3] | 중하[4] | 하하[5] |
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (6,480) | (5,089) | (1,391) | (777) | (1,670) | (1,689) | (1,215) | (1,129) |
| 수돗물 | 51.5 | 56.4 | 33.5 | 51.1 | 54.0 | 56.5 | 49.5 | 42.8 |
| 지하수 | 16.3 | 5.9 | 54.6 | 6.3 | 11.0 | 12.0 | 21.9 | 37.8 |
| 약수 | 26.6 | 31.1 | 10.3 | 30.9 | 28.4 | 27.5 | 24.8 | 17.2 |
| 시판 생수 | 5.1 | 6.1 | 1.2 | 11.1 | 5.8 | 3.5 | 3.4 | 1.7 |
| 기 타 | 0.5 | 0.5 | 0.4 | 0.5 | 0.8 | 0.4 | 0.3 | 0.5 |

註: 1) 월가구소득 50만원 이하 2) 월가구소득 51~100만원
3) 월가구소득 101~150만원 4) 월가구소득 151~200만원
5) 월가구소득 201만원 이상

2) 食水 安全性에 對한 認識

식수를 衛生上 安全하다고 생각하느냐는 질문에 대해 약 1/3정도만이 그렇다고 응답하였다. 食水 安全性에 대한 認識은 시지역 거주자가 군지역 거주자에 비해 훨씬 낮았다. 所得水準別로 보면 소득이 높을수록 食水 安全度에 대한 의심이 더 높았다(表 3-74 참조).

〈表 3-74〉 地域·家口所得水準別 食水 安全性에 對한 認識

(單位: %)

| | 지역 | | | 가구소득수준 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 전국 | 시지역 | 군지역 | 상상[1] | 중상[2] | 중[3] | 중하[4] | 하하[5] |
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (6,480) | (5,089) | (1,391) | (777) | (1,670) | (1,689) | (1,215) | (1,129) |
| 예 | 36.8 | 32.2 | 54.2 | 34.4 | 32.2 | 32.9 | 39.4 | 50.3 |
| 아니오 | 27.1 | 28.9 | 20.5 | 23.0 | 25.9 | 29.4 | 28.9 | 25.0 |
| 그저 그렇다 | 36.1 | 39.1 | 25.3 | 42.6 | 41.9 | 37.6 | 31.7 | 24.7 |

註: 1) 월가구소득 50만원 이하 2) 월가구소득 51~100만원
3) 월가구소득 101~150만원 4) 월가구소득 151~200만원
5) 월가구소득 201만원 이상

3) 食水方法

食水方法을 보면 62.7%가 끓여 먹는다고 했으며 33.0%는 그냥 먹는 것으로 나타났고 정수기를 사용한다는 경우도 4.3%로 나타났다. 월가구소득수준이 높아질수록 정수기를 사용하는 비율이 높게 나타났다(表 3-75 참조).

〈表 3-75〉 地域·家口所得水準別 食水方法

(單位: %)

| | 지역 | | | 소득수준 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 전국 | 시지역 | 군지역 | 상상[1] | 중상[2] | 중[3] | 중하[4] | 하하[5] |
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (6,480) | (5,089) | (1,391) | (777) | (1,670) | (1,689) | (1,215) | (1,129) |
| 그냥 먹는다 | 33.0 | 30.1 | 43.5 | 35.6 | 28.8 | 29.7 | 33.2 | 41.3 |
| 끓여 먹는다 | 62.7 | 64.8 | 54.8 | 54.4 | 66.4 | 66.8 | 64.4 | 57.9 |
| 정수기 사용 | 4.3 | 5.0 | 1.7 | 9.9 | 4.9 | 3.4 | 2.4 | 0.9 |

註: 1) 월가구소득 50만원 이하 2) 월가구소득 51~100만원
3) 월가구소득 101~150만원 4) 월가구소득 151~200만원
5) 월가구소득 201만원 이상

4) 食水種類別 安全性에 對한 認識 및 食水方法

식수종류별 그 물의 衛生上 安全性에 대한 認識을 보면 地下水를 먹는 경우가 그 물에 대해 가장 安全한 것으로 인식하고 있었으며 두 번째가 藥水를 먹는 경우였다. 수돗물을 먹는 경우는 약 1/4만이 그 물이 안전하다고 생각하는 것으로 나타났다. 식수종류별 식수방법을 보면 地下水를 먹는 사람은 약 50%가 그냥 먹는다고 하였으며 藥水나 市販 生水를 먹는 사람은 70% 이상이 그냥 먹는 것으로 나타난 반면에 수돗물을 먹는 사람은 90% 이상이 끓여 먹는다고 응답을 하였다. 수돗물에 대한 不信이 매우 높음을 알 수 있다(表 3-76 참조).

〈表 3-76〉 食水種類別 安全性 認識 및 食水方法 分布

(單位: %)

| | 계(N) | 안전성 인식 | | | 식수방법 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 예 | 아니오 | 그저 그렇다 | 그냥 먹음 | 끓여 먹음 | 정수기 사용 |
| 전체 | 100.0(6,480) | 36.8 | 27.1 | 36.1 | 33.0 | 62.7 | 4.3 |
| 수돗물 | 100.0(3,336) | 25.6 | 38.5 | 35.8 | 3.7 | 90.3 | 6.0 |
| 지하수 | 100.0(1,059) | 59.1 | 17.1 | 23.7 | 49.7 | 49.2 | 1.2 |
| 약수 | 100.0(1,725) | 45.7 | 12.9 | 41.4 | 70.8 | 27.2 | 2.0 |
| 시판생수 | 100.0( 329) | 33.0 | 15.6 | 51.5 | 78.3 | 12.0 | 9.8 |
| 기 타 | 100.0( 31) | 52.7 | 12.5 | 34.8 | 33.4 | 63.2 | 3.4 |

## 다. 安全意識

오늘날 事故로 인한 死亡이 어느 나라에서나 주요한 死因의 하나로 등장하고 있으며 우리나라도 예외는 아니다. 그러나 事故는 반드시 그 원인이 있으며 適切한 豫防措置가 취해진다면 충분히 막을 수 있다. 특히 交通事故는 車輛의 急增加와 더불어 사망원인의 큰 부분을 차지하고 있다. 이와 관련하여 運轉과 관련된 安全意識을 파악한 결과는 다음과 같다.

### 1) 運轉者의 安全意識 및 行態

조사 대상자의 25.5%에 해당하는 1,648명이 현재 운전을 하고 있는 것으로 나타났다. 이들을 대상으로 운전할 때 안전벨트를 매는가를 질문한 결과 71.2%(대체로 매는 편 18.2%, 항상 맴 53.0%)는 거의 매는 편으로 나타났으나 거의 매지 않는 편도 10.4%(거의 매지 않는 편 8.2%, 절대로 매지 않음 2.2%)나 되었다. 여자보다 남자가 매지 않는다는 편이 많았고 시지역보다 군지역 거주자가 매지 않는다는 편이 많았다(表 3-77 참조).

〈表 3-77〉 自家運轉者의 性·地域別 安全벨트 着用與否

(單位: %)

| | 지역 | | | 성 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 전국 | 시지역 | 군지역 | 남자 | 여자 |
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (1,648) | (1,384) | (264) | (1,372) | (276) |
| 절대로 매지 않음 | 2.2 | 2.0 | 3.1 | 2.5 | 0.5 |
| 거의 매지 않는 편 | 8.2 | 7.1 | 14.0 | 8.3 | 7.8 |
| 가끔 매는 편 | 18.4 | 17.6 | 22.5 | 20.0 | 10.2 |
| 대체로 매는 편 | 18.2 | 18.2 | 18.5 | 18.4 | 17.5 |
| 항상 맴 | 53.0 | 55.1 | 41.9 | 50.8 | 63.9 |

이들 자가 운전자를 대상으로 지난 한 달간 음주운전한 횟수를 질문한 결과 1회 이상 음주운전 경험이 있는 경우가 무려 약 20%나 되었다. 남자의 경우 음주운전 경험이 여자보다 높았으며 시지역보다 군지역이 높았다(表 3-78참조).

〈表 3-78〉 自家運轉者의 性·地域別 飮酒運轉 頻度

(單位: %)

| | 지역 | | | 성 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 전국 | 시지역 | 군지역 | 남자 | 여자 |
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (1,648) | (1,384) | (264) | (1,372) | (276) |
| 없음 | 80.8 | 82.4 | 71.9 | 77.6 | 96.8 |
| 1번 | 7.8 | 7.7 | 8.5 | 0.9 | 1.8 |
| 2~3회 | 7.3 | 6.1 | 13.8 | 8.7 | 0.3 |
| 4~5회 | 1.8 | 1.4 | 3.4 | 0.2 | 0.4 |
| 6회 이상 | 2.3 | 2.3 | 2.4 | 2.6 | 0.8 |

2) 非運轉者의 交通安全 行態

'다른 사람이 운전하는 자동차(택시포함)에 탔을 때 안전벨트를 매는가'라는 질문에 대해 41.0%는 거의 매지 않는 편(절대로 매지 않음

6.5%, 거의 매지 않는 편 34.5%)이라고 응답했으며 거의 매지 않는다는 경우는 시지역보다 군지역에서 더 높았다(表 3-79 참조).

〈表 3-79〉 性·地域別 他人車에 同乘시 安全벨트 着用與否

(單位: %)

| | 지역 | | | 성 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 전국 | 시지역 | 군지역 | 남자 | 여자 |
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (6,480) | (5,089) | (1,391) | (3,107) | (3,373) |
| 절대로 매지 않음 | 6.5 | 5.6 | 10.0 | 5.7 | 7.3 |
| 거의 매지 않는 편 | 34.5 | 33.4 | 38.8 | 32.2 | 36.7 |
| 가끔 매는 편 | 22.9 | 22.8 | 22.9 | 23.4 | 22.3 |
| 대체로 매는 편 | 18.9 | 19.9 | 15.3 | 21.0 | 17.0 |
| 항상 맴 | 17.2 | 18.3 | 13.0 | 17.7 | 16.7 |

'지난 한 달동안 술에 취한 사람이 운전하는 자동차를 몇 번이나 탔습니까'라는 질문에 대해서는 10% 정도가 한 번 이상 동승한 경험이 있는 것으로 나타났으며 남자의 경우가 여자보다 다소 더 높았다(表 3-80 참조).

〈表 3-80〉 性·地域別 飮酒運轉者와 同乘 回數

(單位: %)

| | 지역 | | | 성 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 전국 | 시지역 | 군지역 | 남자 | 여자 |
| 계 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (N) | (6,480) | (5,089) | (1,391) | (3,107) | (3,373) |
| 없음 | 90.0 | 89.7 | 91.2 | 86.1 | 93.6 |
| 1번 | 4.5 | 4.7 | 3.7 | 5.9 | 3.2 |
| 2~3회 | 4.2 | 4.3 | 3.9 | 6.3 | 2.3 |
| 4~5회 | 0.6 | 0.6 | 0.8 | 0.8 | 0.4 |
| 6회 이상 | 0.7 | 0.8 | 0.4 | 1.0 | 0.4 |

## 第 2 節 健康行爲實踐(life style)과 健康과의 關聯性

癌, 糖尿, 心血管疾患과 같은 慢性疾患이 주요 死亡原因으로 대두되면서 이들 만성질환의 危險要因으로 지적되고 있는 食習關, 吸煙, 飮酒 등과 같은 健康行爲實踐에 대한 관심이 커지고 있다.

하나의 단일질환은 여러 위험요인에 의해 유발될 수 있으며 반면에 단일 위험요인이 여러 가지 질환이나 증상을 유발할 수 있다. 예를 들면, 肺癌은 다른 여러 요인 중 특히 吸煙, 飮食, 公害와 관련이 있는 반면에 흡연은 폐암뿐만 아니라 심혈관질환, 호흡기질환, 심지어는 위궤양의 위험요인으로 지적되고 있다.

이 절에서는 健康行爲實踐과 慢性疾患과의 關聯性을 살펴보고자 한다. 첫째, 健康行爲實踐 程度別 慢性疾患 有病率을 살펴보며 둘째, 主要 慢性疾患의 危險要因을 살펴보고자 한다.

### 1. 健康行爲實踐 程度와 慢性疾患 有病水準과의 關聯性

健康行爲實踐 程度 즉, 건강행위실천 가지수에 따라 만성질환의 유병수준이 다르게 나타날 것이라는 가정 하에 健康行爲實踐 가지수별로 慢性疾患 有病率을 살펴보고자 한다.

#### 가. 分析變數

전체적인 慢性疾患 有無와 다섯 가지 주요 만성질환 유무를 從屬變數로 하고 健康行爲實踐 程度를 獨立變數로 하여 분석하였다. 건강행위실천정도는 다섯 가지의 主要 健康行爲[10](흡연여부, 운동, 적당한

---

10) 건강행위실천 정도를 나타내는 지표는 미국 Alameda County 연구에서와 같이 7가지 건강행위실천변수 중 특히 건강과 관련성이 높은 5가지의 변수로 구성하였다(Belloc N. B., Breslow L., 1972; 1:409~21).

음주, 비만유무, 적당한 수면정도)의 바람직한 실천 가지수에 따라 3단계(0,1,2/3/4,5)로 분류하였다(表 3-81 참조).

〈表 3-81〉 健康行爲實踐 變數 및 慢性疾患의 分類表

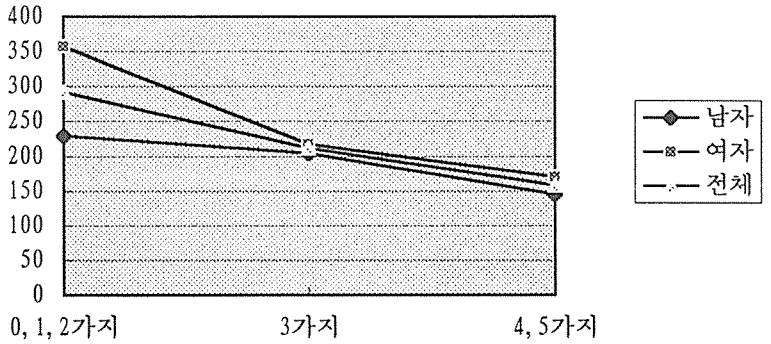
| 건강습관실천 | 독립변수(값) | | 종속변수(만성질환 종류) | |
|---|---|---|---|---|
| | 0 | 1 | 구분 | 내용 |
| 흡연경험 | 피운적 없다 | 현재 피우고 있거나 과거에 피운 적 있다 | 만성질환 전체 | |
| 적당한 음주 | 월 1회 이하<br>월 2~4회<br>주 2~4회 | 안 마시거나 매일 마신다 | 만성심혈관계 질환 | 고혈압<br>중풍<br>갑상선 |
| BMI에 의한 비만 | 보통 | 비만 | 만성호흡기계 질환 | 만성기관지염<br>해소기침 |
| 규칙적 운동 | 주 1회<br>주 2~3회<br>주 4~5회<br>매일 | 전혀 하지 않거나 가끔 한다 | 만성소화기계 질환 | 소화성 궤양<br>간염 |
| 적절한 수면 | 7~8시간 | 6시간 이하<br>9시간 이상 | 관절염 등 | 관절염<br>통풍<br>골다공증 |
| 건강행위 실천 정도 | 위의 5가지 건강생활실천 중 바람직한 행위(0값)의 수 | | 당뇨 | |

2) 分析結果

健康行爲實踐 程度別로 만성질환 유병률을 살펴본 결과 전체 만성질환 유병률은 健康行爲實踐 程度에 따라 현저한 차이를 보여주었다. 즉, 두 가지 이하의 건강행위실천을 한 사람은 1,000명당 292명, 세 가지의 건강습관실천을 한 사람은 212명, 그리고 네 가지 이상의 건강습관 실천을 한 사람 중에서는 158명만이 지난 1년간 만성질환을 지닌 것으로 나타나 건강행위실천을 많이 할수록 만성질환 유병률이 현저

하게 낮았다. 이와 같은 결과는 Belloc 등의 연구결과와도 같으며 (Belloc et al., 1972) 1989년도 국민건강조사 자료를 분석한 김공현의 연구 결과와도 같다(Kim, K. H., 1991). 健康行爲實踐이 慢性疾患과 강한 關聯性이 있음을 再立證하고 있다(表 3-82 참조).

성별로 볼 때도 마찬가지로 건강행위실천을 많이 할수록 만성질환 유병률이 현저하게 낮게 나타났는데 남자보다 여자가 더 큰 차이를 보여주었다(圖 3-28, 表 3-82 참조).




[圖 3-28] 性·健康行爲實踐 程度別 人口 1,000名當 慢性疾患 有病率

연령별로 볼 때에는 20대와 40대가 타연령군과 다소 다른 경향을 보여주었는데 이들 두 개 연령군에서도 네 가지 이상의 건강습관을 실천하는 경우 만성질환 유병률이 가장 낮게 나타났으나 세 가지를 실천하는 집단이 두 가지 이하를 실천하는 집단보다 만성질환 유병률이 높게 나타났다. 이는 특정 연령대에 빈번한 만성질환의 종류와 관련이 있을 것으로 추측된다(表 3-82 참조).

〈表 3-82〉 性·年齡·健康行爲實踐 程度別 人口 1,000名當 慢性疾患 有病率[1)]

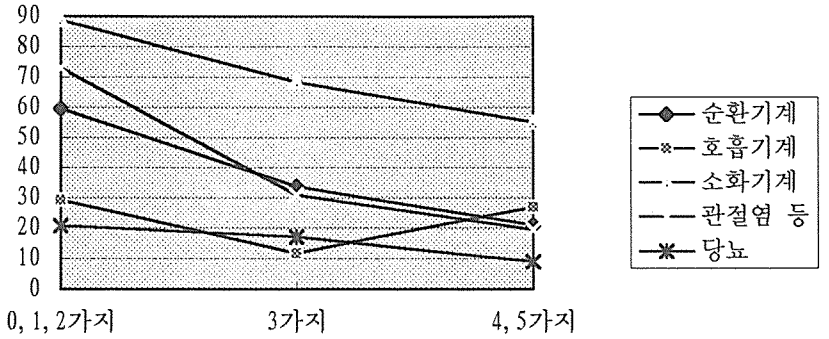
(單位: 명)

| 건강행위가지수 | 전체 | 2가지 이하 | 3가지 | 4가지 이상 |
|---|---|---|---|---|
| (N) | (6,480) | (3,582) | (2,227) | (671) |
| 전 체 | 250.0 | 292.0 | 211.5 | 158.0 |
| 성 | | | | |
| 남자 | 208.8 | 229.3 | 204.4 | 144.7 |
| 여자 | 284.9 | 357.7 | 216.8 | 169.9 |
| 연령 | | | | |
| 15~19세 | 49.8 | 64.7 | 45.3 | 24.2 |
| 20~29세 | 118.8 | 102.8 | 136.7 | 114.0 |
| 30~39세 | 184.0 | 197.6 | 166.9 | 165.6 |
| 40~49세 | 315.4 | 304.2 | 345.3 | 275.9 |
| 50~59세 | 444.7 | 474.0 | 395.6 | 322.6 |
| 60~69세 | 591.5 | 600.9 | 571.4 | 500.0 |

註: 1) (이환자수 ÷ 대상인구) × 1,000

다음은 健康行爲實踐과 특히 관련이 있는 것으로 알려진 주요 만성질환의 종류별로 건강행위실천 정도에 따른 유병률의 차이를 살펴보고자 한다. 〈表 3-83〉에 의하면 慢性循環器系疾患(고혈압, 중풍, 심장병), 慢性消化器系疾患(소화성궤양, 간염), 關節炎(관절염, 통풍, 골다공증) 및 糖尿病 유병률은 모두 건강행위실천 가지수가 많을수록 일정비율로 유병률이 낮아지고 있어 건강행위실천이 이들 만성질환과 매우 밀접하게 관련되어 있음을 보여주고 있다. 다만 慢性呼吸器系疾患(만성기관지염, 해소기침) 유병률은 건강행위실천을 세 가지만 하는 경우의 유병률이 두 가지 이하나 네 가지 이상을 실천하는 경우보다 높게 나타났다. 이는 慢性呼吸器系疾患은 앞에서 지적한 다섯 가지 건강행위실천 항목 중 吸煙이라는 單一要因과 특히 밀접한 관계가 있는 질환이므로 건강행위실천 가지수 보다는 흡연이 어느 곳에 속하는 가에 따라 유병률에 영향을 미친 것이 아닌가 추측된다. 이와 같은 점을

보다 명확히 파악하기 위해서 각각의 질환에 대한 위험요인의 규명이 필요하다(圖 3-29, 表 3-83 참조).




[圖 3-29] 健康行爲實踐 程度別 人口 1,000名當 主要 慢性疾患 有病率

〈表 3-83〉 健康行爲實踐 程度別 人口 1,000名當 主要 慢性疾患 有病率[1)]

(單位: 명)

| | 만성순환 기계질환[2)] | 만성호흡 기계질환[3)] | 만성소화 기계질환[4)] | 관절염 등[5)] | 당뇨[6)] |
|---|---|---|---|---|---|
| 전체 | 46.6 | 23.0 | 78.2 | 52.9 | 18.2 |
| 2가지 이하 | 59.5 | 29.3 | 88.8 | 72.9 | 20.7 |
| 3가지 | 33.7 | 11.7 | 68.3 | 31.0 | 17.1 |
| 4가지 이상 | 20.9 | 26.8 | 55.1 | 19.4 | 8.9 |

註: 1) (이환자수÷대상인구)×1,000 2) 고혈압, 중풍, 심장병
3) 만성기관지염, 해소기침 4) 소화성궤양, 간염
5) 관절염, 통풍, 골다공증 6) 당뇨

다음은 성별로 健康行爲實踐 程度와 주요 만성질환과의 관련성을 살펴보고자 한다. 건강행위실천 가지수에 따른 성별 慢性循環器系疾患

유병률은 남자보다 여자의 경우 차이가 크게 나타났다. 반면에 만성소화기계질환의 유병률은 건강행위실천 가지수가 많을수록 여자보다 남자에게서 더 차이가 컸다. 성별로 가장 큰 유병률 차이를 보이고 있는 關節炎, 通風, 骨多孔症의 건강행위실천 정도별 유병률은 여자의 경우 차이가 컸으며 당뇨의 경우도 여자에 있어서 남자보다 더 큰 차이를 보여주었다(表 3-84 참조).

〈表 3-84〉 性·健康行爲實踐 程度別 人口 1,000名當 主要 慢性疾患 有病率[1)]

(單位: 명)

| 건강행위실천 가지수 | 만성순환기계 질환[2)] | | 만성호흡기계질환[3)] | | 만성소화기계질환[4)] | | 관절염 등[5)] | | 당뇨[6)] | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 남자 | 여자 | 남자 | 여자 | 남자 | 여자 | 남자 | 여자 | 남자 | 여자 |
| 계 | 35.4 | 56.9 | 27.0 | 19.6 | 73.1 | 83.0 | 20.9 | 82.7 | 20.9 | 15.7 |
| 2가지 이하 | 38.8 | 81.1 | 31.1 | 27.4 | 80.8 | 97.1 | 26.7 | 121.1 | 22.9 | 18.3 |
| 3가지 | 32.2 | 34.8 | 16.6 | 8.7 | 67.4 | 68.8 | 16.6 | 42.7 | 18.7 | 15.8 |
| 4가지 이상 | 25.7 | 16.7 | 35.4 | 19.5 | 45.0 | 64.1 | - | 36.2 | 16.1 | 2.8 |

註: 1) (이환자수÷대상인구)×1,000　2) 고혈압, 중풍, 심장병
3) 만성기관지염, 해소기침　4) 소화성 궤양, 간염
5) 관절염, 통풍, 골다공증　6) 당뇨

## 2. 主要 慢性疾患의 危險要因 分析

### 가. 分析方法

앞에서의 '健康行爲實踐 가지수에 따른 慢性疾患의 有病實態分析'만으로는 특정 만성질환에 대한 個別 健康習慣의 危險度는 알 수 없다. 따라서 여기서는 건강행위실천이 특정 만성질환에 위험요인으로 작용할 것이라는 가정 하에 SAS프로그램을 이용하여 특정 만성질환에 대한 개별 건강행위의 위험도를 다변량 로지스틱회귀분석(Multiple Logistic Analysis)에 의해 산출하였다(SAS, 1990). 다변량 로지스틱

회귀분석에 사용된 모든 변수는 0과 1로 범주화하였으며 PROC CATMOD(Categorical data modeling)의 Model에 의해 분석하였다. 모델의 적합도(goodness of fit)를 검증하기 위해서는 우도비 검증(likelihood ratio test)을 실시하였다(Hosmer & Lemeshow, 1989).

나. 分析에 使用된 變數

1) 從屬變數

만성질환 중 10대 사망원인에 속하며 건강행태와 특히 관련성이 높은 것으로 알려진 慢性循環器系疾患, 慢性呼吸器系疾患, 糖尿病 등의 세 가지 질환을 종속변수로 하였다.

2) 獨立變數(健康行爲實踐 變數)

獨立變數는 健康行爲實踐變數인 일곱 가지의 'Alameda 7'변수를 모두 포함시켰으며 그외에 질병발생과 관련성이 높은 스트레스와 性, 年齡을 추가시켰다.

〈獨立變數〉

| 주요 위험요인 (독립변수) | 변 수 값 | |
|---|---|---|
| | 0 | 1 |
| 흡연, 음주, 비만, 운동, 수면 | 〈表 3-81〉과 같음 | 〈表 3-81〉과 같음 |
| 아침식사 | 꼭 먹는다 | 가끔 먹는다, 안 먹는다 |
| 간식 | 전혀 하지 않음 | 가끔 한다, 항상 한다 |
| 스트레스 | 없음, 조금 있음 | 매우 많음 |
| 성 | 여자 | 남자 |
| 연령 | 39세 이하 | 40세 이상 |

분석에 사용된 자료가 1회 조사에 의한 橫斷的 資料임으로 건강행위 실천 변수가 만성질환에 원인적인 요인으로 작용하였는지를 단정하는 데는 무리가 있을 수 있다. 그럼에도 불구하고 健康行爲는 시기적으로 만성질환의 발생보다 먼저 습득되었을 것이라는 점에서 동 분석의 論理的인 妥當性을 부여하였다. 이와 같은 분석은 엄밀하게는 追跡調査 資料일 때만 가능할 것이다. 그러나 미국의 Almeda County 연구에서도 대규모 縱斷的 硏究를 실시하기 이전에 이와 같은 횡단적 조사결과의 분석이 다각도로 이루어졌으며 이들 조사의 결과는 전체적인 경향을 제시하는 데 큰 차이가 없었던 것을 감안할 때, 이와 같은 분석의 의미를 부여할 수 있다고 본다.

다. 分析結果

1) 慢性循環器系疾患의 危險要因

循環器系疾患은 1993년도 우리나라 死亡原因의 30.2%를 나타내는 중요질환이다(통계청, 1994). 이와 같은 心血管疾患의 豫防을 위해서는 위험요인에 관한 연구가 필요하나 우리나라에는 위험요인에 관한 연구가 많지 않다. 병원환자를 대상으로 연구한 고응린 등의 연구에서는 고혈압, 육식선호, 흡연, 커피, 고지혈증, 가족력 등이 循環器系疾患의 危險要因으로 파악된 바 있으며(고응린 등, 1986), 일반주민을 대상으로 조사된 전국적 자료를 분석한 김정순 등의 연구에서는 年齡, 飮酒, 體重過多 等이 高血壓의 危險要因으로 지적되었다(김정순 등, 1990). 한편 미국의 지역사회주민을 30~40년간 추적 연구한 결과에서는 肥滿, 過飮, 運動不足, 吸煙이 순환기계질환 위험요인으로 지적되었다(Brownson et al., 1993).

본 연구에서는, 年齡이 慢性循環器系疾患(고혈압, 중풍, 심장병)의 가장 큰 危險要因으로 나타났는데 40세 이상인 경우가 39세 이하보다

순환기계질환에 걸릴 위험성이 3배 정도 되었다. 두번째 危險要因은 비만으로서 비만인 경우는 그렇지 않은 경우보다 高血壓, 中風, 心臟病에 걸릴 위험이 1.6배나 되었다. 스트레스가 두번째 위험요인으로 나타났는데 스트레스를 많이 느끼는 경우는 그렇지 않은 경우에 비해 순환기계질환에 걸릴 위험이 약 1.3배 정도로 나타났다. 연령, 비만, 스트레스가 循環器系疾患의 危險要因으로 파악된 것은 이 분야의 여러 연구결과와 동일한 것으로서 매우 의미가 있다. 반면에 타연구에 비해 吸煙, 飮酒, 運動不足이 위험요인으로 파악되지 않은 것은 횡단적 연구가 지닌 제한점이 반영된 것으로 해석되며 앞으로 보다 면밀한 설계에 의한 연구가 필요함을 시사하는 것이라 하겠다. 모델의 적합도 검증결과 p값이 99.6%로 나타나 모형이 과대적합(over fitting)된 경향을 보여주었다(表 3-85 참조).

〈表 3-85〉 健康行爲實踐이 慢性循環器系疾患에 미친 影響

| 건강 습관 | 추정계수값 | 상대위험도 | 95%신뢰구간 | 유의수준 |
|---|---|---|---|---|
| 흡연(피운적 없다/있다) | -0.0553 | 0.946 | (0.761~1.176) | N.S. |
| 적당한 음주(예/아니오) | -0.0937 | 0.911 | (0.757~1.096) | N.S. |
| 비만(예/아니오) | 0.4823 | 1.620 | (1.384~1.896) | p<0.01 |
| 규칙적 운동(예/아니오) | 0.0104 | 1.010 | (0.847~1.205) | N.S. |
| 아침식사(예/아니오) | 0.0303 | 1.031 | (0.869~1.223) | N.S. |
| 간식(아니오/예) | -0.0423 | 0.959 | (0.809~1.135) | N.S. |
| 성(여자/남자) | -0.1460 | 0.864 | (0.694~1.076) | N.S. |
| 연령(39세 이하/40세 이상) | 1.0987 | 3.000 | (2.460~3.659) | p<0.01 |
| 적당한 수면(예/아니오) | 0.0012 | 1.001 | (0.865~1.159) | N.S. |
| 스트레스(예/아니오) | 0.2613 | 1.299 | (1.070~1.577) | p<0.01 |

註: 모델의 적합도: likelihood ratio $\chi^2$=407.24 d.f.=508 p=0.996

2) 慢性呼吸器系疾患의 危險要因

1993년도 통계청의 死亡原因統計에 의하면 기관지염, 폐기종, 천식으로 인한 사망은 인구 10만명당 10.1명으로서 사망순위 10위를 차치

하였다(통계청, 1993). 呼吸器系疾患의 주된 위험요인이 吸煙인 것은 널리 알려진 사실이다. 본 연구의 결과에서도 慢性呼吸器系疾患(만성기관지염, 해소기침)에는 吸煙이 가장 큰 危險要因으로 나타났는데 흡연자는 비흡연자 보다 만성기관지염이나 해소기침에 걸릴 위험이 1.5배 정도 높게 나타났다. 연령이 40세 이상인 경우도 만성호흡기계질환에 걸릴 위험성이 40세 미만에 비해 1.5배 정도 높게 나타났다. 건강에 좋은 영향을 주는 것으로 알려진 適當한 飮酒는 慢性呼吸器系疾患에는 오히려 위험도를 높여 주는 것으로 나타났다. 여성이 남성에 비해 慢性呼吸器系疾患에 걸릴 위험이 다소 높게 나타났다(表 3-86 참조).

〈表 3-86〉 健康行爲實踐이 慢性呼吸器系疾患에 미친 影響

| 건강 습관 | 추정계수값 | 상대위험도 | 95%신뢰구간 | 유의수준 |
|---|---|---|---|---|
| 흡연(피운적 없다/있다) | 0.4334 | 1.542 | (1.155~2.061) | p<0.01 |
| 적당한 음주(예/아니오) | -0.2669 | 0.766 | (0.618~0.948) | p<0.1 |
| 비만(예/아니오) | 0.2236 | 1.251 | (0.997~1.569) | N.S. |
| 규칙적 운동(예/아니오) | -0.1278 | 0.880 | (0.713~1.086) | N.S. |
| 아침식사(예/아니오) | -0.1954 | 0.823 | (0.653~1.036) | N.S. |
| 간식(아니오/예) | -0.1054 | 0.900 | (0.724~1.119) | N.S. |
| 성(여자/남자) | -0.2744 | 0.760 | (0.567~1.019) | p<0.1 |
| 연령(39세 이하/40세 이상) | 0.4269 | 1.532 | (1.250~1.879) | p<0.01 |
| 적당한 수면(예/아니오) | -0.0917 | 0.912 | (0.753~1.106) | N.S. |
| 스트레스(예/아니오) | 0.1253 | 1.133 | (0.852~1.508) | N.S. |

註: 모델의 적합도: likelihood ratio $\chi^2$=358.54 d.f.=508 p=1.000

3) 糖尿病의 危險要因

우리나라에서 糖尿病은 10대 사망원인 중 9위를 차지하며 사망률은 인구 10만명당 16.6명(전체 사망의 3.2%)으로 보고되고 있다(통계청, 1993). 당뇨병은 크게 인슐린의존형 당뇨병과 비인슐린의존형 당뇨병의 두 가지 형태로 나뉘어지는데 인슐린에 의존하여 살아야 하는 심한형태

의 당뇨병인 인슐린의존형 당뇨병의 발생기전은 주로 자가면역성 기전으로 추측되고 있으나 아직까지는 상당수에서 자가면역기전이 관계하고 있다는 증거가 발견되지 못한 상태이다. 인슐린의존형 당뇨병의 위험요인으로 유전적 요인이 지적되고 있는데 이는 일난성 쌍생아에서의 질병발생 합치율이 25~30%인데 비하여 이란성 쌍생아에서는 5~10%에 불과한 사실에서 기인된다(이홍규, 1995 재 인용). 環境的 要因으로는 스웨덴 등에서 영아기에 母乳대신 牛乳를 먹이는 것이 인슐린의존형 당뇨병과 관련된다는 보고가 있었으며 그 외에도 우유의 단백질이 자가면역기전의 소인을 부여하는 것, 또는 각종 바이러스 등이 관련된다는 추측을 하고 있으나 아직까지는 불분명한 점이 많다(이홍규 등, 1995).

한편, 인슐린 非依存型 糖尿病의 위험요인으로는 ① 유전적 소인 ② 여자 ③ 나이(40세 이상, 특히 노인) ④ 비만 ⑤ 고혈압 ⑥ 육체적 운동 ⑦ 식습관 ⑧ 스트레스 등으로 지적되고 있다(이홍규 등, 1995). 이와 같은 위험요인에 대한 설명은 다음과 같다. 첫째, 規則的 運動은 인슐린 감수성을 증가시키고 내당능을 호전시키며 당대사의 개선 이외에도 인슐린저항증을 개선하고, 소위 '만성대사증후군'을 개선시키는 효과가 있다. 둘째, 비만할수록 당뇨병의 발생위험이 늘어나는 것은 복부, 특히 복강내의 지방축적이 인슐린저항증과 관계가 있는 것으로 설명되는데 그 이유로 내장에서 유리되어 간으로 직접 들어가는 지방산 量의 증가가 인슐린 저항증을 일으킨다는 것이다. 셋째, 당뇨병의 발생과 관련되는 食習慣 문제는 높은 動物性 飽和脂肪의 攝取, 정제된 당질의 섭취와 섬유질 섭취의 감소 등이 지적되고 있다. 넷째, 스트레스는 포도당을 동원하는 각종 호르몬들의 분비를 촉진하여 이미 진행되는 당대사이상의 발현을 촉진하는 것으로 생각되며, 그 자체가 췌장기능의 저하를 초래하는 지는 불분명하다(이홍규 등, 1995).

본 연구의 결과, 糖尿病의 危險要因은 비만, 스트레스, 연령 40세 이상으로 나타났다. 즉, 당뇨병에 걸릴 위험은 비만인 경우가 그렇지

않은 경우보다 1.4배, 스트레스를 많이 받는 경우가 그렇지 않은 경우보다 1.3배 정도 높은 것으로 나타났으며 연령이 40세 이상인 경우 40세 미만보다 위험도가 3배 이상 높게 나타났다. 건강에 좋은 영향을 주는 것으로 알려진 하루밤 평균 7~8시간의 수면을 취하는 것은 당뇨에는 오히려 陰(-)의 효과를 준 것으로 나타났는데 이는 糖尿가 있기 때문에 健康管理의 측면에서 바람직한 睡眠을 취하게 된 발병후의 행위가 포함된 결과로 해석될 수 있다(表 3-87 참조). 사실상 앞에서도 論하였듯이 본 조사와 같은 횡단적인 조사자료가 지닌 제한점으로 인해 이론적, 경험적으로 주요 위험요인으로 판명된 吸煙, 飮酒, 運動이 건강에 준 효과가 다소 미미하게 나타난 것은 이와 같은 질병발생 후의 변화된 태도가 일부 포함되었기 때문으로 해석될 수 있다. 그럼에도 불구하고 비만이나 스트레스가 세 가지 만성질환에서 모두 위험요인으로 파악될 수 있었던 것은 이들 요인은 특히 個人의 意志에 의해 쉽게 변화하기 어려운 특성을 지녔기 때문으로 파악된다. 어쨌든, 慢性疾患과 健康行爲實踐간의 보다 명확한 인과관계를 규명하기 위해서는 종단적 연구가 필요하다고 하겠다.

〈表 3-87〉 健康行爲實踐이 糖尿病에 미친 影響

| 건강 습관 | 추정계수값 | 상대위험도 | 95%신뢰구간 | 유의수준 |
|---|---|---|---|---|
| 흡연(피운적 없다/있다) | -0.0452 | 0.956 | (0.713~1.282) | N.S. |
| 적당한 음주(예/아니오) | 0.0096 | 1.010 | (0.782~1.304) | N.S. |
| 비만(예/아니오) | 0.3741 | 1.454 | (1.159~1.824) | p<0.01 |
| 규칙적 운동(예/아니오) | 0.1159 | 1.123 | (0.864~1.460) | N.S. |
| 아침식사(예/아니오) | 0.0424 | 1.043 | (0.815~1.336) | N.S. |
| 간식(아니오/예) | -0.1862 | 0.830 | (0.663~1.040) | N.S. |
| 성(여자/남자) | 0.1555 | 1.168 | (0.864~1.580) | N.S. |
| 연령(39세 이하/40세 이상) | 1.1147 | 3.049 | (2.270~4.094) | p<0.01 |
| 적당한 수면(예/아니오) | -0.3134 | 0.731 | (0.589~0.907) | p<0.01 |
| 스트레스(예/아니오) | 0.2922 | 1.339 | (1.024~1.752) | p<0.05 |

註: 모델의 적합도: likelihood ratio $\chi^2$=299.62 d.f.=508 p=1.000

# 第 4 章 結論 및 政策建議

## 第 1 節 結 論

本 硏究는 우리나라 國民의 健康行爲의 實踐水準과 變化推移를 제시하고 健康行爲實踐과 健康과의 關聯性을 살펴보며 主要 慢性疾患의 危險要因을 把握하기 위해 實施하였다.

調査對象은 전국에서 標本으로 추출된 家口의 만 15~69세 家口員 중 1인을 표본으로 추출한 6,480명이며 調査員에 의한 面接調査에 의해 자료를 수집하였다. 資料蒐集은 1995년 7월 1일~7월 30일에 걸쳐 실시되었다. 分析方法은 記述分析과 로지스틱 回歸分析을 사용하였다.

연구결과, 健康行爲의 實踐程度는 性, 年齡, 地域, 敎育水準, 家口의 所得水準에 따라 다르게 나타났으며 健康習慣을 많이 가지고 있을수록 健康한 경향을 보였고 慢性疾患의 有病率도 낮게 나타났다. 이와 같은 결과는 1960년대 중반 이후 실시된 여러 硏究結果들과 일치된다. 로지스틱 回歸分析에 의해 주요 만성질환에 대한 健康危險行爲의 相對危險度를 산출한 결과 또한 여러 先行硏究의 結果와 유사한 傾向을 보여주었다.

### 1. 吸 煙

우리나라의 20세 이상 59세 이하 成人吸煙率은 35.5%로서 세계보건기구(WHO)가 보고한 세계 평균흡연율 30%를 훨씬 웃돌고 있다. 특히 우리나라의 15歲 以上 男子 吸煙率(61.0%)은 미국 28.6%('92), 영국 29.0%('92)의 두 배 이상이며, 독일 36.8%('92), 프랑스 38.0%('92)에 비해서도 월등히 높은 수준이다.

1989년~1995년간 흡연율 추이를 보면 성인(20~59세) 남자 흡연율은 다소 감소한 반면(70.8%→67.7%)에 여자 흡연율은 오히려 증가하였고(3.9%→5.0%), 30대의 吸煙率은 4.2% 포인트 감소(39.8%→35.6%)한 반면 20대 흡연율은 5.1% 포인트 증가하였다(30.4%→35.5%). 특히 20대 여성 吸煙率이 크게 증가하였다(1989년 1.4%→1995년 5.0%: 3.3배 증가).

吸煙率이 높은 집단은 남자 20代와 30代, 전문대졸 이상, 기능직, 독신으로 나타났고 하루에 가장 많은 양의 흡연을 하는 집단은 40代 남자였다.

吸煙經驗者의 습관적 흡연시작 연령은 남자 22세, 여자 30세로 나타났으며 男子吸煙者의 91.7%가 20代 이전에 흡연을 시작하였는데 반해 여자는 53.1%만이 20대 이전에 吸煙을 시작했고 나머지 절반 정도(46.9%)는 30세 이후에 습관적으로 吸煙을 시작한 것으로 나타났다.

吸煙動機는 남·녀 모두 吸煙始作 年齡이 빠를수록 호기심이 가장 큰 동기로 나타난 반면, 吸煙을 늦게 시작했을수록 욕구불만이나 스트레스 해소가 주요 동기로 나타났다. 이러한 傾向은 여성에게서 더욱 두드러지게 나타나 30대 이후에 吸煙을 시작한 여성의 약 60%가 욕구불만이나 스트레스를 해소하기 위해 吸煙을 시작한 것으로 나타났다.

成人(15~69세)의 60% 이상이 '吸煙·飮酒는 法으로 금해야 한다'고 응답했으며, '술·담배 廣告는 規制되어야 한다'라는 문항에 대해서도 15~39세의 60% 이상, 40~69세의 70% 이상이 찬성하는 태도를 보였다

WHO에 의하면, 흡연은 질병과 사망을 예방할 수 있는 가장 큰 단일 요인이다. 흡연으로 인해 전세계적으로 1분에 6명이 죽어가며 1년에 3백만명이 사망한다. 또한 최근 영국의 연구에서는 흡연은 24가지의 서로 다른 방법으로 死亡 또는 危害의 원인이 될 수 있음을 증명

하였다. 흡연과 관련된 질병은 폐, 구강, 인두, 후두, 식도, 위, 장, 취장, 방광암, 백혈병, 만성기관지염, 폐기종, 폐인성 심장병(pulmonary heart disease), 결핵, 폐렴, 고혈압, 심장병, 동맥경화, 두 가지 형태의 뇌출혈, 대동맥 파열, 위궤양, 십이지장궤양이며 여성에게는 추가적으로 자궁외 임신, 조산 및 저체중 출산의 가능성 증가, 자궁경부를 손상시킴으로 인한 자궁경부암 발생에 기여한다.

따라서 향후 흡연정책은 우선적으로 吸煙危險集團으로 대두된 20대(대부분이 흡연을 시작하는 시기일 뿐만 아니라 타 年齡대에 비해 吸煙率 증가추세가 두드러지게 높게 나타난 집단)와 40대 男子吸煙者(고도 吸煙者의 比率이 가장 높은 집단)에 초점을 맞추어야 하며 증가추세에 있는 여자흡연율의 억제에 목표를 두어야 할 것이다. 이를 위해 초·중·고등학교에서 금연교육을 강화 실시토록 하며, 전 군인대상의 금연교육을 실시하고 내무반등 실내에서 흡연을 금지하며, 청소년 대상의 담배판매 규제를 강력히 시행하며, 모든 여성의 임신기간중 금연을 유도하여 평생금연으로 이어지도록 하는 등 보다 적극적인 금연 대책이 요구된다.

흡연은 일단 시작하면 끊기 어려운점을 감안하여 흡연을 시작하기 이전인 10대초반(중학교 시절)에 집중적인 禁煙敎育이 필요하다. 그러나 흡연시작후 몇 년 이후에라도 위중한 질병에 이환되기 이전에 금연을 하면, 어느 연령에 금연을 하더라도 그 이후의 사망률은 흡연을 계속한 사람보다 훨씬 적으므로 전 연령층을 대상으로 하는 흡연관리프로그램을 개발하여 실시하여야 한다. 이를 위해 WHO는 국가단위 흡연관리 프로그램의 조정과 모니터를 위한 기술적 지원을 제공하고 있다.

1994년의 WHO 테마인 "담배 없는 날"을 우리나라에서도 지정하여 실천할 필요가 있다.

## 2. 飮 酒

飮酒率(인구 100명당 飮酒者數: 남이 권할때 극소량만을 마시는 경우는 제외)은 35.5%로서 1989년(49.3%)에 비해 상당히 低下되었으나 건강상 문제가 되는 매일 음주율(人口 100명당 每日 飮酒者數)은 1989년에 비해 거의 변화가 없었다(1989: 6.8%, 1995: 6.6%).

매일 음주율은 남자 50대와 60대에서 가장 높았고(각각 22.3%, 21.5%) 음주량(1회 평균 음주량과 과음시의 음주량)은 15~19세 청소년이 가장 많았으며 過飮하는 頻度는 60대 남자 음주자에서 가장 높았다.

飮酒行爲가 健康에 미치는 危害는 과음자(Heavy Drinker)와 문제음주자 (Problem Drinker)에 해당된다. 過飮에 대한 대책은 過飮이 알콜성 肝炎을 일으켜 肝機能을 극히 저하시킬 수 있고 肝 硬化症과 肝癌의 원인이 된다는 측면에서 관심을 기울여야 한다. 특히 우리나라는 肝癌으로 인한 사망률(인구 10만명당 24.1명)이 일본(13.9명), 미국(1.4명), 영국(1.4명)에 비해 높고 慢性 肝疾患으로 인한 사망률(29.6명)도 일본(13.8명), 미국(10.9명), 영국(6.2명)에 비해서 높은 것을 감안하여 이에 대한 특별한 대책이 요구된다. 따라서 적정 음주량과 건강에 해가되지 않을 음주량의 상한선에 대한 지침을 작성, 국민보건교육을 통해 홍보함으로써 건전한 飮酒文化를 정착시켜 나가야 한다.

문제 음주자중 飮酒運轉者는 타인에게 심각한 해를 미칠 수 있다는 점에서 특히 관심을 두어야 하는 대상이다. 그러나 자가운전자의 19.2%가 지난 한 달간 飮酒運轉을 한 것으로 나타나 매우 우려되고 있다. 飮酒로 인한 交通事故가 1989년에서 1993년사이에 연 평균 29.2%로 증가하고 있는 사실로 미루어 볼 때에도 이에 대해서는 飮酒운전자에 대한 處罰을 强化하는 등 보다 강력한 대책이 요구된다.

### 3. 運 動

우리나라 성인인구의 58.8%는 평소에 運動을 전혀 하지 않고 있는 반면 주 1회 이상 運動하는 경우는 불과 24.1%에 지나지 않았다. 運動을 전혀 하지 않는다는 비율은 市地域(55.0%)보다 郡地域 거주자(72.7%)가, 남자(48.9%)보다 여자(68.0%)에게서 높게 나타났고 年齡이 증가할수록 높았다. 職業別로는 專門·行政·管理職(43.1%)이나 사무, 판매·서비스직(각각 45.5%, 59.5%)에 비해 농업(89.6%), 기능직(57.8%), 단순노무직(75.7%)이 평소에 운동을 전혀하지 않는다는 비율이 높았다.

규칙적으로 健康維持에 유익한 운동(일주일에 최소 2번 이상, 20분 이상)을 실천하는 인구는 6.2%에 불과하였다.

적당한 운동(숨이 가쁘고 땀이 날 정도의 유산소적 운동)을 1주일에 적어도 3회 이상 규칙적으로 실시할 때, 건강 및 체력증진에 효과가 있음에 비추어 볼 때 우리나라 국민의 운동실천율은 매우 저조한 상태라고 할 수 있다. 따라서 전국민이 운동을 생활화 할 수 있도록 기본적인 운동시설을 확충하고 직장인의 體育活動振興을 支援하기 위한 시책을 강구하며 운동실시를 유도하기 위해 敎育弘報活動을 强化할 필요가 있다.

### 4. 食習慣

아침식사를 거르는(가끔먹음 또는 안먹음) 사람이 34.2%나 되며 연령이 낮아질수록 아침식사를 거르는 비율이 높아져 10대와 20대는 약 절반 가량(각각 49.1%, 51.9%)이 아침식사를 거르는 것으로 나타났다. 아침식사를 거르는 비율은 郡地域 居住者에 비해 市地域 居住者가, 남자에 비해 여자에게서 높게 나타났다.

평소 하루 세끼 식사를 規則的으로 하고 있는 사람은 調査對象者의 약 절반 정도(53.0%)에 지나지 않았으며 市地域 居住者와 여자, 연령이 낮을수록 不規則的으로 식사하는 비율이 높게 나타났다.

15세 이상 69세 이하의 성인 중 77.7%가 평소에 間食을 하였으며 간식빈도는 郡地域 居住者보다 市地域 居住者가, 남자보다 여자가, 그리고 年齡이 낮을수록 높았다.

건강을 위해 비타민등 영양제를 服用하는 비율이 31%나 되었고 매일 복용한다는 경우도 4.0%였다. 비타민 등 영양제의 服用頻度는 지역이나 성별로는 차이가 없었으나 연령과는 관련성이 높아 年齡이 증가할수록 복용률도 높게 나타났다. 또한 월 평균가구소득수준이 높을수록 비타민 등 영양제의 服用頻度가 높게 나타났다.

국민들의 바람직한 식습관을 유도하기 위해 大衆媒體등을 통한 영양교육을 실시하며 國民食生活指針을 개발 보급하고 학교급식을 중등학교까지 확대 실시함으로써 바람직한 식습관을 생활화 하도록 유도할 필요가 있다.

## 5. 睡眠 및 休息

우리나라 成人(15~69세)의 약 40%만이 충분한 睡眠을 취하고 있는 반면, 睡眠不足을 느끼는 비율은 30대(21.7%)와 40대(21.9%)에서 가장 높았고 특히 40대와 50대 여자에서(각각 24.4%)이 가장 높았다.

## 6. 健康檢診 및 豫防行爲

성인의 36.1%가 지난 1년간 健康檢診을 받았으며 健康檢診率은 시지역(36.9%)이 군지역(33.1%)보다 높았고 남자(41.8%)가 여자(30.9%)보다 높았다. 연령별로는 40대(42.7%)가 가장 높았다. 또한 교육수준이 높을수록 높았고 관리직(52.3%)과 사무직(62.7%)에서 높게 나타났다.

전반적으로 癌檢査率은 저조하였다(위암, 7.0; 간암, 6.8; 폐암, 5.1; 장암, 4.0; 유방암, 6.1). 各種 癌檢査率은 전반적으로 市地域이 郡地域보다 높았고 남자가 여자보다 높았다. 대체로 40, 50대에서 癌檢査率이 높았고 공교나 직장 의료보험 가입자에서 높게 나타났다. 또한 所得水準이 높을수록 檢査率이 높게 나타났다.

慢性疾患은 難治的 특성으로 인해 豫防과 早期發見이 무엇보다 중요하다는 점을 감안할 때 건강검진 등 豫防保健서비스에 대한 의료보험급여를 확대하여야 하며 각종 암의 早期發見 및 管理를 위한 健康檢診體系를 確立하여야 한다.

## 7. 口腔保健 行爲

치아우식증의 豫防을 위해서는 잠자기전 잇솔질이 매우 중요하나 우리나라 成人의 약 절반(55.5%)만이 잠자기전에 잇솔질을 하였고 이는 食後에 닦는것이 바람직하나 우리나라 성인의 62.8%만이 아침식사후에 이를 닦는 것으로 나타났다.

우리나라의 치아우식증 有病率은 인구 1,000명당 3.3명으로서 만성질환중 消化性潰瘍 및 胃炎, 關節炎에 이어 3번째로 높다. 치아수는 음식을 적절하게 섭취할 수 있는가를 결정하는 중대한 요인이므로 삶의 質에 중대한 영향을 끼친다. 특히 평균 수명이 연장됨에 따라 口腔保健의 중요성은 더욱 강조된다. 따라서 치아우식증의 예방을 위해 학교와 직장에서 점심식사후의 이닦이 운동을 전개할 필요가 있다.

定期的인 齒科訪問은 치아우식이나 齒周疾患을 초기에 발견하고 치료함으로써 齒牙喪失과 같은 극단적인 상황을 방지할 수 있어 口腔保健的 차원에서 매우 중요하다. 그러나 조사결과 대체로 齒牙에 문제가 있을 때만 齒科를 訪問하는 것으로 나타나 이에 관한 예방보건적 차원에서 弘報敎育이 요구된다.

## 8. 健康行爲實踐과 健康과의 關聯性

健康行爲實踐 정도에 따라 慢性疾患 有病率은 현저한 차이를 보여 주었다. 즉, 두 가지 이하의 健康行爲實踐을 한 사람은 1,000명당 292명, 세 가지의 健康行爲 實踐을 한 사람은 212명이, 그리고 네 가지 이상의 健康行爲 實踐을 한 사람중에서는 158명만이 이 지난 1년간 慢性疾患을 지닌 것으로 나타났다.

WHO에서는 건강한 생활양식을 널리 확산시키기 위해 대중매체를 통한 保健敎育을 强化하고 있으며 건강증진학교 프로젝트를 1992년에 유럽에서 부터 시작하여 현재 28개국에서 실시하고 있다.

우리나라에서도 國民健康增進을 위한 각종 시책이 차질없이 수행되기 위해서는 國民健康增進法의 效率的 施行을 위한 基盤 造成에 많은 노력을 기해야 할 것이다.

## 9. 主要 慢性疾患의 危險要因

慢性疾患중 10대 死亡原因에 속하며 健康行態와 특히 관련성이 높은 것으로 알려진 慢性循環器系疾患, 慢性呼吸器系疾患, 糖尿病의 3가지 질환과 관련된 위험요인을 파악해 본 결과 비만과 연령(40세 이상)은 이들 3가지 질환에서 모두 危險要因으로 파악되었다. 반면에 스트레스는 慢性循環器系疾患과 糖尿病의 위험요인으로 나타났고 흡연과 성(남자)은 慢性呼吸器系疾患의 위험요인으로 나타났다. 흡연, 음주, 운동이 만성질환에 준 效果가 다소 미미하게 나타난 것은 횡단적 조사가 지닌 제한점이라고 할 수 있다. 따라서 만성질환과 건강행위실천간의 보다 명확한 因果關係를 규명하기 위해서는 縱斷的硏究가 필요하다고 하겠다.

## 第 2 節 政策建議

1. 國民의 健康行爲實踐을 誘導하기 위한 汎國民的 次元의 保健敎育이 要求된다.

本 硏究의 結果는 健康行爲實踐이 健康과 밀접하게 관련되어 있음을 명백히 보여주고 있다. 따라서 개인의 건강에 대한 인식과 책임을 일깨워 주므로써 건강하지 못한 行動과 生活樣式(흡연, 음주, 나쁜 식습관, 운동과 휴식의 부족 등)의 변화를 유도하기 위한 범국민적 차원의 保健敎育이 요구된다.

이를 위해 各級 學校 保健敎育의 强化와 대중매체를 활용한 성인대상 保健敎育의 制度化가 요구된다.

2. 國民의 健康保護行爲의 增加 趨勢에 따른 豫防保健事業의 內實化가 要求된다.

現存하고 있는 여러 公共 및 民間次元의 健康檢診事業의 내실화를 위해서는 檢診項目과 基準의 標準化가 요구되며 運動, 體重調節 등과 같은 건강보호행위도 運動負荷量 검사에 따른 運動處方 등, 대상자의 특성에 따른 보다 구체적인 지침이 요구된다.

3. 疾病豫防 및 健康增進을 위한 危險要因(흡연, 음주, 비만, 운동부족, 불규칙적 식습관 등) 減少對策을 강구하여야 한다.

4. 國民健康增進法의 효율적 施行을 위해 中·長期 國民健康增進目標의 설정과 이의 달성을 위해 필요한 人力, 施設, 裝備, 豫算 등 資源의 확보가 요구된다.

# 參考文獻


보건복지부, 『보건사회통계연보』, 1994.

송건용·남정자·최정수·김태정, 『1995년도 국민건강 및 보건의식행태조사 -보건의식행태부문-』, 한국보건사회연구원, 1993.

송건용·김영임, 『1989년도 국민건강조사 -보건의식행태-』, 한국보건사회연구원, 1990.

이홍규, 「지역사회에서 당뇨병, 고혈압의 유병률 및 발생률 분석」, 연천지역 보건의료사업 및 연구발표회, 연천지역 의료사업단, 1995.

통계청, 『사망원인통계연보』, 1993~1994.

Becker, Marshall H., Lois A. Maiman, John P. Kirscht, Don P. Haefner and Robert H. Drachman, "The Health Belief Model and Prediction of Dietary Compliance: A Field Experiment", *Journal of Health and Social Behaviors,* 18, 1977, pp.348~366.

Bethesda, M. D., "National Heart, Lung, and Blood Institute, National Institutes of Health", *Public Health Service*, U.S. Department of Health and Human Services, 1988.

Blair, S. N., Kohl, H. W., Paffenbarger, R. S., Clark, D. G., Cooper, K. H., and Gibbons, L. W., "Physical Fitness and All - cause Mortality: A Prospective Study of Healthy Men and Women", *JAMA,* 262, 1989, pp.2395~2401.

Breslow, L. and Enstrom, J. E., "Persistence of Health Habits and Their Relationship to Mortality", *Prev. Med.,* 9, 1980, pp.469~483.

Brownson et al., "Chronic Disease", *Epi. 2 Control*, ADAA, 1993.

California State Department of Public Health, *Alameda County Population 1965*, Berkeley, California State Department of Public Health, 1966.

Cary, N. C., *SAS/STAT User's Guide: Volume 1(Version 6 edition),* SAS Institute Inc., USA, 1990.

Cohn, C., Joseph D., "Role of Rate of Ingestion of Diet on Regulatiion of Intermediary Metabolism", *Metabolism,* 9, 1960, pp.492~500.

Committee on Diet and Health, Food and Nutrition Board, Commission on Life Sciences, National Research Council, *Diet, and Health: Implications for Reducing Chronic Disease Risk,* Washington D. C.,: National Academy Press, 1989.

Dawber, T. R., *The Framingham Study: The Epidemiology of Atherosclerotic Disease,* Cambridge, M. A., Harvard University Press, 1980.

Doll, R., Peto, R., "The Causes of Cancer; Quantitative Estimates of Avoidable Risks of Cancer in the United States Today", *JNCI,* 66, 1981, pp.1191~1308.

Fabry, P., Braun T., "Adaptation to the Pattern of Food Intake: Some Mechanisms and Consequences", *Proc. Nutr. Soc.,* Vol.26, No.2, 1967, pp.144~152.

Finkelstein, B., Feyer, B. A., "Meal Frequency and Weight Reduction of Young Women", *Am. J. Clin. Nurt,* 24, 1971, pp.465~468.

Froelicher, V. E., *The Effects of Chronic Exerise on the Heart and on Coronary Atherosclerotic Heart Disease: A Literature Survey,* Report SAM-TR 76-6 to the USAF School of Aerospace, February 1976.

Hammond, E. C., Garfinkel L., "The Influence of Health on Smoking Habits", *National Cancer Institute Monograph.,* 19, 1966, pp.269~285.

Hammond, E. C., "Some Prelimknary Findings on Physical Complaints from a Prospective Study of 1,064,004 Men and Women, *Am. J. Public Health,* Vol. 54, No. 1, 1964, pp.11~23.

Hammond, E. C., Garfinkel, L., "Coronary Heart Disease, Stroke, and Aortic Aneurysm: Factors in the Etiology", *Arch, Environ, Health*, Vol.19, No.2, 1969, pp.167~182.

Hejda, S., Fabry, P., "Frequency of Food Intake in Relation to some Parameters of the Nutritional Status", *Nutr. Dieta,* 6, 1964, pp.215~228.

Hosmer, D. W. & Lemeshow, S. L., *Applied Logistic Regression,* London, Wiley, 1989.

House, J. S., Wells, J. A., "Occupational Stress, Social Support and Health", in McLean A, Black G, Colligan M (eds): *Reducing Occupational Stress: Proceedings of a Conference,* USDHEW(NOIOSH) Publ. No.78~140, 1978, pp.8~29.

Kannel, W. B., "Habitual Level of Physical Activity and Risk of Coronary Heart Disease: the Framingham Study", *Can. Med. Assoc. J.*, 96, 1967, pp.811~812.

Kannel, W. B., "Habits and Heart Disease", in Palmore, E., Jeffers, F. C. (eds): *Prediction of Life Span.*, Lexington, Mass, Health Lexington books, 1971.

Kim, K. H, "Health Related Practices and Chronic Illness in Korea", *Asia-Pacific Journal of Public Health,* Vol.5, No.4, 1991.

Ko, U. R., Chang, H. K., Nam, J. J., Chi, I. C., *An Epidemiologic Study of Risk Factors for Atherosclerotic Disease in the Republic of Korea,* Korea Institute for Population and Health, 1986.

Kripke, D. F., Sinoms, R. N., Garfinkel, L., Hammond, E. C., "Short and Long Sleep and Sleeping Pills: Is Increased Mortality Associated?", *Arch. Gen. Psychhiatry,* 36, 1979, pp.103~116.

Leon, A. S., "Effects of Physical Activity and Fitness on Health, In: National Center for Health Statistics, Assessing Physical Fitness nad Physical Activity in Population-Based Surveys", *DHHS Pub.*, No.(PHS)89-1253, Hyattsvile, MD, U. S. Department of Health and Human Services, 1989.

Leveille, G. A., "The Long-Term Effects of Meal-Eating on Lipogenesis, Enzyme Activity in the Rat", *J. Nutr.* 102, 1972, pp.549-556.

Levinson, M. L., "Obesity and Health", *Prev. Med.*, Vol. 6, No. 1, 1977, pp.172~180.

Metropolitan Life Insurance Company, "New Weight Standards for Men and Women", *Stat. Bull. Metropol. Life Ins. Co.*, Vol. 40, No.3, 1959, pp.1~4,.

Metropolitan Life Insurance Company, *Overweight: Its Significance and Prevention,* New York, Metropolitan Life Insurance Co., 1960.

Metzner, H., Lamphiear, N., Wheeler N. C., Larkin, F., "The Relationship between Frequency of Eating and Adiposity in Adult Men and Women in the Tecumseh Community Health Study", *Am.J. Clin. Nutr.,* 30, 1977, pp.712~715.

National Research Council, Committee on Diet, "Nutrition, and Cancer, Assembly of Life Sciences", *Diet, Nutrition and Cancer*, Washington, D. C., National Acadmy Press, 1982.

Paffenbarger, R. S., Hale, W. E., "Work Activity and Risk of Coronary Heart Mortality", *N. Engl. J. Med.*, Vol. 292, No. 11, 1975, pp.545~550.

Paffenbarger, R. S., Wing, A. L. and Hyde, R. T., "Physical Activity as an Index of Heart Attack Risk in College Almni", *American Journal of Epidemioligy,* 108, 1978, pp.161~175.

Paffenbarger, R. S., Wing, A. L., "Chronic Disease in Former College Students, XI. Early Precursors of Non-fatal Stroke", *Am. J. Epidemiol.* Vol.94, No.6, 1971, pp.524~530.

Phares, E. J., *Locus of Control in Personality,* Mrristown, NJ: General Learning, 1976.

Powell, K. E., Caspersen, C. J., Koplan, J. P. and Ford, E. S., "Physical Activity and Chronic Disease", *American Journal of Clinical Nutrition,* 49, 1989, pp.999~1006.

Rosenstock, I. M., "Why people use Health Services", *Milbank Memorial Fund Quarterly*, 44, 1966, pp.94~127.

Rotter, J. B., "Generalized Expectancies for Internal Vs. External Control of Reinforcements", *Psychological Monographs,* 80, 1966, pp.1~28.

Sarason, I. G., "The Social Support Questionnaire", In MacDowell, I. & Newll, C.(Eds.), *Measuring Health: A Guide to Rating Scales and Questionnires*(1987), Oxford University Press, 1987.

Seeman, T. E. & Syme, S. L., "Social Networks and Coronary Artery Disease: a Comparison of the Structure and Function of Social Relations as Predictors of Disease", *Psychosomatic Medicine,* 49, 1987.

Tepperman, J., Brobeck, J. R,, Long, C., "The Effect of Hypothalamic Hyperphagia and of Alteration of Feeding Habits on the Metabolism of the Albino Rat", *J. Biol. Med.*, Yale, 15, 1943, pp.855~874.

US Department. of Health, Education and Welfare, Public Health Service, Division of Chronic Diseases, "Heart Disease Control Program: Health Implication", in *Obesity and Health - A Source Book of Current Information for Public Health Personnel*, Publ. No.1485, Washington, D. C., U.S. Government Printing Office, 1966.

US Department of Health and Human Services, *Healthy People 2000: National Health Promotion and Disease Prevention Objectives*, Washington, D. C., US Government Printing Office, 1990.

WHO, *The World Health Report*, 1995.

Wiley, J. A., Camacho, T. C., "Lifestyles and Future Health; Evidence from the Alameda County Study", *Prev. Med.*, 9, 1980, pp.1～21.

Young, C. M., Frankel, D. L., Scanlan, S. S., Simko, V., Lutwak, L., "Frequency of Feeding, Weight Reduction, and Nutrient Utilization", *J. Am. Diet. Assoc.*, Vol. 59, No. 5, 1971, pp.473～480.

Yount, C. M., Scanlan, S. S., Rand, C. E., Lutwak, L., Simko, V., "Metabolic Effects of Meal Frequency on Normal Young Men", *J. Am. Diet. Assoc.*, 61, 1972, pp.391～398.

# 附　錄

附錄 Ⅰ. 統計表 / *171*

附錄 Ⅱ. 標本設計 概要 / *307*

附錄 Ⅲ. 職業分類表 / *320*

附錄 Ⅳ. 調査票 / *325*

# 附錄 Ⅰ. 統計表

## 1. 一般的 特性

〈附表 1-1〉 地域 및 性別 人口社會的 特性

(單位: %)

| | 전 국 | 거주지 | | 성 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 시지역 | 군지역 | 남 자 | 여 자 |
| 전 체(N) | 100.0(6,480) | 100.0(5,089) | 100.0(1,391) | 100.0(3,107) | 100.0(3,373) |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 78.5(5,089) | - | - | 79.4(2,468) | 77.7(2,621) |
| 군지역 | 21.5(1,391) | - | - | 20.6( 639) | 22.3( 752) |
| 성 | | | | | |
| 남자 | 48.0(3,107) | 48.5(2,468) | 45.9( 639) | - | - |
| 여자 | 52.0(3,373) | 51.5(2,621) | 54.1( 752) | - | - |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 11.8( 763) | 11.7( 596) | 12.0( 167) | 11.7( 362) | 11.9( 401) |
| 20~29세 | 22.1(1,431) | 24.1(1,229) | 14.5( 202) | 21.5( 667) | 22.6( 764) |
| 30~39세 | 24.8(1,609) | 26.7(1,359) | 18.0( 250) | 25.5( 793) | 24.2( 816) |
| 40~49세 | 18.4(1,192) | 18.7( 949) | 17.4( 243) | 19.4( 602) | 17.5( 590) |
| 50~59세 | 14.2( 922) | 12.2( 619) | 21.8( 303) | 14.3( 443) | 14.2( 479) |
| 60~69세 | 8.7( 563) | 6.6( 337) | 16.3( 226) | 7.7( 240) | 9.6( 323) |
| 교육수준 | | | | | |
| 무학 | 6.3( 405) | 3.8( 191) | 15.4( 214) | 2.9( 89) | 9.4( 316) |
| 국졸 | 15.0( 972) | 11.3( 574) | 28.6( 398) | 12.4( 386) | 17.4( 586) |
| 중졸 | 16.0(1,036) | 15.7( 798) | 17.1( 238) | 14.8( 461) | 17.0( 575) |
| 고졸 | 41.3(2,676) | 44.3(2,255) | 30.3( 421) | 43.4(1,349) | 39.4(1,327) |
| 전문대졸 | 4.3( 276) | 4.8( 245) | 2.2( 31) | 4.6( 143) | 4.0( 133) |
| 대졸 | 15.8(1,025) | 18.6( 946) | 5.7( 79) | 19.5( 607) | 12.4( 418) |
| 대학원졸 이상 | 1.4( 90) | 1.6( 80) | 0.7( 10) | 2.3( 72) | 0.5( 18) |
| 결혼상태 | | | | | |
| 미혼 | 28.2(1,826) | 29.8(1,515) | 22.3( 311) | 31.5( 979) | 25.1( 847) |
| 유배우 | 65.2(4,223) | 64.0(3,258) | 69.4( 965) | 66.5(2,065) | 64.0(2,158) |
| 사별 | 5.3( 343) | 4.8( 245) | 7.0( 98) | 0.8( 25) | 9.4( 318) |
| 이혼 | 0.9( 57) | 0.9( 46) | 0.8( 11) | 0.8( 25) | 0.9( 32) |
| 별거 | 0.5( 31) | 0.5( 25) | 0.4( 6) | 0.4( 13) | 0.6( 18) |

〈附表 1-1〉 계속

| | 전 국 | 거주지 | | 성 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 시지역 | 군지역 | 남 자 | 여 자 |
| 전 체(N) | 100.0(6,480) | 100.0(5,089) | 100.0(1,391) | 100.0(3,107) | 100.0(3,373) |
| 직업 | | | | | |
| 고위 관리자 | 0.6( 41) | 0.7( 37) | 0.3( 4) | 1.3( 41) | - |
| 전문가 | 3.1( 201) | 3.5( 181) | 1.5( 20) | 4.0( 124) | 2.3( 77) |
| 준전문가 | 2.9( 189) | 3.4( 173) | 1.2( 16) | 4.0( 124) | 1.9( 65) |
| 사무직 | 8.4( 546) | 9.7( 491) | 3.9( 55) | 11.8( 368) | 5.3( 178) |
| 판매·서비스 | 12.6( 817) | 13.8( 704) | 8.1( 113) | 13.0( 403) | 12.3( 414) |
| 농·어업 | 10.1( 653) | 2.1( 108) | 39.2( 545) | 10.7( 334) | 9.5( 319) |
| 기능근로자 | 8.8( 570) | 10.0( 507) | 4.5( 63) | 15.0( 467) | 3.1( 103) |
| 기계조작원 | 4.1( 268) | 4.4( 226) | 3.0( 42) | 8.0( 250) | 0.5( 18) |
| 단순노무 | 7.5( 488) | 7.6( 388) | 7.2( 100) | 8.3( 259) | 6.8( 229) |
| 군인(방위포함) | 0.4( 26) | 0.4( 19) | 0.5( 7) | 0.8( 26) | - |
| 학생/재수생 | 14.3( 929) | 14.8( 754) | 12.6( 175) | 15.2( 472) | 13.5( 457) |
| 주부 | 20.1(1,303) | 22.5(1,144) | 11.4( 159) | - | 38.6(1,303) |
| 무직 | 6.9( 449) | 7.0( 357) | 6.6( 92) | 7.7( 239) | 6.2( 210) |
| 직위 | | | | | |
| 자영업자 | 14.5( 938) | 10.8( 552) | 27.8( 387) | 22.9( 710) | 6.8( 228) |
| 고용주 | 3.7( 239) | 4.3( 218) | 1.5( 21) | 7.1( 219) | 0.6( 20) |
| 상용근로자(전일제) | 26.7(1,730) | 29.9(1,521) | 15.0( 209) | 37.6(1,167) | 16.7( 563) |
| 상용근로자(시간제) | 1.0( 68) | 1.1( 56) | 0.9( 12) | 1.4( 43) | 0.7( 25) |
| 임시근로자 | 0.7( 44) | 0.7( 35) | 0.7( 9) | 0.7( 21) | 0.7( 23) |
| 일용근로자 | 4.7( 304) | 5.0( 256) | 3.5( 48) | 6.0( 187) | 3.5( 117) |
| 무급가족종사자 | 7.0( 456) | 3.6( 183) | 19.6( 273) | 0.9( 29) | 12.7( 427) |
| 비해당 | 41.7(2,701) | 44.6(2,269) | 31.0( 432) | 23.5( 731) | 58.4(1,970) |
| 의료보장 | | | | | |
| 공교의료보험 | 9.7( 631) | 9.7( 494) | 9.9( 137) | 9.4(293) | 10.0( 338) |
| 직장의료보험 | 34.0(2,201) | 36.6(1,861) | 24.4( 340) | 33.3(1,035) | 34.6(1,166) |
| 지역의료보험 | 52.3(3,390) | 50.7(2,578) | 58.3( 812) | 53.8(1,671) | 51.0(1,719) |
| 의료보호 | 2.1( 135) | 1.0( 50) | 6.1( 85) | 1.6(48) | 2.6( 87) |
| 없음 | 1.9( 123) | 2.2( 106) | 1.3( 17) | 1.9(60) | 1.9( 63) |
| 생활수준(주관적 평가) | | | | | |
| 매우 못사는 편 | 4.2( 271) | 4.0( 204) | 4.8( 67) | 3.9( 122) | 4.4( 149) |
| 못사는 편 | 25.7(1,666) | 25.8(1,311) | 25.5( 355) | 24.5( 762) | 26.8( 904) |
| 보통 | 63.1(4,089) | 63.1(3,214) | 62.9( 875) | 64.6(2,009) | 61.7(2,080) |
| 잘사는 편 | 6.5( 424) | 6.6( 337) | 6.2( 87) | 6.3( 196) | 6.8( 228) |
| 매우 잘사는 편 | 0.5( 30) | 0.5( 23) | 0.5( 7) | 0.6( 18) | 0.3( 12) |

〈附表 1-1〉 계속

| | 전 국 | 거주지 | | 성 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 시지역 | 군지역 | 남 자 | 여 자 |
| 전 체(N) | 100.0(6,480) | 100.0(5,089) | 100.0(1,391) | 100.0(3,107) | 100.0(3,373) |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 12.0( 777) | 7.8( 397) | 27.2( 380) | 10.8( 335) | 13.1( 442) |
| 51~100만원 | 25.8(1,670) | 23.9(1,218) | 32.4( 452) | 25.6( 795) | 25.9( 875) |
| 101~150만원 | 26.1(1,689) | 27.4(1,395) | 21.2( 294) | 26.0( 810) | 26.1( 879) |
| 151~200만원 | 18.8(1,215) | 20.8(1,056) | 11.5( 159) | 19.0( 589) | 18.6( 626) |
| 201~250만원 | 7.5( 488) | 8.4( 427) | 4.4( 61) | 8.3( 259) | 6.8( 221) |
| 251만원 이상 | 9.9( 641) | 11.7( 596) | 3.4( 45) | 10.3( 319) | 9.6( 322) |
| 만성이환 여부 | | | | | |
| 없음 | 75.0(4,857) | 77.2(3,930) | 66.7( 927) | 78.7(2,446) | 71.5(2,411) |
| 있음 | 25.0(1,623) | 22.8(1,159) | 33.3( 464) | 21.3( 661) | 28.5( 962) |
| 주관적 건강인식 | | | | | |
| 매우 건강 | 10.3( 664) | 10.8( 552) | 8.2( 112) | 12.3( 383) | 8.3( 281) |
| 건강한 편 | 38.6(2,499) | 39.2(1,993) | 36.3( 506) | 41.4(1,287) | 35.9(1,212) |
| 보통 | 35.3(2,285) | 36.5(1,858) | 30.6( 427) | 35.7(1,108) | 34.9(1,177) |
| 허약한 편 | 14.3( 928) | 12.1( 617) | 22.4( 311) | 9.1( 284) | 19.1( 644) |
| 매우 허약 | 1.6( 104) | 1.4( 69) | 2.5( 35) | 1.4( 45) | 1.8( 59) |
| 급만성 이환유무 | | | | | |
| 없음 | 41.7(2,702) | 40.0(2,037) | 47.8( 665) | 36.0(1,119) | 46.9(1,583) |
| 있음 | 58.3(3,778) | 60.0(3,052) | 52.2( 726) | 64.0(1,988) | 53.1(1,790) |
| 스트레스[1] | | | | | |
| 없음 | 22.5(1,361) | 22.6(1,114) | 22.3( 247) | 24.1( 705) | 21.0( 654) |
| 있음 | 77.5(4,685) | 77.4(3,825) | 77.7( 860) | 75.9(2,222) | 79.0(2,463) |
| 이환의 수 | | | | | |
| 없음 | 58.3(3,779) | 60.0(3,053) | 52.2( 726) | 64.0(1,989) | 53.1(1,790) |
| 1개 | 26.7(1,732) | 25.8(1,312) | 30.2( 420) | 25.6( 794) | 27.8( 938) |
| 2개 이상 | 15.0( 969) | 14.2( 724) | 17.6( 245) | 10.4( 324) | 19.1( 645) |
| 건강에 대한 염려 | | | | | |
| 항상 걱정 | 17.9(1,159) | 16.5( 841) | 22.9( 318) | 15.0( 465) | 20.6( 694) |
| 가끔 걱정 | 62.7(4,064) | 64.2(3,268) | 57.2( 796) | 64.2(1,996) | 61.4(2,068) |
| 걱정안함 | 19.4(1,257) | 19.3( 980) | 19.9( 277) | 20.8( 646) | 18.1( 611) |

註: 1) 자가기재 불능 및 무응답 434명 제외

## 2. 15~69歲 對象

〈附表 Ⅰ-2〉 社會經濟的 特性別 主觀的 健康認識狀態

(單位: %)

| | 계(N) | 매우좋음 | 좋 음 | 보 통 | 안좋음 |
|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 10.3 | 38.6 | 35.3 | 15.9 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 10.8 | 39.2 | 36.5 | 13.5 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 8.2 | 36.3 | 30.6 | 24.9 |
| 성 | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 12.3 | 41.4 | 35.7 | 10.6 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 8.3 | 35.9 | 34.9 | 20.8 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 17.9 | 44.3 | 33.0 | 4.7 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 12.4 | 43.0 | 35.4 | 9.2 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 9.2 | 39.5 | 40.1 | 11.2 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 8.0 | 37.8 | 37.3 | 16.9 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 6.7 | 32.5 | 30.6 | 30.2 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 7.9 | 27.9 | 27.5 | 36.7 |
| 교육수준 | | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 5.6 | 25.8 | 22.4 | 46.2 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 7.3 | 31.3 | 28.5 | 32.9 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 8.9 | 37.5 | 39.4 | 14.1 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 11.9 | 42.2 | 36.4 | 9.5 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 11.6 | 41.0 | 38.4 | 9.0 |
| 결혼상태 | | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,826) | 15.2 | 42.8 | 34.7 | 7.2 |
| 유배우 | 100.0(4,223) | 8.6 | 37.4 | 36.6 | 17.4 |
| 이혼/기타 | 100.0( 431) | 5.8 | 31.5 | 24.0 | 38.7 |
| 직업 | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 9.1 | 42.9 | 41.8 | 6.2 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 9.7 | 42.9 | 41.8 | 5.6 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 11.0 | 40.0 | 34.8 | 14.2 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 5.5 | 31.9 | 31.1 | 31.6 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 9.8 | 41.5 | 39.3 | 9.4 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 10.8 | 35.9 | 30.5 | 22.8 |
| 학생 | 100.0( 929) | 18.4 | 43.7 | 31.5 | 6.5 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,778) | 8.0 | 34.5 | 34.8 | 22.7 |
| 의료보장 | | | | | |
| 공교의료보험 | 100.0( 631) | 8.7 | 43.3 | 31.4 | 16.5 |
| 직장의료보험 | 100.0(2,201) | 9.9 | 40.1 | 35.4 | 14.6 |
| 지역의료보험 | 100.0(3,390) | 10.6 | 37.8 | 36.4 | 15.2 |
| 의료보호 | 100.0( 135) | 4.3 | 20.5 | 21.8 | 53.4 |
| 없음 | 100.0( 123) | 21.7 | 28.4 | 35.3 | 14.6 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 7.3 | 30.2 | 27.3 | 35.2 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 9.9 | 38.8 | 33.9 | 17.4 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 9.3 | 39.4 | 38.2 | 13.2 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 10.9 | 42.1 | 36.3 | 10.7 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 12.8 | 39.2 | 37.8 | 10.2 |

## 〈附表 Ⅰ-3〉 社會經濟的 特性 및 性別 吸煙實態

(單位: %)

| | 전 체 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 현흡연 | 과거흡연 | 흡연무경험 |
| 전 체 | 100.0(6,480) | 32.2 | 7.8 | 60.0 |
| 거주지 | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 32.7 | 7.8 | 59.5 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 30.4 | 8.0 | 61.6 |
| 성 | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 61.0 | 13.5 | 25.5 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 5.6 | 2.6 | 91.7 |
| 연령 | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 10.4 | 4.6 | 84.9 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 35.1 | 6.6 | 58.3 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 35.6 | 7.1 | 57.2 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 37.1 | 8.8 | 54.1 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 33.8 | 8.6 | 57.6 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 31.5 | 14.2 | 54.3 |
| 교육수준 | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 26.9 | 6.2 | 66.8 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 30.4 | 6.9 | 62.7 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 32.0 | 5.8 | 62.2 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 31.3 | 8.5 | 60.3 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 37.0 | 9.3 | 53.7 |
| 결혼상태 | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,826) | 28.6 | 5.8 | 65.6 |
| 유배우 | 100.0(4,223) | 34.4 | 9.3 | 56.3 |
| 이혼/기타 | 100.0( 431) | 25.5 | 2.7 | 71.8 |
| 직업 | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 37.6 | 13.6 | 48.8 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 45.7 | 12.0 | 42.2 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 37.9 | 8.4 | 53.7 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 38.3 | 9.6 | 52.1 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 62.6 | 10.6 | 26.9 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 43.1 | 6.7 | 50.2 |
| 학생 | 100.0( 929) | 13.9 | 4.7 | 81.4 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,778) | 14.1 | 5.0 | 81.0 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 631) | 35.0 | 7.6 | 57.4 |
| 51~100만원 | 100.0(2,201) | 33.9 | 8.0 | 58.1 |
| 101~150만원 | 100.0(3,390) | 32.8 | 6.9 | 60.3 |
| 151~200만원 | 100.0( 135) | 28.2 | 8.0 | 63.9 |
| 201만원 이상 | 100.0( 123) | 31.2 | 9.0 | 59.9 |

〈附表 Ⅰ-3〉 계속

| | 남 자 | | | | 여 자 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 현흡연 | 과거흡연 | 흡연무경험 | 계(N) | 현흡연 | 과거흡연 | 흡연무경험 |
| 전 체 | 100.0(3,107) | 61.0 | 13.5 | 25.5 | 100.0(3,373) | 5.6 | 2.6 | 91.7 |
| 거주지 | | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(2,468) | 61.4 | 13.2 | 25.5 | 100.0(2,621) | 5.7 | 2.8 | 91.6 |
| 군지역 | 100.0( 639) | 59.6 | 14.9 | 25.4 | 100.0( 752) | 5.5 | 2.1 | 92.4 |
| 연령 | | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 362) | 18.8 | 7.1 | 74.1 | 100.0( 401) | 2.8 | 2.7 | 94.6 |
| 20~29세 | 100.0( 667) | 69.7 | 7.8 | 22.5 | 100.0( 764) | 5.0 | 5.5 | 89.6 |
| 30~39세 | 100.0( 793) | 68.7 | 12.5 | 18.8 | 100.0( 816) | 3.5 | 1.9 | 94.6 |
| 40~49세 | 100.0( 602) | 67.4 | 16.0 | 16.6 | 100.0( 590) | 6.2 | 1.4 | 92.5 |
| 50~59세 | 100.0( 443) | 63.4 | 16.9 | 19.7 | 100.0( 479) | 6.4 | 0.9 | 92.7 |
| 60~69세 | 100.0( 240) | 54.8 | 30.1 | 15.1 | 100.0( 323) | 14.3 | 2.4 | 83.4 |
| 교육수준 | | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 89) | 64.8 | 21.6 | 13.6 | 100.0( 316) | 16.3 | 1.9 | 81.8 |
| 국졸 | 100.0( 386) | 66.3 | 14.4 | 19.3 | 100.0( 586) | 6.7 | 2.0 | 91.3 |
| 중졸 | 100.0( 461) | 65.6 | 10.8 | 23.6 | 100.0( 575) | 4.8 | 1.8 | 93.4 |
| 고졸 | 100.0(1,349) | 58.0 | 13.4 | 28.6 | 100.0(1,327) | 4.1 | 3.5 | 92.4 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 822) | 60.4 | 14.1 | 25.5 | 100.0( 569) | 3.1 | 2.4 | 94.5 |
| 결혼상태 | | | | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 979) | 48.9 | 7.9 | 43.2 | 100.0( 847) | 5.2 | 3.4 | 91.5 |
| 유배우 | 100.0(2,065) | 66.1 | 16.4 | 17.4 | 100.0(2,158) | 4.1 | 2.4 | 93.5 |
| 이혼/기타 | 100.0( 63) | 80.6 | 7.6 | 11.8 | 100.0( 368) | 16.0 | 1.8 | 82.1 |
| 직업 | | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 289) | 54.8 | 19.8 | 25.4 | 100.0( 142) | 2.3 | 0.7 | 97.0 |
| 사무직 | 100.0( 368) | 66.5 | 16.4 | 17.0 | 100.0( 178) | 2.7 | 3.0 | 94.3 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 403) | 67.5 | 13.8 | 18.7 | 100.0( 414) | 9.2 | 3.1 | 87.7 |
| 농·어업 | 100.0( 334) | 67.1 | 18.1 | 14.8 | 100.0( 319) | 8.2 | 0.8 | 91.0 |
| 기능직 | 100.0( 717) | 72.1 | 11.4 | 16.5 | 100.0( 121) | 6.5 | 5.9 | 87.6 |
| 단순노무직 | 100.0( 259) | 75.8 | 9.6 | 14.6 | 100.0( 229) | 6.4 | 3.4 | 90.2 |
| 학생 | 100.0( 472) | 25.2 | 7.0 | 67.8 | 100.0( 457) | 2.3 | 2.3 | 95.4 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0( 265) | 62.2 | 17.9 | 19.9 | 100.0(1,513) | 5.6 | 2.7 | 91.7 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 335) | 63.8 | 13.8 | 22.5 | 100.0( 442) | 43.2 | 2.9 | 83.8 |
| 51~100만원 | 100.0( 795) | 65.0 | 13.1 | 21.9 | 100.0( 875) | 5.7 | 3.4 | 90.8 |
| 101~150만원 | 100.0( 810) | 63.9 | 11.6 | 24.4 | 100.0( 879) | 4.2 | 2.6 | 93.2 |
| 151~200만원 | 100.0( 589) | 54.2 | 13.8 | 32.0 | 100.0( 626) | 3.8 | 2.5 | 93.8 |
| 201만원 이상 | 100.0( 578) | 57.5 | 16.2 | 26.3 | 100.0( 551) | 3.6 | 1.4 | 95.0 |

〈附表 Ⅰ-4〉 社會經濟的 特性 및 性別 現吸煙者의 吸煙期間

(單位: %)

| | 전 체 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 9년 이하 | 10~19년 | 20년 이상 |
| 전 체 | 100.0(2,086) | 27.7 | 29.1 | 43.2 |
| 거주지 | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,664) | 29.8 | 31.0 | 39.2 |
| 군지역 | 100.0( 422) | 19.3 | 21.6 | 59.0 |
| 성 | | | | |
| 남자 | 100.0(1,896) | 26.1 | 29.0 | 44.9 |
| 여자 | 100.0( 190) | 43.1 | 29.8 | 27.1 |
| 연령 | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 79) | 100.0 | - | - |
| 20~29세 | 100.0( 503) | 78.2 | 21.3 | 0.4 |
| 30~39세 | 100.0( 573) | 11.8 | 18.8 | 19.4 |
| 40~49세 | 100.0( 442) | 4.7 | 16.7 | 78.7 |
| 50~59세 | 100.0( 312) | 2.2 | 7.3 | 90.4 |
| 60~69세 | 100.0( 177) | 3.3 | 7.1 | 89.6 |
| 교육수준 | | | | |
| 무학 | 100.0( 109) | 7.9 | 15.6 | 76.5 |
| 국졸 | 100.0( 295) | 3.7 | 17.0 | 79.4 |
| 중졸 | 100.0( 330) | 15.9 | 27.3 | 56.8 |
| 고졸 | 100.0( 837) | 35.5 | 34.0 | 30.5 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 515) | 40.3 | 22.2 | 27.5 |
| 직업 | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 162) | 21.1 | 38.3 | 40.6 |
| 사무직 | 100.0( 250) | 25.9 | 43.8 | 30.4 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 310) | 22.6 | 34.0 | 43.4 |
| 농·어업 | 100.0( 250) | 5.7 | 15.6 | 78.8 |
| 기능직 | 100.0( 525) | 23.8 | 37.8 | 38.4 |
| 단순노무직 | 100.0( 210) | 21.6 | 21.5 | 56.9 |
| 학생 | 100.0( 129) | 100.0 | - | - |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0( 250) | 35.4 | 20.1 | 44.5 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 272) | 21.2 | 16.9 | 61.9 |
| 51~100만원 | 100.0( 566) | 27.7 | 31.5 | 40.9 |
| 101~150만원 | 100.0( 553) | 24.8 | 33.9 | 41.4 |
| 151~200만원 | 100.0( 343) | 31.5 | 27.4 | 41.1 |
| 201만원 이상 | 100.0( 352) | 33.2 | 29.7 | 37.1 |

〈附表 Ⅰ-4〉 계속

| | 남 자 | | | | 여 자 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 9년 이하 | 10~19년 | 20년이상 | 계(N) | 9년 이하 | 10~19년 | 20년이상 |
| 전 체 | 100.0(1,896) | 26.0 | 29.0 | 44.9 | 100.0(190) | 43.1 | 29.8 | 27.1 |
| 거주지 | | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,515) | 28.1 | 31.3 | 40.7 | 100.0(149) | 46.6 | 29.0 | 24.4 |
| 군지역 | 100.0( 381) | 18.2 | 20.4 | 61.4 | 100.0( 41) | 30.1 | 32.8 | 37.1 |
| 연령 | | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 68) | 100.0 | - | - | 100.0( 11) | 100.0 | - | - |
| 20~29세 | 100.0( 465) | 77.5 | 22.1 | 0.5 | 100.0( 38) | 87.2 | 12.8 | - |
| 30~39세 | 100.0( 545) | 9.6 | 69.9 | 20.5 | 100.0( 28) | 52.9 | 47.1 | - |
| 40~49세 | 100.0( 406) | 1.7 | 14.5 | 83.8 | 100.0( 36) | 35.5 | 40.3 | 24.2 |
| 50~59세 | 100.0( 281) | 0.8 | 3.2 | 96.0 | 100.0( 31) | 14.4 | 42.3 | 43.3 |
| 60~69세 | 100.0( 131) | - | 1.0 | 99.0 | 100.0( 46) | 12.0 | 23.9 | 64.1 |
| 교육수준 | | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 57) | 1.4 | 4.2 | 94.4 | 100.0( 52) | 15.1 | 28.2 | 56.7 |
| 국졸 | 100.0( 256) | 0.8 | 13.0 | 86.2 | 100.0( 39) | 22.0 | 42.3 | 35.7 |
| 중졸 | 100.0( 303) | 13.5 | 26.2 | 60.3 | 100.0( 27) | 40.3 | 39.2 | 20.6 |
| 고졸 | 100.0( 783) | 32.6 | 35.0 | 32.3 | 100.0( 54) | 74.3 | 20.6 | 5.1 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 497) | 38.9 | 32.6 | 28.5 | 100.0( 18) | 78.5 | 21.5 | - |
| 직업 | | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 159) | 19.5 | 39.1 | 41.4 | 100.0( 3) | 100.0 | - | - |
| 사무직 | 100.0( 245) | 24.8 | 44.2 | 31.0 | 100.0( 5) | 76.4 | 23.6 | - |
| 판매·서비스직 | 100.0( 272) | 16.4 | 35.8 | 47.7 | 100.0( 38) | 66.6 | 21.1 | 12.3 |
| 농·어업 | 100.0( 224) | 5.1 | 12.8 | 82.1 | 100.0( 26) | 10.3 | 37.0 | 52.6 |
| 기능직 | 100.0( 516) | 24.0 | 37.0 | 39.0 | 100.0( 9) | 8.9 | 85.1 | 6.0 |
| 단순노무직 | 100.0( 196) | 20.5 | 21.5 | 58.0 | 100.0( 14) | 36.2 | 20.9 | 42.9 |
| 학생 | 100.0( 119) | 100.0 | - | - | 100.0( 10) | 100.0 | - | - |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0( 165) | 35.1 | 13.1 | 51.8 | 100.0( 85) | 35.9 | 33.0 | 31.1 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 213) | 22.0 | 12.3 | 65.7 | 100.0( 59) | 18.3 | 33.2 | 48.5 |
| 51~100만원 | 100.0( 515) | 25.7 | 31.4 | 43.0 | 100.0( 51) | 47.5 | 32.6 | 19.9 |
| 101~150만원 | 100.0( 516) | 23.0 | 34.1 | 42.9 | 100.0( 37) | 49.2 | 3.06 | 20.2 |
| 151~200만원 | 100.0( 319) | 29.4 | 26.8 | 43.9 | 100.0( 24) | 57.6 | 34.8 | 7.5 |
| 201만원 이상 | 100.0( 333) | 29.8 | 31.0 | 39.2 | 100.0( 19) | 84.8 | 9.9 | 5.3 |

〈附表 Ⅰ-5〉 社會經濟的 特性別 現吸煙者의 지난 1個月間 吸煙日數

(單位: %)

| | 계(N) | 9일 이하 | 10~19일 | 20~29일 | 매일 |
|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(2,086) | 0.8 | 2.0 | 6.1 | 91.1 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,664) | 0.8 | 2.0 | 6.7 | 90.5 |
| 군지역 | 100.0( 422) | 0.7 | 2.1 | 3.7 | 93.5 |
| 성 | | | | | |
| 남자 | 100.0(1,896) | 0.7 | 1.6 | 6.2 | 91.5 |
| 여자 | 100.0( 190) | 1.6 | 5.8 | 4.7 | 87.9 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 79) | 7.6 | 7.9 | 12.0 | 72.6 |
| 20~29세 | 100.0( 503) | 1.0 | 2.0 | 7.0 | 90.0 |
| 30~39세 | 100.0( 573) | 0.3 | 1.6 | 6.5 | 91.6 |
| 40~49세 | 100.0( 442) | 0.5 | 1.6 | 5.9 | 92.1 |
| 50~59세 | 100.0( 312) | 0.6 | 2.0 | 4.7 | 92.7 |
| 60~69세 | 100.0( 177) | 0.2 | 1.5 | 2.0 | 96.4 |
| 교육수준 | | | | | |
| 무학 | 100.0( 109) | 0.2 | 4.5 | 0.4 | 94.8 |
| 국졸 | 100.0( 295) | 0.2 | 0.9 | 3.6 | 95.3 |
| 중졸 | 100.0( 330) | 0.1 | 1.9 | 4.4 | 93.6 |
| 고졸 | 100.0( 837) | 1.2 | 1.6 | 6.7 | 90.5 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 515) | 1.0 | 2.7 | 8.9 | 87.4 |
| 결혼상태 | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 522) | 2.0 | 2.6 | 8.6 | 86.9 |
| 유배우 | 100.0(1,454) | 0.4 | 1.9 | 5.5 | 92.2 |
| 이혼/기타 | 100.0( 110) | 0.6 | 0.6 | 2.0 | 96.7 |
| 직업 | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 162) | - | 0.3 | 10.1 | 89.5 |
| 사무직 | 100.0( 250) | 1.1 | 3.1 | 6.0 | 89.8 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 310) | 0.1 | 1.0 | 4.7 | 94.1 |
| 농·어업 | 100.0( 250) | 0.4 | 1.7 | 3.5 | 94.5 |
| 기능직 | 100.0( 525) | 1.1 | 1.1 | 6.4 | 91.5 |
| 단순노무직 | 100.0( 210) | - | 2.4 | 3.9 | 93.7 |
| 학생 | 100.0( 129) | 5.0 | 4.6 | 11.3 | 79.0 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0( 250) | 0.3 | 3.6 | 6.0 | 90.1 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 272) | 1.0 | 2.0 | 4.9 | 92.0 |
| 51~100만원 | 100.0( 566) | 0.6 | 2.9 | 5.9 | 90.4 |
| 101~150만원 | 100.0( 553) | 1.3 | 1.2 | 5.4 | 92.2 |
| 151~200만원 | 100.0( 343) | 0.8 | 2.4 | 6.5 | 90.3 |
| 201만원 이상 | 100.0( 352) | - | 1.6 | 8.4 | 90.0 |

〈附表 Ⅰ-6〉 社會經濟的 特性 및 性別 現吸煙者의 지난 1個月間 1日 平均吸煙量

(單位: %)

| | 전 체 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 반 갑 이하 | 한 갑 | 한 갑 반 | 두 갑 이상 |
| 전 체 | 100.0(2,086) | 27.5 | 52.0 | 14.8 | 5.6 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,664) | 27.2 | 52.4 | 14.9 | 5.5 |
| 군지역 | 100.0( 422) | 28.5 | 50.8 | 14.6 | 6.1 |
| 성 | | | | | |
| 남자 | 100.0(1,896) | 24.8 | 53.6 | 15.7 | 5.8 |
| 여자 | 100.0( 190) | 54.0 | 36.5 | 6.0 | 3.6 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 79) | 58.8 | 31.6 | 7.5 | 2.0 |
| 20~29세 | 100.0( 503) | 28.6 | 53.6 | 13.5 | 4.3 |
| 30~39세 | 100.0( 573) | 22.6 | 56.0 | 16.4 | 5.0 |
| 40~49세 | 100.0( 442) | 19.9 | 52.8 | 20.3 | 7.0 |
| 50~59세 | 100.0( 312) | 31.0 | 48.1 | 13.3 | 7.6 |
| 60~69세 | 100.0( 177) | 38.5 | 49.4 | 5.9 | 6.3 |
| 교육수준 | | | | | |
| 무학 | 100.0( 109) | 38.2 | 47.9 | 8.2 | 5.7 |
| 국졸 | 100.0( 295) | 30.2 | 50.9 | 12.0 | 6.9 |
| 중졸 | 100.0( 330) | 25.6 | 51.6 | 17.7 | 5.0 |
| 고졸 | 100.0( 837) | 23.8 | 54.4 | 15.5 | 6.3 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 515) | 30.8 | 50.0 | 15.1 | 4.2 |
| 결혼상태 | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 522) | 34.3 | 49.8 | 12.0 | 4.0 |
| 유배우 | 100.0(1,454) | 24.1 | 53.7 | 16.0 | 6.2 |
| 이혼/기타 | 100.0( 110) | 39.4 | 41.5 | 13.6 | 5.6 |
| 직업 | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 162) | 24.1 | 54.7 | 19.0 | 2.1 |
| 사무직 | 100.0( 250) | 28.4 | 49.2 | 18.2 | 4.2 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 310) | 24.6 | 49.2 | 15.0 | 11.2 |
| 농·어업 | 100.0( 250) | 25.5 | 52.0 | 13.7 | 8.9 |
| 기능직 | 100.0( 525) | 22.9 | 58.1 | 16.6 | 2.4 |
| 단순노무직 | 100.0( 210) | 24.9 | 54.9 | 12.8 | 7.4 |
| 학생 | 100.0( 129) | 47.8 | 37.8 | 13.5 | 1.0 |
| 기타(주부, 군인 무직) | 100.0( 250) | 35.3 | 49.1 | 8.7 | 6.9 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 272) | 28.7 | 51.8 | 13.9 | 5.6 |
| 51~100만원 | 100.0( 566) | 31.7 | 48.0 | 13.4 | 6.9 |
| 101~150만원 | 100.0( 553) | 21.0 | 58.1 | 15.5 | 5.4 |
| 151~200만원 | 100.0( 343) | 31.5 | 50.0 | 15.1 | 3.4 |
| 201만원 이상 | 100.0( 352) | 26.9 | 50.1 | 16.3 | 6.8 |

〈附表 Ⅰ-6〉 계속

| | 남 자 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 반 갑 이하 | 한 갑 | 한 갑 반 | 두 갑 이상 |
| 전 체 | 100.0(1,896) | 24.8 | 53.6 | 15.7 | 5.8 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,515) | 24.8 | 53.8 | 15.7 | 5.7 |
| 군지역 | 100.0( 381) | 25.0 | 52.7 | 15.8 | 6.5 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 68) | 59.1 | 35.3 | 3.3 | 2.4 |
| 20~29세 | 100.0( 465) | 26.7 | 55.0 | 13.8 | 4.5 |
| 30~39세 | 100.0( 545) | 20.9 | 57.1 | 17.1 | 4.8 |
| 40~49세 | 100.0( 406) | 17.5 | 53.7 | 21.7 | 7.0 |
| 50~59세 | 100.0( 281) | 27.7 | 49.7 | 14.6 | 8.0 |
| 60~69세 | 100.0( 131) | 33.0 | 51.6 | 7.2 | 8.2 |
| 교육수준 | | | | | |
| 무학 | 100.0( 57) | 19.9 | 57.7 | 14.5 | 7.9 |
| 국졸 | 100.0( 256) | 26.8 | 53.0 | 12.6 | 7.6 |
| 중졸 | 100.0( 303) | 22.3 | 53.3 | 18.9 | 5.4 |
| 고졸 | 100.0( 783) | 22.2 | 55.3 | 16.2 | 6.3 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 497) | 30.0 | 50.9 | 14.9 | 4.3 |
| 결혼상태 | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 479) | 32.3 | 51.9 | 11.7 | 4.1 |
| 유배우 | 100.0(1,366) | 22.1 | 54.6 | 16.9 | 6.4 |
| 이혼/기타 | 100.0( 51) | 26.5 | 42.5 | 23.2 | 7.7 |
| 직업 | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 159) | 22.6 | 55.8 | 19.4 | 2.2 |
| 사무직 | 100.0( 245) | 27.0 | 50.2 | 18.6 | 4.3 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 272) | 22.4 | 49.7 | 16.0 | 11.9 |
| 농·어업 | 100.0( 224) | 22.4 | 53.3 | 15.1 | 9.4 |
| 기능직 | 100.0( 516) | 21.9 | 58.8 | 16.8 | 2.5 |
| 단순노무직 | 100.0( 196) | 22.4 | 56.2 | 13.7 | 7.7 |
| 학생 | 100.0( 119) | 46.8 | 41.2 | 11.0 | 1.1 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0( 165) | 27.3 | 53.0 | 10.8 | 8.8 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 213) | 23.0 | 55.7 | 15.1 | 6.1 |
| 51~100만원 | 100.0( 515) | 29.3 | 49.4 | 14.2 | 7.1 |
| 101~150만원 | 100.0( 516) | 18.6 | 59.3 | 16.6 | 5.5 |
| 151~200만원 | 100.0( 319) | 29.6 | 50.9 | 16.2 | 3.3 |
| 201만원 이상 | 100.0( 333) | 25.4 | 51.3 | 16.1 | 7.2 |

〈附表 Ⅰ-6〉 계속

| | 여 자 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 반 갑 이하 | 한 갑 | 한 갑 반 | 두 갑 이상 |
| 전 체 | 100.0(190) | 54.0 | 36.5 | 6.0 | 3.6 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(149) | 52.1 | 37.4 | 6.6 | 3.9 |
| 군지역 | 100.0( 41) | 60.7 | 33.1 | 3.7 | 2.5 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 11) | 57.5 | 9.4 | 33.1 | - |
| 20~29세 | 100.0( 38) | 51.9 | 36.4 | 9.5 | 2.2 |
| 30~39세 | 100.0( 28) | 55.8 | 33.3 | 3.3 | 7.7 |
| 40~49세 | 100.0( 36) | 46.9 | 42.0 | 4.8 | 6.2 |
| 50~59세 | 100.0( 31) | 61.3 | 33.3 | 1.4 | 4.0 |
| 60~69세 | 100.0( 46) | 54.4 | 42.9 | 2.1 | 0.7 |
| 교육수준 | | | | | |
| 무학 | 100.0( 52) | 58.6 | 36.9 | 1.2 | 3.3 |
| 국졸 | 100.0( 39) | 53.2 | 37.1 | 7.7 | 1.9 |
| 중졸 | 100.0( 27) | 62.0 | 33.0 | 5.0 | - |
| 고졸 | 100.0( 54) | 46.5 | 41.3 | 4.8 | 7.4 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 18) | 52.5 | 24.5 | 20.8 | 2.1 |
| 결혼상태 | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 43) | 55.2 | 27.2 | 14.8 | 2.9 |
| 유배우 | 100.0( 88) | 55.8 | 38.4 | 2.0 | 3.8 |
| 이혼/기타 | 100.0( 59) | 50.4 | 40.6 | 5.3 | 3.8 |
| 직업 | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 3) | 100.0 | - | - | - |
| 사무직 | 100.0( 5) | 100.0 | - | - | - |
| 판매·서비스직 | 100.0( 38) | 40.3 | 45.4 | 7.6 | 6.7 |
| 농·어업 | 100.0( 26) | 54.6 | 40.2 | 1.2 | 4.0 |
| 기능직 | 100.0( 9) | 89.0 | 11.0 | - | - |
| 단순노무직 | 100.0( 14) | 58.2 | 38.4 | - | 3.4 |
| 학생 | 100.0( 10) | 58.7 | - | 41.3 | - |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0( 85) | 50.9 | 41.4 | 4.4 | 3.2 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 59) | 49.5 | 37.4 | 9.5 | 3.6 |
| 51~100만원 | 100.0( 51) | 56.8 | 34.3 | 4.3 | 4.5 |
| 101~150만원 | 100.0( 37) | 55.0 | 41.6 | - | 3.4 |
| 151~200만원 | 100.0( 24) | 57.2 | 37.4 | - | 5.5 |
| 201만원 이상 | 100.0( 19) | 51.4 | 30.0 | 18.7 | - |

〈附表 Ⅰ-7〉 社會經濟的 特性 및 性別 現吸煙者의 禁煙試圖率 및 禁煙에 대한 認識

(單位: %)

| | 전 체 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 금연시도율 | 금연 필요성 인식 정도 | | |
| | | | 끊을 필요 없음 | 반드시 끊어야 함 | 모르겠음 |
| 전 체 | 100.0(2,086) | 62.1 | 20.7 | 47.8 | 31.6 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,664) | 62.4 | 19.3 | 48.4 | 32.3 |
| 군지역 | 100.0( 422) | 60.7 | 26.0 | 45.2 | 28.7 |
| 성 | | | | | |
| 남자 | 100.0(1,896) | 62.8 | 20.1 | 48.5 | 31.3 |
| 여자 | 100.0( 190) | 54.6 | 25.9 | 40.5 | 33.6 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 79) | 65.1 | 9.4 | 45.3 | 45.3 |
| 20~29세 | 100.0( 503) | 59.3 | 17.7 | 42.3 | 40.0 |
| 30~39세 | 100.0( 573) | 62.2 | 16.9 | 49.0 | 34.0 |
| 40~49세 | 100.0( 442) | 64.6 | 18.8 | 56.2 | 25.0 |
| 50~59세 | 100.0( 312) | 63.3 | 26.8 | 47.6 | 25.6 |
| 60~69세 | 100.0( 177) | 59.8 | 39.7 | 39.9 | 20.4 |
| 교육수준 | | | | | |
| 무학 | 100.0( 109) | 51.4 | 39.5 | 39.5 | 20.9 |
| 국졸 | 100.0( 295) | 62.9 | 33.5 | 41.8 | 24.7 |
| 중졸 | 100.0( 330) | 67.6 | 19.8 | 48.8 | 31.4 |
| 고졸 | 100.0( 837) | 61.8 | 16.5 | 49.5 | 33.9 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 515) | 60.8 | 16.5 | 49.5 | 34.0 |
| 결혼상태 | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 522) | 59.7 | 16.8 | 39.1 | 44.2 |
| 유배우 | 100.0(1,454) | 63.5 | 21.1 | 51.2 | 27.7 |
| 이혼/기타 | 100.0( 110) | 55.4 | 33.4 | 44.2 | 22.4 |
| 직업 | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 162) | 67.9 | 13.6 | 62.2 | 24.2 |
| 사무직 | 100.0( 250) | 59.8 | 18.8 | 50.6 | 30.6 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 310) | 65.6 | 18.5 | 47.0 | 34.4 |
| 농·어업 | 100.0( 250) | 61.3 | 30.8 | 42.4 | 26.8 |
| 기능직 | 100.0( 525) | 61.9 | 18.1 | 50.5 | 31.4 |
| 단순노무직 | 100.0( 210) | 58.2 | 28.5 | 41.4 | 30.1 |
| 학생 | 100.0( 129) | 55.7 | 13.3 | 35.8 | 50.9 |
| 기타(주부, 군인 무직) | 100.0( 250) | 64.2 | 22.2 | 47.9 | 29.9 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 272) | 61.4 | 27.1 | 45.3 | 27.6 |
| 51~100만원 | 100.0( 566) | 59.9 | 26.4 | 44.2 | 29.3 |
| 101~150만원 | 100.0( 553) | 62.0 | 19.1 | 49.1 | 31.8 |
| 151~200만원 | 100.0( 343) | 65.9 | 13.2 | 53.6 | 33.2 |
| 201만원 이상 | 100.0( 352) | 62.6 | 15.4 | 50.3 | 34.3 |

〈附表 Ⅰ-7〉 계속

| | 남 자 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 금연시도율 | 금연 필요성 인식 정도 | | |
| | | | 끊을 필요 없음 | 반드시 끊어야 함 | 모르겠음 |
| 전 체 | 100.0(1,896) | 62.8 | 20.1 | 48.5 | 31.3 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,515) | 62.9 | 18.9 | 48.9 | 32.2 |
| 군지역 | 100.0( 381) | 37.1 | 25.0 | 47.1 | 27.9 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 68) | 71.1 | 6.9 | 45.9 | 47.3 |
| 20~29세 | 100.0( 465) | 59.1 | 18.0 | 41.3 | 40.7 |
| 30~39세 | 100.0( 545) | 62.8 | 17.4 | 49.5 | 33.1 |
| 40~49세 | 100.0( 406) | 65.6 | 18.6 | 58.3 | 23.1 |
| 50~59세 | 100.0( 281) | 64.4 | 26.0 | 48.4 | 25.5 |
| 60~69세 | 100.0( 131) | 60.1 | 38.0 | 41.2 | 20.8 |
| 교육수준 | | | | | |
| 무학 | 100.0( 57) | 47.8 | 39.8 | 40.6 | 19.6 |
| 국졸 | 100.0( 256) | 63.4 | 33.4 | 42.3 | 24.3 |
| 중졸 | 100.0( 303) | 68.6 | 19.9 | 49.8 | 30.2 |
| 고졸 | 100.0( 783) | 62.4 | 16.9 | 49.8 | 33.3 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 497) | 61.5 | 16.3 | 49.8 | 34.0 |
| 결혼상태 | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 479) | 60.9 | 17.0 | 38.3 | 44.7 |
| 유배우 | 100.0(1,366) | 63.8 | 21.0 | 51.8 | 27.1 |
| 이혼/기타 | 100.0( 51) | 54.8 | 27.1 | 56.8 | 16.1 |
| 직업 | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 159) | 67.8 | 13.9 | 61.8 | 24.4 |
| 사무직 | 100.0( 245) | 60.4 | 18.9 | 50.4 | 30.7 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 272) | 65.7 | 18.6 | 48.2 | 33.2 |
| 농·어업 | 100.0( 224) | 62.4 | 29.5 | 44.7 | 25.8 |
| 기능직 | 100.0( 516) | 62.7 | 18.3 | 50.6 | 31.1 |
| 단순노무직 | 100.0( 196) | 59.1 | 28.9 | 41.5 | 29.6 |
| 학생 | 100.0( 119) | 58.8 | 12.1 | 36.1 | 51.8 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0( 165) | 65.3 | 19.1 | 49.3 | 31.6 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 213) | 62.8 | 24.9 | 47.6 | 27.5 |
| 51~100만원 | 100.0( 515) | 60.0 | 26.9 | 43.4 | 29.7 |
| 101~150만원 | 100.0( 516) | 63.7 | 18.8 | 49.8 | 31.4 |
| 151~200만원 | 100.0( 319) | 65.8 | 13.2 | 54.6 | 32.3 |
| 201만원 이상 | 100.0( 333) | 63.6 | 15.5 | 51.3 | 33.2 |

〈附表 Ⅰ-7〉 계속

| | 여 자 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 금연시도율 | 금연 필요성 인식 정도 | | |
| | | | 끊을 필요 없음 | 반드시 끊어야 함 | 모르겠음 |
| 전 체 | 100.0(190) | 54.6 | 25.9 | 40.5 | 33.6 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(149) | 57.3 | 23.2 | 43.9 | 32.9 |
| 군지역 | 100.0( 41) | 42.7 | 35.2 | 28.6 | 36.2 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 11) | 28.6 | 25.2 | 41.7 | 33.1 |
| 20~29세 | 100.0( 38) | 62.4 | 14.2 | 54.3 | 31.5 |
| 30~39세 | 100.0( 28) | 50.4 | 7.7 | 40.0 | 52.3 |
| 40~49세 | 100.0( 36) | 54.1 | 21.4 | 32.7 | 45.9 |
| 50~59세 | 100.0( 31) | 53.1 | 34.2 | 39.7 | 26.1 |
| 60~69세 | 100.0( 46) | 58.8 | 44.9 | 36.0 | 19.1 |
| 교육수준 | | | | | |
| 무학 | 100.0( 52) | 55.4 | 39.2 | 38.4 | 22.3 |
| 국졸 | 100.0( 39) | 59.7 | 34.2 | 38.2 | 27.6 |
| 중졸 | 100.0( 27) | 56.4 | 18.8 | 37.6 | 43.7 |
| 고졸 | 100.0( 54) | 53.7 | 11.9 | 44.9 | 43.2 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 18) | 41.2 | 22.3 | 4.32 | 34.5 |
| 결혼상태 | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 43) | 46.6 | 14.4 | 47.8 | 37.8 |
| 유배우 | 100.0( 88) | 57.9 | 22.8 | 41.8 | 35.4 |
| 이혼/기타 | 100.0( 59) | 55.9 | 38.9 | 33.3 | 27.8 |
| 직업 | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 3) | 76.0 | - | 83.5 | 16.5 |
| 사무직 | 100.0( 5) | 27.9 | 17.9 | 58.5 | 23.6 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 38) | 64.2 | 18.0 | 38.6 | 43.4 |
| 농·어업 | 100.0( 26) | 52.5 | 41.7 | 23.1 | 35.2 |
| 기능직 | 100.0( 9) | 8.9 | 6.0 | 43.2 | 50.8 |
| 단순노무직 | 100.0( 14) | 45.2 | 22.6 | 39.4 | 38.0 |
| 학생 | 100.0( 10) | 20.1 | 26.5 | 32.2 | 41.3 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0( 85) | 62.0 | 28.2 | 45.2 | 26.7 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 59) | 56.5 | 35.4 | 36.7 | 27.9 |
| 51~100만원 | 100.0( 51) | 58.9 | 21.1 | 52.7 | 26.2 |
| 101~150만원 | 100.0( 37) | 38.1 | 23.9 | 38.8 | 37.3 |
| 151~200만원 | 100.0( 24) | 67.4 | 13.6 | 40.2 | 46.2 |
| 201만원 이상 | 100.0( 19) | 45.1 | 13.3 | 33.0 | 53.7 |

〈附表 Ⅰ-8〉 社會經濟的 特性 및 性別 飲酒實態

(單位: %)

| | 전 체 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 현음주 | 과거음주 | 무음주 |
| 전 체 | 100.0(6,480) | 31.4 | 6.5 | 62.1 |
| 거주지 | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 32.7 | 6.4 | 60.9 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 26.9 | 6.6 | 66.5 |
| 성 | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 50.8 | 8.9 | 40.3 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 13.5 | 4.2 | 82.2 |
| 연령 | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 9.6 | 3.8 | 86.6 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 39.4 | 8.8 | 51.8 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 36.5 | 5.1 | 58.4 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 35.2 | 5.4 | 59.4 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 27.9 | 6.8 | 65.2 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 23.8 | 9.7 | 66.5 |
| 교육수준 | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 17.6 | 5.6 | 76.8 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 26.3 | 7.1 | 66.6 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 29.8 | 5.8 | 64.5 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 31.9 | 6.5 | 61.6 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 39.4 | 6.7 | 53.9 |
| 결혼상태 | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,826) | 30.8 | 5.6 | 63.6 |
| 유배우 | 100.0(4,223) | 33.0 | 7.1 | 59.9 |
| 이혼/기타 | 100.0( 431) | 18.4 | 4.2 | 77.4 |
| 직업 | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 41.7 | 4.8 | 53.5 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 53.0 | 7.7 | 39.3 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 35.7 | 6.1 | 58.2 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 29.8 | 8.7 | 61.5 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 51.9 | 8.3 | 39.8 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 38.1 | 8.1 | 53.8 |
| 학생 | 100.0( 929) | 15.7 | 4.0 | 80.3 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,778) | 17.6 | 5.8 | 76.6 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 631) | 27.4 | 7.8 | 64.8 |
| 51~100만원 | 100.0(2,201) | 30.9 | 6.7 | 62.4 |
| 101~150만원 | 100.0(3,390) | 33.4 | 6.3 | 60.3 |
| 151~200만원 | 100.0( 135) | 29.0 | 6.1 | 64.8 |
| 201만원 이상 | 100.0( 123) | 35.7 | 6.1 | 58.2 |

〈附表 Ⅰ-8〉 계속

| | 남 자 | | | | 여 자 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 현음주 | 과거음주 | 무음주 | 계(N) | 현음주 | 과거음주 | 무음주 |
| 전 체 | 100.0(3,107) | 50.8 | 8.9 | 40.3 | 100.0(3,373) | 13.5 | 4.2 | 82.2 |
| 거주지 | | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(2,468) | 51.4 | 8.4 | 40.1 | 100.0(2,621) | 15.0 | 4.5 | 80.5 |
| 군지역 | 100.0( 639) | 48.5 | 10.5 | 41.0 | 100.0( 752) | 8.5 | 3.3 | 88.2 |
| 연령 | | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 362) | 14.1 | 0.9 | 85.0 | 100.0( 401) | 5.6 | 6.4 | 88.0 |
| 20~29세 | 100.0( 667) | 54.4 | 9.5 | 36.1 | 100.0( 764) | 26.4 | 8.1 | 65.5 |
| 30~39세 | 100.0( 793) | 58.8 | 6.9 | 34.3 | 100.0( 816) | 14.8 | 3.3 | 81.9 |
| 40~49세 | 100.0( 602) | 60.1 | 8.7 | 31.2 | 100.0( 590) | 9.6 | 2.0 | 88.3 |
| 50~59세 | 100.0( 443) | 51.6 | 12.6 | 35.7 | 100.0( 479) | 6.0 | 1.5 | 92.5 |
| 60~69세 | 100.0( 240) | 45.1 | 19.1 | 35.8 | 100.0( 323) | 8.0 | 2.8 | 89.2 |
| 교육수준 | | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 89) | 49.9 | 14.1 | 36.0 | 100.0( 316) | 8.6 | 3.3 | 88.1 |
| 국졸 | 100.0( 386) | 52.7 | 13.6 | 33.6 | 100.0( 586) | 8.8 | 2.8 | 88.4 |
| 중졸 | 100.0( 461) | 50.5 | 8.9 | 40.6 | 100.0( 575) | 13.0 | 3.2 | 83.7 |
| 고졸 | 100.0(1,349) | 47.8 | 7.6 | 44.5 | 100.0(1,327) | 15.6 | 5.3 | 79.1 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 822) | 55.1 | 8.1 | 36.8 | 100.0( 569) | 16.8 | 4.8 | 78.5 |
| 결혼상태 | | | | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 979) | 40.3 | 4.9 | 54.7 | 100.0( 847) | 19.7 | 6.4 | 73.9 |
| 유배우 | 100.0(2,065) | 55.6 | 10.8 | 33.6 | 100.0(2,158) | 11.4 | 3.5 | 85.1 |
| 이혼/기타 | 100.0( 63) | 56.1 | 7.3 | 36.6 | 100.0( 368) | 11.9 | 3.6 | 84.4 |
| 직업 | | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 289) | 51.2 | 5.7 | 43.1 | 100.0( 142) | 22.1 | 3.0 | 75.0 |
| 사무직 | 100.0( 368) | 62.6 | 7.6 | 2.98 | 100.0( 178) | 33.1 | 3.0 | 58.9 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 403) | 54.9 | 6.7 | 38.4 | 100.0( 414) | 17.1 | 5.5 | 77.5 |
| 농·어업 | 100.0( 334) | 52.1 | 15.4 | 32.5 | 100.0( 319) | 6.5 | 1.7 | 91.8 |
| 기능직 | 100.0( 717) | 57.5 | 9.6 | 32.9 | 100.0( 121) | 19.0 | 0.5 | 80.5 |
| 단순노무직 | 100.0( 259) | 58.5 | 12.2 | 29.3 | 100.0( 229) | 15.1 | 3.5 | 81.4 |
| 학생 | 100.0( 472) | 23.8 | 2.8 | 73.4 | 100.0( 457) | 7.3 | 5.3 | 87.4 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0( 265) | 48.7 | 14.9 | 36.3 | 100.0(1,513) | 12.2 | 4.2 | 83.7 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 335) | 50.4 | 13.8 | 35.8 | 100.0( 442) | 10.0 | 3.2 | 86.8 |
| 51~100만원 | 100.0( 795) | 52.5 | 9.0 | 38.5 | 100.0( 875) | 11.4 | 4.5 | 84.1 |
| 101~150만원 | 100.0( 810) | 51.6 | 7.2 | 41.1 | 100.0( 879) | 16.6 | 5.5 | 77.9 |
| 151~200만원 | 100.0( 589) | 45.4 | 8.5 | 46.1 | 100.0( 626) | 13.7 | 3.9 | 82.4 |
| 201만원 이상 | 100.0( 578) | 54.9 | 8.7 | 36.4 | 100.0( 551) | 15.5 | 3.3 | 81.2 |

〈附表 Ⅰ-9〉 社會經濟的 特性 및 性別 現飲酒者의 飲酒頻度

(單位: %)

| | 전 체 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 월 1회 이하 | 월 2~4회 | 주 2~4회 | 거의 매일 |
| 전 체 | 100.0(2,035) | 6.6 | 36.9 | 35.9 | 20.6 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,662) | 7.0 | 39.0 | 36.4 | 17.6 |
| 군지역 | 100.0( 373) | 4.9 | 27.3 | 33.9 | 33.9 |
| 성 | | | | | |
| 남자 | 100.0(1,579) | 3.4 | 33.0 | 39.5 | 24.1 |
| 여자 | 100.0( 456) | 17.9 | 50.0 | 23.6 | 8.5 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 73) | 14.3 | 45.7 | 35.1 | 4.9 |
| 20~29세 | 100.0( 564) | 8.1 | 50.7 | 33.8 | 7.4 |
| 30~39세 | 100.0( 587) | 6.2 | 36.8 | 40.3 | 16.7 |
| 40~49세 | 100.0( 419) | 5.4 | 29.7 | 39.1 | 25.8 |
| 50~59세 | 100.0( 258) | 5.3 | 24.6 | 29.0 | 41.0 |
| 60~69세 | 100.0( 134) | 4.4 | 19.6 | 29.9 | 46.0 |
| 교육수준 | | | | | |
| 무학 | 100.0( 71) | 6.9 | 16.4 | 21.9 | 54.8 |
| 국졸 | 100.0( 256) | 4.3 | 19.7 | 32.8 | 43.3 |
| 중졸 | 100.0( 307) | 9.3 | 34.3 | 32.9 | 23.5 |
| 고졸 | 100.0( 853) | 6.6 | 37.6 | 40.5 | 15.7 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 548) | 6.5 | 47.9 | 34.0 | 11.6 |
| 결혼상태 | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 561) | 7.2 | 49.5 | 35.6 | 7.7 |
| 유배우 | 100.0(1,395) | 5.9 | 32.6 | 36.7 | 24.8 |
| 이혼/기타 | 100.0( 79) | 14.7 | 23.0 | 25.4 | 36.9 |
| 직업 | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 179) | 6.4 | 40.5 | 37.9 | 15.2 |
| 사무직 | 100.0( 289) | 6.9 | 38.8 | 44.1 | 10.2 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 292) | 5.3 | 30.2 | 40.6 | 24.0 |
| 농·어업 | 100.0( 194) | 2.4 | 15.4 | 33.5 | 48.7 |
| 기능직 | 100.0( 436) | 4.4 | 36.3 | 36.4 | 22.9 |
| 단순노무직 | 100.0( 186) | 6.7 | 29.9 | 30.5 | 32.8 |
| 학생 | 100.0( 146) | 9.2 | 60.5 | 27.4 | 3.0 |
| 기타(주부, 군인 무직) | 100.0( 313) | 12.1 | 46.2 | 31.2 | 10.5 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 211) | 4.5 | 25.5 | 34.8 | 35.2 |
| 51~100만원 | 100.0( 513) | 7.4 | 30.6 | 36.3 | 25.7 |
| 101~150만원 | 100.0( 560) | 7.4 | 41.0 | 34.8 | 16.8 |
| 151~200만원 | 100.0( 351) | 8.2 | 43.1 | 33.6 | 15.0 |
| 201만원 이상 | 100.0( 400) | 4.3 | 38.9 | 40.3 | 16.5 |

〈附表 Ⅰ-9〉 계속

| | 남 자 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 월 1회 이하 | 월 2~4회 | 주 2~4회 | 거의 매일 |
| 전 체 | 100.0(1,579) | 3.4 | 33.0 | 39.5 | 24.1 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,270) | 3.5 | 35.2 | 40.2 | 21.0 |
| 군지역 | 100.0( 309) | 2.6 | 24.1 | 36.6 | 36.8 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 51) | 11.9 | 39.8 | 41.3 | 7.0 |
| 20~29세 | 100.0( 362) | 3.1 | 50.4 | 37.4 | 9.1 |
| 30~39세 | 100.0( 466) | 2.1 | 32.7 | 45.5 | 19.8 |
| 40~49세 | 100.0( 362) | 4.1 | 25.9 | 42.1 | 27.9 |
| 50~59세 | 100.0( 229) | 4.5 | 22.7 | 31.3 | 41.5 |
| 60~69세 | 100.0( 108) | 0.5 | 19.4 | 28.7 | 51.5 |
| 교육수준 | | | | | |
| 무학 | 100.0( 44) | 4.2 | 8.4 | 23.4 | 64.0 |
| 국졸 | 100.0( 204) | 1.2 | 15.7 | 34.0 | 49.1 |
| 중졸 | 100.0( 233) | 3.1 | 31.8 | 35.4 | 29.7 |
| 고졸 | 100.0( 646) | 3.4 | 32.2 | 45.5 | 18.9 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 452) | 4.3 | 45.0 | 37.1 | 13.6 |
| 결혼상태 | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 395) | 3.8 | 48.6 | 38.4 | 9.3 |
| 유배우 | 100.0(1,149) | 3.2 | 28.0 | 40.2 | 28.5 |
| 이혼/기타 | 100.0( 35) | 2.1 | 22.8 | 30.0 | 45.0 |
| 직업 | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 148) | 2.6 | 38.6 | 40.5 | 18.4 |
| 사무직 | 100.0( 230) | 4.9 | 33.8 | 48.9 | 12.3 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 221) | 2.3 | 28.8 | 42.2 | 26.7 |
| 농·어업 | 100.0( 174) | 2.2 | 15.7 | 34.3 | 47.8 |
| 기능직 | 100.0( 412) | 3.5 | 35.8 | 36.7 | 24.0 |
| 단순노무직 | 100.0( 151) | 1.4 | 23.3 | 37.2 | 38.1 |
| 학생 | 100.0( 113) | 7.8 | 58.5 | 30.3 | 3.4 |
| 기타(주부, 군인 무직) | 100.0( 129) | 2.5 | 36.0 | 43.8 | 17.7 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 167) | 2.4 | 21.5 | 38.7 | 37.5 |
| 51~100만원 | 100.0( 415) | 3.1 | 28.2 | 39.6 | 29.1 |
| 101~150만원 | 100.0( 415) | 3.9 | 33.3 | 42.1 | 20.7 |
| 151~200만원 | 100.0( 266) | 6.2 | 42.4 | 33.0 | 18.4 |
| 201만원 이상 | 100.0( 316) | 1.2 | 36.3 | 42.7 | 19.7 |

〈附表 Ⅰ-9〉 계속

| | 여 자 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 월 1회 이하 | 월 2~4회 | 주 2~4회 | 거의 매일 |
| 전 체 | 100.0(456) | 17.9 | 50.0 | 23.6 | 8.5 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(392) | 18.2 | 51.2 | 24.0 | 6.6 |
| 군지역 | 100.0( 64) | 16.0 | 42.8 | 21.3 | 19.9 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 22) | 20.0 | 59.0 | 21.0 | - |
| 20~29세 | 100.0(202) | 17.0 | 51.4 | 27.3 | 4.3 |
| 30~39세 | 100.0(121) | 21.7 | 53.0 | 20.4 | 4.9 |
| 40~49세 | 100.0( 57) | 13.5 | 54.0 | 19.8 | 12.6 |
| 50~59세 | 100.0( 29) | 11.9 | 40.2 | 10.8 | 37.0 |
| 60~69세 | 100.0( 26) | 20.7 | 20.6 | 35.0 | 23.6 |
| 교육수준 | | | | | |
| 무학 | 100.0( 27) | 11.2 | 29.1 | 19.6 | 40.0 |
| 국졸 | 100.0( 52) | 16.4 | 35.7 | 27.8 | 20.1 |
| 중졸 | 100.0( 74) | 28.8 | 42.3 | 24.8 | 4.1 |
| 고졸 | 100.0(207) | 15.3 | 54.2 | 24.7 | 5.8 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 96) | 16.9 | 61.4 | 19.4 | 2.4 |
| 결혼상태 | | | | | |
| 미혼 | 100.0(166) | 15.3 | 51.6 | 28.9 | 4.2 |
| 유배우 | 100.0(246) | 18.4 | 53.8 | 20.4 | 7.4 |
| 이혼/기타 | 100.0( 44) | 24.8 | 23.1 | 21.8 | 30.4 |
| 직업 | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 31) | 24.7 | 49.8 | 25.4 | - |
| 사무직 | 100.0( 59) | 14.5 | 58.4 | 25.0 | 2.1 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 71) | 14.5 | 34.4 | 35.6 | 15.6 |
| 농·어업 | 100.0( 21) | 3.6 | 13.5 | 27.1 | 55.9 |
| 기능직 | 100.0( 25) | 20.7 | 45.1 | 30.6 | 3.5 |
| 단순노무직 | 100.0( 35) | 30.0 | 58.7 | 1.3 | 10.0 |
| 학생 | 100.0( 33) | 13.7 | 67.2 | 17.5 | 1.5 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(184) | 18.8 | 53.4 | 22.3 | 5.4 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 44) | 12.6 | 40.7 | 20.2 | 26.5 |
| 51~100만원 | 100.0( 98) | 25.2 | 40.6 | 22.7 | 11.6 |
| 101~150만원 | 100.0(145) | 17.4 | 62.9 | 14.2 | 5.5 |
| 151~200만원 | 100.0( 85) | 14.7 | 45.3 | 35.6 | 4.4 |
| 201만원 이상 | 100.0( 84) | 15.7 | 48.7 | 31.0 | 4.6 |

〈附表 Ⅰ-10〉 社會經濟的 特性 및 性別 現飲酒者의 지난 1年間 過飲頻度

(單位: %)

| | 전 체 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 없음 | 연간 3회 이내 | 3개월에 1~3회 | 1개월에 1~3회 | 주 1회 이상 |
| 전 체 | 100.0(2,035) | 39.5 | 28.2 | 15.7 | 11.8 | 4.8 |
| 거주지 | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,662) | 39.3 | 29.3 | 16.0 | 11.4 | 4.1 |
| 군지역 | 100.0( 373) | 40.4 | 23.7 | 14.5 | 13.3 | 8.1 |
| 성 | | | | | | |
| 남자 | 100.0(1,579) | 31.9 | 29.8 | 18.9 | 13.6 | 5.8 |
| 여자 | 100.0( 456) | 65.6 | 22.8 | 4.7 | 5.3 | 1.6 |
| 연령 | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 73) | 54.5 | 27.6 | 7.9 | 4.9 | 5.1 |
| 20~29세 | 100.0( 564) | 42.2 | 27.0 | 16.3 | 11.0 | 3.5 |
| 30~39세 | 100.0( 587) | 34.9 | 31.2 | 18.0 | 12.0 | 3.9 |
| 40~49세 | 100.0( 419) | 37.7 | 29.3 | 13.5 | 13.3 | 6.2 |
| 50~59세 | 100.0( 258) | 33.7 | 28.6 | 18.2 | 14.9 | 4.7 |
| 60~69세 | 100.0( 134) | 56.9 | 16.7 | 9.6 | 6.8 | 10.0 |
| 교육수준 | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 71) | 56.3 | 14.5 | 11.9 | 10.4 | 6.9 |
| 국졸 | 100.0( 256) | 42.3 | 22.1 | 11.4 | 14.5 | 9.6 |
| 중졸 | 100.0( 307) | 44.9 | 25.3 | 15.5 | 10.6 | 3.7 |
| 고졸 | 100.0( 853) | 37.2 | 32.0 | 14.0 | 11.8 | 5.1 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 548) | 36.4 | 28.8 | 20.9 | 11.3 | 2.6 |
| 결혼상태 | | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 561) | 40.5 | 27.8 | 15.0 | 12.0 | 4.6 |
| 유배우 | 100.0(1,395) | 38.1 | 27.0 | 16.4 | 11.6 | 4.8 |
| 이혼/기타 | 100.0( 79) | 57.1 | 17.5 | 7.2 | 11.9 | 6.3 |
| 직업 | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 179) | 33.4 | 35.2 | 16.2 | 12.3 | 3.0 |
| 사무직 | 100.0( 289) | 29.8 | 32.2 | 19.2 | 12.7 | 6.1 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 292) | 31.6 | 31.3 | 17.6 | 15.2 | 4.4 |
| 농·어업 | 100.0( 194) | 42.8 | 22.4 | 10.1 | 14.6 | 10.1 |
| 기능직 | 100.0( 436) | 34.6 | 29.6 | 19.8 | 12.2 | 3.9 |
| 단순노무직 | 100.0( 186) | 40.2 | 26.9 | 9.6 | 14.8 | 8.5 |
| 학생 | 100.0( 146) | 49.0 | 24.8 | 18.4 | 5.5 | 2.2 |
| 기타(주부, 군인 무직) | 100.0( 313) | 59.0 | 22.0 | 10.5 | 6.3 | 2.2 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 211) | 42.3 | 21.9 | 12.5 | 15.4 | 7.9 |
| 51~100만원 | 100.0( 513) | 37.6 | 24.6 | 19.7 | 12.3 | 5.8 |
| 101~150만원 | 100.0( 560) | 41.5 | 28.3 | 15.1 | 12.6 | 2.6 |
| 151~200만원 | 100.0( 351) | 41.3 | 30.7 | 13.9 | 9.5 | 4.6 |
| 201만원 이상 | 100.0( 400) | 35.8 | 34.9 | 15.4 | 8.6 | 5.3 |

〈附表 Ⅰ-10〉 계속

| | 남 자 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 없음 | 연간 3회 이내 | 3개월에 1~3회 | 1개월에 1~3회 | 주 1회 이상 |
| 전 체 | 100.0(1,579) | 31.9 | 29.8 | 18.9 | 13.6 | 5.8 |
| 거주지 | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,270) | 31.3 | 31.0 | 19.4 | 13.4 | 4.9 |
| 군지역 | 100.0( 309) | 34.3 | 24.9 | 16.7 | 14.8 | 9.3 |
| 연령 | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 51) | 63.4 | 15.7 | 11.3 | 3.2 | 6.4 |
| 20~29세 | 100.0( 362) | 31.2 | 29.6 | 22.0 | 13.0 | 4.2 |
| 30~39세 | 100.0( 466) | 25.9 | 33.1 | 21.4 | 14.8 | 4.7 |
| 40~49세 | 100.0( 362) | 32.9 | 30.5 | 15.0 | 14.4 | 7.2 |
| 50~59세 | 100.0( 229) | 27.7 | 30.7 | 19.9 | 16.7 | 5.0 |
| 60~69세 | 100.0( 108) | 50.4 | 18.8 | 11.9 | 7.0 | 11.8 |
| 교육수준 | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 44) | 38.1 | 21.8 | 18.2 | 13.5 | 8.4 |
| 국졸 | 100.0( 204) | 36.5 | 23.2 | 11.7 | 16.6 | 12.0 |
| 중졸 | 100.0( 233) | 36.7 | 27.0 | 18.9 | 12.6 | 4.8 |
| 고졸 | 100.0( 646) | 30.5 | 32.9 | 17.1 | 13.6 | 5.8 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 452) | 28.7 | 30.6 | 24.7 | 12.9 | 3.1 |
| 결혼상태 | | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 395) | 34.6 | 27.8 | 18.7 | 13.5 | 5.4 |
| 유배우 | 100.0(1,149) | 30.6 | 30.7 | 19.2 | 13.8 | 5.7 |
| 이혼/기타 | 100.0( 35) | 42.4 | 23.7 | 12.9 | 10.6 | 10.4 |
| 직업 | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 148) | 24.8 | 38.4 | 18.8 | 14.9 | 3.2 |
| 사무직 | 100.0( 230) | 24.5 | 32.6 | 22.9 | 12.9 | 7.2 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 221) | 23.7 | 33.7 | 20.4 | 17.4 | 4.9 |
| 농·어업 | 100.0( 174) | 38.0 | 23.8 | 10.9 | 16.0 | 11.3 |
| 기능직 | 100.0( 412) | 34.1 | 29.7 | 20.3 | 12.0 | 3.9 |
| 단순노무직 | 100.0( 151) | 32.4 | 30.3 | 11.5 | 16.4 | 9.4 |
| 학생 | 100.0( 113) | 44.1 | 22.0 | 23.9 | 7.1 | 2.9 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0( 129) | 41.0 | 23.2 | 20.0 | 11.7 | 4.2 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 167) | 36.9 | 22.7 | 15.0 | 16.3 | 9.2 |
| 51~100만원 | 100.0( 415) | 31.7 | 25.7 | 22.4 | 14.0 | 6.2 |
| 101~150만원 | 100.0( 415) | 33.3 | 28.9 | 18.9 | 15.9 | 3.0 |
| 151~200만원 | 100.0( 266) | 34.8 | 32.4 | 16.7 | 10.2 | 6.0 |
| 201만원 이상 | 100.0( 316) | 24.5 | 39.1 | 19.2 | 10.4 | 6.8 |

〈附表 Ⅰ-10〉 계속

| | 여 자 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 없음 | 연간 3회 이내 | 3개월에 1~3회 | 1개월에 1~3회 | 주 1회 이상 |
| 전 체 | 100.0(456) | 65.6 | 22.8 | 4.7 | 5.3 | 1.6 |
| 거주지 | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(392) | 65.0 | 23.6 | 4.8 | 5.2 | 1.5 |
| 군지역 | 100.0( 64) | 69.9 | 18.0 | 4.1 | 6.0 | 2.0 |
| 연령 | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 22) | 33.9 | 54.9 | - | 9.0 | 2.2 |
| 20~29세 | 100.0(202) | 61.7 | 22.4 | 6.1 | 7.3 | 2.4 |
| 30~39세 | 100.0(121) | 69.6 | 23.7 | 4.7 | 1.5 | 0.6 |
| 40~49세 | 100.0( 57) | 68.1 | 21.8 | 3.5 | 6.5 | - |
| 50~59세 | 100.0( 29) | 80.6 | 12.0 | 4.5 | 0.9 | 2.0 |
| 60~69세 | 100.0( 26) | 83.3 | 8.2 | - | 5.8 | 2.6 |
| 교육수준 | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 27) | 85.4 | 2.8 | 1.7 | 5.5 | 4.6 |
| 국졸 | 100.0( 52) | 65.7 | 17.6 | 10.5 | 6.2 | - |
| 중졸 | 100.0( 74) | 70.4 | 20.2 | 4.8 | 4.1 | 0.6 |
| 고졸 | 100.0(207) | 57.7 | 29.0 | 4.3 | 6.2 | 2.7 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 96) | 73.1 | 20.1 | 3.0 | 3.8 | - |
| 결혼상태 | | | | | | |
| 미혼 | 100.0(166) | 54.4 | 27.7 | 6.5 | 8.7 | 2.7 |
| 유배우 | 100.0(246) | 72.7 | 21.3 | 3.8 | 1.6 | 0.6 |
| 이혼/기타 | 100.0( 44) | 69.2 | 12.5 | 2.6 | 12.9 | 2.9 |
| 직업 | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 31) | 74.4 | 19.9 | 3.6 | - | 2.1 |
| 사무직 | 100.0( 59) | 50.7 | 30.6 | 4.9 | 11.9 | 1.9 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 71) | 56.9 | 23.7 | 8.6 | 8.3 | 2.6 |
| 농·어업 | 100.0( 21) | 82.0 | 10.7 | 4.0 | 3.3 | - |
| 기능직 | 100.0( 25) | 43.5 | 27.1 | 12.2 | 14.0 | 3.1 |
| 단순노무직 | 100.0( 35) | 74.0 | 12.0 | 1.3 | 8.1 | 4.7 |
| 학생 | 100.0( 33) | 65.6 | 34.4 | - | - | - |
| 기타(주부, 군인 무직) | 100.0(184) | 71.7 | 21.2 | 3.9 | 2.5 | 0.8 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 44) | 63.5 | 18.4 | 2.9 | 12.2 | 2.9 |
| 51~100만원 | 100.0( 98) | 61.8 | 20.0 | 8.6 | 5.5 | 4.1 |
| 101~150만원 | 100.0(145) | 64.7 | 26.6 | 4.0 | 3.4 | 1.2 |
| 151~200만원 | 100.0( 85) | 61.6 | 25.5 | 5.2 | 7.4 | 0.3 |
| 201만원 이상 | 100.0( 84) | 77.2 | 19.3 | 1.6 | 2.0 | - |

〈附表 Ⅰ-11〉 社會經濟的 特性 및 性別 現飲酒者의 節酒 및 禁酒 試圖 與否

(單位: %)

| | 전 체 | | | 남 자 | | | 여 자 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 있음 | 없음 | 계(N) | 있음 | 없음 | 계(N) | 있음 | 없음 |
| 전 체 | 100.0(2,035) | 38.9 | 61.1 | 100.0(1,579) | 44.5 | 55.5 | 100.0(456) | 19.2 | 80.8 |
| 거주지 | | | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,662) | 38.1 | 61.9 | 100.0(1,270) | 43.4 | 56.6 | 100.0(392) | 20.7 | 79.3 |
| 군지역 | 100.0( 373) | 42.2 | 57.8 | 100.0( 309) | 48.9 | 51.1 | 100.0( 64) | 10.1 | 89.9 |
| 성 | | | | | | | | | |
| 남자 | 100.0(1,579) | 44.5 | 55.5 | - | - | - | - | - | - |
| 여자 | 100.0( 456) | 19.2 | 80.8 | - | - | - | - | - | - |
| 연령 | | | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 73) | 18.3 | 81.7 | 100.0( 51) | 15.2 | 84.8 | 100.0( 22) | 26.9 | 73.1 |
| 20~29세 | 100.0( 564) | 31.7 | 68.3 | 100.0( 362) | 39.9 | 60.1 | 100.0(202) | 16.9 | 83.1 |
| 30~39세 | 100.0( 587) | 39.2 | 60.8 | 100.0( 466) | 43.8 | 56.2 | 100.0(121) | 20.5 | 79.5 |
| 40~49세 | 100.0( 419) | 47.6 | 52.4 | 100.0( 362) | 51.5 | 48.5 | 100.0( 57) | 22.9 | 77.1 |
| 50~59세 | 100.0( 258) | 47.3 | 52.7 | 100.0( 229) | 50.6 | 49.4 | 100.0( 29) | 22.3 | 77.7 |
| 60~69세 | 100.0( 134) | 35.4 | 64.6 | 100.0( 108) | 40.6 | 59.4 | 100.0( 26) | 14.2 | 85.8 |
| 교육수준 | | | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 71) | 31.5 | 68.5 | 100.0( 44) | 38.0 | 62.0 | 100.0( 27) | 21.4 | 78.6 |
| 국졸 | 100.0( 256) | 48.0 | 52.0 | 100.0( 204) | 54.7 | 45.3 | 100.0( 52) | 21.6 | 78.4 |
| 중졸 | 100.0( 307) | 43.5 | 56.5 | 100.0( 233) | 50.1 | 49.9 | 100.0( 74) | 22.2 | 77.8 |
| 고졸 | 100.0( 853) | 38.4 | 61.6 | 100.0( 646) | 44.1 | 55.9 | 100.0(207) | 20.3 | 79.7 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 548) | 33.9 | 66.1 | 100.0( 452) | 38.1 | 61.9 | 100.0( 96) | 12.9 | 87.1 |
| 결혼상태 | | | | | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 561) | 31.8 | 68.2 | 100.0( 395) | 36.8 | 63.2 | 100.0(166) | 19.7 | 80.3 |
| 유배우 | 100.0(1,395) | 42.1 | 57.9 | 100.0(1,149) | 47.1 | 52.9 | 100.0(246) | 18.3 | 81.7 |
| 이혼/기타 | 100.0( 79) | 33.3 | 66.7 | 100.0( 35) | 46.7 | 53.3 | 100.0( 44) | 22.5 | 77.5 |
| 직업 | | | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 179) | 38.4 | 61.6 | 100.0( 148) | 42.3 | 57.7 | 100.0( 31) | 19.2 | 80.8 |
| 사무직 | 100.0( 289) | 37.0 | 63.0 | 100.0( 230) | 43.0 | 57.0 | 100.0( 59) | 14.0 | 86.0 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 292) | 44.3 | 55.7 | 100.0( 221) | 50.0 | 50.0 | 100.0( 71) | 26.5 | 73.5 |
| 농·어업 | 100.0( 194) | 44.2 | 55.8 | 100.0( 174) | 47.7 | 52.3 | 100.0( 21) | 15.9 | 84.1 |
| 기능직 | 100.0( 436) | 48.2 | 51.8 | 100.0( 412) | 49.5 | 50.5 | 100.0( 25) | 25.1 | 74.9 |
| 단순노무직 | 100.0( 186) | 39.8 | 60.2 | 100.0( 151) | 42.8 | 57.2 | 100.0( 35) | 26.5 | 73.5 |
| 학생 | 100.0( 146) | 13.8 | 86.2 | 100.0( 113) | 16.9 | 83.1 | 100.0( 33) | 2.1 | 97.9 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0( 313) | 30.5 | 69.5 | 100.0( 129) | 46.2 | 53.8 | 100.0(184) | 19.2 | 80.8 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 211) | 44.4 | 55.6 | 100.0( 167) | 48.8 | 51.2 | 100.0( 44) | 27.8 | 72.2 |
| 51~100만원 | 100.0( 513) | 40.1 | 59.9 | 100.0( 415) | 44.5 | 55.5 | 100.0( 98) | 21.5 | 78.5 |
| 101~150만원 | 100.0( 560) | 39.8 | 60.2 | 100.0( 415) | 47.0 | 53.0 | 100.0(145) | 19.3 | 80.7 |
| 151~200만원 | 100.0( 351) | 38.4 | 61.6 | 100.0( 266) | 45.7 | 54.3 | 100.0( 85) | 15.9 | 84.1 |
| 201만원 이상 | 100.0( 400) | 34.6 | 65.4 | 100.0( 316) | 39.6 | 60.4 | 100.0( 84) | 14.8 | 85.2 |

〈附表 Ⅰ-12〉 社會經濟的 特性 및 性別 主觀的 體重認識 分布

(單位: %)

| | 전 체 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 여윈 편 | 보 통 | 비만한 편 |
| 전 체 | 100.0(6,480) | 18.7 | 57.0 | 24.3 |
| 거주지 | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 17.6 | 57.2 | 25.2 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 22.6 | 56.3 | 21.1 |
| 성 | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 24.9 | 59.6 | 15.5 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 12.9 | 54.6 | 32.5 |
| 연령 | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 21.7 | 52.9 | 25.4 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 20.1 | 58.6 | 21.4 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 15.9 | 58.7 | 25.4 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 14.4 | 56.7 | 28.9 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 18.7 | 57.6 | 23.7 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 28.2 | 53.1 | 18.7 |
| 교육수준 | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 26.4 | 52.1 | 21.5 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 23.4 | 54.0 | 22.5 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 17.7 | 56.3 | 26.1 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 16.4 | 57.9 | 25.7 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 18.3 | 59.2 | 22.5 |
| 결혼상태 | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,826) | 21.6 | 56.6 | 21.8 |
| 유배우 | 100.0(4,223) | 16.9 | 57.7 | 25.4 |
| 이혼/기타 | 100.0( 431) | 24.1 | 51.6 | 24.3 |
| 직업 | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 18.9 | 58.4 | 22.7 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 17.3 | 58.7 | 24.0 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 14.7 | 58.4 | 26.9 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 28.1 | 54.4 | 17.5 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 19.2 | 63.7 | 17.0 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 19.8 | 58.2 | 22.1 |
| 학생 | 100.0( 929) | 21.0 | 53.6 | 25.4 |
| 기타(주부, 군인 무직) | 100.0(1,778) | 15.6 | 54.7 | 29.7 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 30.4 | 49.9 | 19.7 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 16.9 | 60.4 | 22.7 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 19.9 | 55.0 | 25.0 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 14.6 | 57.1 | 28.2 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 16.0 | 59.5 | 24.4 |

〈附表 Ⅰ-12〉 계속

| | 남 자 | | | | 여 자 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 여유 편 | 보 통 | 비만한 편 | 계(N) | 여유 편 | 보 통 | 비만한 편 |
| 전 체 | 100.0(3,107) | 24.9 | 59.6 | 15.5 | 100.0(3,373) | 12.9 | 54.6 | 32.5 |
| 거주지 | | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(2,468) | 23.8 | 60.0 | 16.2 | 100.0(2,621) | 11.8 | 54.5 | 33.7 |
| 군지역 | 100.0( 639) | 29.4 | 57.7 | 12.9 | 100.0( 752) | 16.8 | 55.0 | 28.2 |
| 연령 | | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 362) | 35.7 | 49.2 | 15.1 | 100.0( 401) | 8.8 | 56.3 | 34.9 |
| 20~29세 | 100.0( 667) | 28.7 | 57.7 | 13.6 | 100.0( 764) | 12.4 | 59.4 | 28.2 |
| 30~39세 | 100.0( 793) | 21.1 | 61.3 | 17.6 | 100.0( 816) | 10.9 | 56.1 | 33.0 |
| 40~49세 | 100.0( 602) | 17.0 | 64.0 | 19.0 | 100.0( 590) | 11.7 | 49.4 | 38.9 |
| 50~59세 | 100.0( 443) | 22.0 | 64.4 | 13.6 | 100.0( 479) | 15.7 | 51.2 | 33.1 |
| 60~69세 | 100.0( 240) | 35.8 | 54.7 | 9.6 | 100.0( 323) | 22.6 | 51.9 | 25.6 |
| 교육수준 | | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 89) | 44.2 | 48.4 | 7.4 | 100.0( 316) | 21.4 | 53.1 | 25.5 |
| 국졸 | 100.0( 386) | 33.3 | 58.3 | 8.4 | 100.0( 586) | 16.9 | 51.2 | 31.9 |
| 중졸 | 100.0( 461) | 25.2 | 60.6 | 14.2 | 100.0( 575) | 11.6 | 52.8 | 35.7 |
| 고졸 | 100.0(1,349) | 22.7 | 59.8 | 17.5 | 100.0(1,327) | 10.0 | 55.9 | 34.0 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 822) | 22.4 | 60.4 | 17.2 | 100.0( 569) | 12.4 | 57.4 | 30.2 |
| 결혼상태 | | | | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 979) | 31.5 | 54.7 | 13.8 | 100.0( 847) | 10.2 | 58.7 | 31.1 |
| 유배우 | 100.0(2,065) | 21.5 | 61.9 | 16.6 | 100.0(2,158) | 12.5 | 53.7 | 33.9 |
| 이혼/기타 | 100.0( 63) | 35.7 | 58.3 | 6.0 | 100.0( 368) | 22.1 | 50.4 | 27.5 |
| 직업 | | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 289) | 19.8 | 59.2 | 20.9 | 100.0( 142) | 17.0 | 56.6 | 26.4 |
| 사무직 | 100.0( 368) | 21.0 | 57.2 | 21.7 | 100.0( 178) | 9.6 | 61.8 | 28.7 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 403) | 19.7 | 62.0 | 18.3 | 100.0( 414) | 9.9 | 54.8 | 35.3 |
| 농·어업 | 100.0( 334) | 34.7 | 57.0 | 8.3 | 100.0( 319) | 21.3 | 51.6 | 27.0 |
| 기능직 | 100.0( 717) | 20.1 | 66.3 | 13.6 | 100.0( 121) | 14.0 | 48.9 | 37.1 |
| 단순노무직 | 100.0( 259) | 26.6 | 60.4 | 13.0 | 100.0( 229) | 12.0 | 55.6 | 32.4 |
| 학생 | 100.0( 472) | 33.4 | 50.8 | 15.8 | 100.0( 457) | 8.1 | 56.6 | 35.3 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0( 265) | 27.8 | 59.2 | 13.0 | 100.0(1,513) | 13.5 | 53.8 | 32.7 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 335) | 37.4 | 48.6 | 13.9 | 100.0( 442) | 25.0 | 50.9 | 24.0 |
| 51~100만원 | 100.0( 795) | 24.2 | 63.7 | 12.1 | 100.0( 875) | 10.2 | 57.4 | 32.4 |
| 101~150만원 | 100.0( 810) | 28.0 | 56.8 | 15.2 | 100.0( 879) | 12.5 | 53.3 | 34.2 |
| 151~200만원 | 100.0( 589) | 18.5 | 61.4 | 20.1 | 100.0( 626) | 11.0 | 53.1 | 35.9 |
| 201만원 이상 | 100.0( 578) | 20.8 | 61.9 | 17.4 | 100.0( 551) | 11.1 | 57.1 | 31.8 |

## 〈附表 Ⅰ-13〉 社會經濟的 特性 및 性別 지난 1年間 體重調節 與否

(單位: %)

| | 전 체 | | | 남 자 | | | 여 자 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 예 | 아니오 | 계(N) | 예 | 아니오 | 계(N) | 예 | 아니오 |
| 전 체 | 100.0(6,480) | 25.2 | 74.8 | 100.0(3,107) | 20.0 | 80.0 | 100.0(3,373) | 29.9 | 70.1 |
| 거주지 | | | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 27.3 | 72.7 | 100.0(2,468) | 21.0 | 79.0 | 100.0(2,621) | 33.2 | 66.8 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 17.5 | 82.5 | 100.0( 639) | 16.5 | 83.5 | 100.0( 752) | 18.3 | 81.7 |
| 성 | | | | | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 20.0 | 80.0 | - | - | - | - | - | - |
| 여자 | 100.0(3,373) | 29.9 | 70.1 | - | - | - | - | - | - |
| 연령 | | | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 31.8 | 68.2 | 100.0( 362) | 18.9 | 81.1 | 100.0( 401) | 43.4 | 56.6 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 32.7 | 67.3 | 100.0( 667) | 24.3 | 75.7 | 100.0( 764) | 40.0 | 60.0 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 26.0 | 74.0 | 100.0( 793) | 22.1 | 77.9 | 100.0( 816) | 29.7 | 70.3 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 22.8 | 77.2 | 100.0( 602) | 21.3 | 78.7 | 100.0( 590) | 24.3 | 75.7 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 18.9 | 81.1 | 100.0( 443) | 14.9 | 85.1 | 100.0( 479) | 22.7 | 77.3 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 10.0 | 90.0 | 100.0( 240) | 9.6 | 90.4 | 100.0( 323) | 10.4 | 89.6 |
| 교육수준 | | | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 6.4 | 93.6 | 100.0( 89) | 5.1 | 94.9 | 100.0( 316) | 6.7 | 93.3 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 13.0 | 87.0 | 100.0( 386) | 9.4 | 90.6 | 100.0( 586) | 15.3 | 84.7 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 24.8 | 75.2 | 100.0( 461) | 18.3 | 81.7 | 100.0( 575) | 30.0 | 70.0 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 30.0 | 70.0 | 100.0(1,349) | 23.9 | 76.1 | 100.0(1,327) | 36.1 | 63.9 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 30.2 | 69.8 | 100.0( 822) | 21.3 | 78.7 | 100.0( 569) | 42.9 | 57.1 |
| 결혼상태 | | | | | | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,826) | 32.8 | 67.2 | 100.0( 979) | 20.9 | 79.1 | 100.0( 847) | 46.5 | 53.3 |
| 유배우 | 100.0(4,223) | 22.6 | 77.4 | 100.0(2,065) | 19.9 | 80.1 | 100.0(2,158) | 25.2 | 74.8 |
| 이혼/기타 | 100.0( 431) | 17.9 | 82.1 | 100.0( 63) | 12.7 | 87.3 | 100.0( 368) | 18.8 | 81.2 |
| 직업 | | | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 33.7 | 66.3 | 100.0( 289) | 26.7 | 73.3 | 100.0( 142) | 48.0 | 52.0 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 28.4 | 71.6 | 100.0( 368) | 23.3 | 76.7 | 100.0( 178) | 38.9 | 61.1 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 27.8 | 72.2 | 100.0( 403) | 20.9 | 79.1 | 100.0( 414) | 34.5 | 65.5 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 9.3 | 90.7 | 100.0( 334) | 10.4 | 89.6 | 100.0( 319) | 8.2 | 91.8 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 23.8 | 76.2 | 100.0( 717) | 22.0 | 78.0 | 100.0( 121) | 34.7 | 65.3 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 15.1 | 84.9 | 100.0( 259) | 14.5 | 85.5 | 100.0( 229) | 15.7 | 84.3 |
| 학생 | 100.0( 929) | 33.2 | 66.8 | 100.0( 472) | 19.6 | 80.4 | 100.0( 457) | 47.3 | 52.7 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,778) | 26.0 | 74.0 | 100.0( 265) | 20.2 | 79.8 | 100.0(1,513) | 27.0 | 73.0 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 16.4 | 83.6 | 100.0( 335) | 16.3 | 83.7 | 100.0(442) | 16.5 | 83.5 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 21.8 | 78.2 | 100.0( 795) | 18.6 | 81.4 | 100.0(875) | 24.6 | 75.4 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 27.6 | 72.4 | 100.0( 810) | 23.3 | 76.7 | 100.0(879) | 31.6 | 68.4 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 25.0 | 75.0 | 100.0( 589) | 16.7 | 83.3 | 100.0(626) | 32.9 | 67.1 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 32.8 | 67.2 | 100.0( 578) | 24.0 | 76.0 | 100.0(551) | 41.9 | 58.1 |

〈附表 Ⅰ-14〉 社會經濟的 特性 및 性別 運動頻度

(單位: %)

| | 전 체 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 안한다 | 가끔 | 주 1회 | 주 2~3회 | 주 4~5회 | 거의 매일 |
| 전 체 | 100.0(6,480) | 58.8 | 17.1 | 6.9 | 8.0 | 3.6 | 5.6 |
| 거주지 | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 55.0 | 18.4 | 7.7 | 8.7 | 4.1 | 6.1 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 72.7 | 12.3 | 4.0 | 5.5 | 1.9 | 3.6 |
| 성 | | | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 48.9 | 19.2 | 9.0 | 10.6 | 4.6 | 7.8 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 68.0 | 15.2 | 5.0 | 5.6 | 2.8 | 3.5 |
| 연령 | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 31.7 | 25.1 | 11.5 | 19.2 | 5.3 | 7.3 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 48.1 | 24.5 | 9.4 | 8.1 | 4.3 | 5.6 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 58.0 | 19.8 | 6.2 | 6.9 | 3.8 | 5.2 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 67.4 | 11.2 | 6.6 | 6.6 | 3.4 | 4.8 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 72.6 | 9.8 | 3.2 | 5.1 | 3.1 | 6.1 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 84.6 | 4.2 | 2.4 | 3.1 | 0.6 | 5.0 |
| 교육수준 | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 94.1 | 2.2 | 0.5 | 1.2 | - | 2.0 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 84.5 | 6.8 | 1.5 | 2.3 | 1.1 | 3.8 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 65.0 | 15.5 | 5.4 | 7.4 | 2.7 | 4.0 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 50.9 | 19.9 | 7.6 | 10.3 | 4.5 | 6.8 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 41.3 | 24.4 | 12.0 | 10.0 | 5.6 | 6.7 |
| 결혼상태 | | | | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,826) | 37.5 | 26.9 | 11.0 | 12.9 | 4.9 | 6.9 |
| 유배우 | 100.0(4,223) | 65.5 | 14.2 | 5.6 | 6.5 | 3.3 | 5.0 |
| 이혼/기타 | 100.0( 431) | 84.2 | 4.3 | 2.0 | 2.3 | 1.7 | 5.6 |
| 직업 | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 43.1 | 21.3 | 11.8 | 9.5 | 7.3 | 6.9 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 45.5 | 25.5 | 11.8 | 8.8 | 3.4 | 5.0 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 59.5 | 16.6 | 6.3 | 7.9 | 3.3 | 6.3 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 89.6 | 5.7 | 1.1 | 1.1 | 0.3 | 2.2 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 57.8 | 18.6 | 7.6 | 6.9 | 2.6 | 6.5 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 75.7 | 10.2 | 3.1 | 4.1 | 0.4 | 6.5 |
| 학생 | 100.0( 929) | 30.4 | 28.6 | 12.4 | 17.0 | 5.4 | 6.2 |
| 기타(주부, 군인 무직) | 100.0(1,778) | 65.9 | 13.0 | 4.4 | 6.8 | 4.7 | 5.3 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 76.9 | 7.5 | 4.4 | 4.1 | 1.3 | 5.8 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 65.5 | 15.7 | 4.6 | 5.6 | 3.2 | 5.5 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 56.8 | 18.7 | 7.9 | 7.6 | 3.7 | 5.4 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 54.8 | 17.3 | 9.3 | 9.4 | 3.9 | 5.2 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 45.0 | 24.1 | 7.8 | 12.1 | 5.0 | 6.1 |

〈附表 Ⅰ-14〉 계속

| | 남 자 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 안한다 | 가끔 | 주 1회 | 주 2~3회 | 주 4~5회 | 거의 매일 |
| 전 체 | 100.0(3,107) | 48.9 | 19.2 | 9.0 | 10.6 | 4.6 | 7.8 |
| 거주지 | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(2,468) | 44.8 | 20.9 | 9.8 | 11.3 | 4.8 | 8.3 |
| 군지역 | 100.0( 639) | 64.7 | 12.4 | 5.7 | 8.0 | 3.5 | 5.7 |
| 연령 | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 362) | 18.3 | 20.9 | 12.2 | 27.6 | 8.4 | 12.6 |
| 20~29세 | 100.0( 667) | 34.0 | 25.8 | 13.5 | 11.9 | 5.8 | 8.9 |
| 30~39세 | 100.0( 793) | 49.0 | 25.1 | 8.2 | 6.9 | 3.9 | 6.9 |
| 40~49세 | 100.0( 602) | 59.5 | 13.1 | 9.5 | 8.7 | 4.1 | 5.1 |
| 50~59세 | 100.0( 443) | 65.8 | 11.9 | 3.4 | 7.7 | 3.4 | 7.9 |
| 60~69세 | 100.0( 240) | 77.9 | 7.6 | 3.1 | 3.9 | 0.8 | 6.7 |
| 교육수준 | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 89) | 95.5 | 2.2 | - | 1.4 | - | 0.9 |
| 국졸 | 100.0( 386) | 80.3 | 8.4 | 1.9 | 2.8 | 1.5 | 5.2 |
| 중졸 | 100.0( 461) | 60.9 | 14.1 | 7.8 | 10.0 | 2.5 | 4.7 |
| 고졸 | 100.0(1,349) | 42.0 | 20.2 | 9.1 | 13.1 | 5.8 | 9.8 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 822) | 33.5 | 27.4 | 13.7 | 11.6 | 5.6 | 8.2 |
| 결혼상태 | | | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 979) | 27.1 | 26.1 | 12.7 | 17.0 | 6.4 | 10.7 |
| 유배우 | 100.0(2,065) | 58.2 | 16.4 | 7.3 | 7.8 | 3.7 | 6.6 |
| 이혼/기타 | 100.0( 63) | 80.1 | 4.6 | 4.0 | 3.2 | 5.2 | 2.9 |
| 직업 | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 289) | 35.6 | 21.9 | 13.3 | 12.1 | 9.2 | 7.9 |
| 사무직 | 100.0( 368) | 40.1 | 23.5 | 14.2 | 11.6 | 4.3 | 6.3 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 403) | 51.9 | 17.9 | 7.1 | 10.3 | 5.0 | 7.8 |
| 농·어업 | 100.0( 334) | 85.2 | 7.7 | 2.0 | 1.7 | 0.5 | 3.0 |
| 기능직 | 100.0( 717) | 54.1 | 19.8 | 8.2 | 7.5 | 3.1 | 7.4 |
| 단순노무직 | 100.0( 259) | 66.1 | 11.8 | 4.9 | 6.7 | - | 10.4 |
| 학생 | 100.0( 472) | 16.5 | 28.8 | 13.9 | 23.2 | 7.6 | 10.0 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0( 265) | 52.2 | 15.0 | 5.8 | 9.1 | 7.4 | 10.4 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 335) | 66.9 | 11.5 | 6.6 | 6.9 | 1.7 | 6.4 |
| 51~100만원 | 100.0( 795) | 57.6 | 16.3 | 6.2 | 7.3 | 3.4 | 9.2 |
| 101~150만원 | 100.0( 810) | 45.3 | 21.0 | 1.2 | 10.2 | 5.6 | 6.7 |
| 151~200만원 | 100.0( 589) | 45.5 | 17.4 | 11.3 | 13.4 | 4.8 | 7.5 |
| 201만원 이상 | 100.0( 578) | 35.2 | 28.4 | 9.4 | 13.3 | 5.5 | 8.2 |

〈附表 Ⅰ-14〉 계속

| | 여 자 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 안한다 | 가끔 | 주 1회 | 주 2~3회 | 주 4~5회 | 거의 매일 |
| 전 체 | 100.0(3,373) | 68.0 | 15.2 | 5.0 | 5.6 | 2.8 | 3.5 |
| 거주지 | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(2,621) | 64.7 | 16.0 | 5.6 | 6.2 | 3.4 | 4.0 |
| 군지역 | 100.0( 752) | 79.5 | 12.1 | 2.5 | 3.4 | 0.6 | 1.8 |
| 연령 | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 401) | 43.8 | 28.9 | 10.9 | 11.6 | 2.4 | 2.4 |
| 20~29세 | 100.0( 764) | 60.3 | 23.4 | 5.9 | 4.8 | 2.9 | 2.6 |
| 30~39세 | 100.0( 816) | 66.7 | 14.7 | 4.3 | 7.0 | 3.7 | 3.5 |
| 40~49세 | 100.0( 590) | 75.5 | 9.2 | 3.7 | 4.5 | 2.7 | 4.4 |
| 50~59세 | 100.0( 479) | 79.0 | 7.9 | 3.1 | 2.7 | 2.9 | 4.4 |
| 60~69세 | 100.0( 323) | 89.6 | 1.6 | 2.0 | 2.5 | 0.5 | 3.8 |
| 교육수준 | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 316) | 93.7 | 2.2 | 0.6 | 1.1 | - | 2.4 |
| 국졸 | 100.0( 586) | 87.3 | 5.8 | 1.3 | 2.0 | 0.8 | 2.8 |
| 중졸 | 100.0( 575) | 68.4 | 16.7 | 3.5 | 5.2 | 2.8 | 3.4 |
| 고졸 | 100.0(1,327) | 59.9 | 19.6 | 6.1 | 7.5 | 3.1 | 3.7 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 569) | 52.7 | 20.2 | 9.5 | 7.6 | 5.5 | 4.6 |
| 결혼상태 | | | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 847) | 49.5 | 27.8 | 9.0 | 8.1 | 3.2 | 2.5 |
| 유배우 | 100.0(2,158) | 72.4 | 12.1 | 3.9 | 5.2 | 2.9 | 3.5 |
| 이혼/기타 | 100.0( 368) | 84.9 | 4.2 | 1.6 | 2.1 | 1.1 | 6.0 |
| 직업 | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 142) | 58.6 | 20.1 | 8.8 | 4.2 | 3.5 | 4.8 |
| 사무직 | 100.0( 178) | 56.6 | 29.8 | 6.8 | 2.9 | 1.7 | 2.3 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 414) | 67.0 | 15.3 | 5.5 | 5.7 | 1.6 | 4.9 |
| 농·어업 | 100.0( 319) | 94.3 | 3.6 | 0.2 | 0.5 | - | 1.5 |
| 기능직 | 100.0( 121) | 79.5 | 11.8 | 3.9 | 3.7 | - | 1.0 |
| 단순노무직 | 100.0( 229) | 86.5 | 8.3 | 1.1 | 1.2 | 0.9 | 2.1 |
| 학생 | 100.0( 457) | 44.7 | 28.5 | 10.9 | 10.6 | 3.1 | 2.2 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,513) | 68.3 | 12.7 | 4.1 | 6.4 | 4.2 | 4.4 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 442) | 84.5 | 4.5 | 2.7 | 2.0 | 1.0 | 5.3 |
| 51~100만원 | 100.0( 875) | 72.7 | 15.2 | 3.2 | 4.0 | 2.9 | 2.0 |
| 101~150만원 | 100.0( 879) | 67.3 | 16.5 | 4.9 | 5.2 | 1.8 | 4.2 |
| 151~200만원 | 100.0( 626) | 63.5 | 17.3 | 7.4 | 5.7 | 3.1 | 3.0 |
| 201만원 이상 | 100.0( 551) | 55.1 | 19.6 | 6.2 | 10.8 | 4.5 | 3.8 |

〈附表 Ⅰ-15〉 社會經濟的 特性別 肉體的인 일의 程度

(單位: %)

| | 계(N) | 전혀 하지 않음 | 약간 함 | 보통 함 | 많이 함 |
|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 17.0 | 29.4 | 27.1 | 26.4 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 18.6 | 30.6 | 28.3 | 22.4 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 11.4 | 25.0 | 22.5 | 41.1 |
| 성 | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 19.0 | 28.9 | 24.6 | 27.5 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 15.3 | 29.9 | 29.4 | 25.4 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 25.0 | 46.4 | 23.7 | 5.0 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 16.9 | 35.7 | 31.5 | 15.8 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 14.0 | 26.8 | 30.6 | 28.6 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 16.1 | 25.7 | 23.4 | 34.7 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 14.3 | 18.6 | 25.2 | 41.8 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 21.5 | 23.7 | 21.2 | 33.5 |
| 교육수준 | | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 19.1 | 21.6 | 18.3 | 41.0 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 10.4 | 19.0 | 19.0 | 51.6 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 10.8 | 20.9 | 32.0 | 36.4 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 16.4 | 33.6 | 29.7 | 20.3 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 27.1 | 37.6 | 26.6 | 8.7 |
| 결혼상태 | | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,826) | 21.4 | 39.8 | 26.7 | 12.1 |
| 유배우 | 100.0(4,223) | 14.9 | 25.7 | 28.0 | 31.4 |
| 이혼/기타 | 100.0( 431) | 19.9 | 22.7 | 19.2 | 38.2 |
| 직업 | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 30.0 | 36.1 | 26.6 | 7.3 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 30.6 | 41.2 | 19.2 | 9.0 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 11.9 | 25.2 | 28.3 | 34.5 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 5.1 | 13.2 | 17.4 | 64.3 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 5.7 | 24.4 | 26.6 | 43.3 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 6.6 | 12.7 | 25.9 | 54.8 |
| 학생 | 100.0( 929) | 27.3 | 43.9 | 23.8 | 5.1 |
| 기타(주부, 군인 무직) | 100.0(1,778) | 19.3 | 31.6 | 34.9 | 14.2 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 18.7 | 26.1 | 20.0 | 35.2 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 12.6 | 26.6 | 27.9 | 33.0 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 16.0 | 30.5 | 28.6 | 24.9 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 18.8 | 32.4 | 25.9 | 22.9 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 21.3 | 30.5 | 29.9 | 18.3 |

〈附表 Ⅰ-16〉 社會經濟的 特性別 平素 健康維持方法

(單位: %)

| | 계(N) | 없음 | 운동 | 식사 조절 | 금연/금주 | 영양제 복용 | 목욕 | 기타 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 41.0 | 24.5 | 13.9 | 2.5 | 7.2 | 10.4 | 0.5 |
| 거주지 | | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 38.3 | 27.2 | 14.5 | 2.2 | 6.2 | 11.1 | 0.5 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 50.6 | 14.7 | 11.9 | 3.7 | 10.9 | 7.8 | 0.4 |
| 성 | | | | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 35.7 | 33.2 | 8.9 | 4.8 | 7.1 | 9.9 | 0.4 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 45.8 | 16.5 | 18.6 | 0.5 | 7.3 | 10.9 | 0.5 |
| 연령 | | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 38.0 | 35.9 | 15.0 | 2.4 | 3.3 | 5.4 | - |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 36.0 | 26.4 | 19.0 | 1.8 | 3.4 | 13.0 | 0.5 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 39.0 | 22.7 | 13.2 | 3.0 | 6.9 | 14.6 | 0.6 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 41.6 | 23.9 | 12.3 | 2.6 | 8.4 | 10.8 | 0.3 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 45.6 | 22.0 | 11.2 | 2.4 | 12.1 | 6.1 | 0.5 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 54.2 | 15.0 | 9.3 | 3.1 | 12.5 | 5.1 | 0.7 |
| 교육수준 | | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 69.0 | 6.2 | 8.7 | 2.0 | 11.8 | 2.1 | 0.2 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 57.7 | 11.6 | 11.1 | 2.3 | 10.3 | 6.2 | 0.9 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 41.9 | 20.8 | 13.1 | 3.0 | 10.0 | 10.6 | 0.6 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 35.7 | 28.2 | 15.4 | 2.6 | 5.6 | 12.2 | 0.2 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 30.4 | 34.4 | 15.3 | 2.3 | 4.8 | 12.3 | 0.5 |
| 결혼상태 | | | | | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,826) | 36.8 | 32.9 | 15.9 | 2.1 | 2.9 | 9.2 | 0.1 |
| 유배우 | 100.0(4,223) | 41.2 | 22.1 | 13.4 | 2.9 | 8.6 | 11.3 | 0.5 |
| 이혼/기타 | 100.0( 431) | 56.0 | 12.9 | 10.1 | 0.9 | 11.4 | 7.0 | 1.8 |
| 직업 | | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 25.6 | 40.6 | 13.2 | 1.9 | 5.7 | 12.2 | 0.7 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 30.1 | 31.5 | 16.1 | 4.3 | 4.7 | 13.0 | 0.2 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 37.7 | 23.2 | 12.7 | 3.2 | 6.8 | 16.0 | 0.3 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 59.0 | 6.3 | 8.8 | 4.2 | 16.0 | 5.0 | 0.7 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 38.1 | 25.8 | 12.9 | 4.8 | 7.6 | 10.1 | 0.6 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 58.0 | 11.7 | 9.0 | 2.0 | 10.5 | 8.7 | 0.1 |
| 학생 | 100.0( 929) | 37.3 | 35.5 | 14.7 | 1.6 | 3.5 | 7.5 | - |
| 기타(주부, 군인 무직) | 100.0(1,778) | 41.4 | 22.9 | 17.3 | 0.7 | 6.1 | 10.7 | 0.7 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 55.2 | 17.6 | 8.4 | 3.5 | 9.0 | 5.8 | 0.6 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 47.2 | 19.2 | 13.8 | 2.8 | 6.8 | 10.0 | 0.3 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 38.9 | 25.0 | 14.9 | 2.6 | 6.4 | 11.4 | 0.7 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 38.7 | 26.2 | 15.4 | 2.1 | 7.9 | 9.4 | 0.3 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 27.1 | 33.7 | 15.3 | 1.9 | 7.5 | 14.1 | 0.3 |

〈附表 Ⅰ-17〉 社會經濟的 特性 및 性別 아침食事 與否 및 不規則的 食事率

(單位: %)

| | 전 체 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 아침식사 여부 | | | 불규칙적 식사율 |
| | | 꼭 먹음 | 가끔 먹음 | 안 먹음 | |
| 전 체 | 100.0(6,480) | 65.8 | 25.1 | 9.1 | 47.0 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 62.8 | 27.0 | 10.2 | 50.5 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 76.9 | 18.1 | 5.0 | 34.5 |
| 성 | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 69.4 | 22.5 | 8.1 | 43.7 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 62.4 | 27.5 | 10.1 | 50.2 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 50.9 | 36.1 | 13.0 | 62.3 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 48.1 | 36.9 | 15.0 | 65.0 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 63.5 | 27.3 | 9.2 | 49.6 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 73.9 | 18.5 | 7.6 | 39.2 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 84.8 | 12.3 | 3.0 | 28.1 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 89.4 | 8.5 | 2.0 | 21.2 |
| 교육수준 | | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 83.9 | 12.4 | 3.7 | 28.3 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 80.9 | 14.6 | 4.6 | 32.8 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 66.8 | 25.1 | 8.1 | 47.1 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 60.8 | 27.5 | 11.7 | 52.4 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 28.8 | 31.4 | 9.8 | 52.2 |
| 결혼상태 | | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,826) | 45.9 | 38.1 | 16.0 | 66.0 |
| 유배우 | 100.0(4,223) | 73.4 | 20.4 | 6.2 | 39.7 |
| 이혼/기타 | 100.0( 431) | 75.1 | 16.2 | 8.6 | 38.9 |
| 직업 | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 66.5 | 22.6 | 10.8 | 41.9 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 56.6 | 28.5 | 15.0 | 49.7 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 63.3 | 26.3 | 10.4 | 53.2 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 89.0 | 9.3 | 1.8 | 20.4 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 68.3 | 22.3 | 9.4 | 47.2 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 64.3 | 25.2 | 10.5 | 46.6 |
| 학생 | 100.0( 929) | 50.4 | 37.7 | 11.9 | 64.2 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,778) | 68.3 | 24.6 | 7.1 | 45.5 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 73.3 | 20.3 | 6.4 | 37.6 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 66.9 | 22.8. | 10.3 | 46.2 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 64.0 | 26.6 | 9.4 | 49.8 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 65.7 | 26.5 | 7.8 | 47.7 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 61.9 | 27.9 | 10.2 | 49.0 |

〈附表 Ⅰ-17〉 계속

| | 남 자 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 아침식사 여부 | | | 불규칙적 식사율 |
| | | 꼭 먹음 | 가끔 먹음 | 안 먹음 | |
| 전 체 | 100.0(3,107) | 69.4 | 22.5 | 8.1 | 43.7 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(2,468) | 66.3 | 24.6 | 9.1 | 47.0 |
| 군지역 | 100.0( 639) | 81.7 | 14.0 | 4.3 | 30.8 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 362) | 58.3 | 31.7 | 10.0 | 56.8 |
| 20~29세 | 100.0( 667) | 50.7 | 33.9 | 15.4 | 63.0 |
| 30~39세 | 100.0( 793) | 65.5 | 26.1 | 8.4 | 48.8 |
| 40~49세 | 100.0( 602) | 78.0 | 16.9 | 5.1 | 33.3 |
| 50~59세 | 100.0( 443) | 90.1 | 7.4 | 2.5 | 23.1 |
| 60~69세 | 100.0( 240) | 91.9 | 6.2 | 1.9 | 17.3 |
| 교육수준 | | | | | |
| 무학 | 100.0( 89) | 89.4 | 3.8 | 6.7 | 19.8 |
| 국졸 | 100.0( 386) | 84.4 | 12.7 | 2.8 | 30.7 |
| 중졸 | 100.0( 461) | 67.5 | 23.9 | 8.6 | 46.3 |
| 고졸 | 100.0(1,349) | 67.4 | 22.8 | 9.8 | 45.7 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 822) | 64.7 | 27.7 | 7.6 | 47.6 |
| 결혼상태 | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 979) | 50.2 | 35.7 | 14.1 | 63.0 |
| 유배우 | 100.0(2,065) | 79.0 | 16.1 | 4.9 | 34.2 |
| 이혼/기타 | 100.0( 63) | 54.4 | 25.6 | 20.0 | 54.0 |
| 직업 | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 289) | 75.4 | 16.9 | 7.7 | 34.1 |
| 사무직 | 100.0( 368) | 70.2 | 22.2 | 7.6 | 38.3 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 403) | 68.7 | 24.4 | 6.9 | 48.0 |
| 농·어업 | 100.0( 334) | 92.9 | 6.5 | 0.5 | 19.2 |
| 기능직 | 100.0( 717) | 69.5 | 21.1 | 9.4 | 46.2 |
| 단순노무직 | 100.0( 259) | 62.2 | 27.9 | 9.9 | 49.2 |
| 학생 | 100.0( 472) | 54.6 | 34.8 | 10.6 | 61.4 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0( 265) | 66.9 | 22.3 | 10.8 | 41.9 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 335) | 71.5 | 22.2 | 6.4 | 42.0 |
| 51~100만원 | 100.0( 795) | 70.0 | 19.8. | 10.2 | 43.1 |
| 101~150만원 | 100.0( 810) | 67.1 | 24.2 | 8.7 | 46.3 |
| 151~200만원 | 100.0( 589) | 72.1 | 22.5 | 5.4 | 42.3 |
| 201만원 이상 | 100.0( 578) | 68.4 | 23.9 | 7.7 | 41.9 |

〈附表 Ⅰ-17〉 계속

| | 여 자 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 아침식사 여부 | | | 불규칙적 식사율 |
| | | 꼭 먹음 | 가끔 먹음 | 안 먹음 | |
| 전 체 | 100.0(3,373) | 62.4 | 27.5 | 10.1 | 50.2 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(2,621) | 59.5 | 29.2 | 11.3 | 53.8 |
| 군지역 | 100.0( 752) | 72.8 | 21.5 | 5.7 | 37.6 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 401) | 44.1 | 40.1 | 15.8 | 67.2 |
| 20~29세 | 100.0( 764) | 45.7 | 39.5 | 14.7 | 66.8 |
| 30~39세 | 100.0( 816) | 61.6 | 28.5 | 9.9 | 50.4 |
| 40~49세 | 100.0( 590) | 69.7 | 20.2 | 10.1 | 45.2 |
| 50~59세 | 100.0( 479) | 79.8 | 16.7 | 3.4 | 32.7 |
| 60~69세 | 100.0( 323) | 87.6 | 10.3 | 2.2 | 24.0 |
| 교육수준 | | | | | |
| 무학 | 100.0( 316) | 82.4 | 14.8 | 2.8 | 30.7 |
| 국졸 | 100.0( 586) | 78.5 | 15.8 | 5.7 | 34.2 |
| 중졸 | 100.0( 575) | 66.2 | 26.1 | 7.7 | 47.9 |
| 고졸 | 100.0(1,327) | 54.1 | 32.4 | 13.5 | 59.2 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 569) | 50.1 | 36.9 | 13.0 | 58.9 |
| 결혼상태 | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 847) | 40.9 | 40.8 | 18.2 | 69.5 |
| 유배우 | 100.0(2,158) | 68.1 | 24.5 | 7.4 | 45.0 |
| 이혼/기타 | 100.0( 368) | 78.7 | 14.6 | 6.7 | 35.7 |
| 직업 | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 142) | 48.3 | 34.5 | 17.3 | 58.1 |
| 사무직 | 100.0( 178) | 28.5 | 41.4 | 30.1 | 73.4 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 414) | 58.1 | 28.1 | 13.8 | 58.2 |
| 농·어업 | 100.0( 319) | 84.8 | 12.1 | 3.1 | 21.7 |
| 기능직 | 100.0( 121) | 61.6 | 29.4 | 9.0 | 52.6 |
| 단순노무직 | 100.0( 229) | 66.6 | 22.2 | 11.2 | 43.7 |
| 학생 | 100.0( 457) | 46.1 | 40.7 | 13.2 | 67.0 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,513) | 68.6 | 25.0 | 6.5 | 46.1 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 442) | 74.8 | 18.8 | 6.4 | 34.3 |
| 51~100만원 | 100.0( 875) | 64.2 | 25.5 | 10.3 | 49.0 |
| 101~150만원 | 100.0( 879) | 61.2 | 28.8 | 10.1 | 53.1 |
| 151~200만원 | 100.0( 626) | 59.7 | 30.3 | 10.0 | 52.7 |
| 201만원 이상 | 100.0( 551) | 55.2 | 32.0 | 12.8 | 56.5 |

〈附表 Ⅰ-18〉 社會經濟的 特性 및 性別 過食頻度

(單位: %)

| | 전 체 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 전혀 하지 않음 | 가끔 함 | 항상 함 |
| 전 체 | 100.0(6,480) | 34.0 | 63.3 | 2.7 |
| 거주지 | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 31.5 | 65.7 | 2.8 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 43.2 | 54.7 | 2.1 |
| 성 | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 34.5 | 63.6 | 2.0 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 33.5 | 63.2 | 3.3 |
| 연령 | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 15.2 | 80.0 | 4.8 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 21.5 | 76.3 | 2.1 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 27.6 | 69.6 | 2.8 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 38.1 | 59.2 | 2.7 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 53.3 | 44.4 | 2.3 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 69.6 | 29.2 | 1.2 |
| 교육수준 | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 68.0 | 29.5 | 2.4 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 55.6 | 41.5 | 2.8 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 35.0 | 61.7 | 3.4 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 25.3 | 72.4 | 2.3 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 25.1 | 72.0 | 2.9 |
| 결혼상태 | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,826) | 18.5 | 78.0 | 3.5 |
| 유배우 | 100.0(4,223) | 38.1 | 59.6 | 2.3 |
| 이혼/기타 | 100.0( 431) | 59.7 | 37.8 | 2.5 |
| 직업 | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 31.4 | 67.2 | 1.4 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 24.6 | 71.8 | 3.6 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 30.1 | 67.8 | 2.1 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 57.5 | 40.7 | 1.7 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 31.4 | 67.3 | 1.3 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 44.6 | 51.9 | 3.5 |
| 학생 | 100.0( 929) | 16.5 | 79.1 | 4.4 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,778) | 38.2 | 59.1 | 2.8 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 54.1 | 44.4 | 1.5 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 35.2 | 61.8 | 3.0 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 30.6 | 67.0 | 2.5 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 30.4 | 66.3 | 3.3 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 27.3 | 70.3 | 2.4 |

〈附表 Ⅰ-18〉 계속

| | 남 자 | | | | 여 자 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 전혀 하지 않음 | 가끔 함 | 항상 함 | 계(N) | 전혀 하지 않음 | 가끔 함 | 항상 함 |
| 전 체 | 100.0(3,107) | 34.5 | 63.6 | 2.0 | 100.0(3,373) | 33.5 | 63.2 | 3.3 |
| 거주지 | | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(2,468) | 32.1 | 65.9 | 2.0 | 100.0(2,621) | 30.9 | 65.5 | 3.6 |
| 군지역 | 100.0( 639) | 43.8 | 54.6 | 1.6 | 100.0( 752) | 42.8 | 54.8 | 2.4 |
| 연령 | | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 362) | 18.1 | 77.2 | 4.7 | 100.0( 401) | 12.6 | 82.6 | 4.8 |
| 20~29세 | 100.0( 667) | 22.0 | 76.1 | 1.9 | 100.0( 764) | 21.1 | 76.5 | 2.4 |
| 30~39세 | 100.0( 793) | 28.0 | 69.5 | 2.4 | 100.0( 816) | 27.1 | 69.7 | 3.2 |
| 40~49세 | 100.0( 602) | 38.6 | 60.1 | 1.3 | 100.0( 590) | 37.6 | 58.3 | 4.1 |
| 50~59세 | 100.0( 443) | 54.0 | 45.6 | 0.4 | 100.0( 479) | 52.6 | 43.2 | 4.2 |
| 60~69세 | 100.0( 240) | 69.3 | 29.7 | 1.1 | 100.0( 323) | 69.9 | 28.8 | 1.3 |
| 교육수준 | | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 89) | 72.7 | 27.3 | - | 100.0( 316) | 66.7 | 30.2 | 3.1 |
| 국졸 | 100.0( 386) | 57.1 | 41.5 | 1.5 | 100.0( 586) | 54.7 | 41.6 | 3.7 |
| 중졸 | 100.0( 461) | 39.3 | 58.9 | 1.8 | 100.0( 575) | 31.5 | 64.0 | 4.6 |
| 고졸 | 100.0(1,349) | 28.3 | 69.5 | 2.1 | 100.0(1,327) | 22.2 | 75.4 | 2.4 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 822) | 27.3 | 70.5 | 2.2 | 100.0( 569) | 21.9 | 74.2 | 3.9 |
| 결혼상태 | | | | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 979) | 21.4 | 75.4 | 3.2 | 100.0( 847) | 15.1 | 81.1 | 3.8 |
| 유배우 | 100.0(2,065) | 40.2 | 58.5 | 1.3 | 100.0(2,158) | 36.1 | 60.7 | 3.3 |
| 이혼/기타 | 100.0( 63) | 51.7 | 45.6 | 2.7 | 100.0( 368) | 61.1 | 36.4 | 2.5 |
| 직업 | | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 289) | 32.5 | 66.5 | 1.0 | 100.0( 142) | 29.1 | 68.6 | 2.3 |
| 사무직 | 100.0( 368) | 29.6 | 66.8 | 3.5 | 100.0( 178) | 14.3 | 82.0 | 3.6 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 403) | 31.9 | 67.1 | 1.0 | 100.0( 414) | 28.4 | 68.4 | 3.2 |
| 농·어업 | 100.0( 334) | 59.1 | 40.3 | 0.6 | 100.0( 319) | 55.9 | 41.2 | 2.9 |
| 기능직 | 100.0( 717) | 33.0 | 65.8 | 1.2 | 100.0( 121) | 22.4 | 75.6 | 2.0 |
| 단순노무직 | 100.0( 259) | 40.4 | 56.5 | 3.1 | 100.0( 229) | 49.4 | 46.8 | 3.8 |
| 학생 | 100.0( 472) | 19.7 | 76.5 | 3.8 | 100.0( 457) | 13.1 | 81.8 | 5.1 |
| 기타(주부, 군인 무직) | 100.0( 265) | 41.5 | 57.0 | 1.5 | 100.0(1,513) | 37.6 | 59.4 | 3.0 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 335) | 50.6 | 47.7 | 1.7 | 100.0( 442) | 56.8 | 41.9 | 1.3 |
| 51~100만원 | 100.0( 795) | 35.7 | 62.4 | 1.9 | 100.0( 875) | 34.7 | 61.3 | 4.0 |
| 101~150만원 | 100.0( 810) | 31.8 | 66.3 | 2.0 | 100.0( 879) | 29.4 | 67.6 | 2.9 |
| 151~200만원 | 100.0( 589) | 32.0 | 65.2 | 2.8 | 100.0( 626) | 29.0 | 67.4 | 3.7 |
| 201만원 이상 | 100.0( 578) | 29.1 | 69.4 | 1.5 | 100.0( 551) | 25.3 | 71.3 | 3.4 |

〈附表 Ⅰ-19〉 社會經濟的 特性 및 性別 間食頻度

(單位: %)

| | 전 체 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 전혀 하지 않음 | 가끔 함 | 항상 함 |
| 전 체 | 100.0(6,480) | 22.3 | 66.9 | 10.8 |
| 거주지 | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 20.9 | 67.3 | 11.8 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 27.3 | 65.5 | 7.2 |
| 성 | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 24.4 | 67.1 | 8.5 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 20.4 | 66.7 | 12.9 |
| 연령 | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 8.3 | 73.5 | 18.1 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 13.9 | 74.5 | 11.7 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 22.1 | 68.5 | 9.4 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 27.0 | 62.6 | 10.5 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 31.0 | 61.0 | 8.0 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 38.9 | 52.8 | 8.3 |
| 교육수준 | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 50.8 | 45.1 | 4.2 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 31.9 | 59.3 | 8.8 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 24.0 | 64.6 | 11.4 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 17.0 | 70.5 | 12.5 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 16.3 | 73.2 | 10.5 |
| 결혼상태 | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,826) | 12.7 | 73.9 | 13.4 |
| 유배우 | 100.0(4,223) | 24.6 | 65.6 | 9.8 |
| 이혼/기타 | 100.0( 431) | 40.7 | 49.8 | 9.5 |
| 직업 | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 19.1 | 71.2 | 9.7 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 19.9 | 71.4 | 8.7 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 22.9 | 67.6 | 9.4 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 35.5 | 57.7 | 6.8 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 22.0 | 67.8 | 10.2 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 32.2 | 57.8 | 10.0 |
| 학생 | 100.0( 929) | 9.4 | 74.8 | 15.8 |
| 기타(주부, 군인 무직) | 100.0(1,778) | 22.8 | 65.4 | 11.8 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 35.4 | 58.4 | 6.2 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 23.7 | 66.8 | 9.5 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 19.5 | 69.5 | 11.0 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 19.8 | 67.1 | 13.1 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 18.5 | 68.3 | 13.2 |

〈附表 Ⅰ-19〉 계속

| | 남 자 | | | | 여 자 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 전혀 하지 않음 | 가끔 함 | 항상 함 | 계(N) | 전혀 하지 않음 | 가끔 함 | 항상 함 |
| 전 체 | 100.0(3,107) | 24.4 | 67.1 | 8.5 | 100.0(3,373) | 20.4 | 66.7 | 12.9 |
| 거주지 | | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(2,468) | 23.6 | 67.2 | 9.2 | 100.0(2,621) | 18.4 | 67.3 | 14.3 |
| 군지역 | 100.0( 639) | 27.4 | 66.6 | 6.0 | 100.0( 752) | 27.2 | 64.6 | 8.2 |
| 연령 | | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 362) | 12.1 | 72.0 | 15.9 | 100.0( 401) | 4.9 | 74.9 | 20.1 |
| 20~29세 | 100.0( 667) | 20.4 | 71.3 | 8.3 | 100.0( 764) | 8.1 | 77.3 | 14.6 |
| 30~39세 | 100.0( 793) | 24.6 | 67.7 | 7.7 | 100.0( 816) | 19.8 | 69.2 | 11.0 |
| 40~49세 | 100.0( 602) | 29.1 | 62.8 | 8.1 | 100.0( 590) | 24.7 | 62.4 | 12.9 |
| 50~59세 | 100.0( 443) | 27.4 | 66.7 | 5.8 | 100.0( 479) | 34.2 | 55.7 | 10.1 |
| 60~69세 | 100.0( 240) | 35.6 | 57.3 | 7.1 | 100.0( 323) | 41.4 | 49.4 | 9.2 |
| 교육수준 | | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 89) | 43.1 | 51.9 | 5.0 | 100.0( 316) | 52.9 | 43.1 | 4.0 |
| 국졸 | 100.0( 386) | 31.9 | 60.1 | 8.0 | 100.0( 586) | 31.9 | 58.7 | 9.4 |
| 중졸 | 100.0( 461) | 27.6 | 64.7 | 7.6 | 100.0( 575) | 21.0 | 64.6 | 14.5 |
| 고졸 | 100.0(1,349) | 21.1 | 68.6 | 10.3 | 100.0(1,327) | 12.8 | 72.5 | 14.8 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 822) | 22.4 | 70.8 | 6.9 | 100.0( 569) | 7.7 | 76.7 | 15.7 |
| 결혼상태 | | | | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 979) | 18.3 | 71.8 | 9.9 | 100.0( 847) | 6.1 | 76.4 | 17.5 |
| 유배우 | 100.0(2,065) | 26.8 | 65.2 | 8.0 | 100.0(2,158) | 22.4 | 66.0 | 11.6 |
| 이혼/기타 | 100.0( 63) | 38.5 | 56.0 | 5.5 | 100.0( 368) | 41.1 | 48.7 | 10.2 |
| 직업 | | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 289) | 23.7 | 67.8 | 8.5 | 100.0( 142) | 9.7 | 78.3 | 12.0 |
| 사무직 | 100.0( 368) | 25.8 | 69.1 | 5.1 | 100.0( 178) | 7.7 | 76.2 | 16.1 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 403) | 27.3 | 67.2 | 5.6 | 100.0( 414) | 18.7 | 68.1 | 13.2 |
| 농·어업 | 100.0( 334) | 33.4 | 58.6 | 8.1 | 100.0( 319) | 37.8 | 56.8 | 5.4 |
| 기능직 | 100.0( 717) | 22.9 | 66.7 | 10.4 | 100.0( 121) | 16.6 | 74.2 | 9.2 |
| 단순노무직 | 100.0( 259) | 27.8 | 64.3 | 7.9 | 100.0( 229) | 37.2 | 50.4 | 12.4 |
| 학생 | 100.0( 472) | 13.8 | 74.3 | 11.8 | 100.0( 457) | 4.8 | 75.2 | 20.0 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0( 265) | 26.9 | 65.0 | 8.1 | 100.0(1,513) | 22.1 | 65.5 | 12.4 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 335) | 33.4 | 60.2 | 6.4 | 100.0( 442) | 36.9 | 57.1 | 6.1 |
| 51~100만원 | 100.0( 795) | 25.3 | 66.2 | 8.5 | 100.0( 875) | 22.3 | 67.4 | 10.3 |
| 101~150만원 | 100.0( 810) | 20.6 | 71.8 | 7.6 | 100.0( 879) | 18.5 | 67.3 | 14.1 |
| 151~200만원 | 100.0( 589) | 24.4 | 65.4 | 10.2 | 100.0( 626) | 15.6 | 68.7 | 15.8 |
| 201만원 이상 | 100.0( 578) | 24.4 | 65.6 | 10.0 | 100.0( 551) | 12.3 | 71.2 | 16.6 |

〈附表 Ⅰ-20〉 社會經濟的 特性別 食性 - 짠 程度

(單位: %)

| | 계(N) | 싱겁게 | 보통 | 짜게 |
|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 18.3 | 56.0 | 25.8 |
| 거주지 | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 18.8 | 56.2 | 25.0 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 16.5 | 55.0 | 28.5 |
| 성 | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 17.6 | 55.6 | 26.8 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 19.0 | 56.3 | 24.8 |
| 연령 | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 9.2 | 61.4 | 29.4 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 16.6 | 58.6 | 24.8 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 19.9 | 58.2 | 21.9 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 21.2 | 56.2 | 22.5 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 17.2 | 52.3 | 30.4 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 25.7 | 40.8 | 33.4 |
| 교육수준 | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 19.7 | 43.7 | 36.6 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 17.9 | 52.5 | 29.7 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 16.1 | 58.0 | 25.9 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 17.5 | 59.4 | 23.1 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 21.1 | 53.9 | 25.0 |
| 직업 | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 22.9 | 54.5 | 22.6 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 20.4 | 56.1 | 23.5 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 18.7 | 57.9 | 23.4 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 17.1 | 52.0 | 30.9 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 16.0 | 58.9 | 25.1 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 15.5 | 51.7 | 32.8 |
| 학생 | 100.0( 929) | 10.7 | 59.8 | 29.5 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,778) | 22.6 | 54.5 | 22.8 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 21.1 | 50.5 | 28.4 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 17.7 | 56.2 | 26.1 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 18.0 | 57.5 | 24.4 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 17.5 | 55.3 | 27.2 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 18.5 | 58.1 | 23.3 |

〈附表 Ⅰ-21〉 社會經濟的 特性別 食性 - 단 程度

(單位: %)

| | 계(N) | 안달게 | 보통 | 달게 |
|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 36.4 | 45.5 | 18.2 |
| 거주지 | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 36.0 | 46.0 | 18.1 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 38.0 | 43.5 | 18.5 |
| 성 | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 35.4 | 48.6 | 15.9 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 37.3 | 42.5 | 20.2 |
| 연령 | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 16.7 | 57.3 | 26.0 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 34.0 | 52.8 | 13.1 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 38.4 | 47.7 | 14.0 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 42.2 | 42.3 | 15.5 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 39.8 | 35.2 | 25.0 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 45.6 | 27.8 | 26.7 |
| 교육수준 | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 44.0 | 26.7 | 29.3 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 43.2 | 34.1 | 22.7 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 38.2 | 42.8 | 18.9 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 33.8 | 50.9 | 15.3 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 33.1 | 50.3 | 16.6 |
| 직업 | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 29.7 | 52.9 | 17.4 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 39.6 | 47.8 | 12.6 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 40.6 | 44.5 | 14.9 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 40.5 | 37.4 | 22.1 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 36.3 | 49.3 | 14.4 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 42.4 | 36.5 | 21.1 |
| 학생 | 100.0( 929) | 18.1 | 57.6 | 24.3 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,778) | 41.6 | 40.6 | 17.8 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 40.9 | 37.2 | 22.0 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 36.6 | 46.5 | 16.9 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 37.6 | 45.6 | 16.7 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 35.2 | 46.4 | 18.3 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 33.3 | 47.4 | 19.3 |

〈附表 Ⅰ-22〉 社會經濟的 特性別 營養劑 服用頻度

(單位: %)

| | 계(N) | 안먹음 | 가끔 먹음 | 자주 먹음 | 매일 먹음 |
|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 69.0 | 24.8 | 2.2 | 4.0 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 68.9 | 24.8 | 2.2 | 4.0 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 69.2 | 25.1 | 2.1 | 3.6 |
| 성 | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 67.7 | 25.9 | 2.4 | 4.0 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 70.2 | 23.9 | 2.0 | 3.9 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 77.0 | 18.3 | 1.4 | 3.4 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 77.6 | 19.9 | 0.7 | 1.9 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 68.9 | 26.4 | 1.8 | 2.9 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 65.4 | 26.8 | 2.5 | 5.2 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 61.0 | 30.5 | 4.5 | 4.1 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 57.4 | 28.6 | 4.0 | 10.1 |
| 교육수준 | | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 70.7 | 21.9 | 4.5 | 2.9 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 66.5 | 25.4 | 3.1 | 5.0 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 66.2 | 26.6 | 2.4 | 4.7 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 71.0 | 23.9 | 1.5 | 3.6 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 68.3 | 25.9 | 2.1 | 3.7 |
| 결혼상태 | | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,826) | 78.2 | 18.7 | 0.8 | 2.2 |
| 유배우 | 100.0(4,223) | 65.5 | 27.3 | 2.6 | 4.6 |
| 이혼/기타 | 100.0( 431) | 63.7 | 27.2 | 3.9 | 5.1 |
| 직업 | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 64.9 | 28.1 | 3.2 | 3.8 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 68.8 | 26.1 | 1.8 | 3.3 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 69.3 | 24.6 | 2.0 | 4.1 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 66.0 | 28.2 | 3.0 | 2.8 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 65.9 | 29.4 | 2.4 | 2.3 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 73.9 | 17.9 | 2.6 | 5.5 |
| 학생 | 100.0( 929) | 77.3 | 18.6 | 1.1 | 3.0 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,778) | 66.8 | 25.6 | 2.2 | 5.4 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 70.1 | 23.3 | 2.7 | 3.9 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 73.6 | 21.6 | 2.1 | 2.7 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 68.3 | 25.7 | 2.3 | 3.7 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 66.9 | 26.2 | 2.2 | 4.6 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 64.6 | 28.1 | 1.7 | 5.6 |

〈附表 Ⅰ-23〉 社會經濟的 特性別 肉食選好度

(單位: %)

| | 계(N) | 매우 그런편 | 그런 편 | 보통 | 그렇지 않은 편 | 전혀 그렇지 않은 편 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 6.9 | 25.9 | 38.5 | 24.0 | 4.7 |
| 거주지 | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 6.7 | 25.3 | 39.5 | 23.8 | 4.7 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 7.8 | 27.8 | 34.6 | 24.9 | 4.9 |
| 성 | | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 8.7 | 31.1 | 38.5 | 17.8 | 3.9 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 5.3 | 21.0 | 38.4 | 29.8 | 5.5 |
| 연령 | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 5.0 | 27.4 | 41.6 | 21.5 | 4.6 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 6.1 | 25.3 | 41.3 | 22.7 | 4.6 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 7.2 | 27.1 | 40.5 | 21.2 | 4.0 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 8.0 | 26.6 | 36.5 | 23.9 | 5.0 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 7.8 | 23.5 | 35.4 | 28.1 | 5.2 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 7.0 | 24.1 | 30.4 | 32.3 | 6.2 |
| 교육수준 | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 7.0 | 23.0 | 29.3 | 32.1 | 8.6 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 6.3 | 24.5 | 34.7 | 30.5 | 4.1 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 7.9 | 25.3 | 38.7 | 22.2 | 5.8 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 6.6 | 25.9 | 41.9 | 20.9 | 4.6 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 7.1 | 28.1 | 36.8 | 24.4 | 3.5 |
| 직업 | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 5.8 | 27.2 | 35.0 | 28.5 | 3.6 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 9.4 | 28.7 | 37.1 | 20.6 | 4.2 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 6.2 | 29.3 | 39.0 | 20.7 | 4.8 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 9.4 | 28.7 | 33.3 | 24.2 | 4.4 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 8.2 | 29.5 | 42.2 | 16.3 | 3.7 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 7.9 | 22.9 | 35.4 | 26.4 | 7.4 |
| 학생 | 100.0( 929) | 5.4 | 27.5 | 40.6 | 22.8 | 3.8 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,778) | 5.7 | 20.4 | 39.4 | 29.0 | 5.4 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 5.4 | 23.3 | 34.9 | 28.8 | 7.7 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 7.0 | 24.1 | 39.4 | 24.4 | 5.1 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 7.0 | 25.1 | 41.5 | 22.4 | 3.9 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 7.9 | 28.0 | 35.0 | 24.6 | 4.4 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 7.0 | 29.3 | 39.5 | 20.7 | 3.5 |

〈附表 Ⅰ-24〉 社會經濟的 特性別 菜食選好度

(單位: %)

| | 계(N) | 매우 그런편 | 그런 편 | 보통 | 그렇지 않은 편 | 전혀 그렇지 않은 편 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 17.9 | 42.1 | 32.7 | 6.6 | 0.8 |
| 거주지 | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 16.4 | 41.0 | 34.6 | 7.2 | 0.9 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 23.4 | 46.1 | 25.8 | 4.4 | 0.4 |
| 성 | | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 16.2 | 38.7 | 37.0 | 7.4 | 0.7 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 19.4 | 45.2 | 28.7 | 5.9 | 0.8 |
| 연령 | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 11.1 | 35.1 | 42.6 | 9.3 | 1.9 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 12.7 | 41.1 | 38.3 | 6.9 | 1.0 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 18.0 | 39.7 | 34.5 | 7.1 | 0.6 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 20.2 | 44.2 | 29.2 | 5.9 | 0.6 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 22.9 | 47.4 | 24.9 | 4.7 | 0.1 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 26.7 | 47.8 | 20.0 | 5.2 | 0.3 |
| 교육수준 | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 30.8 | 50.1 | 13.5 | 5.0 | 0.7 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 24.8 | 48.4 | 21.8 | 4.7 | 0.3 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 19.3 | 42.3 | 31.3 | 5.6 | 1.5 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 16.0 | 37.9 | 37.9 | 7.5 | 0.7 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 11.9 | 43.4 | 36.8 | 7.5 | 0.5 |
| 직업 | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 13.5 | 44.9 | 35.7 | 5.4 | 0.4 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 15.7 | 37.2 | 37.6 | 8.1 | 1.4 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 16.4 | 42.0 | 33.5 | 7.5 | 0.6 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 27.6 | 50.0 | 18.3 | 4.0 | 0.1 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 16.2 | 39.6 | 37.4 | 6.6 | 0.2 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 23.2 | 41.0 | 27.4 | 7.5 | 0.9 |
| 학생 | 100.0( 929) | 12.2 | 35.9 | 41.9 | 8.5 | 1.5 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,778) | 19.1 | 44.7 | 29.7 | 5.7 | 0.8 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 25.0 | 45.3 | 23.1 | 6.0 | 0.6 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 20.6 | 42.1 | 30.2 | 6.3 | 0.8 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 16.8 | 41.5 | 34.5 | 6.7 | 0.5 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 15.9 | 41.7 | 33.5 | 8.1 | 0.7 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 13.2 | 41.2 | 38.7 | 5.8 | 1.1 |

〈附表 Ⅰ-25〉 社會經濟的 特性 및 性別 外食頻度

(單位: %)

| | 전 체 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 거의 안함 | 월 1~2회 | 주 1회 | 주 2~3회 | 주 4~5회 | 거의 매일 |
| 전 체 | 100.0(6,480) | 37.9 | 35.7 | 11.4 | 6.7 | 2.9 | 5.4 |
| 거주지 | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 32.8 | 37.7 | 12.5 | 7.2 | 3.4 | 6.4 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 56.8 | 28.1 | 7.5 | 4.5 | 1.1 | 1.9 |
| 성 | | | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 33.5 | 35.5 | 10.7 | 8.2 | 3.8 | 8.3 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 42.1 | 35.8 | 12.1 | 5.3 | 2.0 | 2.8 |
| 연령 | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 39.9 | 36.7 | 12.8 | 5.3 | 1.7 | 3.7 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 19.6 | 38.7 | 14.8 | 12.6 | 5.9 | 8.4 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 28.7 | 42.6 | 15.0 | 6.6 | 1.8 | 5.4 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 41.5 | 38.4 | 7.2 | 4.2 | 3.1 | 5.7 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 55.8 | 24.8 | 7.8 | 5.6 | 1.7 | 4.3 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 71.7 | 18.7 | 6.0 | 0.5 | 1.2 | 1.8 |
| 교육수준 | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 86.1 | 9.4 | 1.6 | 1.3 | - | 1.6 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 66.8 | 22.7 | 4.5 | 1.7 | 1.0 | 3.3 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 44.4 | 40.7 | 8.4 | 3.0 | 0.7 | 2.8 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 29.8 | 42.5 | 12.4 | 7.2 | 2.9 | 5.2 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 14.9 | 35.1 | 19.6 | 13.4 | 0.6 | 10.4 |
| 결혼상태 | | | | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,826) | 27.8 | 32.7 | 13.5 | 11.7 | 5.3 | 8.9 |
| 유배우 | 100.0(4,223) | 39.8 | 38.3 | 11.0 | 4.8 | 2.0 | 4.1 |
| 이혼/기타 | 100.0( 431) | 62.8 | 22.1 | 7.1 | 3.4 | 1.0 | 3.6 |
| 직업 | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 13.6 | 34.8 | 20.1 | 15.1 | 6.7 | 9.7 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 20.1 | 34.4 | 14.9 | 15.3 | 5.6 | 9.7 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 28.4 | 39.0 | 12.1 | 8.5 | 3.6 | 8.4 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 72.7 | 19.8 | 4.1 | 2.5 | 0.3 | 0.5 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 32.9 | 38.9 | 10.1 | 5.0 | 3.5 | 9.7 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 55.7 | 27.9 | 4.2 | 3.7 | 2.3 | 6.2 |
| 학생 | 100.0( 929) | 34.2 | 35.0 | 13.0 | 7.4 | 3.4 | 7.0 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,778) | 40.4 | 41.4 | 12.4 | 3.9 | 1.3 | 0.5 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 68.6 | 19.4 | 4.4 | 3.2 | 1.7 | 2.7 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 45.4 | 35.2 | 7.9 | 5.0 | 1.9 | 4.6 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 34.0 | 41.3 | 10.6 | 6.3 | 2.7 | 5.1 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 30.9 | 37.8 | 16.0 | 6.3 | 3.1 | 5.9 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 19.5 | 37.4 | 17.8 | 11.5 | 4.9 | 8.9 |

〈附表 Ⅰ-25〉 계속

| | 남 자 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 거의 안함 | 월 1~2회 | 주 1회 | 주 2~3회 | 주 4~5회 | 거의 매일 |
| 전 체 | 100.0(3,107) | 33.5 | 35.5 | 10.7 | 8.2 | 3.8 | 8.3 |
| 거주지 | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(2,468) | 29.5 | 36.6 | 11.2 | 8.8 | 4.2 | 9.7 |
| 군지역 | 100.0( 639) | 48.6 | 31.2 | 8.7 | 6.0 | 2.3 | 3.2 |
| 연령 | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 362) | 40.1 | 37.5 | 11.6 | 5.2 | 1.2 | 4.4 |
| 20~29세 | 100.0( 667) | 19.8 | 35.8 | 12.1 | 14.4 | 6.3 | 11.5 |
| 30~39세 | 100.0( 793) | 23.4 | 42.0 | 13.8 | 9.0 | 3.1 | 8.7 |
| 40~49세 | 100.0( 602) | 34.1 | 37.0 | 8.1 | 5.8 | 5.2 | 9.8 |
| 50~59세 | 100.0( 443) | 47.8 | 28.2 | 7.3 | 7.3 | 2.2 | 7.2 |
| 60~69세 | 100.0( 240) | 66.7 | 19.6 | 7.8 | 0.6 | 2.9 | 2.5 |
| 교육수준 | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 89) | 78.2 | 13.1 | 3.5 | 2.4 | - | 2.8 |
| 국졸 | 100.0( 386) | 63.7 | 20.9 | 5.1 | 3.7 | 1.4 | 5.2 |
| 중졸 | 100.0( 461) | 46.2 | 36.3 | 7.3 | 3.3 | 1.6 | 5.2 |
| 고졸 | 100.0(1,349) | 28.9 | 41.2 | 10.5 | 7.9 | 3.6 | 7.9 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 822) | 14.8 | 34.8 | 16.2 | 14.2 | 7.0 | 12.9 |
| 결혼상태 | | | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 979) | 28.3 | 32.2 | 11.7 | 12.2 | 4.7 | 10.9 |
| 유배우 | 100.0(2,065) | 35.4 | 37.2 | 10.4 | 6.3 | 3.5 | 7.2 |
| 이혼/기타 | 100.0( 63) | 48.6 | 32.0 | 4.9 | 7.2 | 2.5 | 4.8 |
| 직업 | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 289) | 12.2 | 34.4 | 18.9 | 16.0 | 6.8 | 11.7 |
| 사무직 | 100.0( 368) | 21.6 | 36.4 | 13.8 | 12.8 | 5.0 | 10.4 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 403) | 23.3 | 41.4 | 9.4 | 10.5 | 4.5 | 11.0 |
| 농·어업 | 100.0( 334) | 64.8 | 23.4 | 5.3 | 4.8 | 0.6 | 1.0 |
| 기능직 | 100.0( 717) | 31.1 | 40.2 | 9.4 | 5.4 | 3.9 | 10.1 |
| 단순노무직 | 100.0( 259) | 49.4 | 26.9 | 5.0 | 6.0 | 3.3 | 9.4 |
| 학생 | 100.0( 472) | 32.4 | 37.0 | 12.4 | 7.7 | 2.7 | 7.9 |
| 기타(주부, 군인 무직) | 100.0( 265) | 42.0 | 34.8 | 12.2 | 4.6 | 4.5 | 1.9 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 335) | 57.9 | 24.9 | 5.6 | 4.4 | 3.1 | 4.1 |
| 51~100만원 | 100.0( 795) | 40.6 | 36.9 | 6.1 | 6.6 | 2.5 | 7.4 |
| 101~150만원 | 100.0( 810) | 30.1 | 38.5 | 11.1 | 8.2 | 3.5 | 8.6 |
| 151~200만원 | 100.0( 589) | 28.9 | 36.9 | 14.4 | 6.5 | 4.6 | 8.7 |
| 201만원 이상 | 100.0( 578) | 19.0 | 34.5 | 15.5 | 13.5 | 6.2 | 11.4 |

〈附表 Ⅰ-25〉 계속

| | 여 자 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 거의 안함 | 월 1~2회 | 주 1회 | 주 2~3회 | 주 4~5회 | 거의 매일 |
| 전 체 | 100.0(3,373) | 42.1 | 35.8 | 12.1 | 5.3 | 2.0 | 2.8 |
| 거주지 | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(2,621) | 35.8 | 38.7 | 13.7 | 5.8 | 2.5 | 3.4 |
| 군지역 | 100.0( 752) | 63.8 | 25.5 | 6.5 | 3.3 | - | 0.8 |
| 연령 | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 401) | 39.8 | 35.9 | 13.8 | 5.3 | 2.1 | 3.0 |
| 20~29세 | 100.0( 764) | 19.3 | 41.3 | 17.1 | 11.1 | 5.5 | 5.7 |
| 30~39세 | 100.0( 816) | 33.7 | 43.1 | 16.2 | 4.3 | 0.6 | 2.1 |
| 40~49세 | 100.0( 590) | 49.1 | 39.7 | 6.2 | 2.6 | 0.9 | 1.5 |
| 50~59세 | 100.0( 479) | 63.2 | 21.6 | 8.2 | 4.0 | 1.3 | 1.7 |
| 60~69세 | 100.0( 323) | 75.5 | 18.1 | 4.8 | 0.4 | - | 1.3 |
| 교육수준 | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 316) | 88.2 | 8.4 | 1.1 | 1.0 | - | 1.3 |
| 국졸 | 100.0( 586) | 68.8 | 23.9 | 4.1 | 0.3 | 0.7 | 2.1 |
| 중졸 | 100.0( 575) | 43.0 | 44.2 | 9.3 | 2.7 | - | 0.9 |
| 고졸 | 100.0(1,327) | 30.6 | 43.8 | 14.2 | 6.6 | 2.2 | 2.5 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 569) | 15.0 | 35.5 | 24.5 | 12.2 | 5.9 | 6.9 |
| 결혼상태 | | | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 847) | 27.2 | 33.4 | 15.6 | 11.2 | 6.0 | 6.7 |
| 유배우 | 100.0(2,158) | 44.0 | 39.4 | 11.5 | 3.4 | 0.6 | 1.2 |
| 이혼/기타 | 100.0( 368) | 65.2 | 20.4 | 7.5 | 2.7 | 0.8 | 3.4 |
| 직업 | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 142) | 16.3 | 35.8 | 22.5 | 13.2 | 6.6 | 5.6 |
| 사무직 | 100.0( 178) | 17.0 | 30.4 | 17.2 | 20.5 | 6.8 | 8.1 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 414) | 33.5 | 36.7 | 14.7 | 6.5 | 2.7 | 5.9 |
| 농·어업 | 100.0( 319) | 81.0 | 16.0 | 2.9 | 0.1 | - | - |
| 기능직 | 100.0( 121) | 43.1 | 31.3 | 14.5 | 2.6 | 1.4 | 7.1 |
| 단순노무직 | 100.0( 229) | 62.7 | 29.1 | 3.3 | 1.1 | 1.2 | 2.6 |
| 학생 | 100.0( 457) | 36.1 | 32.9 | 13.7 | 7.2 | 4.1 | 6.0 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,513) | 40.2 | 42.6 | 12.5 | 3.7 | 0.8 | 0.3 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 442) | 76.6 | 15.3 | 3.6 | 2.2 | 0.6 | 1.7 |
| 51~100만원 | 100.0( 875) | 49.7 | 33.7 | 9.6 | 3.6 | 1.4 | 2.0 |
| 101~150만원 | 100.0( 879) | 37.6 | 43.9 | 10.2 | 4.5 | 2.1 | 1.8 |
| 151~200만원 | 100.0( 626) | 32.9 | 38.6 | 17.6 | 6.1 | 1.7 | 3.2 |
| 201만원 이상 | 100.0( 551) | 20.1 | 40.4 | 20.2 | 9.3 | 3.6 | 6.3 |

〈附表 Ⅰ-26〉 社會經濟的 特性別 하루 커피를 마시는 程度

(單位: %)

| | 계(N) | 안마심 | 권할 때 | 1잔 | 2~4잔 | 5잔 이상 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 28.6 | 28.2 | 19.8 | 21.4 | 2.0 |
| 거주지 | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 26.4 | 26.9 | 20.9 | 23.7 | 2.2 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 36.9 | 32.9 | 15.8 | 12.9 | 1.4 |
| 성 | | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 26.4 | 30.1 | 16.7 | 23.7 | 3.1 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 30.7 | 26.4 | 22.7 | 19.2 | 1.0 |
| 연령(세) | | | | | | |
| 15~19 | 100.0( 763) | 46.2 | 39.6 | 9.0 | 5.0 | 0.2 |
| 20~29 | 100.0(1,431) | 21.4 | 30.5 | 19.9 | 26.3 | 1.9 |
| 30~39 | 100.0(1,609) | 18.6 | 24.1 | 24.1 | 29.8 | 3.4 |
| 40~49 | 100.0(1,192) | 23.9 | 25.8 | 23.3 | 24.4 | 2.6 |
| 50~59 | 100.0( 922) | 37.2 | 26.9 | 18.9 | 15.7 | 1.3 |
| 60~69 | 100.0( 563) | 47.7 | 25.5 | 15.9 | 10.1 | 0.8 |
| 교육수준 | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 49.3 | 28.8 | 13.8 | 7.4 | 0.7 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 40.1 | 27.0 | 18.9 | 12.6 | 1.3 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 29.1 | 28.9 | 22.3 | 17.2 | 2.4 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 26.6 | 28.6 | 19.4 | 23.7 | 1.7 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 18.2 | 27.5 | 21.1 | 30.0 | 3.1 |
| 결혼상태 | | | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,826) | 31.1 | 35.6 | 14.3 | 17.4 | 1.6 |
| 유배우 | 100.0(4,223) | 26.3 | 25.6 | 22.0 | 23.9 | 2.2 |
| 이혼/기타 | 100.0( 431) | 41.3 | 22.3 | 21.5 | 13.5 | 1.3 |
| 직업 | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 21.0 | 23.3 | 23.8 | 26.9 | 5.0 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 17.8 | 20.5 | 19.9 | 39.5 | 2.3 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 21.6 | 24.5 | 22.8 | 29.2 | 1.9 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 42.3 | 34.3 | 13.7 | 8.8 | 0.9 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 20.6 | 26.5 | 23.5 | 25.9 | 3.5 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 24.7 | 26.0 | 25.1 | 21.2 | 3.1 |
| 학생 | 100.0( 929) | 40.2 | 41.3 | 8.9 | 8.9 | 0.6 |
| 기타(주부, 군인 무직) | 100.0(1,778) | 30.8 | 25.7 | 22.2 | 20.0 | 1.4 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 42.5 | 33.1 | 11.5 | 11.6 | 1.3 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 31.0 | 28.4 | 20.0 | 18.9 | 1.7 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 26.0 | 27.7 | 21.8 | 22.6 | 1.9 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 27.1 | 26.1 | 20.8 | 24.5 | 1.5 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 20.8 | 28.0 | 21.4 | 26.2 | 3.6 |

〈附表 Ⅰ-27〉 社會經濟的 特性別 牛乳를 마시는 程度

(單位: %)

| | 계(N) | 안마심 | 가끔 마심 | 주 2~3팩 | 하루 1컵 | 하루 2컵 이상 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 34.2 | 35.9 | 8.2 | 17.7 | 3.9 |
| 거주지 | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 30.7 | 36.4 | 9.0 | 19.5 | 4.4 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 47.1 | 34.2 | 5.3 | 11.2 | 2.2 |
| 성 | | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 34.1 | 35.7 | 8.8 | 17.0 | 4.4 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 34.3 | 36.1 | 7.7 | 18.4 | 3.5 |
| 연령(세) | | | | | | |
| 15~19 | 100.0( 763) | 13.7 | 35.8 | 11.9 | 28.3 | 10.3 |
| 20~29 | 100.0(1,431) | 24.5 | 39.2 | 12.1 | 19.9 | 4.2 |
| 30~39 | 100.0(1,609) | 32.4 | 40.0 | 7.4 | 17.4 | 2.8 |
| 40~49 | 100.0(1,192) | 41.2 | 34.7 | 7.0 | 14.3 | 2.9 |
| 50~59 | 100.0( 922) | 48.8 | 31.4 | 4.9 | 12.2 | 2.6 |
| 60~69 | 100.0( 563) | 53.2 | 26.0 | 3.5 | 15.0 | 2.3 |
| 교육수준 | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 60.1 | 28.0 | 4.1 | 6.9 | 0.9 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 51.2 | 31.5 | 3.6 | 11.4 | 2.4 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 41.2 | 34.5 | 6.6 | 14.0 | 3.7 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 26.9 | 39.3 | 9.3 | 19.7 | 4.9 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 23.6 | 35.9 | 11.8 | 24.3 | 4.4 |
| 결혼상태 | | | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,826) | 19.8 | 38.6 | 12.0 | 23.2 | 6.4 |
| 유배우 | 100.0(4,223) | 38.7 | 35.7 | 7.0 | 15.7 | 2.9 |
| 이혼/기타 | 100.0( 431) | 51.2 | 26.4 | 4.2 | 14.7 | 3.6 |
| 직업 | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 25.4 | 34.3 | 12.4 | 24.6 | 3.3 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 28.7 | 41.5 | 7.6 | 19.3 | 2.9 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 40.4 | 32.8 | 8.4 | 16.0 | 2.5 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 59.5 | 29.0 | 4.4 | 5.5 | 1.6 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 32.9 | 40.1 | 8.2 | 15.7 | 3.2 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 45.8 | 32.4 | 4.5 | 13.9 | 3.4 |
| 학생 | 100.0( 929) | 13.8 | 36.3 | 12.9 | 28.2 | 8.8 |
| 기타(주부, 군인 무직) | 100.0(1,778) | 34.1 | 37.3 | 7.2 | 17.4 | 4.0 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 48.8 | 33.2 | 6.3 | 9.4 | 2.3 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 40.1 | 36.0 | 7.1 | 13.1 | 3.8 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 30.8 | 39.1 | 9.1 | 17.1 | 3.8 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 29.4 | 35.4 | 7.4 | 23.6 | 4.2 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 25.4 | 34.2 | 10.4 | 24.9 | 5.1 |

〈附表 Ⅰ-28〉 社會經濟的 特性 및 性別 熟眠與否

(單位: %)

| | 전 체 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 충 분 | 보 통 | 부 족 |
| 전 체 | 100.0(6,480) | 40.2 | 40.3 | 19.5 |
| 거주지 | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 37.2 | 42.1 | 20.6 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 51.2 | 33.5 | 15.2 |
| 성 | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 37.2 | 44.2 | 18.6 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 43.0 | 36.7 | 20.3 |
| 연령 | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 37.6 | 43.2 | 19.2 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 34.0 | 47.6 | 18.4 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 33.6 | 44.7 | 21.7 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 39.0 | 39.1 | 21.9 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 52.2 | 30.6 | 17.2 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 61.4 | 23.9 | 14.7 |
| 교육수준 | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 60.1 | 23.1 | 16.8 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 50.2 | 28.3 | 21.5 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 39.4 | 40.9 | 19.7 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 35.3 | 44.2 | 20.5 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 37.5 | 45.7 | 16.7 |
| 결혼상태 | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,826) | 34.3 | 47.1 | 18.6 |
| 유배우 | 100.0(4,223) | 41.8 | 38.6 | 19.6 |
| 이혼/기타 | 100.0( 431) | 49.7 | 27.9 | 22.4 |
| 직업 | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 36.6 | 44.8 | 18.6 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 27.2 | 50.6 | 22.2 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 29.1 | 44.1 | 26.8 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 63.6 | 25.2 | 11.2 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 29.4 | 47.3 | 23.3 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 31.6 | 40.8 | 27.6 |
| 학생 | 100.0( 929) | 41.1 | 41.8 | 17.1 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,778) | 48.7 | 35.6 | 15.7 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 54.0 | 28.8 | 17.2 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 42.8 | 38.7 | 18.6 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 36.5 | 42.7 | 20.7 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 38.5 | 41.3 | 20.2 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 33.9 | 46.1 | 19.9 |

〈附表 Ⅰ-28〉 계속

| | 남 자 | | | | 여 자 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 충분 | 보통 | 부족 | 계(N) | 충분 | 보통 | 부족 |
| 전 체 | 100.0(3,107) | 37.2 | 44.2 | 18.6 | 100.0(3,373) | 43.0 | 36.7 | 20.3 |
| 거주지 | | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(2,468) | 34.0 | 46.3 | 19.8 | 100.0(2,621) | 40.2 | 38.3 | 21.5 |
| 군지역 | 100.0( 639) | 49.6 | 36.3 | 14.1 | 100.0( 752) | 52.6 | 31.2 | 16.2 |
| 연령 | | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 362) | 30.7 | 47.4 | 22.0 | 100.0( 401) | 43.8 | 39.5 | 16.8 |
| 20~29세 | 100.0( 667) | 29.9 | 48.6 | 21.5 | 100.0( 764) | 37.6 | 46.7 | 15.6 |
| 30~39세 | 100.0( 793) | 29.7 | 48.9 | 21.4 | 100.0( 816) | 37.4 | 40.5 | 22.1 |
| 40~49세 | 100.0( 602) | 36.5 | 44.1 | 19.4 | 100.0( 590) | 41.5 | 34.0 | 24.4 |
| 50~59세 | 100.0( 443) | 53.0 | 37.6 | 9.4 | 100.0( 479) | 51.5 | 24.1 | 24.4 |
| 60~69세 | 100.0( 240) | 64.9 | 24.1 | 11.0 | 100.0( 323) | 58.8 | 23.8 | 17.5 |
| 교육수준 | | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 89) | 66.1 | 21.6 | 12.3 | 100.0( 316) | 58.4 | 23.5 | 18.1 |
| 국졸 | 100.0( 386) | 50.2 | 33.1 | 16.7 | 100.0( 586) | 50.2 | 25.1 | 24.7 |
| 중졸 | 100.0( 461) | 40.4 | 41.6 | 18.0 | 100.0( 575) | 38.7 | 40.3 | 21.0 |
| 고졸 | 100.0(1,349) | 31.7 | 48.2 | 20.1 | 100.0(1,327) | 38.9 | 40.1 | 21.0 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 822) | 35.2 | 46.8 | 18.0 | 100.0( 569) | 41.0 | 44.2 | 14.9 |
| 결혼상태 | | | | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 979) | 30.2 | 49.2 | 20.7 | 100.0( 847) | 39.0 | 44.8 | 16.2 |
| 유배우 | 100.0(2,065) | 40.3 | 42.1 | 17.6 | 100.0(2,158) | 43.2 | 35.3 | 21.5 |
| 이혼/기타 | 100.0( 63) | 43.3 | 36.0 | 20.7 | 100.0( 368) | 50.8 | 26.5 | 22.6 |
| 직업 | | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 289) | 37.3 | 44.2 | 18.5 | 100.0( 142) | 35.0 | 46.1 | 18.9 |
| 사무직 | 100.0( 368) | 26.3 | 53.7 | 20.0 | 100.0( 178) | 29.0 | 44.2 | 26.8 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 403) | 32.2 | 47.9 | 19.9 | 100.0( 414) | 26.1 | 40.4 | 33.5 |
| 농·어업 | 100.0( 334) | 61.9 | 28.3 | 9.9 | 100.0( 319) | 65.4 | 22.0 | 12.6 |
| 기능직 | 100.0( 717) | 29.4 | 48.9 | 21.7 | 100.0( 121) | 29.2 | 38.2 | 32.7 |
| 단순노무직 | 100.0( 259) | 33.3 | 46.5 | 20.2 | 100.0( 229) | 29.7 | 34.4 | 36.0 |
| 학생 | 100.0( 472) | 36.9 | 42.9 | 20.2 | 100.0( 457) | 45.5 | 40.7 | 13.9 |
| 기타(주부, 군인 무직) | 100.0( 265) | 54.0 | 33.0 | 13.0 | 100.0(1,513) | 47.7 | 36.1 | 16.2 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 335) | 52.6 | 31.1 | 16.3 | 100.0( 442) | 55.1 | 27.0 | 17.9 |
| 51~100만원 | 100.0( 795) | 38.5 | 43.3 | 18.2 | 100.0( 875) | 46.7 | 34.5 | 18.9 |
| 101~150만원 | 100.0( 810) | 33.2 | 48.3 | 18.5 | 100.0( 879) | 39.6 | 37.6 | 22.8 |
| 151~200만원 | 100.0( 589) | 36.3 | 43.2 | 20.6 | 100.0( 626) | 40.5 | 39.6 | 19.9 |
| 201만원 이상 | 100.0( 578) | 32.5 | 48.2 | 19.3 | 100.0( 551) | 35.4 | 43.9 | 20.7 |

〈附表 Ⅰ-29〉 社會經濟的 特性 및 性別 睡眠時間 分布

(單位: %)

| | 전 체 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 6시간 이하 | 7~8시간 | 9시간 이상 |
| 전 체 | 100.0(6,480) | 39.2 | 52.4 | 8.5 |
| 거주지 | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 40.6 | 51.4 | 8.0 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 33.7 | 55.9 | 10.4 |
| 성 | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 38.9 | 53.0 | 8.1 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 39.4 | 51.8 | 8.8 |
| 연령 | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 41.6 | 47.5 | 10.9 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 33.5 | 56.5 | 10.0 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 37.9 | 55.4 | 6.7 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 44.1 | 49.1 | 6.8 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 38.9 | 52.1 | 9.0 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 43.4 | 47.2 | 9.4 |
| 교육수준 | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 38.6 | 50.1 | 11.3 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 42.3 | 47.9 | 9.8 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 40.3 | 51.8 | 7.9 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 39.2 | 52.4 | 8.5 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 36.4 | 56.4 | 7.2 |
| 결혼상태 | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,826) | 39.2 | 51.2 | 9.6 |
| 유배우 | 100.0(4,223) | 38.3 | 53.8 | 7.9 |
| 이혼/기타 | 100.0( 431) | 47.4 | 43.1 | 9.5 |
| 직업 | | | | |
| 전문·행정·관리 | 100.0( 431) | 40.5 | 54.7 | 4.9 |
| 사무 | 100.0( 546) | 40.8 | 54.8 | 4.4 |
| 판매·서비스 | 100.0( 817) | 43.2 | 49.3 | 7.5 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 26.7 | 63.2 | 10.1 |
| 기능 | 100.0( 838) | 40.8 | 52.9 | 6.3 |
| 단순노무 | 100.0( 488) | 50.3 | 43.3 | 6.3 |
| 학생 | 100.0( 929) | 40.2 | 47.6 | 12.2 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,778) | 36.7 | 53.2 | 10.2 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 38.0 | 50.8 | 11.2 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 37.3 | 53.2 | 9.5 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 40.0 | 52.3 | 7.7 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 42.2 | 49.5 | 8.3 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 38.1 | 55.3 | 6.6 |

〈附表 Ⅰ-29〉 계속

| | 남 자 | | | | 여 자 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 6시간 이하 | 7~8시간 | 9시간 이상 | 계(N) | 6시간 이하 | 7~8시간 | 9시간 이상 |
| 전 체 | 100.0(3,107) | 38.9 | 53.0 | 8.1 | 100.0(3,373) | 39.4 | 51.8 | 8.8 |
| 거주지 | | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(2,468) | 40.0 | 52.3 | 7.7 | 100.0(2,621) | 41.2 | 50.5 | 8.2 |
| 군지역 | 100.0( 639) | 34.7 | 55.6 | 9.8 | 100.0( 752) | 32.9 | 56.2 | 10.9 |
| 연령 | | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 362) | 45.0 | 42.9 | 12.1 | 100.0( 401) | 38.5 | 51.8 | 9.7 |
| 20~29세 | 100.0( 667) | 39.3 | 52.0 | 8.7 | 100.0( 764) | 28.5 | 60.5 | 11.1 |
| 30~39세 | 100.0( 793) | 37.9 | 56.4 | 5.7 | 100.0( 816) | 37.8 | 54.5 | 7.6 |
| 40~49세 | 100.0( 602) | 38.2 | 56.5 | 5.2 | 100.0( 590) | 49.9 | 41.7 | 8.3 |
| 50~59세 | 100.0( 443) | 34.4 | 53.8 | 11.8 | 100.0( 479) | 43.1 | 50.5 | 6.3 |
| 60~69세 | 100.0( 240) | 42.0 | 49.5 | 8.5 | 100.0( 323) | 44.4 | 45.5 | 10.1 |
| 교육수준 | | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 89) | 26.5 | 61.1 | 12.4 | 100.0( 316) | 42.0 | 47.0 | 11.0 |
| 국졸 | 100.0( 386) | 37.1 | 52.2 | 10.6 | 100.0( 586) | 45.6 | 45.1 | 9.3 |
| 중졸 | 100.0( 461) | 38.2 | 52.4 | 9.4 | 100.0( 575) | 42.0 | 51.3 | 6.6 |
| 고졸 | 100.0(1,349) | 40.8 | 51.5 | 7.7 | 100.0(1,327) | 37.4 | 53.3 | 9.3 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 822) | 38.3 | 55.2 | 6.4 | 100.0( 569) | 33.5 | 58.2 | 8.3 |
| 결혼상태 | | | | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 979) | 42.1 | 48.5 | 9.5 | 100.0( 847) | 35.9 | 54.5 | 9.7 |
| 유배우 | 100.0(2,065) | 37.5 | 55.0 | 7.5 | 100.0(2,158) | 39.0 | 52.6 | 8.4 |
| 이혼/기타 | 100.0( 63) | 36.2 | 55.0 | 8.9 | 100.0( 368) | 49.3 | 41.0 | 9.6 |
| 직업 | | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 289) | 45.3 | 52.2 | 2.5 | 100.0( 142) | 30.5 | 59.6 | 9.8 |
| 사무직 | 100.0( 368) | 39.5 | 55.9 | 4.6 | 100.0( 178) | 43.5 | 52.7 | 3.9 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 403) | 39.3 | 52.6 | 8.1 | 100.0( 414) | 47.0 | 46.1 | 6.9 |
| 농·어업 | 100.0( 334) | 28.3 | 61.2 | 10.5 | 100.0( 319) | 25.0 | 65.2 | 9.8 |
| 기능직 | 100.0( 717) | 38.8 | 54.1 | 7.1 | 100.0( 121) | 52.4 | 45.8 | 1.7 |
| 단순노무직 | 100.0( 259) | 43.0 | 51.9 | 5.1 | 100.0( 229) | 58.8 | 33.5 | 7.7 |
| 학생 | 100.0( 472) | 43.2 | 42.8 | 14.0 | 100.0( 457) | 37.0 | 52.7 | 10.3 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0( 265) | 32.3 | 56.3 | 11.4 | 100.0(1,513) | 37.4 | 52.6 | 10.0 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 335) | 36.5 | 51.9 | 11.5 | 100.0( 442) | 39.2 | 49.9 | 10.9 |
| 51~100만원 | 100.0( 795) | 38.1 | 52.8 | 9.1 | 100.0( 875) | 36.7 | 53.6 | 9.8 |
| 101~150만원 | 100.0( 810) | 40.7 | 52.3 | 7.0 | 100.0( 879) | 39.4 | 52.3 | 8.4 |
| 151~200만원 | 100.0( 589) | 41.5 | 49.7 | 8.8 | 100.0( 626) | 42.9 | 49.3 | 7.8 |
| 201만원 이상 | 100.0( 578) | 36.3 | 58.7 | 5.1 | 100.0( 551) | 40.0 | 51.9 | 8.1 |

〈附表 Ⅰ-30〉 社會經濟的 特性 및 性別 充分한 休息與否

(單位: %)

| | 전 체 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 충 분 | 보 통 | 부 족 |
| 전 체 | 100.0(6,480) | 29.3 | 45.8 | 24.9 |
| 거주지 | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 28.2 | 46.0 | 25.8 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 33.5 | 44.9 | 21.6 |
| 성 | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 25.6 | 51.1 | 23.2 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 32.7 | 40.9 | 26.4 |
| 연령 | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 23.6 | 51.6 | 24.8 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 21.8 | 54.0 | 24.2 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 23.6 | 45.5 | 30.9 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 30.6 | 43.7 | 25.7 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 39.4 | 39.8 | 20.7 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 53.2 | 31.9 | 14.9 |
| 교육수준 | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 47.8 | 32.4 | 19.8 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 36.6 | 35.8 | 27.6 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 30.7 | 44.9 | 24.4 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 25.3 | 49.2 | 25.5 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 25.3 | 50.9 | 23.8 |
| 결혼상태 | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,826) | 20.8 | 55.2 | 24.1 |
| 유배우 | 100.0(4,223) | 31.5 | 43.1 | 25.5 |
| 이혼/기타 | 100.0( 431) | 44.4 | 32.8 | 22.9 |
| 직업 | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 22.6 | 48.7 | 28.7 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 15.1 | 53.0 | 31.9 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 20.3 | 46.5 | 33.2 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 36.5 | 42.7 | 20.8 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 19.7 | 50.8 | 29.5 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 23.0 | 38.9 | 38.0 |
| 학생 | 100.0( 929) | 24.2 | 54.2 | 21.7 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,778) | 45.8 | 38.7 | 15.5 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 41.3 | 40.3 | 18.5 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 30.5 | 43.9 | 25.6 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 27.5 | 46.9 | 25.6 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 28.7 | 44.8 | 26.6 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 23.8 | 50.3 | 25.9 |

〈附表 Ⅰ-30〉 계속

| | 남 자 | | | | 여 자 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 충 분 | 보 통 | 부 족 | 계(N) | 충 분 | 보 통 | 부 족 |
| 전 체 | 100.0(3,107) | 25.6 | 51.1 | 23.2 | 100.0(3,373) | 32.7 | 40.9 | 26.4 |
| 거주지 | | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(2,468) | 23.7 | 52.4 | 24.0 | 100.0(2,621) | 32.4 | 40.0 | 27.5 |
| 군지역 | 100.0( 639) | 33.4 | 46.3 | 20.3 | 100.0( 752) | 33.6 | 43.8 | 22.6 |
| 연령 | | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 362) | 20.7 | 55.9 | 23.4 | 100.0( 401) | 26.2 | 47.9 | 26.0 |
| 20~29세 | 100.0( 667) | 18.4 | 57.1 | 24.5 | 100.0( 764) | 24.7 | 51.3 | 24.0 |
| 30~39세 | 100.0( 793) | 17.5 | 51.5 | 31.0 | 100.0( 816) | 29.5 | 39.7 | 30.8 |
| 40~49세 | 100.0( 602) | 27.7 | 50.5 | 21.7 | 100.0( 590) | 33.5 | 36.7 | 29.8 |
| 50~59세 | 100.0( 443) | 35.0 | 49.7 | 15.2 | 100.0( 479) | 43.5 | 30.7 | 25.8 |
| 60~69세 | 100.0( 240) | 57.6 | 30.2 | 12.2 | 100.0( 323) | 50.0 | 33.1 | 16.9 |
| 교육수준 | | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 89) | 50.9 | 32.6 | 16.6 | 100.0( 316) | 46.9 | 32.3 | 20.8 |
| 국졸 | 100.0( 386) | 36.1 | 42.1 | 21.8 | 100.0( 586) | 36.9 | 31.7 | 31.3 |
| 중졸 | 100.0( 461) | 29.2 | 52.6 | 18.2 | 100.0( 575) | 31.9 | 38.7 | 29.4 |
| 고졸 | 100.0(1,349) | 20.8 | 54.5 | 24.7 | 100.0(1,327) | 29.9 | 43.8 | 26.3 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 822) | 24.0 | 51.0 | 25.0 | 100.0( 569) | 27.2 | 50.7 | 22.1 |
| 결혼상태 | | | | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 979) | 19.4 | 57.4 | 23.3 | 100.0( 847) | 22.4 | 52.7 | 25.0 |
| 유배우 | 100.0(2,065) | 28.3 | 48.3 | 23.4 | 100.0(2,158) | 34.5 | 38.8 | 27.5 |
| 이혼/기타 | 100.0( 63) | 36.8 | 46.2 | 17.0 | 100.0( 368) | 45.7 | 30.5 | 23.9 |
| 직업 | | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 289) | 26.5 | 44.9 | 28.7 | 100.0( 142) | 14.6 | 56.6 | 28.7 |
| 사무직 | 100.0( 368) | 14.8 | 55.8 | 29.3 | 100.0( 178) | 15.6 | 47.3 | 37.2 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 403) | 21.4 | 54.2 | 24.3 | 100.0( 414) | 19.2 | 39.1 | 41.7 |
| 농·어업 | 100.0( 334) | 39.2 | 41.2 | 19.6 | 100.0( 319) | 33.8 | 44.3 | 22.0 |
| 기능직 | 100.0( 717) | 19.3 | 55.4 | 25.2 | 100.0( 121) | 21.6 | 23.2 | 55.2 |
| 단순노무직 | 100.0( 259) | 27.0 | 46.2 | 26.8 | 100.0( 229) | 18.6 | 30.9 | 50.5 |
| 학생 | 100.0( 472) | 23.4 | 55.7 | 20.9 | 100.0( 457) | 24.9 | 52.6 | 22.4 |
| 기타(주부, 군인 무직) | 100.0( 265) | 48.7 | 44.2 | 7.1 | 100.0(1,513) | 45.3 | 37.7 | 17.0 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 335) | 41.0 | 43.3 | 15.6 | 100.0( 442) | 41.4 | 37.9 | 20.6 |
| 51~100만원 | 100.0( 795) | 26.7 | 49.5 | 23.8 | 100.0( 875) | 34.0 | 38.8 | 27.2 |
| 101~150만원 | 100.0( 810) | 23.0 | 52.5 | 24.4 | 100.0( 879) | 31.6 | 41.7 | 26.7 |
| 151~200만원 | 100.0( 589) | 25.1 | 49.0 | 25.9 | 100.0( 626) | 32.0 | 40.7 | 27.3 |
| 201만원 이상 | 100.0( 578) | 21.1 | 55.8 | 23.1 | 100.0( 551) | 26.7 | 44.6 | 28.8 |

〈附表 Ⅰ-31〉 社會經濟的 特性 및 性別 하루 칫솔질 頻度

(單位: %)

| | 전 체 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 3번 이상 | 2번 | 1번 | 닦지 않음 |
| 전 체 | 100.0(6,480) | 25.0 | 56.9 | 17.7 | 0.4 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 26.2 | 58.2 | 15.3 | 0.2 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 20.3 | 52.3 | 26.4 | 1.0 |
| 성 | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 19.0 | 55.2 | 25.2 | 0.6 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 30.5 | 58.5 | 10.8 | 0.3 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 21.0 | 58.4 | 19.9 | 0.8 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 34.8 | 53.7 | 11.6 | - |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 28.3 | 60.5 | 11.2 | - |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 22.6 | 59.9 | 17.4 | 0.1 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 13.9 | 58.6 | 26.8 | 0.7 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 19.1 | 43.9 | 34.7 | 2.3 |
| 교육수준 | | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 15.8 | 44.8 | 37.7 | 1.8 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 16.2 | 55.0 | 28.0 | 0.8 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 18.2 | 65.6 | 15.8 | 0.5 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 28.9 | 56.2 | 14.8 | 0.1 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 31.4 | 56.7 | 11.7 | 0.2 |
| 결혼상태 | | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,826) | 27.1 | 55.7 | 16.8 | 0.3 |
| 유배우 | 100.0(4,223) | 24.6 | 57.3 | 17.8 | 0.4 |
| 이혼/기타 | 100.0( 431) | 19.9 | 58.7 | 20.6 | 0.9 |
| 직업 | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 29.3 | 53.8 | 16.9 | - |
| 사무직 | 100.0( 546) | 39.6 | 52.2 | 7.8 | 0.3 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 23.2 | 61.1 | 15.7 | - |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 12.8 | 48.0 | 38.1 | 1.1 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 20.0 | 59.5 | 20.5 | - |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 11.8 | 66.7 | 21.0 | 0.5 |
| 학생 | 100.0( 929) | 23.9 | 56.2 | 19.5 | 0.4 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,778) | 31.2 | 57.0 | 11.3 | 0.6 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 20.2 | 49.1 | 29.1 | 1.6 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 23.8 | 57.0 | 19.2 | - |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 22.6 | 60.8 | 16.1 | 0.5 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 28.9 | 55.7 | 15.0 | 0.5 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 29.5 | 57.3 | 13.2 | - |

〈附表 Ⅰ-31〉 계속

| | 남 자 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 3번 이상 | 2번 | 1번 | 닦지 않음 |
| 전 체 | 100.0(3,107) | 19.0 | 55.2 | 25.2 | 0.6 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(2,468) | 20.2 | 56.5 | 22.9 | 0.4 |
| 군지역 | 100.0( 639) | 14.6 | 50.1 | 34.2 | 1.1 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 362) | 14.1 | 57.9 | 26.8 | 1.2 |
| 20~29세 | 100.0( 667) | 24.2 | 55.4 | 20.4 | - |
| 30~39세 | 100.0( 793) | 19.8 | 62.1 | 18.1 | - |
| 40~49세 | 100.0( 602) | 20.6 | 53.6 | 25.8 | - |
| 50~59세 | 100.0( 443) | 14.1 | 52.2 | 33.0 | 0.7 |
| 60~69세 | 100.0( 240) | 14.4 | 37.6 | 44.0 | 4.0 |
| 교육수준 | | | | | |
| 무학 | 100.0( 89) | 6.9 | 35.9 | 53.7 | 3.6 |
| 국졸 | 100.0( 386) | 12.5 | 44.0 | 42.2 | 1.3 |
| 중졸 | 100.0( 461) | 11.4 | 60.8 | 27.1 | 0.7 |
| 고졸 | 100.0(1,349) | 19.9 | 56.8 | 23.1 | 0.3 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 822) | 26.2 | 56.8 | 16.7 | 0.3 |
| 결혼상태 | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 979) | 19.1 | 55.9 | 24.5 | 0.5 |
| 유배우 | 100.0(2,065) | 19.2 | 54.9 | 25.4 | 0.5 |
| 이혼/기타 | 100.0( 63) | 12.1 | 55.5 | 30.6 | 1.7 |
| 직업 | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 289) | 24.9 | 51.7 | 23.4 | - |
| 사무직 | 100.0( 368) | 33.0 | 56.0 | 10.4 | 0.5 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 403) | 18.7 | 57.8 | 23.5 | - |
| 농·어업 | 100.0( 334) | 11.9 | 40.8 | 45.6 | 1.7 |
| 기능직 | 100.0( 717) | 18.0 | 59.1 | 22.8 | - |
| 단순노무직 | 100.0( 259) | 7.0 | 64.9 | 27.1 | 0.9 |
| 학생 | 100.0( 472) | 17.6 | 55.4 | 26.5 | 0.5 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0( 265) | 19.4 | 51.7 | 27.1 | 1.8 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 335) | 16.7 | 43.2 | 37.9 | 2.2 |
| 51~100만원 | 100.0( 795) | 16.0 | 56.8 | 27.2 | - |
| 101~150만원 | 100.0( 810) | 15.7 | 57.6 | 25.9 | 0.7 |
| 151~200만원 | 100.0( 589) | 20.9 | 57.3 | 21.1 | 0.7 |
| 201만원 이상 | 100.0( 578) | 26.6 | 54.3 | 19.1 | - |

〈附表 Ⅰ-31〉 계속

| | 여 자 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 3번 이상 | 2번 | 1번 | 닦지 않음 |
| 전 체 | 100.0(3,373) | 30.5 | 58.5 | 10.8 | 0.3 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(2,621) | 32.0 | 59.7 | 8.2 | 0.1 |
| 군지역 | 100.0( 752) | 25.2 | 54.2 | 19.7 | 0.9 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 401) | 27.1 | 58.9 | 13.7 | 0.4 |
| 20~29세 | 100.0( 764) | 44.0 | 52.1 | 3.8 | - |
| 30~39세 | 100.0( 816) | 36.6 | 59.0 | 4.4 | - |
| 40~49세 | 100.0( 590) | 24.7 | 66.3 | 8.8 | 0.2 |
| 50~59세 | 100.0( 479) | 13.7 | 64.5 | 21.1 | 0.6 |
| 60~69세 | 100.0( 323) | 22.6 | 48.6 | 27.8 | 1.0 |
| 교육수준 | | | | | |
| 무학 | 100.0( 316) | 18.2 | 47.3 | 33.2 | 1.3 |
| 국졸 | 100.0( 586) | 18.6 | 62.3 | 18.6 | 0.5 |
| 중졸 | 100.0( 575) | 23.7 | 69.4 | 6.7 | 0.3 |
| 고졸 | 100.0(1,327) | 38.0 | 55.5 | 6.4 | - |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 569) | 39.1 | 56.5 | 4.5 | - |
| 결혼상태 | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 847) | 36.3 | 55.5 | 8.0 | 0.2 |
| 유배우 | 100.0(2,158) | 29.8 | 59.6 | 10.5 | 0.2 |
| 이혼/기타 | 100.0( 368) | 21.2 | 59.2 | 18.8 | 0.7 |
| 직업 | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 142) | 38.4 | 58.0 | 3.6 | - |
| 사무직 | 100.0( 178) | 53.3 | 44.2 | 2.5 | - |
| 판매·서비스직 | 100.0( 414) | 27.6 | 64.3 | 8.1 | - |
| 농·어업 | 100.0( 319) | 13.8 | 55.4 | 30.2 | 0.6 |
| 기능직 | 100.0( 121) | 31.5 | 62.0 | 6.6 | - |
| 단순노무직 | 100.0( 229) | 17.3 | 68.7 | 14.0 | - |
| 학생 | 100.0( 457) | 30.4 | 57.1 | 12.2 | 0.3 |
| 기타(주부, 군인 무직) | 100.0(1,513) | 33.3 | 57.9 | 8.5 | 0.3 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 442) | 22.9 | 53.5 | 22.4 | 1.2 |
| 51~100만원 | 100.0( 875) | 30.9 | 57.2 | 11.9 | - |
| 101~150만원 | 100.0( 879) | 28.9 | 63.7 | 7.2 | 0.2 |
| 151~200만원 | 100.0( 626) | 36.3 | 54.2 | 9.2 | 0.3 |
| 201만원 이상 | 100.0( 551) | 32.5 | 60.5 | 7.0 | - |

〈附表 Ⅰ-32〉 社會經濟的 特性別 아침 칫솔질 時期

(單位: %)

| | 계(N) | 식사 전 | 식사 후 | 식사 전후 | 닦지 않음 |
|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 37.5 | 53.5 | 6.8 | 2.1 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 38.5 | 52.7 | 7.0 | 1.8 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 33.9 | 56.7 | 6.2 | 3.2 |
| 성 | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 43.0 | 47.9 | 5.9 | 3.3 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 32.5 | 58.7 | 7.7 | 1.0 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 33.2 | 57.3 | 6.1 | 3.5 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 36.5 | 54.8 | 7.1 | 1.6 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 37.8 | 54.5 | 6.6 | 1.1 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 36.4 | 54.8 | 6.5 | 2.3 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 41.8 | 49.0 | 7.2 | 2.1 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 40.6 | 47.3 | 7.9 | 4.1 |
| 교육수준 | | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 38.1 | 53.1 | 4.3 | 4.5 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 40.7 | 50.2 | 6.6 | 2.6 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 34.9 | 57.1 | 5.1 | 2.8 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 36.9 | 53.6 | 7.7 | 1.8 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 38.3 | 53.1 | 7.4 | 1.2 |
| 직업 | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 37.2 | 53.2 | 7.0 | 2.6 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 45.9 | 42.7 | 10.4 | 1.0 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 43.3 | 48.7 | 5.9 | 2.1 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 39.2 | 51.5 | 5.6 | 3.7 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 46.4 | 45.7 | 5.4 | 2.5 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 40.1 | 52.4 | 4.4 | 3.1 |
| 학생 | 100.0( 929) | 32.5 | 59.1 | 6.2 | 2.2 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,778) | 29.5 | 61.0 | 8.3 | 1.2 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 36.6 | 52.4 | 7.1 | 3.9 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 37.9 | 54.6 | 5.9 | 1.6 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 37.8 | 52.9 | 7.6 | 1.6 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 34.9 | 55.4 | 7.3 | 2.3 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 40.2 | 51.2 | 6.7 | 1.9 |

〈附表 Ⅰ-33〉 社會經濟的 特性 및 性別 저녁 혹은 잠자기전 칫솔질 與否

(單位: %)

| | 전 체 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 닦지 않음 | 가끔 닦음 | 꼭 닦음 |
| 전 체 | 100.0(6,480) | 9.7 | 29.5 | 60.8 |
| 거주지 | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 7.9 | 28.9 | 63.2 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 16.1 | 31.8 | 52.1 |
| 성 | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 13.1 | 35.5 | 51.4 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 6.5 | 24.0 | 69.5 |
| 연령 | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 8.5 | 46.0 | 45.5 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 5.0 | 27.0 | 68.1 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 5.2 | 22.9 | 71.9 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 7.1 | 28.0 | 64.9 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 19.5 | 33.2 | 47.3 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 25.1 | 30.0 | 44.9 |
| 교육수준 | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 27.9 | 32.4 | 39.8 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 16.6 | 35.1 | 48.3 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 8.2 | 34.6 | 57.3 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 7.1 | 28.3 | 64.6 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 5.6 | 23.3 | 71.2 |
| 직업 | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 7.4 | 26.2 | 66.4 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 5.5 | 21.2 | 73.2 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 6.5 | 28.2 | 65.3 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 25.1 | 36.4 | 38.5 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 10.5 | 33.6 | 55.9 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 13.9 | 34.0 | 52.1 |
| 학생 | 100.0( 929) | 7.7 | 42.2 | 50.1 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,778) | 6.7 | 21.3 | 72.0 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 631) | 20.2 | 33.9 | 45.9 |
| 51~100만원 | 100.0(2,201) | 9.1 | 33.6 | 57.4 |
| 101~150만원 | 100.0(3,390) | 8.3 | 28.8 | 62.9 |
| 151~200만원 | 100.0( 135) | 8.6 | 25.2 | 66.2 |
| 201만원 이상 | 100.0( 123) | 6.8 | 27.0 | 66.2 |

〈附表 Ⅰ-33〉 계속

| | 남 자 | | | | 여 자 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 닮지 않음 | 가끔 닮음 | 꼭 닮음 | 계(N) | 닮지 않음 | 가끔 닮음 | 꼭 닮음 |
| 전 체 | 100.0(3,107) | 13.1 | 35.5 | 51.4 | 100.0(3,373) | 6.5 | 24.0 | 69.5 |
| 거주지 | | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(2,468) | 11.3 | 35.1 | 53.6 | 100.0(2,621) | 4.7 | 23.1 | 72.2 |
| 군지역 | 100.0( 639) | 20.3 | 37.1 | 42.6 | 100.0( 752) | 12.6 | 27.4 | 60.0 |
| 연령 | | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 362) | 10.4 | 52.0 | 37.6 | 100.0( 401) | 6.8 | 40.7 | 52.5 |
| 20~29세 | 100.0( 667) | 8.3 | 37.2 | 54.5 | 100.0( 764) | 2.1 | 18.0 | 79.9 |
| 30~39세 | 100.0( 793) | 8.7 | 31.4 | 59.9 | 100.0( 816) | 1.9 | 14.5 | 83.6 |
| 40~49세 | 100.0( 602) | 10.4 | 33.2 | 56.4 | 100.0( 590) | 3.7 | 22.7 | 73.6 |
| 50~59세 | 100.0( 443) | 23.9 | 33.5 | 42.6 | 100.0( 479) | 15.5 | 33.0 | 51.5 |
| 60~69세 | 100.0( 240) | 32.6 | 29.1 | 38.3 | 100.0( 323) | 19.5 | 30.7 | 49.8 |
| 교육수준 | | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 89) | 38.2 | 38.7 | 23.1 | 100.0( 316) | 25.0 | 30.6 | 44.4 |
| 국졸 | 100.0( 386) | 25.9 | 37.5 | 36.6 | 100.0( 586) | 10.5 | 33.5 | 55.9 |
| 중졸 | 100.0( 461) | 14.1 | 42.1 | 43.8 | 100.0( 575) | 3.4 | 28.4 | 68.1 |
| 고졸 | 100.0(1,349) | 10.7 | 35.6 | 53.7 | 100.0(1,327) | 3.4 | 20.9 | 75.7 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 822) | 7.8 | 30.4 | 61.8 | 100.0( 569) | 2.3 | 12.9 | 84.8 |
| 직업 | | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 289) | 11.0 | 29.9 | 59.1 | 100.0( 142) | - | 18.6 | 81.4 |
| 사무직 | 100.0( 368) | 6.0 | 22.4 | 71.6 | 100.0( 178) | 4.6 | 18.8 | 76.6 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 403) | 9.3 | 32.8 | 57.9 | 100.0( 414) | 3.8 | 23.7 | 72.5 |
| 농·어업 | 100.0( 334) | 30.1 | 38.1 | 31.9 | 100.0( 319) | 19.9 | 34.6 | 45.5 |
| 기능직 | 100.0( 717) | 11.9 | 36.0 | 52.1 | 100.0( 121) | 2.2 | 19.5 | 78.4 |
| 단순노무직 | 100.0( 259) | 17.2 | 40.3 | 42.5 | 100.0( 229) | 10.3 | 26.9 | 62.8 |
| 학생 | 100.0( 472) | 10.1 | 49.1 | 40.8 | 100.0( 457) | 5.2 | 35.0 | 59.7 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0( 265) | 14.7 | 30.7 | 54.6 | 100.0(1,513) | 5.3 | 19.6 | 75.0 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 335) | 24.6 | 37.7 | 37.6 | 100.0( 442) | 16.8 | 31.0 | 52.2 |
| 51~100만원 | 100.0( 795) | 12.7 | 40.4 | 47.0 | 100.0( 875) | 5.8 | 27.4 | 66.8 |
| 101~150만원 | 100.0( 810) | 13.0 | 35.5 | 51.5 | 100.0( 879) | 4.0 | 22.7 | 73.3 |
| 151~200만원 | 100.0( 589) | 11.4 | 32.9 | 55.7 | 100.0( 626) | 5.9 | 18.1 | 76.0 |
| 201만원 이상 | 100.0( 578) | 9.7 | 31.8 | 58.4 | 100.0( 551) | 3.8 | 21.9 | 74.3 |

〈附表 Ⅰ-34〉 社會經濟的 特性 및 性別 齒科 訪問頻度

(單位: %)

| | 전 체 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 가지 않음 | 치아 문제시 | 몇 년에 한번 | 1년에 한 번 | 1년에 두 번 | 1년에 세번 이상 |
| 전 체 | 100.0(6,480) | 30.6 | 56.5 | 6.2 | 3.6 | 2.0 | 1.1 |
| 거주지 | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 30.3 | 56.2 | 6.6 | 3.8 | 2.0 | 1.2 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 31.8 | 57.6 | 4.8 | 2.9 | 2.1 | 0.8 |
| 성 | | | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 35.8 | 51.3 | 5.8 | 3.8 | 1.8 | 1.4 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 25.8 | 61.3 | 6.5 | 3.4 | 2.1 | 0.8 |
| 연령 | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 34.8 | 53.9 | 6.3 | 1.8 | 1.9 | 1.3 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 35.5 | 52.3 | 5.1 | 4.1 | 2.2 | 0.8 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 29.8 | 54.4 | 7.4 | 4.9 | 2.7 | 0.9 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 28.8 | 58.7 | 6.3 | 4.3 | 1.3 | 0.6 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 23.3 | 64.5 | 5.6 | 2.8 | 1.0 | 2.7 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 30.5 | 59.1 | 6.1 | 1.3 | 2.5 | 0.6 |
| 교육수준 | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 35.5 | 56.3 | 4.9 | 1.1 | 1.1 | 1.1 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 30.4 | 59.0 | 5.3 | 2.3 | 1.5 | 1.5 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 31.2 | 56.3 | 7.9 | 2.7 | 0.7 | 1.2 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 32.9 | 56.0 | 5.3 | 3.1 | 1.9 | 0.9 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 24.6 | 56.0 | 7.5 | 7.0 | 3.7 | 1.1 |
| 직업 | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 25.8 | 54.0 | 7.1 | 7.7 | 3.7 | 1.6 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 27.3 | 54.8 | 8.3 | 6.4 | 2.5 | 0.7 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 30.1 | 58.5 | 5.2 | 3.1 | 2.0 | 1.1 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 29.0 | 61.0 | 4.9 | 2.8 | 1.6 | 0.7 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 43.6 | 45.9 | 5.2 | 2.9 | 0.9 | 1.6 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 31.0 | 58.1 | 6.6 | 2.0 | 1.3 | 1.0 |
| 학생 | 100.0( 929) | 33.6 | 53.0 | 6.0 | 3.7 | 2.0 | 1.7 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,778) | 25.9 | 61.4 | 6.7 | 3.1 | 2.2 | 0.7 |
| 의료보장 | | | | | | | |
| 공교의료보험 | 100.0( 631) | 24.1 | 60.9 | 7.1 | 4.4 | 2.5 | 1.0 |
| 직장의료보험 | 100.0(2,201) | 28.9 | 55.3 | 7.7 | 4.5 | 2.2 | 1.3 |
| 지역의료보험 | 100.0(3,390) | 32.4 | 56.7 | 5.2 | 3.0 | 1.7 | 1.0 |
| 의료보호 | 100.0( 135) | 33.5 | 56.2 | 4.9 | 3.2 | 2.3 | - |
| 없음 | 100.0( 123) | 42.4 | 50.6 | 2.6 | 1.1 | 1.9 | 1.4 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 34.5 | 56.1 | 6.3 | 1.2 | 1.2 | 0.7 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 34.6 | 54.7 | 5.5 | 2.8 | 1.8 | 0.6 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 29.0 | 59.7 | 5.4 | 3.8 | 1.4 | 0.7 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 29.1 | 55.4 | 7.5 | 3.9 | 2.4 | 1.8 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 26.7 | 55.1 | 7.3 | 6.1 | 3.4 | 1.4 |

〈附表 Ⅰ-34〉 계속

| | 남 자 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 가지 않음 | 치아 문제시 | 몇 년에 한 번 | 1년에 한 번 | 1년에 두 번 | 1년에 세 번 이상 |
| 전 체 | 100.0(3,107) | 35.8 | 51.3 | 5.8 | 3.8 | 1.8 | 1.4 |
| 거주지 | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(2,468) | 36.1 | 51.0 | 5.7 | 3.8 | 1.7 | 1.7 |
| 군지역 | 100.0( 639) | 34.7 | 52.4 | 6.0 | 3.9 | 2.4 | 0.6 |
| 연령 | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 362) | 40.7 | 49.0 | 4.0 | 2.2 | 1.6 | 2.5 |
| 20~29세 | 100.0( 667) | 44.7 | 43.3 | 5.7 | 4.5 | 1.6 | 0.2 |
| 30~39세 | 100.0( 793) | 35.6 | 50.5 | 6.5 | 3.4 | 2.9 | 1.2 |
| 40~49세 | 100.0( 602) | 33.6 | 53.5 | 5.9 | 5.2 | 1.4 | 0.5 |
| 50~59세 | 100.0( 443) | 26.0 | 59.3 | 5.8 | 3.7 | 1.0 | 4.3 |
| 60~69세 | 100.0( 240) | 28.4 | 59.3 | 6.3 | 2.7 | 1.9 | 1.4 |
| 교육수준 | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 89) | 32.3 | 55.9 | 4.4 | 1.2 | 1.4 | 4.7 |
| 국졸 | 100.0( 386) | 36.0 | 52.5 | 6.2 | 2.6 | 1.1 | 1.6 |
| 중졸 | 100.0( 461) | 39.8 | 47.8 | 6.7 | 3.2 | 0.5 | 1.9 |
| 고졸 | 100.0(1,349) | 38.2 | 51.9 | 4.3 | 2.8 | 1.4 | 1.4 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 822) | 29.9 | 51.1 | 7.7 | 6.7 | 3.7 | 0.9 |
| 직업 | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 289) | 28.3 | 51.2 | 8.4 | 6.3 | 3.4 | 2.4 |
| 사무직 | 100.0( 368) | 29.9 | 52.1 | 9.3 | 6.5 | 1.8 | 0.3 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 403) | 33.0 | 55.6 | 4.6 | 2.7 | 2.3 | 1.8 |
| 농·어업 | 100.0( 334) | 30.8 | 58.7 | 4.4 | 3.6 | 2.2 | 0.4 |
| 기능직 | 100.0( 717) | 45.5 | 44.6 | 4.9 | 2.9 | 0.5 | 1.5 |
| 단순노무직 | 100.0( 259) | 35.1 | 55.3 | 6.0 | 0.7 | 1.6 | 1.2 |
| 학생 | 100.0( 472) | 39.8 | 48.2 | 4.2 | 4.4 | 1.4 | 1.9 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0( 265) | 30.5 | 53.7 | 6.5 | 3.9 | 3.4 | 2.0 |
| 의료보장 | | | | | | | |
| 공교의료보험 | 100.0( 293) | 31.0 | 54.9 | 6.7 | 5.1 | 0.9 | 1.5 |
| 직장의료보험 | 100.0(1,035) | 34.4 | 48.5 | 8.1 | 4.9 | 2.2 | 1.8 |
| 지역의료보험 | 100.0(1,671) | 37.0 | 52.4 | 4.4 | 3.1 | 1.7 | 1.3 |
| 의료보호 | 100.0( 48) | 35.3 | 58.3 | 4.4 | 1.0 | 1.0 | - |
| 없음 | 100.0( 60) | 51.1 | 42.5 | 1.8 | 1.4 | 3.1 | - |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 335) | 38.7 | 51.5 | 6.0 | 1.5 | 1.0 | 1.3 |
| 51~100만원 | 100.0( 795) | 37.5 | 51.6 | 5.1 | 3.5 | 1.6 | 0.7 |
| 101~150만원 | 100.0( 810) | 33.9 | 54.9 | 4.1 | 4.1 | 2.0 | 1.0 |
| 151~200만원 | 100.0( 589) | 32.8 | 51.5 | 7.9 | 4.0 | 1.6 | 2.2 |
| 201만원 이상 | 100.0( 578) | 37.9 | 45.1 | 6.8 | 5.3 | 2.8 | 2.1 |

〈附表 Ⅰ-34〉 계속

| | 여 자 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 가지 않음 | 치아 문제시 | 몇 년에 한 번 | 1년에 한 번 | 1년에 두 번 | 1년에 세번 이상 |
| 전 체 | 100.0(3,373) | 25.8 | 61.3 | 6.5 | 3.4 | 2.1 | 0.8 |
| 거주지 | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(2,621) | 24.8 | 61.1 | 7.3 | 3.8 | 2.2 | 0.7 |
| 군지역 | 100.0( 752) | 29.4 | 62.0 | 3.8 | 2.1 | 1.8 | 1.0 |
| 연령 | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 401) | 29.6 | 58.2 | 8.4 | 1.5 | 2.2 | 0.1 |
| 20~29세 | 100.0( 764) | 27.6 | 60.2 | 4.5 | 3.7 | 2.8 | 1.3 |
| 30~39세 | 100.0( 816) | 24.2 | 58.2 | 8.2 | 6.3 | 2.5 | 0.6 |
| 40~49세 | 100.0( 590) | 23.9 | 64.1 | 6.7 | 3.5 | 1.1 | 0.7 |
| 50~59세 | 100.0( 479) | 20.8 | 69.4 | 5.5 | 1.9 | 1.1 | 1.3 |
| 60~69세 | 100.0( 323) | 32.1 | 59.0 | 5.9 | 0.2 | 2.9 | - |
| 교육수준 | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 316) | 36.4 | 56.4 | 5.0 | 1.1 | 1.0 | 0.1 |
| 국졸 | 100.0( 586) | 26.7 | 63.3 | 4.8 | 2.0 | 1.8 | 1.4 |
| 중졸 | 100.0( 575) | 24.2 | 63.2 | 8.9 | 2.2 | 0.9 | 0.6 |
| 고졸 | 100.0(1,327) | 27.4 | 60.0 | 6.4 | 3.4 | 2.4 | 0.4 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 569) | 17.1 | 63.1 | 7.2 | 7.5 | 3.7 | 1.4 |
| 직업 | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 142) | 20.7 | 59.8 | 4.3 | 10.7 | 4.5 | - |
| 사무직 | 100.0( 178) | 22.0 | 60.3 | 6.2 | 6.0 | 3.9 | 1.6 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 414) | 27.2 | 81.3 | 5.8 | 3.5 | 1.7 | 0.5 |
| 농·어업 | 100.0( 319) | 27.1 | 63.5 | 5.4 | 1.9 | 1.0 | 1.0 |
| 기능직 | 100.0( 121) | 32.6 | 53.4 | 6.5 | 2.6 | 3.0 | 1.9 |
| 단순노무직 | 100.0( 229) | 26.3 | 61.2 | 7.3 | 3.6 | 0.9 | 0.8 |
| 학생 | 100.0( 457) | 27.1 | 58.0 | 7.9 | 2.9 | 2.8 | 1.4 |
| 기타(주부, 군인 무직) | 100.0(1,513) | 25.1 | 62.8 | 6.7 | 2.9 | 2.0 | 0.5 |
| 의료보장 | | | | | | | |
| 공교의료보험 | 100.0( 338) | 18.2 | 66.0 | 7.5 | 3.8 | 4.0 | 0.6 |
| 직장의료보험 | 100.0(1,166) | 24.0 | 61.3 | 7.4 | 4.2 | 2.1 | 0.9 |
| 지역의료보험 | 100.0(1,719) | 28.0 | 60.8 | 6.0 | 2.9 | 1.8 | 0.6 |
| 의료보호 | 100.0( 87) | 32.4 | 55.0 | 5.1 | 4.3 | 3.0 | - |
| 없음 | 100.0( 63) | 34.1 | 58.4 | 3.3 | 0.7 | 0.7 | 2.8 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 442) | 31.4 | 59.6 | 6.5 | 0.9 | 1.4 | 0.2 |
| 51~100만원 | 100.0( 875) | 31.9 | 57.6 | 5.8 | 2.1 | 2.0 | 0.6 |
| 101~150만원 | 100.0( 879) | 24.4 | 64.2 | 6.5 | 3.6 | 0.8 | 0.5 |
| 151~200만원 | 100.0( 626) | 25.6 | 59.0 | 7.0 | 3.8 | 3.2 | 1.4 |
| 201만원 이상 | 100.0( 551) | 15.0 | 65.6 | 7.8 | 7.0 | 4.0 | 0.7 |

〈附表 Ⅰ-35〉 社會經濟的 特性 및 性別 健康檢診 與否

(單位: %)

| | 전 체 | | | 남 자 | | | 여 자 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 예 | 아니오 | 계(N) | 예 | 아니오 | 계(N) | 예 | 아니오 |
| 전 체 | 100.0(6,480) | 36.1 | 63.9 | 100.0(3,107) | 41.8 | 58.2 | 100.0(3,373) | 30.9 | 69.1 |
| 거주지 | | | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 36.9 | 63.1 | 100.0(2,468) | 43.1 | 56.9 | 100.0(2,621) | 31.1 | 68.9 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 33.1 | 63.9 | 100.0( 639) | 36.7 | 63.2 | 100.0( 752) | 30.1 | 69.9 |
| 성 | | | | | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 41.8 | 58.2 | - | - | - | - | - | - |
| 여자 | 100.0(3,373) | 30.9 | 69.1 | - | - | - | - | - | - |
| 연령 | | | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 39.4 | 60.6 | 100.0( 362) | 39.5 | 60.5 | 100.0( 401) | 39.3 | 60.7 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 31.9 | 68.1 | 100.0( 667) | 33.7 | 66.3 | 100.0( 764) | 30.3 | 69.7 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 34.5 | 65.5 | 100.0( 793) | 43.8 | 56.2 | 100.0( 816) | 25.4 | 74.6 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 42.7 | 57.3 | 100.0( 602) | 49.2 | 50.8 | 100.0( 590) | 35.9 | 64.1 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 38.1 | 61.9 | 100.0( 443) | 46.1 | 53.9 | 100.0( 479) | 30.8 | 69.2 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 29.7 | 70.3 | 100.0( 240) | 34.3 | 65.7 | 100.0( 323) | 26.2 | 73.8 |
| 교육수준 | | | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 22.7 | 77.3 | 100.0( 89) | 19.4 | 80.6 | 100.0( 316) | 23.6 | 76.4 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 30.7 | 69.3 | 100.0( 386) | 35.8 | 64.2 | 100.0( 586) | 27.5 | 72.5 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 33.2 | 66.8 | 100.0( 461) | 36.7 | 63.3 | 100.0( 575) | 30.3 | 69.7 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 38.0 | 62.0 | 100.0(1,349) | 41.7 | 58.3 | 100.0(1,327) | 34.1 | 65.9 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 42.2 | 57.8 | 100.0( 822) | 50.0 | 50.0 | 100.0( 569) | 30.9 | 69.1 |
| 결혼상태 | | | | | | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,826) | 35.9 | 64.1 | 100.0( 979) | 35.0 | 65.0 | 100.0( 847) | 36.8 | 63.2 |
| 유배우 | 100.0(4,223) | 36.8 | 63.2 | 100.0(2,065) | 45.5 | 54.5 | 100.0(2,158) | 28.5 | 71.5 |
| 이혼/기타 | 100.0( 431) | 30.0 | 70.0 | 100.0( 63) | 23.4 | 76.6 | 100.0( 368) | 31.2 | 68.8 |
| 직업 | | | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 52.3 | 47.7 | 100.0( 289) | 59.1 | 40.9 | 100.0( 142) | 38.3 | 61.7 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 62.7 | 37.3 | 100.0( 368) | 69.5 | 30.5 | 100.0( 178) | 48.5 | 51.5 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 33.3 | 66.7 | 100.0( 403) | 31.2 | 68.8 | 100.0( 414) | 35.3 | 64.7 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 26.1 | 73.9 | 100.0( 334) | 27.3 | 72.7 | 100.0( 319) | 24.7 | 75.3 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 42.9 | 57.1 | 100.0( 717) | 43.3 | 56.7 | 100.0( 121) | 40.5 | 59.5 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 34.3 | 65.7 | 100.0( 259) | 33.8 | 66.2 | 100.0( 229) | 34.8 | 65.2 |
| 학생 | 100.0( 929) | 36.2 | 63.8 | 100.0( 472) | 35.9 | 64.1 | 100.0( 457) | 36.5 | 63.5 |
| 기타(주부, 군인 무직) | 100.0(1,778) | 26.2 | 73.8 | 100.0( 265) | 32.3 | 67.7 | 100.0(1,513) | 25.1 | 74.9 |
| 의료보장 | | | | | | | | | |
| 공교의료보험 | 100.0( 631) | 52.8 | 47.2 | 100.0( 293) | 65.2 | 34.8 | 100.0( 338) | 42.1 | 57.9 |
| 직장의료보험 | 100.0(2,201) | 46.5 | 53.5 | 100.0(1,035) | 57.5 | 42.5 | 100.0(1,166) | 36.8 | 63.2 |
| 지역의료보험 | 100.0(3,390) | 27.3 | 72.7 | 100.0(1,671) | 28.9 | 71.1 | 100.0(1,719) | 25.8 | 74.2 |
| 의료보호 | 100.0( 135) | 24.9 | 75.1 | 100.0( 48) | 27.2 | 72.8 | 100.0( 87) | 23.7 | 76.3 |
| 없음 | 100.0( 123) | 18.0 | 82.0 | 100.0( 60) | 27.9 | 72.1 | 100.0( 63) | 8.6 | 91.4 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 25.7 | 74.3 | 100.0( 335) | 26.1 | 73.9 | 100.0( 442) | 25.5 | 74.5 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 30.6 | 69.4 | 100.0( 795) | 33.8 | 66.2 | 100.0( 875) | 27.7 | 72.3 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 37.5 | 62.5 | 100.0( 810) | 46.0 | 54.0 | 100.0( 879) | 29.7 | 70.3 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 39.0 | 61.0 | 100.0( 589) | 44.3 | 55.7 | 100.0( 626) | 34.1 | 65.9 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 45.9 | 54.1 | 100.0( 578) | 53.5 | 46.5 | 100.0( 551) | 37.9 | 62.1 |

〈附表 Ⅰ-36〉 社會經濟的 特性 및 性別 지난 1年間 各種 檢査率[1)]

(單位: %)

| | 전 체 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | (N) | 위암 | 간암 | 폐암 | 장암 | 유방암[2)] | 자궁암[2)] | 에이즈 |
| 전 체 | (6,480) | 7.0 | 6.8 | 5.1 | 4.0 | 6.1 | 19.6 | 3.8 |
| 거주지 | | | | | | | | |
| 시지역 | (5,089) | 7.4 | 7.4 | 5.7 | 4.4 | 6.2 | 19.8 | 4.2 |
| 군지역 | (1,391) | 5.3 | 4.5 | 3.1 | 2.7 | 5.5 | 19.1 | 2.5 |
| 성 | | | | | | | | |
| 남자 | (3,107) | 8.9 | 9.9 | 7.2 | 5.2 | - | - | 5.0 |
| 여자 | (3,373) | 5.2 | 3.9 | 3.3 | 3.0 | 6.1 | 19.6 | 2.7 |
| 연령 | | | | | | | | |
| 15~19세 | ( 763) | 0.6 | 0.3 | 1.7 | 0.4 | - | - | 1.8 |
| 20~29세 | (1,431) | 3.7 | 3.4 | 2.8 | 1.8 | 2.7 | 8.2 | 4.6 |
| 30~39세 | (1,609) | 7.0 | 7.2 | 4.8 | 3.7 | 9.2 | 31.5 | 3.8 |
| 40~49세 | (1,192) | 12.7 | 11.6 | 8.5 | 7.4 | 10.2 | 32.4 | 5.4 |
| 50~59세 | ( 922) | 10.4 | 10.3 | 7.9 | 6.5 | 7.5 | 22.7 | 3.3 |
| 60~69세 | ( 563) | 6.0 | 6.8 | 5.1 | 4.3 | 3.6 | 12.9 | 2.0 |
| 교육수준 | | | | | | | | |
| 무학 | ( 405) | 3.9 | 5.5 | 3.5 | 3.0 | 4.6 | 13.7 | 1.3 |
| 국졸 | ( 972) | 7.2 | 7.2 | 5.4 | 4.8 | 6.3 | 22.6 | 3.0 |
| 중졸 | (1,036) | 6.2 | 5.6 | 3.9 | 3.2 | 7.1 | 26.0 | 4.0 |
| 고졸 | (2,676) | 6.9 | 5.9 | 4.9 | 3.7 | 6.0 | 17.5 | 3.7 |
| 전문대졸 이상 | (1,391) | 8.5 | 9.4 | 6.8 | 5.0 | 5.6 | 18.4 | 5.1 |
| 결혼상태 | | | | | | | | |
| 미혼 | (1,826) | 2.8 | 3.1 | 3.0 | 1.5 | 1.0 | 0.8 | 3.6 |
| 유배우 | (4,223) | 8.8 | 8.3 | 6.1 | 5.0 | 8.2 | 27.5 | 4.0 |
| 이혼/기타 | ( 431) | 6.6 | 7.5 | 4.9 | 4.8 | 5.1 | 16.8 | 2.8 |
| 직업 | | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | ( 431) | 14.2 | 15.7 | 12.2 | 8.7 | 7.2 | 16.1 | 6.8 |
| 사무직 | ( 546) | 14.4 | 15.2 | 12.1 | 9.4 | 4.3 | 4.7 | 8.6 |
| 판매·서비스직 | ( 817) | 7.3 | 8.1 | 5.7 | 3.7 | 7.3 | 25.1 | 4.6 |
| 농·어업 | ( 653) | 5.8 | 4.9 | 3.3 | 2.6 | 6.9 | 24.5 | 1.2 |
| 기능직 | ( 838) | 7.6 | 8.6 | 5.7 | 4.0 | 2.8 | 23.7 | 5.3 |
| 단순노무직 | ( 488) | 4.2 | 5.7 | 3.8 | 3.4 | 4.7 | 19.9 | 4.2 |
| 학생 | ( 929) | 1.6 | 1.2 | 1.4 | 0.5 | - | - | 2.1 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | (1,778) | 6.5 | 4.5 | 3.8 | 3.9 | 7.9 | 24.7 | 2.3 |
| 의료보장 | | | | | | | | |
| 공교의료보험 | ( 631) | 9.2 | 7.6 | 5.7 | 4.9 | 5.3 | 22.1 | 4.2 |
| 직장의료보험 | (2,201) | 9.0 | 9.6 | 7.3 | 5.6 | 7.6 | 21.0 | 5.0 |
| 지역의료보험 | (3,390) | 5.6 | 5.1 | 3.9 | 3.0 | 5.3 | 18.7 | 3.1 |
| 의료보호 | ( 135) | 1.7 | 1.5 | 0.9 | 0.9 | 6.7 | 14.7 | 2.2 |
| 없음 | ( 123) | 3.2 | 5.4 | 4.0 | 3.0 | 1.4 | 13.8 | 1.8 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | | |
| 50만원 이하 | ( 777) | 4.6 | 5.0 | 3.4 | 2.5 | 3.7 | 14.4 | 2.0 |
| 51~100만원 | (1,670) | 5.5 | 4.4 | 3.6 | 3.0 | 5.2 | 16.4 | 3.9 |
| 101~150만원 | (1,689) | 6.8 | 7.0 | 4.5 | 3.7 | 5.6 | 20.3 | 3.3 |
| 151~200만원 | (1,215) | 7.5 | 7.0 | 5.5 | 4.0 | 6.1 | 24.8 | 5.0 |
| 201만원 이상 | (1,129) | 10.5 | 11.1 | 9.1 | 6.9 | 9.8 | 22.3 | 4.4 |

註: 1) (검사받는 자 ÷ 조사대상자) × 100
2) 여성 대상자에 한함.

〈附表 Ⅰ-36〉 계속

| | 남 자 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | (N) | 위암 | 간암 | 폐암 | 장암 | 유방암 | 자궁암 | 에이즈 |
| 전 체 | (3,107) | 8.9 | 9.9 | 7.2 | 5.2 | - | - | 5.0 |
| 거주지 | | | | | | | | |
| 시지역 | (2,468) | 9.5 | 10.9 | 8.0 | 5.7 | - | - | 5.4 |
| 군지역 | ( 639) | 6.4 | 6.1 | 4.1 | 3.0 | - | - | 3.4 |
| 연령 | | | | | | | | |
| 15~19세 | ( 362) | 0.3 | 0.2 | 0.5 | - | - | - | 1.1 |
| 20~29세 | ( 667) | 5.2 | 4.8 | 3.2 | 2.5 | - | - | 6.1 |
| 30~39세 | ( 793) | 8.5 | 11.0 | 7.2 | 4.5 | - | - | 5.1 |
| 40~49세 | ( 602) | 16.2 | 16.3 | 12.5 | 9.7 | - | - | 6.8 |
| 50~59세 | ( 443) | 13.0 | 15.6 | 10.8 | 7.7 | - | - | 4.5 |
| 60~69세 | ( 240) | 6.9 | 8.6 | 8.0 | 6.5 | - | - | 3.4 |
| 교육수준 | | | | | | | | |
| 무학 | ( 89) | 4.8 | 4.8 | 4.0 | 3.9 | - | - | 2.7 |
| 국졸 | ( 386) | 8.6 | 11.4 | 8.6 | 6.5 | - | - | 3.9 |
| 중졸 | ( 461) | 5.7 | 5.6 | 3.4 | 2.3 | - | - | 4.0 |
| 고졸 | (1,349) | 8.1 | 8.4 | 6.4 | 4.4 | - | - | 4.3 |
| 전문대졸 이상 | ( 822) | 12.4 | 14.6 | 10.2 | 7.5 | - | - | 7.3 |
| 결혼상태 | | | | | | | | |
| 미혼 | ( 979) | 3.5 | 4.3 | 2.9 | 1.9 | - | - | 4.2 |
| 유배우 | (2,065) | 11.4 | 12.6 | 9.2 | 6.6 | - | - | 5.4 |
| 이혼/기타 | ( 63) | 7.2 | 8.4 | 7.2 | 7.7 | - | - | 3.4 |
| 직업 | | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | ( 289) | 18.8 | 22.3 | 17.4 | 11.4 | - | - | 9.2 |
| 사무직 | ( 368) | 18.3 | 19.4 | 14.5 | 11.8 | - | - | 8.9 |
| 판매·서비스직 | ( 403) | 7.5 | 9.2 | 6.2 | 3.2 | - | - | 3.5 |
| 농·어업 | ( 334) | 7.1 | 7.5 | 4.6 | 3.6 | - | - | 1.4 |
| 기능직 | ( 717) | 8.4 | 9.7 | 6.4 | 4.6 | - | - | 5.9 |
| 단순노무직 | ( 259) | 5.1 | 5.6 | 5.3 | 3.6 | - | - | 5.5 |
| 학생 | ( 472) | 2.1 | 2.0 | 0.8 | 0.4 | - | - | 2.9 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | ( 265) | 6.1 | 6.3 | 5.8 | 5.8 | - | - | 2.5 |
| 의료보장 | | | | | | | | |
| 공교의료보험 | ( 293) | 14.6 | 13.0 | 10.3 | 7.8 | - | - | 7.9 |
| 직장의료보험 | (1,035) | 12.2 | 14.2 | 11.0 | 7.7 | - | - | 7.5 |
| 지역의료보험 | (1,671) | 6.1 | 6.9 | 4.5 | 3.3 | - | - | 3.0 |
| 의료보호 | ( 48) | 4.0 | 2.9 | 1.7 | 1.7 | - | - | 4.3 |
| 없음 | ( 60) | 5.0 | 9.6 | 6.7 | 5.0 | - | - | 2.7 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | | |
| 50만원 이하 | ( 335) | 5.6 | 5.4 | 3.2 | 2.2 | - | - | 1.5 |
| 51~100만원 | ( 795) | 6.4 | 6.1 | 4.9 | 3.6 | - | - | 4.8 |
| 101~150만원 | ( 810) | 8.2 | 10.7 | 6.6 | 4.6 | - | - | 4.5 |
| 151~200만원 | ( 589) | 9.7 | 10.6 | 8.2 | 5.1 | - | - | 6.6 |
| 201만원 이상 | ( 578) | 14.4 | 16.2 | 12.3 | 9.7 | - | - | 6.5 |

〈附表 Ⅰ-36〉 계속

| | 여 자 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | (N) | 위암 | 간암 | 폐암 | 장암 | 유방암 | 자궁암 | 에이즈 |
| 전 체 | (3,373) | 5.2 | 3.9 | 3.3 | 3.0 | 6.1 | 19.6 | 2.7 |
| 거주지 | | | | | | | | |
| 시지역 | (2,621) | 5.5 | 4.2 | 3.6 | 3.2 | 6.2 | 19.8 | 3.0 |
| 군지역 | ( 752) | 4.4 | 3.2 | 2.3 | 2.4 | 5.5 | 19.1 | 1.8 |
| 연령 | | | | | | | | |
| 15~19세 | ( 401) | 0.9 | 0.5 | 2.9 | 0.8 | - | - | 2.3 |
| 20~29세 | ( 764) | 2.3 | 2.2 | 2.3 | 1.3 | 2.7 | 8.2 | 3.4 |
| 30~39세 | ( 816) | 5.5 | 3.6 | 2.6 | 3.0 | 9.2 | 31.5 | 2.6 |
| 40~49세 | ( 590) | 9.2 | 6.9 | 4.4 | 4.9 | 10.2 | 32.4 | 3.9 |
| 50~59세 | ( 479) | 8.0 | 5.5 | 5.3 | 5.4 | 7.5 | 22.7 | 2.2 |
| 60~69세 | ( 323) | 5.4 | 5.5 | 2.9 | 2.7 | 3.6 | 12.9 | 1.0 |
| 교육수준 | | | | | | | | |
| 무학 | ( 316) | 3.7 | 5.6 | 3.4 | 2.8 | 4.6 | 13.7 | 0.9 |
| 국졸 | ( 586) | 6.3 | 4.4 | 3.3 | 3.6 | 6.3 | 22.6 | 2.4 |
| 중졸 | ( 575) | 6.6 | 5.6 | 4.3 | 3.8 | 7.1 | 26.0 | 4.0 |
| 고졸 | (1,327) | 5.6 | 3.5 | 3.4 | 3.0 | 6.0 | 17.5 | 3.1 |
| 전문대졸 이상 | ( 569) | 2.8 | 1.9 | 1.8 | 1.5 | 5.6 | 18.4 | 2.0 |
| 결혼상태 | | | | | | | | |
| 미혼 | ( 847) | 1.9 | 1.7 | 3.1 | 1.1 | 1.0 | 0.8 | 2.9 |
| 유배우 | (2,158) | 6.3 | 4.2 | 3.2 | 3.5 | 8.2 | 27.5 | 2.7 |
| 이혼/기타 | ( 368) | 6.5 | 7.4 | 4.5 | 4.3 | 5.1 | 16.8 | 2.7 |
| 직업 | | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | ( 142) | 4.9 | 2.5 | 1.8 | 3.3 | 7.2 | 16.1 | 1.9 |
| 사무직 | ( 178) | 6.3 | 6.6 | 7.3 | 4.4 | 4.3 | 4.7 | 7.9 |
| 판매·서비스직 | ( 414) | 7.0 | 7.1 | 5.1 | 4.2 | 7.3 | 25.1 | 5.6 |
| 농·어업 | ( 319) | 4.5 | 2.1 | 1.9 | 1.4 | 6.9 | 24.5 | 1.0 |
| 기능직 | ( 121) | 2.4 | 2.1 | 1.5 | 0.9 | 2.8 | 23.7 | 2.0 |
| 단순노무직 | ( 229) | 3.3 | 5.8 | 2.0 | 3.3 | 4.7 | 19.9 | 2.9 |
| 학생 | ( 457) | 1.1 | 0.4 | 1.9 | 0.6 | - | - | 1.3 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | (1,513) | 6.6 | 4.2 | 3.5 | 3.6 | 7.9 | 11.1 | 2.3 |
| 의료보장 | | | | | | | | |
| 공교의료보험 | ( 338) | 4.6 | 2.9 | 1.8 | 2.5 | 5.3 | 22.1 | 1.0 |
| 직장의료보험 | (1,166) | 6.3 | 5.5 | 4.0 | 3.7 | 7.6 | 21.0 | 2.7 |
| 지역의료보험 | (1,719) | 5.0 | 3.3 | 3.3 | 2.8 | 5.3 | 18.7 | 3.2 |
| 의료보호 | ( 87) | 0.5 | 0.8 | 0.5 | 0.5 | 6.7 | 14.7 | 1.0 |
| 없음 | ( 63) | 1.4 | 1.5 | 1.5 | 1.0 | 1.4 | 13.8 | 1.0 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | | |
| 50만원 이하 | ( 442) | 3.8 | 4.7 | 3.6 | 2.8 | 3.7 | 14.4 | 2.3 |
| 51~100만원 | ( 875) | 4.7 | 2.8 | 2.3 | 2.4 | 5.2 | 16.4 | 3.0 |
| 101~150만원 | ( 879) | 5.5 | 3.6 | 2.5 | 2.9 | 5.6 | 20.3 | 2.3 |
| 151~200만원 | ( 626) | 5.6 | 3.6 | 3.1 | 3.0 | 6.1 | 24.9 | 3.5 |
| 201만원 이상 | ( 551) | 6.4 | 5.7 | 5.8 | 4.0 | 9.8 | 22.3 | 2.2 |

## 〈附表 Ⅰ-37〉 社會經濟的 特性 및 性別 血壓檢査 與否

(單位: %)

| | 전 체 | | | 남 자 | | | 여 자 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 예 | 아니오 | 계(N) | 예 | 아니오 | 계(N) | 예 | 아니오 |
| 전 체 | 100.0(6,480) | 78.4 | 21.6 | 100.0(3,107) | 77.6 | 22.4 | 100.0(3,373) | 79.1 | 20.9 |
| 거주지 | | | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 78.5 | 21.5 | 100.0(2,468) | 77.7 | 22.3 | 100.0(2,621) | 79.4 | 20.6 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 77.8 | 22.2 | 100.0( 639) | 77.3 | 22.7 | 100.0( 752) | 78.3 | 21.7 |
| 성 | | | | | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 77.6 | 22.4 | - | - | - | - | - | - |
| 여자 | 100.0(3,373) | 79.1 | 20.9 | - | - | - | - | - | - |
| 연령 | | | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 36.4 | 63.6 | 100.0( 362) | 37.8 | 62.2 | 100.0( 401) | 35.2 | 64.8 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 76.3 | 23.7 | 100.0( 667) | 77.5 | 22.5 | 100.0( 764) | 75.3 | 24.7 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 84.6 | 15.4 | 100.0( 793) | 82.2 | 17.8 | 100.0( 816) | 86.9 | 13.1 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 87.1 | 12.9 | 100.0( 602) | 86.3 | 13.7 | 100.0( 590) | 87.9 | 12.1 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 87.7 | 12.3 | 100.0( 443) | 85.4 | 14.6 | 100.0( 479) | 89.9 | 10.1 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 88.9 | 11.1 | 100.0( 240) | 85.8 | 14.2 | 100.0( 323) | 91.2 | 8.8 |
| 교육수준 | | | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 86.1 | 13.9 | 100.0( 89) | 81.9 | 18.1 | 100.0( 316) | 87.2 | 12.8 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 85.3 | 14.7 | 100.0( 386) | 82.6 | 17.4 | 100.0( 586) | 87.1 | 12.9 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 77.6 | 22.4 | 100.0( 461) | 75.5 | 24.5 | 100.0( 575) | 79.3 | 20.7 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 73.2 | 26.8 | 100.0(1,349) | 72.0 | 28.0 | 100.0(1,327) | 74.5 | 25.5 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 81.8 | 18.2 | 100.0( 822) | 85.1 | 14.9 | 100.0( 569) | 77.0 | 23.0 |
| 결혼상태 | | | | | | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,826) | 59.2 | 40.8 | 100.0( 979) | 64.2 | 35.8 | 100.0( 847) | 53.4 | 46.6 |
| 유배우 | 100.0(4,223) | 85.7 | 14.3 | 100.0(2,065) | 83.9 | 16.1 | 100.0(2,158) | 87.4 | 12.6 |
| 이혼/기타 | 100.0( 431) | 88.4 | 11.6 | 100.0( 63) | 79.1 | 20.9 | 100.0( 368) | 90.0 | 10.0 |
| 직업 | | | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 86.2 | 13.8 | 100.0( 289) | 90.2 | 9.8 | 100.0( 142) | 78.0 | 22.0 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 88.2 | 11.8 | 100.0( 368) | 91.2 | 8.8 | 100.0( 178) | 82.0 | 18.0 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 80.9 | 19.1 | 100.0( 403) | 75.8 | 24.2 | 100.0( 414) | 85.8 | 14.2 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 82.4 | 17.6 | 100.0( 334) | 80.0 | 20.0 | 100.0( 319) | 85.0 | 15.0 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 79.3 | 20.7 | 100.0( 717) | 78.9 | 21.1 | 100.0( 121) | 81.9 | 18.1 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 84.4 | 15.6 | 100.0( 259) | 82.4 | 17.6 | 100.0( 229) | 86.6 | 13.4 |
| 학생 | 100.0( 929) | 45.1 | 54.9 | 100.0( 472) | 51.0 | 49.0 | 100.0( 457) | 39.0 | 61.0 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,778) | 86.1 | 13.9 | 100.0( 265) | 83.7 | 16.3 | 100.0(1,513) | 86.5 | 13.5 |
| 의료보장 | | | | | | | | | |
| 공교의료보험 | 100.0( 631) | 82.8 | 17.2 | 100.0( 293) | 85.9 | 14.1 | 100.0( 338) | 80.2 | 19.8 |
| 직장의료보험 | 100.0(2,201) | 82.2 | 17.8 | 100.0(1,035) | 82.5 | 17.5 | 100.0(1,166) | 81.9 | 18.1 |
| 지역의료보험 | 100.0(3,390) | 75.4 | 24.6 | 100.0(1,671) | 73.4 | 26.6 | 100.0(1,719) | 77.2 | 22.8 |
| 의료보호 | 100.0( 135) | 80.2 | 19.8 | 100.0( 48) | 75.6 | 24.4 | 100.0( 87) | 82.7 | 17.3 |
| 없음 | 100.0( 123) | 68.5 | 31.5 | 100.0( 60) | 67.6 | 32.4 | 100.0( 63) | 69.2 | 30.8 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 79.5 | 20.5 | 100.0( 335) | 78.3 | 21.7 | 100.0( 442) | 80.4 | 19.6 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 77.2 | 22.8 | 100.0( 795) | 75.7 | 24.3 | 100.0( 875) | 78.5 | 21.5 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 80.0 | 20.0 | 100.0( 810) | 79.2 | 20.8 | 100.0( 879) | 80.7 | 19.3 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 76.4 | 23.6 | 100.0( 589) | 76.7 | 23.3 | 100.0( 626) | 76.2 | 23.8 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 80.1 | 19.9 | 100.0( 578) | 80.2 | 19.8 | 100.0( 551) | 80.1 | 19.9 |

〈附表 Ⅰ-38〉 社會經濟的 特性 및 性別 健康知識源[1)]

(單位: %)

| | 전 체 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 없음 | 대중매체 | 가족 | 학교선생 | 전문가 | 책자 | 기타 |
| 전 체 | 100.0(6,088) | 10.3 | 66.7 | 7.5 | 1.9 | 6.3 | 6.6 | 0.8 |
| 거주지 | | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(4,956) | 9.9 | 66.7 | 7.9 | 1.6 | 5.9 | 7.1 | 0.9 |
| 군지역 | 100.0(1,132) | 12.1 | 66.5 | 5.6 | 2.9 | 8.3 | 4.1 | 0.6 |
| 성 | | | | | | | | |
| 남자 | 100.0(2,944) | 10.0 | 67.2 | 7.4 | 1.9 | 6.2 | 6.4 | 0.9 |
| 여자 | 100.0(3,144) | 10.5 | 66.2 | 7.6 | 1.9 | 6.5 | 6.7 | 0.7 |
| 연령 | | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 755) | 9.5 | 57.2 | 11.4 | 13.0 | 2.3 | 6.6 | - |
| 20~29세 | 100.0(1,414) | 6.7 | 69.3 | 6.7 | 0.7 | 6.1 | 9.5 | 1.1 |
| 30~39세 | 100.0(1,582) | 6.9 | 72.7 | 7.1 | - | 5.5 | 7.0 | 0.8 |
| 40~49세 | 100.0(1,137) | 10.8 | 69.0 | 5.7 | 0.1 | 7.1 | 6.6 | 0.8 |
| 50~59세 | 100.0( 794) | 15.6 | 61.4 | 9.3 | 0.5 | 8.4 | 3.7 | 1.1 |
| 60~69세 | 100.0( 406) | 25.7 | 55.8 | 5.8 | 0.1 | 11.3 | 0.7 | 0.6 |
| 교육수준 | | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 281) | 39.4 | 44.9 | 9.3 | 0.2 | 5.4 | 0.9 | 0.1 |
| 국졸 | 100.0( 814) | 17.3 | 61.4 | 8.8 | - | 8.7 | 2.2 | 1.6 |
| 중졸 | 100.0( 983) | 11.6 | 65.2 | 8.9 | 2.9 | 5.1 | 5.5 | 0.9 |
| 고졸 | 100.0(2,626) | 7.9 | 68.0 | 7.3 | 2.9 | 6.3 | 7.3 | 0.4 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,384) | 3.7 | 72.8 | 5.5 | 0.7 | 6.4 | 9.8 | 1.1 |
| 결혼상태 | | | | | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,806) | 8.2 | 64.3 | 8.7 | 5.9 | 3.6 | 9.3 | 0.9 |
| 유배우 | 100.0(3,934) | 9.9 | 69.2 | 6.7 | 0.1 | 7.4 | 5.9 | 0.7 |
| 이혼/기타 | 100.0( 348) | 24.9 | 50.2 | 9.5 | 0.8 | 7.8 | 4.9 | 1.8 |
| 직업 | | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 425) | 2.4 | 69.2 | 6.8 | 0.7 | 9.7 | 10.6 | 0.5 |
| 사무직 | 100.0( 544) | 8.3 | 74.3 | 3.7 | 0.4 | 7.3 | 7.1 | 0.8 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 787) | 9.3 | 67.4 | 8.0 | 0.1 | 7.3 | 7.5 | 0.4 |
| 농·어업 | 100.0( 471) | 16.9 | 67.3 | 6.2 | 0.1 | 8.5 | 0.9 | 0.3 |
| 기능직 | 100.0( 810) | 8.3 | 73.4 | 7.7 | 0.4 | 3.3 | 5.8 | 1.1 |
| 단순노무직 | 100.0( 447) | 20.5 | 56.2 | 7.1 | 0.1 | 8.7 | 4.1 | 3.3 |
| 학생 | 100.0( 923) | 8.7 | 58.8 | 10.1 | 10.7 | 2.3 | 8.4 | 1.1 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,681) | 10.6 | 67.7 | 7.5 | 0.3 | 7.1 | 6.6 | 0.2 |
| 의료보장 | | | | | | | | |
| 공교의료보험 | 100.0( 601) | 6.3 | 68.1 | 9.3 | 1.1 | 4.6 | 10.1 | 0.5 |
| 직장의료보험 | 100.0(2,090) | 9.0 | 67.0 | 7.0 | 1.6 | 7.6 | 7.0 | 0.8 |
| 지역의료보험 | 100.0(3,180) | 11.3 | 66.3 | 7.4 | 2.0 | 6.0 | 6.0 | 0.9 |
| 의료보호 | 100.0( 104) | 22.1 | 52.6 | 8.6 | 6.0 | 9.0 | 1.4 | 0.2 |
| 없음 | 100.0( 113) | 13.3 | 75.5 | 5.8 | 2.4 | 0.4 | 1.5 | 1.3 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 618) | 19.9 | 60.8 | 5.8 | 2.1 | 7.0 | 4.0 | 0.4 |
| 51~100만원 | 100.0(1,550) | 12.7 | 64.5 | 7.4 | 2.3 | 6.0 | 6.4 | 0.8 |
| 101~150만원 | 100.0(1,643) | 8.3 | 67.9 | 7.6 | 1.4 | 7.0 | 7.2 | 0.6 |
| 151~200만원 | 100.0(1,173) | 6.7 | 71.5 | 7.7 | 2.0 | 5.5 | 5.8 | 0.8 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,104) | 6.4 | 68.4 | 8.3 | 1.0 | 6.6 | 8.1 | 1.2 |

註: 1) 무응답 392명 제외

〈附表 Ⅰ-38〉 계속

| | 남 자[1] | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 없음 | 대중매체 | 가족 | 학교선생 | 전문가 | 책자 | 기타 |
| 전 체 | 100.0(2,944) | 10.0 | 67.2 | 7.4 | 1.9 | 6.2 | 6.4 | 0.9 |
| 거주지 | | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(2,416) | 9.9 | 67.0 | 7.9 | 1.7 | 5.6 | 7.0 | 1.0 |
| 군지역 | 100.0( 528) | 10.4 | 68.3 | 4.9 | 2.9 | 8.8 | 4.0 | 0.6 |
| 연령 | | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 354) | 11.8 | 49.1 | 16.1 | 11.8 | 1.6 | 9.6 | - |
| 20~29세 | 100.0( 657) | 8.5 | 66.1 | 9.0 | 1.3 | 3.3 | 9.8 | 1.9 |
| 30~39세 | 100.0( 781) | 7.9 | 73.5 | 6.8 | - | 5.6 | 5.4 | 0.9 |
| 40~49세 | 100.0( 576) | 8.7 | 73.0 | 3.0 | 0.2 | 7.8 | 6.4 | 0.8 |
| 50~59세 | 100.0( 399) | 12.1 | 66.7 | 6.8 | 0.9 | 10.2 | 2.6 | 0.8 |
| 60~69세 | 100.0( 177) | 21.0 | 62.3 | 1.6 | 0.3 | 13.7 | 1.2 | - |
| 교육수준 | | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 60) | 43.1 | 44.3 | 6.4 | 0.7 | 3.3 | 2.1 | - |
| 국졸 | 100.0( 318) | 13.9 | 66.9 | 5.8 | - | 10.5 | 2.6 | 0.4 |
| 중졸 | 100.0( 437) | 14.8 | 62.8 | 8.1 | 4.3 | 4.2 | 4.5 | 1.3 |
| 고졸 | 100.0(1,312) | 9.0 | 66.9 | 8.5 | 2.2 | 5.7 | 7.1 | 0.6 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 817) | 5.0 | 71.9 | 5.9 | 0.9 | 6.5 | 8.3 | 1.6 |
| 결혼상태 | | | | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 962) | 10.3 | 59.1 | 11.8 | 5.1 | 2.1 | 10.2 | 1.4 |
| 유배우 | 100.0(1,976) | 9.6 | 71.6 | 5.3 | 0.2 | 8.2 | 4.5 | 0.7 |
| 이혼/기타 | 100.0( 56) | 19.1 | 57.4 | 2.5 | 5.1 | 7.2 | 8.8 | - |
| 직업 | | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 286) | 3.2 | 65.9 | 8.7 | 1.1 | 11.4 | 9.0 | 0.6 |
| 사무직 | 100.0( 366) | 7.7 | 74.5 | 4.3 | - | 7.7 | 5.2 | 0.6 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 398) | 6.5 | 72.3 | 8.0 | 0.3 | 6.1 | 6.4 | 0.5 |
| 농·어업 | 100.0( 243) | 13.6 | 71.4 | 3.5 | 0.2 | 9.8 | 1.1 | 0.4 |
| 기능직 | 100.0( 696) | 9.5 | 72.6 | 7.5 | 0.5 | 3.0 | 6.1 | 0.8 |
| 단순노무직 | 100.0( 241) | 20.7 | 59.7 | 3.8 | - | 8.5 | 4.6 | 2.7 |
| 학생 | 100.0( 467) | 11.5 | 52.2 | 12.5 | 9.2 | 1.7 | 11.1 | 1.8 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0( 247) | 11.6 | 66.3 | 6.3 | 1.9 | 9.3 | 4.6 | - |
| 의료보장 | | | | | | | | |
| 공교의료보험 | 100.0( 280) | 6.4 | 63.7 | 10.1 | 2.3 | 5.8 | 10.8 | 1.0 |
| 직장의료보험 | 100.0( 982) | 8.9 | 67.7 | 6.5 | 1.2 | 7.3 | 7.9 | 0.4 |
| 지역의료보험 | 100.0(1,591) | 11.0 | 67.2 | 7.5 | 2.0 | 5.8 | 5.1 | 1.3 |
| 의료보호 | 100.0( 37) | 24.0 | 55.0 | 4.0 | 12.3 | 4.7 | - | - |
| 없음 | 100.0( 54) | 7.1 | 84.1 | 7.7 | - | - | 0.5 | 0.6 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 283) | 17.8 | 66.0 | 3.5 | 3.8 | 5.3 | 3.6 | - |
| 51~100만원 | 100.0( 735) | 12.3 | 64.4 | 7.7 | 2.8 | 5.8 | 6.5 | 0.5 |
| 101~150만원 | 100.0( 792) | 8.2 | 67.9 | 7.6 | 0.9 | 8.3 | 6.6 | 0.6 |
| 151~200만원 | 100.0( 568) | 7.4 | 71.6 | 8.4 | 1.6 | 4.3 | 6.1 | 0.6 |
| 201만원 이상 | 100.0( 566) | 6.6 | 68.7 | 7.7 | 0.3 | 6.2 | 8.2 | 2.3 |

註: 1) 무응답 163명 제외

〈附表 Ⅰ-38〉 계속

| | 여 자[1] | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 없음 | 대중매체 | 가족 | 학교선생 | 전문가 | 책자 | 기타 |
| 전 체 | 100.0(3,144) | 10.5 | 66.2 | 7.6 | 1.9 | 6.5 | 6.7 | 0.7 |
| 거주지 | | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(2,540) | 9.8 | 66.5 | 7.9 | 1.6 | 6.2 | 7.3 | 0.7 |
| 군지역 | 100.0( 604) | 13.6 | 64.8 | 6.2 | 3.0 | 7.8 | 4.2 | 0.5 |
| 연령 | | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 401) | 7.4 | 64.3 | 7.4 | 14.1 | 3.0 | 3.9 | - |
| 20~29세 | 100.0( 757) | 5.1 | 72.0 | 4.6 | 0.1 | 8.6 | 9.2 | 0.3 |
| 30~39세 | 100.0( 801) | 6.0 | 71.9 | 7.3 | 0.1 | 5.4 | 8.5 | 0.8 |
| 40~49세 | 100.0( 561) | 12.9 | 64.8 | 8.4 | - | 6.4 | 6.8 | 0.8 |
| 50~59세 | 100.0( 395) | 19.2 | 56.1 | 11.9 | - | 6.7 | 4.8 | 1.4 |
| 60~69세 | 100.0( 229) | 29.4 | 50.8 | 9.1 | - | 9.4 | 0.2 | 1.1 |
| 교육수준 | | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 221) | 38.4 | 45.0 | 10.1 | - | 5.9 | 0.5 | 0.1 |
| 국졸 | 100.0( 496) | 19.4 | 57.8 | 10.8 | - | 7.6 | 2.0 | 2.4 |
| 중졸 | 100.0( 546) | 9.0 | 67.0 | 9.6 | 1.7 | 5.8 | 6.3 | 0.6 |
| 고졸 | 100.0(1,314) | 6.8 | 69.1 | 6.2 | 3.6 | 6.6 | 7.4 | 0.2 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 567) | 1.8 | 74.2 | 4.9 | 0.4 | 6.2 | 12.0 | 0.5 |
| 결혼상태 | | | | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 844) | 5.9 | 70.3 | 5.3 | 6.8 | 5.4 | 6.1 | 0.3 |
| 유배우 | 100.0(2,008) | 10.2 | 67.0 | 8.0 | - | 6.8 | 7.3 | 0.6 |
| 이혼/기타 | 100.0( 292) | 26.1 | 48.9 | 10.9 | - | 7.9 | 4.2 | 2.1 |
| 직업 | | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 139) | 0.7 | 75.9 | 2.7 | - | 6.4 | 13.9 | 0.4 |
| 사무직 | 100.0( 178) | 9.7 | 67.7 | 2.4 | 1.2 | 6.4 | 11.3 | 1.3 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 389) | 12.1 | 62.3 | 8.0 | - | 8.5 | 8.7 | 0.3 |
| 농·어업 | 100.0( 228) | 20.3 | 63.0 | 9.0 | - | 7.0 | 0.6 | 0.1 |
| 기능직 | 100.0( 114) | 1.4 | 78.3 | 9.0 | - | 5.1 | 3.6 | 2.7 |
| 단순노무직 | 100.0( 206) | 20.2 | 52.1 | 11.0 | 0.3 | 9.0 | 3.4 | 3.9 |
| 학생 | 100.0( 456) | 5.8 | 65.5 | 7.6 | 12.2 | 3.0 | 5.5 | 0.5 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,434) | 10.4 | 67.9 | 7.7 | - | 6.8 | 6.9 | 0.2 |
| 의료보장 | | | | | | | | |
| 공교의료보험 | 100.0( 321) | 6.3 | 71.9 | 8.6 | - | 3.6 | 9.6 | - |
| 직장의료보험 | 100.0(1,108) | 9.1 | 66.4 | 7.4 | 2.0 | 7.8 | 6.3 | 1.0 |
| 지역의료보험 | 100.0(1,589) | 11.7 | 65.4 | 7.4 | 2.0 | 6.2 | 6.8 | 0.5 |
| 의료보호 | 100.0( 67) | 21.1 | 51.3 | 11.2 | 2.5 | 11.4 | 2.2 | 0.4 |
| 없음 | 100.0( 59) | 18.9 | 67.6 | 4.0 | 4.6 | 0.7 | 2.4 | 1.9 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 335) | 21.7 | 56.4 | 7.7 | 0.7 | 8.4 | 4.2 | 0.8 |
| 51~100만원 | 100.0( 815) | 13.0 | 64.6 | 7.2 | 1.8 | 6.1 | 6.3 | 1.0 |
| 101~150만원 | 100.0( 851) | 8.3 | 68.0 | 7.7 | 1.9 | 5.8 | 7.9 | 0.6 |
| 151~200만원 | 100.0( 605) | 6.1 | 71.4 | 7.1 | 2.4 | 6.5 | 5.6 | 0.9 |
| 201만원 이상 | 100.0( 538) | 6.2 | 68.1 | 8.9 | 1.7 | 7.0 | 7.9 | 0.1 |

註: 1) 무응답 229명 제외

〈附表 Ⅰ-39〉 社會經濟的 特性別 食水種類

(單位: %)

| | 계(N) | 수돗물 | 지하수 | 약수 | 생수 | 기타 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 51.5 | 16.3 | 26.6 | 5.1 | 0.5 |
| 거주지 | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 56.4 | 5.9 | 31.1 | 6.1 | 0.5 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 33.5 | 54.6 | 10.3 | 1.2 | 0.4 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 42.8 | 37.8 | 17.2 | 1.7 | 0.5 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 49.5 | 21.9 | 24.8 | 3.4 | 0.3 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 56.5 | 12.0 | 27.5 | 3.5 | 0.4 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 54.0 | 11.0 | 28.4 | 5.8 | 0.8 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 51.1 | 6.3 | 30.9 | 11.1 | 0.5 |

〈附表 Ⅰ-40〉 社會經濟的 特性別 食水方法

(單位: %)

| | 계(N) | 그냥 먹음 | 끓여 먹음 | 정수기 |
|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 33.0 | 62.7 | 4.3 |
| 거주지 | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 30.1 | 64.8 | 5.0 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 43.5 | 54.8 | 1.7 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 41.3 | 57.9 | 0.9 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 33.2 | 64.4 | 2.4 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 29.7 | 66.8 | 3.4 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 28.8 | 66.4 | 4.9 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 35.6 | 54.4 | 9.9 |

〈附表 Ⅰ-41〉 社會經濟的 特性 및 性別 現在 運轉與否

(單位: %)

| | 전 체 | | | 남 자 | | | 여 자 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 예 | 아니오 | 계(N) | 예 | 아니오 | 계(N) | 예 | 아니오 |
| 전 체 | 100.0(6,480) | 25.5 | 74.5 | 100.0(3,107) | 44.3 | 55.7 | 100.0(3,373) | 8.2 | 91.8 |
| 거주지 | | | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 27.2 | 72.8 | 100.0(2,468) | 46.4 | 53.6 | 100.0(2,621) | 9.1 | 90.9 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 19.1 | 80.9 | 100.0( 639) | 35.8 | 64.2 | 100.0( 752) | 4.9 | 95.1 |
| 성 | | | | | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 44.3 | 55.7 | - | - | - | - | - | - |
| 여자 | 100.0(3,373) | 8.2 | 91.8 | - | - | - | - | - | - |
| 연령 | | | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 1.2 | 98.8 | 100.0( 362) | 1.8 | 98.2 | 100.0( 401) | 0.6 | 99.4 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 25.3 | 74.7 | 100.0( 667) | 46.6 | 53.4 | 100.0( 764) | 6.7 | 93.3 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 40.8 | 59.2 | 100.0( 793) | 65.5 | 34.5 | 100.0( 816) | 16.8 | 83.2 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 35.8 | 64.2 | 100.0( 602) | 61.1 | 38.9 | 100.0( 590) | 9.9 | 90.1 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 17.5 | 82.5 | 100.0( 443) | 30.8 | 69.2 | 100.0( 479) | 5.3 | 94.7 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 6.2 | 93.8 | 100.0( 240) | 13.6 | 86.4 | 100.0( 323) | 0.8 | 99.2 |
| 교육수준 | | | | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 2.1 | 97.9 | 100.0( 89) | 8.6 | 91.4 | 100.0( 316) | 0.4 | 99.6 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 9.0 | 91.0 | 100.0( 386) | 21.7 | 78.3 | 100.0( 586) | 0.7 | 99.3 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 19.8 | 80.2 | 100.0( 461) | 39.6 | 60.4 | 100.0( 575) | 3.8 | 96.2 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 28.6 | 71.4 | 100.0(1,349) | 47.0 | 53.0 | 100.0(1,327) | 10.0 | 90.0 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 41.8 | 58.2 | 100.0( 822) | 56.7 | 43.3 | 100.0( 569) | 20.3 | 79.7 |
| 결혼상태 | | | | | | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,826) | 15.9 | 84.1 | 100.0( 979) | 26.2 | 73.8 | 100.0( 847) | 3.9 | 96.1 |
| 유배우 | 100.0(4,223) | 31.6 | 68.4 | 100.0(2,065) | 53.3 | 46.7 | 100.0(2,158) | 10.9 | 89.1 |
| 이혼/기타 | 100.0( 431) | 5.9 | 94.1 | 100.0( 63) | 28.3 | 71.7 | 100.0( 368) | 2.1 | 97.9 |
| 직업 | | | | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 54.8 | 45.2 | 100.0( 289) | 68.9 | 31.1 | 100.0( 142) | 25.8 | 74.2 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 46.3 | 53.7 | 100.0( 368) | 64.8 | 35.2 | 100.0( 178) | 8.0 | 92.0 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 38.6 | 61.4 | 100.0( 403) | 64.1 | 35.9 | 100.0( 414) | 13.8 | 86.2 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 14.1 | 85.9 | 100.0( 334) | 25.4 | 74.6 | 100.0( 319) | 2.4 | 97.6 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 50.1 | 49.7 | 100.0( 717) | 58.0 | 42.0 | 100.0( 121) | 4.2 | 95.8 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 16.1 | 83.9 | 100.0( 259) | 28.6 | 71.4 | 100.0( 229) | 1.9 | 98.1 |
| 학생 | 100.0( 929) | 3.1 | 96.9 | 100.0( 472) | 5.2 | 94.8 | 100.0( 457) | 0.9 | 99.1 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,778) | 12.7 | 87.3 | 100.0( 265) | 30.1 | 69.9 | 100.0(1,513) | 9.7 | 90.3 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 8.5 | 91.5 | 100.0( 335) | 18.6 | 81.4 | 100.0( 442) | 0.9 | 99.1 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 19.7 | 80.3 | 100.0( 795) | 36.6 | 63.4 | 100.0( 875) | 4.4 | 95.6 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 28.3 | 71.7 | 100.0( 810) | 51.2 | 48.8 | 100.0( 879) | 7.4 | 92.6 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 29.3 | 70.7 | 100.0( 589) | 48.2 | 51.8 | 100.0( 626) | 11.5 | 88.5 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 37.7 | 62.3 | 100.0( 578) | 56.4 | 43.6 | 100.0( 551) | 18.1 | 81.9 |

〈附表 Ⅰ-42〉 社會經濟的 特性 및 性別 安全벨트着用 與否

(單位: %)

| | 전 체 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 안매는 편 | 거의 안매는 편 | 가끔 매는 편 | 대체로 매는 편 | 항상 매는 편 |
| 전 체 | 100.0(6,480) | 6.5 | 34.5 | 22.9 | 18.9 | 17.2 |
| 거주지 | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 5.6 | 33.4 | 22.8 | 19.9 | 18.3 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 10.0 | 38.8 | 22.9 | 15.3 | 13.0 |
| 성 | | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 5.7 | 32.2 | 23.4 | 21.0 | 17.7 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 7.3 | 36.7 | 22.3 | 17.0 | 16.7 |
| 연령 | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 10.8 | 53.4 | 17.6 | 12.4 | 5.8 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 5.2 | 35.2 | 25.3 | 20.0 | 14.3 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 4.4 | 32.9 | 25.8 | 19.5 | 17.3 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 4.8 | 31.4 | 21.1 | 19.6 | 23.0 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 6.9 | 27.6 | 23.3 | 20.7 | 21.6 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 13.1 | 30.0 | 18.3 | 18.8 | 19.8 |
| 교육수준 | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 16.2 | 36.3 | 18.9 | 16.3 | 12.3 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 9.5 | 35.3 | 22.3 | 17.6 | 15.3 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 5.4 | 36.3 | 26.0 | 17.6 | 14.7 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 6.4 | 36.9 | 23.5 | 16.3 | 17.0 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 2.8 | 27.8 | 20.9 | 26.5 | 22.0 |
| 결혼상태 | | | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,826) | 6.9 | 41.3 | 21.7 | 19.0 | 11.1 |
| 유배우 | 100.0(4,223) | 5.6 | 31.9 | 23.6 | 19.1 | 19.8 |
| 이혼/기타 | 100.0( 431) | 13.5 | 31.8 | 20.8 | 17.1 | 16.8 |
| 직업 | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 0.9 | 21.9 | 20.6 | 28.0 | 28.6 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 3.2 | 29.5 | 20.4 | 24.3 | 22.5 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 5.4 | 33.9 | 26.3 | 18.1 | 16.4 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 10.0 | 40.5 | 22.1 | 15.4 | 11.9 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 6.2 | 34.6 | 24.0 | 18.6 | 16.5 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 9.6 | 31.2 | 22.4 | 19.4 | 17.4 |
| 학생 | 100.0( 929) | 7.7 | 48.8 | 19.6 | 15.9 | 7.9 |
| 기타(주부, 군인 무직) | 100.0(1,778) | 6.8 | 30.7 | 24.1 | 18.3 | 20.1 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 12.6 | 35.1 | 24.1 | 16.2 | 12.0 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 7.6 | 37.9 | 20.9 | 17.0 | 16.6 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 5.3 | 34.9 | 25.5 | 16.8 | 17.4 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 5.5 | 34.3 | 21.7 | 22.3 | 16.2 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 3.6 | 28.2 | 22.1 | 23.4 | 22.6 |

〈附表 Ⅰ-42〉 계속

| | 남 자 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 거의 안매는 편 | 대체로 안매는 편 | 가끔 매는 편 | 대체로 매는 편 | 항상 매는 편 |
| 전 체 | 100.0(3,107) | 5.7 | 32.2 | 23.4 | 21.0 | 17.7 |
| 거주지 | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(2,468) | 5.1 | 30.6 | 23.1 | 22.5 | 18.7 |
| 군지역 | 100.0( 639) | 8.1 | 38.2 | 24.5 | 15.3 | 13.8 |
| 연령 | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 362) | 9.5 | 50.4 | 18.1 | 16.1 | 5.9 |
| 20~29세 | 100.0( 667) | 5.4 | 33.0 | 26.5 | 19.9 | 15.2 |
| 30~39세 | 100.0( 793) | 5.3 | 29.6 | 26.4 | 22.3 | 16.5 |
| 40~49세 | 100.0( 602) | 3.5 | 28.9 | 22.6 | 21.0 | 24.0 |
| 50~59세 | 100.0( 443) | 6.0 | 27.5 | 22.7 | 24.4 | 19.4 |
| 60~69세 | 100.0( 240) | 6.6 | 28.0 | 16.3 | 21.0 | 28.0 |
| 교육수준 | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 89) | 10.0 | 35.1 | 14.3 | 22.7 | 18.0 |
| 국졸 | 100.0( 386) | 8.3 | 37.2 | 21.8 | 19.0 | 13.8 |
| 중졸 | 100.0( 461) | 6.8 | 33.4 | 25.0 | 19.0 | 15.8 |
| 고졸 | 100.0(1,349) | 6.0 | 34.0 | 24.7 | 18.1 | 17.1 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 822) | 2.8 | 26.0 | 22.1 | 27.6 | 21.5 |
| 결혼상태 | | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 979) | 6.7 | 38.3 | 23.0 | 20.6 | 11.5 |
| 유배우 | 100.0(2,065) | 5.0 | 29.4 | 23.6 | 21.3 | 20.7 |
| 이혼/기타 | 100.0( 63) | 10.8 | 29.4 | 24.2 | 17.4 | 18.2 |
| 직업 | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 289) | 0.8 | 19.9 | 21.3 | 28.0 | 29.9 |
| 사무직 | 100.0( 368) | 2.3 | 26.4 | 21.8 | 26.5 | 23.0 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 403) | 4.6 | 33.7 | 26.8 | 18.8 | 16.1 |
| 농·어업 | 100.0( 334) | 9.7 | 40.5 | 24.7 | 13.7 | 11.4 |
| 기능직 | 100.0( 717) | 6.4 | 32.2 | 25.2 | 18.6 | 17.6 |
| 단순노무직 | 100.0( 259) | 7.4 | 29.1 | 21.2 | 23.7 | 18.6 |
| 학생 | 100.0( 472) | 6.9 | 44.8 | 21.2 | 19.9 | 7.2 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0( 265) | 6.4 | 21.4 | 22.6 | 24.0 | 25.6 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 335) | 10.7 | 33.8 | 22.6 | 19.4 | 13.5 |
| 51~100만원 | 100.0( 795) | 7.8 | 36.5 | 22.0 | 18.1 | 15.6 |
| 101~150만원 | 100.0( 810) | 3.5 | 33.5 | 28.0 | 18.9 | 16.0 |
| 151~200만원 | 100.0( 589) | 5.7 | 29.3 | 21.6 | 26.2 | 17.1 |
| 201만원 이상 | 100.0( 578) | 2.5 | 26.8 | 20.6 | 24.1 | 26.0 |

〈附表 Ⅰ-42〉 계속

| | 여 자 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 거의 안매는 편 | 대체로 안매는 편 | 가끔 매는 편 | 대체로 매는 편 | 항상 매는 편 |
| 전 체 | 100.0(3,373) | 7.3 | 36.7 | 22.3 | 17.0 | 16.7 |
| 거주지 | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(2,621) | 6.1 | 36.0 | 22.6 | 17.5 | 17.9 |
| 군지역 | 100.0( 752) | 11.6 | 39.3 | 21.6 | 15.2 | 12.3 |
| 연령 | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 401) | 11.9 | 56.0 | 17.1 | 9.1 | 5.8 |
| 20~29세 | 100.0( 764) | 5.1 | 37.1 | 24.3 | 20.1 | 13.5 |
| 30~39세 | 100.0( 816) | 3.6 | 36.2 | 25.2 | 16.9 | 18.2 |
| 40~49세 | 100.0( 590) | 6.1 | 34.0 | 19.6 | 18.3 | 22.0 |
| 50~59세 | 100.0( 479) | 7.7 | 27.7 | 23.9 | 17.2 | 23.6 |
| 60~69세 | 100.0( 323) | 17.8 | 31.4 | 19.8 | 17.2 | 13.8 |
| 교육수준 | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 316) | 18.0 | 36.6 | 20.2 | 14.5 | 10.7 |
| 국졸 | 100.0( 586) | 10.3 | 34.1 | 22.7 | 16.7 | 16.2 |
| 중졸 | 100.0( 575) | 4.2 | 38.6 | 26.9 | 16.5 | 13.7 |
| 고졸 | 100.0(1,327) | 6.7 | 39.8 | 22.2 | 14.5 | 16.8 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 569) | 2.8 | 30.5 | 19.1 | 25.0 | 22.7 |
| 결혼상태 | | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 847) | 7.2 | 44.9 | 20.1 | 17.2 | 10.6 |
| 유배우 | 100.0(2,158) | 6.2 | 34.3 | 23.6 | 16.9 | 19.0 |
| 이혼/기타 | 100.0( 368) | 14.0 | 32.2 | 20.2 | 17.0 | 16.5 |
| 직업 | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 142) | 1.2 | 25.8 | 19.0 | 28.0 | 26.0 |
| 사무직 | 100.0( 178) | 5.2 | 36.1 | 17.6 | 19.7 | 21.4 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 414) | 6.1 | 34.1 | 25.7 | 17.4 | 16.6 |
| 농·어업 | 100.0( 319) | 10.2 | 40.6 | 19.5 | 17.3 | 12.4 |
| 기능직 | 100.0( 121) | 5.2 | 49.0 | 17.3 | 18.4 | 10.1 |
| 단순노무직 | 100.0( 229) | 12.1 | 33.6 | 23.7 | 14.5 | 16.0 |
| 학생 | 100.0( 457) | 8.5 | 53.1 | 18.0 | 11.7 | 8.7 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,513) | 6.9 | 32.3 | 24.4 | 17.3 | 19.2 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 442) | 14.0 | 36.1 | 25.2 | 13.9 | 10.9 |
| 51~100만원 | 100.0( 875) | 7.4 | 39.1 | 19.9 | 16.1 | 17.5 |
| 101~150만원 | 100.0( 879) | 7.0 | 36.3 | 23.2 | 14.8 | 18.7 |
| 151~200만원 | 100.0( 626) | 5.2 | 39.0 | 21.8 | 18.6 | 15.4 |
| 201만원 이상 | 100.0( 551) | 4.8 | 29.7 | 23.8 | 22.7 | 19.0 |

〈附表 Ⅰ-43〉 社會經濟的 特性 및 性別 飮酒運轉者와 同乘回數

(單位: %)

| | 전 체 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 없음 | 1회 | 2~3회 | 4~5회 | 6회 이상 |
| 전 체 | 100.0(6,480) | 90.5 | 4.5 | 4.2 | 0.6 | 0.7 |
| 거주지 | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 86.1 | 5.9 | 6.3 | 0.8 | 1.0 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 93.6 | 3.2 | 2.3 | 0.4 | 0.4 |
| 성 | | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 86.1 | 5.9 | 6.3 | 0.8 | 1.0 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 93.6 | 3.2 | 2.3 | 0.4 | 0.4 |
| 연령 | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 93.2 | 3.9 | 1.7 | 0.4 | 0.8 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 84.9 | 7.0 | 6.6 | 0.5 | 1.0 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 88.7 | 4.6 | 5.2 | 0.9 | 0.7 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 89.1 | 5.3 | 4.2 | 0.7 | 0.7 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 83.3 | 2.3 | 3.3 | 0.7 | 0.4 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 99.0 | 0.6 | 0.3 | 0.1 | - |
| 교육수준 | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 97.1 | 2.1 | 0.6 | 0.2 | - |
| 국졸 | 100.0( 972) | 94.4 | 2.3 | 2.3 | 0.8 | 0.2 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 89.9 | 4.0 | 5.3 | 0.5 | 0.4 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 87.6 | 5.5 | 4.8 | 0.9 | 1.2 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 89.6 | 5.1 | 4.7 | 0.2 | 0.5 |
| 결혼상태 | | | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,826) | 88.0 | 5.4 | 5.1 | 0.4 | 1.1 |
| 유배우 | 100.0(4,223) | 90.1 | 4.4 | 4.2 | 0.7 | 0.6 |
| 이혼/기타 | 100.0( 431) | 97.4 | 1.5 | 0.4 | 0.6 | 0.1 |
| 직업 | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 90.0 | 4.4 | 5.0 | 0.1 | 0.4 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 82.2 | 8.2 | 8.0 | 0.3 | 1.3 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 85.3 | 6.71 | 5.5 | 1.0 | 1.4 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 92.9 | 2.8 | 2.9 | 1.0 | 0.3 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 85.0 | 6.1 | 7.4 | 0.2 | 1.3 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 93.0 | 3.0 | 3.4 | 0.6 | - |
| 학생 | 100.0( 929) | 93.7 | 3.5 | 1.9 | 0.4 | 0.4 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,778) | 93.2 | 3.0 | 2.6 | 0.7 | 0.4 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 95.5 | 1.9 | 1.7 | 0.5 | 0.4 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 88.4 | 5.7 | 4.1 | 0.6 | 1.1 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 89.6 | 4.3 | 5.0 | 0.8 | 0.3 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 90.4 | 3.8 | 4.9 | 0.5 | 0.5 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 89.0 | 5.2 | 4.2 | 0.5 | 1.1 |

〈附表 Ⅰ-43〉 계속

| | 남 자 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 없음 | 1회 | 2~3회 | 4~5회 | 6회 이상 |
| 전 체 | 100.0(3,107) | 86.1 | 5.9 | 6.3 | 0.8 | 1.0 |
| 거주지 | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(2,468) | 85.8 | 6.0 | 6.4 | 0.7 | 1.1 |
| 군지역 | 100.0( 639) | 87.4 | 5.3 | 5.9 | 1.1 | 0.4 |
| 연령 | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 362) | 92.8 | 3.8 | 1.5 | 0.9 | 1.0 |
| 20~29세 | 100.0( 667) | 81.1 | 7.6 | 9.1 | 0.6 | 1.6 |
| 30~39세 | 100.0( 793) | 84.3 | 6.2 | 7.8 | 1.0 | 0.6 |
| 40~49세 | 100.0( 602) | 83.9 | 7.7 | 6.5 | 0.9 | 1.1 |
| 50~59세 | 100.0( 443) | 88.4 | 4.1 | 5.8 | 0.8 | 0.9 |
| 60~69세 | 100.0( 240) | 97.9 | 1.5 | 0.6 | - | - |
| 교육수준 | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 89) | 90.9 | 6.2 | 2.8 | - | - |
| 국졸 | 100.0( 386) | 90.1 | 4.2 | 3.8 | 1.3 | 0.5 |
| 중졸 | 100.0( 461) | 84.4 | 4.7 | 9.5 | 0.9 | 0.5 |
| 고졸 | 100.0(1,349) | 84.9 | 6.5 | 6.3 | 0.9 | 1.3 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 822) | 86.8 | 6.2 | 5.9 | 0.3 | 0.9 |
| 결혼상태 | | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 979) | 86.2 | 5.4 | 6.4 | 0.6 | 1.4 |
| 유배우 | 100.0(2,065) | 86.0 | 6.0 | 6.3 | 0.8 | 0.8 |
| 이혼/기타 | 100.0( 63) | 90.1 | 7.4 | 1.4 | 1.1 | - |
| 직업 | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 289) | 90.2 | 2.9 | 6.1 | 0.2 | 0.6 |
| 사무직 | 100.0( 368) | 82.3 | 7.6 | 8.7 | 0.2 | 1.2 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 403) | 78.8 | 10.1 | 7.6 | 2.1 | 1.5 |
| 농·어업 | 100.0( 334) | 88.8 | 4.2 | 4.9 | 1.7 | 0.5 |
| 기능직 | 100.0( 717) | 83.6 | 6.3 | 8.4 | 0.2 | 1.6 |
| 단순노무직 | 100.0( 259) | 89.7 | 4.1 | 5.2 | 1.1 | - |
| 학생 | 100.0( 472) | 91.2 | 5.0 | 2.3 | 0.8 | 0.8 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0( 265) | 89.6 | 4.3 | 5.4 | 0.5 | 0.3 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 335) | 92.5 | 2.9 | 3.1 | 0.6 | 0.8 |
| 51~100만원 | 100.0( 795) | 84.9 | 6.9 | 6.0 | 1.0 | 1.1 |
| 101~150만원 | 100.0( 810) | 87.1 | 4.9 | 6.7 | 0.7 | 0.5 |
| 151~200만원 | 100.0( 589) | 85.3 | 5.1 | 8.0 | 1.0 | 0.7 |
| 201만원 이상 | 100.0( 578) | 84.3 | 7.6 | 5.9 | 0.4 | 1.8 |

〈附表 Ⅰ-43〉 계속

| | 여 자 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 계(N) | 없음 | 1번 | 2~3번 | 4~5번 | 6번 이상 |
| 전 체 | 100.0(3,373) | 93.6 | 3.2 | 2.3 | 0.4 | 0.4 |
| 거주지 | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(2,621) | 93.4 | 3.4 | 2.3 | 0.4 | 0.5 |
| 군지역 | 100.0( 752) | 94.4 | 2.4 | 2.3 | 0.5 | 0.4 |
| 연령 | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 401) | 93.5 | 4.0 | 1.9 | - | 0.6 |
| 20~29세 | 100.0( 764) | 88.3 | 6.4 | 4.4 | 0.4 | 0.6 |
| 30~39세 | 100.0( 816) | 93.1 | 2.9 | 2.5 | 0.7 | 0.8 |
| 40~49세 | 100.0( 590) | 94.5 | 2.8 | 1.9 | 0.5 | 0.3 |
| 50~59세 | 100.0( 479) | 97.9 | 0.6 | 1.0 | 0.5 | - |
| 60~69세 | 100.0( 323) | 99.8 | - | - | 0.2 | - |
| 교육수준 | | | | | | |
| 무학 | 100.0( 316) | 98.8 | 1.0 | - | 0.2 | - |
| 국졸 | 100.0( 586) | 97.3 | 1.0 | 1.2 | 0.4 | - |
| 중졸 | 100.0( 575) | 94.2 | 3.4 | 1.9 | 0.1 | 0.3 |
| 고졸 | 100.0(1,327) | 90.4 | 4.5 | 3.3 | 0.8 | 1.0 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 569) | 93.6 | 3.5 | 2.9 | - | - |
| 결혼상태 | | | | | | |
| 미혼 | 100.0( 847) | 90.2 | 5.5 | 3.5 | 0.1 | 0.7 |
| 유배우 | 100.0(2,158) | 94.1 | 2.8 | 2.2 | 0.5 | 0.4 |
| 이혼/기타 | 100.0( 368) | 98.6 | 0.5 | 0.2 | 0.5 | 0.1 |
| 직업 | | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 142) | 89.7 | 7.5 | 2.8 | - | - |
| 사무직 | 100.0( 178) | 81.9 | 9.5 | 6.5 | 0.6 | 1.5 |
| 판매1서비스직 | 100.0( 414) | 91.6 | 3.5 | 3.5 | - | 1.4 |
| 농·어업 | 100.0( 319) | 97.3 | 1.4 | 0.9 | 0.3 | 0.1 |
| 기능직 | 100.0( 121) | 92.9 | 4.8 | 1.9 | 0.4 | - |
| 단순노무직 | 100.0( 229) | 96.8 | 1.7 | 1.5 | - | - |
| 학생 | 100.0( 457) | 96.4 | 2.0 | 1.6 | - | - |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,513) | 93.8 | 2.8 | 2.1 | 0.8 | 0.4 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 442) | 97.7 | 1.2 | 0.7 | 0.4 | 0.1 |
| 51~100만원 | 100.0( 875) | 91.5 | 4.7 | 2.4 | 0.2 | 1.2 |
| 101~150만원 | 100.0( 879) | 92.0 | 3.7 | 3.3 | 0.9 | 0.1 |
| 151~200만원 | 100.0( 626) | 95.2 | 2.5 | 1.9 | 0.1 | 0.3 |
| 201만원 이상 | 100.0( 551) | 93.9 | 2.8 | 2.5 | 0.6 | 0.3 |

〈附表 Ⅰ-44〉 社會經濟的 特性別 健康實踐 가지數

(單位: %)

| | 계(N) | 2개 이하 | 3개 | 4개 | 5개 이상 |
|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 24.8 | 35.0 | 28.4 | 11.7 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(5,089) | 25.8 | 34.9 | 27.7 | 11.5 |
| 군지역 | 100.0(1,391) | 21.3 | 35.5 | 30.8 | 12.5 |
| 성 | | | | | |
| 남자 | 100.0(3,107) | 24.7 | 35.1 | 26.2 | 14.0 |
| 여자 | 100.0(3,373) | 25.0 | 35.0 | 30.3 | 9.7 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 28.0 | 35.0 | 26.2 | 10.9 |
| 20~29세 | 100.0(1,431) | 25.6 | 36.5 | 28.4 | 9.5 |
| 30~39세 | 100.0(1,609) | 25.3 | 34.8 | 27.4 | 12.5 |
| 40~49세 | 100.0(1,192) | 26.9 | 32.6 | 27.5 | 13.0 |
| 50~59세 | 100.0( 922) | 21.6 | 34.2 | 30.4 | 13.8 |
| 60~69세 | 100.0( 563) | 18.4 | 38.6 | 32.6 | 10.3 |
| 교육수준 | | | | | |
| 무학 | 100.0( 405) | 15.4 | 38.4 | 35.1 | 11.1 |
| 국졸 | 100.0( 972) | 23.8 | 37.2 | 28.6 | 10.3 |
| 중졸 | 100.0(1,036) | 26.0 | 34.2 | 29.1 | 10.7 |
| 고졸 | 100.0(2,676) | 26.5 | 35.9 | 26.0 | 11.6 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(1,391) | 24.3 | 31.5 | 30.4 | 13.9 |
| 결혼상태 | | | | | |
| 미혼 | 100.0(1,826) | 26.9 | 35.8 | 27.6 | 9.7 |
| 유배우 | 100.0(4,223) | 24.2 | 34.9 | 28.1 | 12.3 |
| 이혼/기타 | 100.0( 431) | 22.1 | 33.4 | 34.1 | 10.4 |
| 직업 | | | | | |
| 전문·행정·관리직 | 100.0( 431) | 21.8 | 32.9 | 28.9 | 16.5 |
| 사무직 | 100.0( 546) | 25.4 | 33.3 | 30.0 | 11.3 |
| 판매·서비스직 | 100.0( 817) | 29.4 | 34.2 | 27.2 | 9.1 |
| 농·어업 | 100.0( 653) | 18.1 | 35.8 | 32.2 | 13.9 |
| 기능직 | 100.0( 838) | 27.5 | 37.0 | 23.4 | 12.1 |
| 단순노무직 | 100.0( 488) | 30.0 | 36.1 | 24.3 | 9.6 |
| 학생 | 100.0( 929) | 26.7 | 34.8 | 28.1 | 10.5 |
| 기타(주부, 군인, 무직) | 100.0(1,778) | 22.2 | 35.1 | 30.4 | 12.2 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 777) | 22.1 | 34.2 | 31.9 | 11.5 |
| 51~100만원 | 100.0(1,670) | 25.9 | 35.3 | 28.0 | 10.8 |
| 101~150만원 | 100.0(1,689) | 24.7 | 37.6 | 25.4 | 12.3 |
| 151~200만원 | 100.0(1,215) | 24.8 | 34.2 | 30.3 | 10.7 |
| 201만원 이상 | 100.0(1,129) | 25.1 | 32.4 | 29.5 | 13.1 |

〈附表 Ⅰ-45〉 健康關聯變數別 吸煙實態

(單位: %)

| | 계(N) | 현 흡연 | 과거 흡연 | 흡연 무경험 |
|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 32.1 | 7.9 | 60.0 |
| 주관전 건강인식 | | | | |
| 매우 좋음 | 100.0( 664) | 33.1 | 7.1 | 59.8 |
| 좋 음 | 100.0(2,499) | 33.6 | 7.9 | 58.6 |
| 보 통 | 100.0(2,285) | 32.8 | 8.0 | 59.3 |
| 안좋음 | 100.0(1,032) | 26.7 | 8.1 | 65.1 |
| 건강염려정도 | | | | |
| 항상 걱정 | 100.0(1,159) | 27.4 | 8.7 | 63.9 |
| 가끔 걱정 | 100.0(4,064) | 33.3 | 7.9 | 58.8 |
| 걱정 안함 | 100.0(1,257) | 32.3 | 6.8 | 60.9 |
| 스트레스 여부[1] | | | | |
| 있음 | 100.0(4,685) | 33.1 | 7.9 | 59.0 |
| 없음 | 100.0(1,361) | 30.2 | 7.3 | 62.5 |
| 만성이환 유무 | | | | |
| 없음 | 100.0(4,857) | 32.8 | 7.4 | 59.8 |
| 있음 | 100.0(1,623) | 30.2 | 9.3 | 60.4 |
| 이환의 수 | | | | |
| 없음 | 100.0(3,779) | 33.3 | 7.3 | 59.4 |
| 1개 | 100.0(1,732) | 33.7 | 7.8 | 58.5 |
| 2개 이상 | 100.0( 969) | 25.2 | 10.1 | 64.7 |

註: 1) 무응답 434명 제외

〈附表 Ⅰ-46〉 健康關聯變數別 現吸煙者의 吸煙期間 分布

(單位: %)

| | 계(N) | 9년 이하 | 10~19년 | 20년 이상 |
|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(2,086) | 27.8 | 29.1 | 43.1 |
| 주관전 건강인식 | | | | |
| 매우 좋음 | 100.0( 221) | 43.6 | 26.7 | 29.7 |
| 좋 음 | 100.0( 840) | 29.5 | 30.3 | 40.2 |
| 보 통 | 100.0( 749) | 24.2 | 30.8 | 45.0 |
| 안좋음 | 100.0( 276) | 19.7 | 22.7 | 57.5 |
| 건강염려정도 | | | | |
| 항상 걱정 | 100.0( 318) | 19.9 | 24.7 | 55.3 |
| 가끔 걱정 | 100.0(1,360) | 28.1 | 31.4 | 40.5 |
| 걱정 안함 | 100.0( 408) | 33.2 | 24.7 | 42.2 |
| 스트레스 여부[1)] | | | | |
| 있음 | 100.0(1,551) | 29.3 | 32.0 | 38.8 |
| 없음 | 100.0( 411) | 28.8 | 23.4 | 47.8 |
| 만성이환 유무 | | | | |
| 없음 | 100.0(1,595) | 31.2 | 29.9 | 38.9 |
| 있음 | 100.0( 491) | 15.9 | 26.6 | 57.5 |
| 이환의 수 | | | | |
| 없음 | 100.0(1,258) | 31.6 | 29.6 | 38.8 |
| 1개 | 100.0( 584) | 22.4 | 30.7 | 46.9 |
| 2개 이상 | 100.0( 244) | 19.6 | 23.0 | 57.4 |

註: 1) 무응답 124명 제외

〈附表 Ⅰ-47〉 健康關聯變數別 飲酒實態

(單位: %)

| | 계(N) | 현음주 | 과거음주 | 무음주 |
|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 31.4 | 6.5 | 62.1 |
| 주관전 건강인식 | | | | |
| 매우 좋음 | 100.0( 664) | 31.1 | 6.4 | 62.4 |
| 좋 음 | 100.0(2,499) | 33.6 | 5.5 | 60.8 |
| 보 통 | 100.0(2,285) | 32.7 | 6.2 | 61.0 |
| 안좋음 | 100.0(1,032) | 23.2 | 9.2 | 67.6 |
| 건강염려정도 | | | | |
| 항상 걱정 | 100.0(1,159) | 26.6 | 7.7 | 65.7 |
| 가끔 걱정 | 100.0(4,064) | 33.2 | 6.3 | 60.6 |
| 걱정 안함 | 100.0(1,257) | 29.8 | 6.1 | 64.1 |
| 스트레스 여부[1] | | | | |
| 있음 | 100.0(4,685) | 33.1 | 6.3 | 60.6 |
| 없음 | 100.0(1,361) | 27.7 | 6.8 | 65.5 |
| 만성이환 유무 | | | | |
| 없음 | 100.0(4,857) | 33.1 | 5.9 | 61.0 |
| 있음 | 100.0(1,623) | 26.4 | 8.2 | 65.3 |
| 이환의 수 | | | | |
| 없음 | 100.0(3,779) | 33.6 | 5.9 | 60.5 |
| 1개 | 100.0(1,732) | 30.7 | 7.2 | 62.0 |
| 2개 이상 | 100.0( 969) | 24.0 | 7.4 | 68.6 |

註: 1) 무응답 434명 제외

〈附表 Ⅰ-48〉 健康關聯變數別 現飲酒者의 飲酒頻度

(單位: %)

| | 계(N) | 월 1회 이하 | 월 2~4회 | 주 2~4회 | 거의 매일 |
|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(2,035) | 6.6 | 36.8 | 35.9 | 20.6 |
| 주관전 건강인식 | | | | | |
| 매우 좋음 | 100.0( 206) | 7.5 | 36.9 | 28.6 | 27.1 |
| 좋 음 | 100.0( 841) | 5.3 | 43.0 | 35.6 | 16.1 |
| 보 통 | 100.0( 748) | 7.2 | 34.9 | 38.9 | 19.1 |
| 안좋음 | 100.0( 240) | 8.9 | 21.3 | 34.3 | 35.4 |
| 건강염려정도 | | | | | |
| 항상 걱정 | 100.0( 310) | 8.1 | 27.4 | 38.2 | 26.3 |
| 가끔 걱정 | 100.0(1,350) | 5.9 | 38.3 | 37.2 | 18.6 |
| 걱정 안함 | 100.0( 375) | 8.2 | 40.2 | 29.1 | 22.5 |
| 스트레스 여부[1)] | | | | | |
| 있음 | 100.0(1,552) | 7.1 | 36.6 | 36.9 | 19.3 |
| 없음 | 100.0( 377) | 5.5 | 40.9 | 33.6 | 20.0 |
| 만성이환 유무 | | | | | |
| 없음 | 100.0(1,606) | 6.5 | 38.7 | 35.0 | 19.7 |
| 있음 | 100.0( 429) | 6.9 | 29.9 | 39.4 | 23.8 |
| 이환의 수 | | | | | |
| 없음 | 100.0(1,270) | 5.6 | 40.4 | 35.0 | 19.0 |
| 1개 | 100.0( 532) | 7.4 | 33.3 | 37.3 | 22.0 |
| 2개 이상 | 100.0( 233) | 10.5 | 25.5 | 38.0 | 26.0 |

註: 1) 무응답 106명 제외

〈附表 Ⅰ-49〉 健康關聯變數別 現飲酒者의 지난 1年間 過飲頻度

(單位: %)

| | 계(N) | 없음 | 연간 3회 이내 | 3개월에 1~3회 | 1개월에 1~3회 | 주 1회 이상 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(2,035) | 39.4 | 28.3 | 15.7 | 11.8 | 4.8 |
| 주관전 건강인식 | | | | | | |
| 매우 좋음 | 100.0( 206) | 45.3 | 24.8 | 10.9 | 15.0 | 4.0 |
| 좋 음 | 100.0( 841) | 42.4 | 29.6 | 13.8 | 10.2 | 4.0 |
| 보 통 | 100.0( 748) | 34.3 | 28.8 | 20.5 | 11.7 | 4.7 |
| 안좋음 | 100.0( 240) | 40.0 | 25.1 | 12.1 | 14.8 | 8.1 |
| 건강염려정도 | | | | | | |
| 항상 걱정 | 100.0( 310) | 43.8 | 22.1 | 16.4 | 10.4 | 7.4 |
| 가끔 걱정 | 100.0(1,350) | 36.2 | 30.8 | 16.9 | 12.1 | 4.0 |
| 걱정 안함 | 100.0( 375) | 47.5 | 24.1 | 11.5 | 11.5 | 5.3 |
| 스트레스 여부[1] | | | | | | |
| 있음 | 100.0(1,552) | 36.9 | 28.9 | 17.2 | 11.9 | 5.1 |
| 없음 | 100.0( 377) | 47.9 | 26.5 | 11.0 | 12.0 | 2.5 |
| 만성이환 유무 | | | | | | |
| 없음 | 100.0(1,606) | 39.1 | 29.8 | 14.7 | 11.6 | 4.8 |
| 있음 | 100.0( 429) | 41.0 | 22.3 | 19.5 | 12.3 | 4.9 |
| 이환의 수 | | | | | | |
| 없음 | 100.0(1,270) | 37.7 | 30.1 | 16.4 | 11.0 | 4.9 |
| 1개 | 100.0( 532) | 42.4 | 26.5 | 13.9 | 13.3 | 3.9 |
| 2개 이상 | 100.0( 233) | 42.6 | 22.0 | 16.3 | 12.4 | 6.6 |

註: 1) 무응답 106명 제외

〈附表 Ⅰ-50〉 健康關聯變數別 現飲酒者의 節酒 및 禁酒 試圖 與否

(單位: %)

| | 계( N) | 있 음 | 없 음 |
|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(2,035) | 38.9 | 61.1 |
| 주관전 건강인식 | | | |
| 매우 좋음 | 100.0( 206) | 24.7 | 75.3 |
| 좋 음 | 100.0( 841) | 37.9 | 62.1 |
| 보 통 | 100.0( 748) | 43.7 | 56.3 |
| 안좋음 | 100.0( 240) | 39.4 | 60.6 |
| 건강염려정도 | | | |
| 항상 걱정 | 100.0( 310) | 42.6 | 57.4 |
| 가끔 걱정 | 100.0(1,350) | 40.5 | 59.5 |
| 걱정 안함 | 100.0( 375) | 30.3 | 69.7 |
| 스트레스 여부[1)] | | | |
| 있음 | 100.0(1,552) | 40.5 | 59.5 |
| 없음 | 100.0( 377) | 31.8 | 68.2 |
| 만성이환 유무 | | | |
| 없음 | 100.0(1,606) | 38.0 | 62.0 |
| 있음 | 100.0( 429) | 42.2 | 57.8 |
| 이환의 수 | | | |
| 없음 | 100.0(1,270) | 37.5 | 62.5 |
| 1개 | 100.0( 532) | 41.3 | 58.7 |
| 2개 이상 | 100.0( 233) | 40.7 | 59.3 |

註: 1) 무응답 106명 제외

〈附表 Ⅰ-51〉 健康關聯變數別 主觀的 體重認識 分布

(單位: %)

| | 계(N) | 여윈 편 | 보 통 | 비만한 편 |
|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 18.7 | 57.0 | 24.4 |
| 주관전 건강인식 | | | | |
| 매우 좋음 | 100.0( 664) | 11.1 | 66.7 | 22.2 |
| 좋 음 | 100.0(2,499) | 15.1 | 59.9 | 25.0 |
| 보 통 | 100.0(2,285) | 20.9 | 55.7 | 23.4 |
| 안좋음 | 100.0(1,032) | 27.3 | 46.3 | 26.4 |
| 건강염려정도 | | | | |
| 항상 걱정 | 100.0(1,159) | 23.3 | 50.6 | 26.1 |
| 가끔 걱정 | 100.0(4,064) | 18.1 | 57.2 | 24.6 |
| 걱정 안함 | 100.0(1,257) | 16.1 | 62.0 | 21.9 |
| 스트레스 여부[1] | | | | |
| 있음 | 100.0(4,685) | 17.9 | 56.2 | 25.8 |
| 없음 | 100.0(1,361) | 17.9 | 60.8 | 21.3 |
| 만성이환 유무 | | | | |
| 없음 | 100.0(4,857) | 18.0 | 59.1 | 23.0 |
| 있음 | 100.0(1,623) | 20.8 | 50.7 | 28.4 |
| 이환의 수 | | | | |
| 없음 | 100.0(3,779) | 17.6 | 59.8 | 22.7 |
| 1개 | 100.0(1,732) | 21.7 | 53.0 | 25.2 |
| 2개 이상 | 100.0( 969) | 17.6 | 53.2 | 29.2 |

註: 1) 무응답 434명 제외

〈附表 Ⅰ-52〉 健康關聯變數別 지난 1年間 體重調節與否

(單位: %)

| | 계(N) | 예 | 아니오 |
|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 25.2 | 74.8 |
| 주관전 건강인식 | | | |
| 매우 좋음 | 100.0( 664) | 21.3 | 78.7 |
| 좋 음 | 100.0(2,499) | 26.4 | 73.6 |
| 보 통 | 100.0(2,285) | 25.9 | 74.1 |
| 안좋음 | 100.0(1,032) | 23.1 | 76.9 |
| 건강염려정도 | | | |
| 항상 걱정 | 100.0(1,159) | 26.0 | 74.0 |
| 가끔 걱정 | 100.0(4,064) | 27.3 | 72.7 |
| 걱정 안함 | 100.0(1,257) | 17.6 | 82.4 |
| 스트레스 여부[1] | | | |
| 있음 | 100.0(4,685) | 28.4 | 71.6 |
| 없음 | 100.0(1,361) | 19.0 | 81.0 |
| 만성이환 유무 | | | |
| 없음 | 100.0(4,857) | 24.9 | 75.1 |
| 있음 | 100.0(1,623) | 26.0 | 74.0 |
| 이환의 수 | | | |
| 없음 | 100.0(3,779) | 25.0 | 75.0 |
| 1개 | 100.0(1,732) | 23.8 | 76.2 |
| 2개 이상 | 100.0( 969) | 28.5 | 71.5 |

註: 1) 무응답 434명 제외

〈附表 Ⅰ-53〉 健康關聯變數別 運動頻度

(單位: %)

| | 계(N) | 안한다 | 가끔 | 주 1회 | 주 2~3회 | 주 4~5회 | 거의 매일 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 58.8 | 17.1 | 6.9 | 8.0 | 3.6 | 5.6 |
| 주관전 건강인식 | | | | | | | |
| 매우 좋음 | 100.0( 664) | 50.4 | 18.3 | 8.5 | 7.4 | 6.8 | 8.7 |
| 좋 음 | 100.0(2,499) | 54.5 | 17.9 | 7.2 | 9.3 | 4.4 | 6.7 |
| 보 통 | 100.0(2,285) | 58.0 | 18.3 | 7.7 | 8.8 | 3.0 | 4.1 |
| 안좋음 | 100.0(1,032) | 76.3 | 11.7 | 3.4 | 3.5 | 1.2 | 3.9 |
| 건강염려정도 | | | | | | | |
| 항상 걱정 | 100.0(1,159) | 68.6 | 10.4 | 4.3 | 5.7 | 3.4 | 7.6 |
| 가끔 걱정 | 100.0(4,064) | 54.7 | 19.8 | 7.7 | 8.8 | 3.9 | 5.1 |
| 걱정 안함 | 100.0(1,257) | 62.7 | 14.9 | 6.5 | 7.6 | 3.1 | 5.2 |
| 스트레스 여부[1] | | | | | | | |
| 있음 | 100.0(4,685) | 56.7 | 18.4 | 7.1 | 8.6 | 3.6 | 5.6 |
| 없음 | 100.0(1,361) | 55.6 | 17.4 | 7.7 | 8.3 | 4.8 | 6.2 |
| 만성이환 유무 | | | | | | | |
| 없음 | 100.0(4,857) | 55.8 | 18.7 | 7.6 | 8.6 | 3.9 | 5.4 |
| 있음 | 100.0(1,623) | 67.9 | 12.4 | 4.6 | 6.3 | 2.9 | 5.9 |
| 이환의 수 | | | | | | | |
| 없음 | 100.0(3,779) | 55.3 | 18.9 | 7.9 | 8.7 | 4.0 | 5.3 |
| 1개 | 100.0(1,732) | 61.0 | 15.8 | 6.4 | 8.2 | 2.9 | 5.7 |
| 2개 이상 | 100.0( 969) | 68.9 | 12.4 | 3.8 | 4.9 | 3.5 | 6.5 |

註: 1) 무응답 434명 제외

〈附表 Ⅰ-54〉 健康關聯變數別 아침食事 與否 및 不規則的 食事率

(單位: %)

| | 계(N) | 아침식사 여부 | | | 불규칙적 식사율 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 꼭 먹음 | 가끔 먹음 | 안 먹음 | |
| 전 체 | 100.0(6,480) | 65.7 | 25.1 | 9.1 | 47.1 |
| 주관전 건강인식 | | | | | |
| 매우 좋음 | 100.0( 664) | 62.2 | 26.2 | 11.6 | 49.0 |
| 좋 음 | 100.0(2,499) | 65.5 | 24.7 | 9.8 | 47.2 |
| 보 통 | 100.0(2,285) | 64.2 | 27.6 | 8.2 | 48.6 |
| 안좋음 | 100.0(1,032) | 72.0 | 19.9 | 8.1 | 42.5 |
| 건강염려정도 | | | | | |
| 항상 걱정 | 100.0(1,159) | 73.7 | 19.9 | 6.4 | 39.0 |
| 가끔 걱정 | 100.0(4,064) | 63.0 | 27.3 | 9.6 | 50.1 |
| 걱정 안함 | 100.0(1,257) | 66.9 | 23.0 | 10.1 | 45.1 |
| 스트레스 여부[1] | | | | | |
| 있음 | 100.0(4,685) | 62.3 | 27.4 | 10.3 | 51.0 |
| 없음 | 100.0(1,361) | 70.4 | 22.2 | 7.4 | 41.8 |
| 만성이환 유무 | | | | | |
| 없음 | 100.0(4,857) | 62.9 | 27.3 | 9.8 | 49.8 |
| 있음 | 100.0(1,623) | 74.4 | 18.5 | 7.0 | 38.9 |
| 이환의 수 | | | | | |
| 없음 | 100.0(3,779) | 62.3 | 27.7 | 10.0 | 50.2 |
| 1개 | 100.0(1,732) | 71.0 | 21.8 | 7.2 | 43.3 |
| 2개 이상 | 100.0( 969) | 70.0 | 20.7 | 9.2 | 41.4 |

註: 1) 무응답 434명 제외

〈附表 Ⅰ-55〉 健康關聯變數別 過食頻度

(單位: %)

| | 계(N) | 전혀 하지 않음 | 가끔 함 | 항상 함 |
|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 33.9 | 63.4 | 2.7 |
| 주관전 건강인식 | | | | |
| 매우 좋음 | 100.0( 664) | 37.4 | 59.3 | 3.2 |
| 좋 음 | 100.0(2,499) | 31.7 | 66.0 | 2.4 |
| 보 통 | 100.0(2,285) | 30.4 | 67.1 | 2.4 |
| 안좋음 | 100.0(1,032) | 44.8 | 51.7 | 3.5 |
| 건강염려정도 | | | | |
| 항상 걱정 | 100.0(1,159) | 43.9 | 52.2 | 3.9 |
| 가끔 걱정 | 100.0(4,064) | 28.4 | 69.2 | 2.5 |
| 걱정 안함 | 100.0(1,257) | 42.3 | 55.4 | 2.3 |
| 스트레스 여부[1] | | | | |
| 있음 | 100.0(4,685) | 29.5 | 67.7 | 2.8 |
| 없음 | 100.0(1,361) | 39.7 | 57.5 | 2.8 |
| 만성이환 유무 | | | | |
| 없음 | 100.0(4,857) | 31.6 | 65.9 | 2.5 |
| 있음 | 100.0(1,623) | 41.2 | 55.8 | 3.0 |
| 이환의 수 | | | | |
| 없음 | 100.0(3,779) | 31.2 | 66.3 | 2.5 |
| 1개 | 100.0(1,732) | 37.0 | 60.4 | 2.7 |
| 2개 이상 | 100.0( 969) | 39.6 | 57.0 | 3.3 |

註: 1) 무응답 434명 제외

〈附表 Ⅰ-56〉 健康關聯變數別 間食頻度

(單位: %)

| | 계(N) | 전혀 하지 않음 | 가끔 함 | 항상 함 |
|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 22.2 | 66.9 | 10.9 |
| 주관전 건강인식 | | | | |
| 매우 좋음 | 100.0( 664) | 27.5 | 60.5 | 12.0 |
| 좋 음 | 100.0(2,499) | 21.9 | 67.1 | 11.0 |
| 보 통 | 100.0(2,285) | 18.1 | 71.6 | 10.3 |
| 안좋음 | 100.0(1,032) | 28.5 | 60.4 | 11.1 |
| 건강염려정도 | | | | |
| 항상 걱정 | 100.0(1,159) | 27.0 | 61.6 | 11.4 |
| 가끔 걱정 | 100.0(4,064) | 19.5 | 70.0 | 10.5 |
| 걱정 안함 | 100.0(1,257) | 26.5 | 62.0 | 11.4 |
| 스트레스 여부[1] | | | | |
| 있음 | 100.0(4,685) | 20.0 | 69.3 | 10.6 |
| 없음 | 100.0(1,361) | 23.3 | 64.5 | 12.2 |
| 만성이환 유무 | | | | |
| 없음 | 100.0(4,857) | 20.3 | 68.7 | 11.0 |
| 있음 | 100.0(1,623) | 28.1 | 61.5 | 10.3 |
| 이환의 수 | | | | |
| 없음 | 100.0(3,779) | 20.2 | 69.1 | 10.7 |
| 1개 | 100.0(1,732) | 24.8 | 64.4 | 10.8 |
| 2개 이상 | 100.0( 969) | 25.9 | 62.7 | 11.4 |

註: 1) 무응답 434명 제외

〈附表 Ⅰ-57〉 健康關聯變數別 하루 커피를 마시는 程度

(單位: %)

| | 계(N) | 안마심 | 권할 때 | 1잔 | 2~4잔 | 5잔 이상 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 28.6 | 28.1 | 19.8 | 21.4 | 2.0 |
| 주관전 건강인식 | | | | | | |
| 매우 좋음 | 100.0( 664) | 27.1 | 25.3 | 22.6 | 23.2 | 1.9 |
| 좋 음 | 100.0(2,499) | 25.0 | 28.6 | 20.1 | 23.8 | 2.5 |
| 보 통 | 100.0(2,285) | 26.4 | 29.9 | 20.0 | 21.8 | 1.8 |
| 안좋음 | 100.0(1,032) | 43.2 | 25.0 | 17.1 | 13.3 | 1.4 |
| 건강염려정도 | | | | | | |
| 항상 걱정 | 100.0(1,159) | 39.9 | 23.9 | 20.1 | 14.7 | 1.5 |
| 가끔 걱정 | 100.0(4,064) | 25.7 | 29.6 | 19.7 | 22.9 | 2.1 |
| 걱정 안함 | 100.0(1,257) | 27.9 | 27.0 | 20.0 | 22.8 | 2.4 |
| 스트레스 여부[1] | | | | | | |
| 있음 | 100.0(4,685) | 26.2 | 28.2 | 20.6 | 22.8 | 2.3 |
| 없음 | 100.0(1,361) | 30.9 | 27.4 | 20.0 | 20.1 | 1.6 |
| 만성이환 유무 | | | | | | |
| 없음 | 100.0(4,857) | 25.3 | 29.6 | 20.4 | 22.5 | 2.2 |
| 있음 | 100.0(1,623) | 38.7 | 23.8 | 18.1 | 17.9 | 1.5 |
| 이환의 수 | | | | | | |
| 없음 | 100.0(3,779) | 25.4 | 29.2 | 20.2 | 22.7 | 2.4 |
| 1개 | 100.0(1,732) | 30.4 | 29.2 | 19.1 | 19.8 | 1.6 |
| 2개 이상 | 100.0( 969) | 38.2 | 22.2 | 19.4 | 19.2 | 1.0 |

註: 1) 무응답 434명 제외

〈附表 Ⅰ-58〉 健康關聯變數別 牛乳를 마시는 程度

(單位: %)

| | 계(N) | 안마심 | 가끔 마심 | 주 2~3팩 | 하루 1컵 | 하루 2컵 이상 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 34.1 | 36.0 | 8.2 | 17.7 | 4.0 |
| 주관전 건강인식 | | | | | | |
| 매우 좋음 | 100.0( 664) | 30.4 | 32.3 | 10.5 | 18.7 | 8.2 |
| 좋 음 | 100.0(2,499) | 31.5 | 37.6 | 7.7 | 19.3 | 4.0 |
| 보 통 | 100.0(2,285) | 32.8 | 37.9 | 9.2 | 17.3 | 2.8 |
| 안좋음 | 100.0(1,032) | 45.8 | 30.1 | 5.9 | 14.4 | 3.7 |
| 건강염려정도 | | | | | | |
| 항상 걱정 | 100.0(1,159) | 40.7 | 31.1 | 6.9 | 16.4 | 5.0 |
| 가끔 걱정 | 100.0(4,064) | 31.6 | 37.8 | 9.1 | 17.9 | 3.5 |
| 걱정 안함 | 100.0(1,257) | 36.1 | 34.5 | 6.6 | 18.5 | 4.4 |
| 스트레스 여부[1] | | | | | | |
| 있음 | 100.0(4,685) | 33.3 | 36.8 | 9.0 | 17.1 | 3.8 |
| 없음 | 100.0(1,361) | 29.8 | 36.8 | 7.1 | 21.3 | 5.1 |
| 만성이환 유무 | | | | | | |
| 없음 | 100.0(4,857) | 31.4 | 37.3 | 8.9 | 18.4 | 4.0 |
| 있음 | 100.0(1,623) | 42.5 | 31.9 | 6.0 | 15.7 | 3.9 |
| 이환의 수 | | | | | | |
| 없음 | 100.0(3,779) | 31.1 | 36.9 | 9.5 | 18.4 | 4.1 |
| 1개 | 100.0(1,732) | 37.8 | 35.7 | 5.8 | 16.8 | 3.9 |
| 2개 이상 | 100.0( 969) | 40.1 | 32.6 | 7.3 | 16.8 | 3.2 |

註: 1) 무응답 434명 제외

〈附表 Ⅰ-59〉 健康關聯變數別 熟眠與否

(單位: %)

| | 계(N) | 충분하다 | 보통이다 | 부족하다 |
|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 40.1 | 40.4 | 19.5 |
| 주관전 건강인식 | | | | |
| 매우 좋음 | 100.0( 664) | 45.1 | 37.1 | 17.8 |
| 좋 음 | 100.0(2,499) | 42.9 | 38.5 | 18.6 |
| 보 통 | 100.0(2,285) | 34.8 | 46.3 | 18.9 |
| 안좋음 | 100.0(1,032) | 42.1 | 33.8 | 24.1 |
| 건강염려정도 | | | | |
| 항상 걱정 | 100.0(1,159) | 41.4 | 33.2 | 25.4 |
| 가끔 걱정 | 100.0(4,064) | 37.0 | 44.4 | 18.6 |
| 걱정 안함 | 100.0(1,257) | 49.1 | 33.7 | 17.2 |
| 스트레스 여부[1)] | | | | |
| 있음 | 100.0(4,685) | 34.7 | 43.6 | 21.7 |
| 없음 | 100.0(1,361) | 50.8 | 36.0 | 13.1 |
| 만성이환 유무 | | | | |
| 없음 | 100.0(4,857) | 39.8 | 41.7 | 18.5 |
| 있음 | 100.0(1,623) | 41.6 | 36.1 | 22.3 |
| 이환의 수 | | | | |
| 없음 | 100.0(3,779) | 39.8 | 41.9 | 18.3 |
| 1개 | 100.0(1,732) | 42.1 | 39.8 | 18.2 |
| 2개 이상 | 100.0( 969) | 38.6 | 35.0 | 26.3 |

註: 1) 무응답 434명 제외

〈附表 Ⅰ-60〉 健康關聯變數別 睡眠時間 分布

(單位: %)

| | 계(N) | 6시간 이하 | 7~8시간 | 9시간 이상 |
|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 39.2 | 52.3 | 8.5 |
| 주관전 건강인식 | | | | |
| 매우 좋음 | 100.0( 664) | 42.4 | 51.0 | 6.6 |
| 좋 음 | 100.0(2,499) | 40.5 | 51.2 | 8.3 |
| 보 통 | 100.0(2,285) | 37.2 | 54.5 | 8.3 |
| 안좋음 | 100.0(1,032) | 38.5 | 51.1 | 10.4 |
| 건강염려정도 | | | | |
| 항상 걱정 | 100.0(1,159) | 42.9 | 48.5 | 8.5 |
| 가끔 걱정 | 100.0(4,064) | 37.7 | 53.7 | 8.6 |
| 걱정 안함 | 100.0(1,257) | 40.6 | 51.3 | 8.1 |
| 스트레스 여부[1] | | | | |
| 있음 | 100.0(4,685) | 41.2 | 50.7 | 8.1 |
| 없음 | 100.0(1,361) | 34.4 | 56.1 | 9.6 |
| 만성이환 유무 | | | | |
| 없음 | 100.0(4,857) | 38.4 | 52.9 | 8.6 |
| 있음 | 100.0(1,623) | 41.3 | 50.7 | 8.0 |
| 이환의 수 | | | | |
| 없음 | 100.0(3,779) | 38.9 | 52.5 | 8.6 |
| 1개 | 100.0(1,732) | 36.3 | 55.5 | 8.2 |
| 2개 이상 | 100.0( 969) | 45.1 | 46.4 | 8.6 |

註: 1) 무응답 434명 제외

〈附表 Ⅰ-61〉 健康關聯變數別 充分한 休息與否

(單位: %)

| | 계(N) | 충분하다 | 보통이다 | 부족하다 |
|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 29.3 | 45.8 | 24.9 |
| 주관전 건강인식 | | | | |
| 매우 좋음 | 100.0( 664) | 33.5 | 46.3 | 20.2 |
| 좋 음 | 100.0(2,499) | 29.6 | 46.6 | 23.8 |
| 보 통 | 100.0(2,285) | 24.4 | 48.8 | 26.8 |
| 안좋음 | 100.0(1,032) | 36.6 | 37.0 | 26.4 |
| 건강염려정도 | | | | |
| 항상 걱정 | 100.0(1,159) | 33.9 | 38.7 | 27.4 |
| 가끔 걱정 | 100.0(4,064) | 26.2 | 48.8 | 25.0 |
| 걱정 안함 | 100.0(1,257) | 34.9 | 42.4 | 22.7 |
| 스트레스 여부[1] | | | | |
| 있음 | 100.0(4,685) | 24.6 | 47.8 | 27.6 |
| 없음 | 100.0(1,361) | 39.5 | 43.4 | 17.1 |
| 만성이환 유무 | | | | |
| 없음 | 100.0(4,857) | 27.3 | 47.7 | 24.9 |
| 있음 | 100.0(1,623) | 35.2 | 39.9 | 24.8 |
| 이환의 수 | | | | |
| 없음 | 100.0(3,779) | 27.1 | 48.0 | 24.9 |
| 1개 | 100.0(1,732) | 32.4 | 44.4 | 23.2 |
| 2개 이상 | 100.0( 969) | 32.6 | 39.6 | 27.8 |

註: 1) 무응답 434명 제외

〈附表 Ⅰ-62〉 健康關聯變數別 健康檢診 與否

(單位: %)

| | 계(N) | 예 | 아니오 |
|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 36.2 | 63.8 |
| 주관전 건강인식 | | | |
| 매우 좋음 | 100.0( 664) | 32.7 | 67.3 |
| 좋 음 | 100.0(2,499) | 35.8 | 64.2 |
| 보 통 | 100.0(2,285) | 36.5 | 63.5 |
| 안좋음 | 100.0(1,032) | 38.6 | 61.4 |
| 건강염려정도 | | | |
| 항상 걱정 | 100.0(1,159) | 40.9 | 59.1 |
| 가끔 걱정 | 100.0(4,064) | 37.6 | 62.4 |
| 걱정 안함 | 100.0(1,257) | 27.4 | 72.6 |
| 스트레스 여부[1] | | | |
| 있음 | 100.0(4,685) | 38.0 | 62.0 |
| 없음 | 100.0(1,361) | 34.5 | 65.5 |
| 만성이환 유무 | | | |
| 없음 | 100.0(4,857) | 34.0 | 66.0 |
| 있음 | 100.0(1,623) | 42.3 | 57.7 |
| 이환의 수 | | | |
| 없음 | 100.0(3,779) | 32.7 | 67.3 |
| 1개 | 100.0(1,732) | 40.7 | 59.3 |
| 2개 이상 | 100.0( 969) | 41.4 | 58.6 |

註: 1) 무응답 434명 제외

〈附表 Ⅰ-63〉 健康關聯變數別 지난 1年間 各種 檢査率[1)]

(單位: %)

| | (N) | 위암 | 간암 | 폐암 | 장암 | 유방암[2)] | 자궁암[2)] | 에이즈 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | (6,480) | 7.0 | 6.8 | 5.2 | 4.0 | 6.0 | 19.7 | 3.8 |
| 주관전 건강인식 | | | | | | | | |
| 매우 좋음 | ( 664) | 6.1 | 5.2 | 4.1 | 3.5 | 5.4 | 11.8 | 3.4 |
| 좋 음 | (2,499) | 6.4 | 7.0 | 5.4 | 4.5 | 6.1 | 18.9 | 4.5 |
| 보 통 | (2,285) | 6.8 | 7.0 | 5.5 | 3.5 | 5.1 | 19.5 | 3.8 |
| 안좋음 | (1,032) | 9.3 | 7.0 | 4.5 | 4.4 | 7.7 | 24.3 | 2.5 |
| 건강염려정도 | | | | | | | | |
| 항상 걱정 | (1,159) | 9.1 | 7.8 | 5.2 | 5.1 | 8.1 | 26.3 | 3.1 |
| 가끔 걱정 | (4,064) | 7.2 | 7.2 | 5.4 | 3.9 | 5.7 | 19.7 | 4.2 |
| 걱정 안함 | (1,257) | 4.3 | 4.7 | 4.2 | 3.4 | 4.8 | 11.8 | 3.1 |
| 스트레스 여부[3)] | | | | | | | | |
| 있음 | (4,685) | 7.3 | 7.2 | 5.1 | 4.0 | 6.1 | 20.6 | 4.1 |
| 없음 | (1,361) | 6.7 | 6.5 | 6.0 | 4.7 | 5.8 | 15.5 | 3.7 |
| 만성이환 유무 | | | | | | | | |
| 없음 | (4,857) | 5.1 | 5.6 | 4.4 | 3.3 | 5.0 | 16.6 | 3.9 |
| 있음 | (1,623) | 12.5 | 10.3 | 7.4 | 6.1 | 8.7 | 27.3 | 3.6 |
| 이환의 수 | | | | | | | | |
| 없음 | (3,779) | 5.0 | 5.3 | 4.4 | 3.3 | 4.5 | 14.8 | 3.5 |
| 1개 | (1,732) | 9.2 | 8.3 | 5.8 | 4.6 | 6.3 | 24.7 | 4.1 |
| 2개 이상 | ( 969) | 10.6 | 9.8 | 6.9 | 5.9 | 10.1 | 25.8 | 4.4 |

註: 1) (검사받는 자 ÷ 조사대상자) × 100
2) 여성 대상자에 한함.
3) 무응답 434명 제외

〈附表 Ⅰ-64〉 健康關聯變數別 血壓檢査 與否

(單位: %)

| | 계(N) | 예 | 아니오 |
|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(6,480) | 78.4 | 21.6 |
| 주관전 건강인식 | | | |
| 매우 좋음 | 100.0( 664) | 68.3 | 31.7 |
| 좋 음 | 100.0(2,499) | 76.7 | 23.3 |
| 보 통 | 100.0(2,285) | 77.8 | 22.2 |
| 안좋음 | 100.0(1,032) | 90.0 | 10.0 |
| 건강염려정도 | | | |
| 항상 걱정 | 100.0(1,159) | 87.1 | 12.9 |
| 가끔 걱정 | 100.0(4,064) | 78.6 | 21.4 |
| 걱정 안함 | 100.0(1,257) | 69.7 | 30.3 |
| 스트레스 여부[1] | | | |
| 있음 | 100.0(4,685) | 77.8 | 22.2 |
| 없음 | 100.0(1,361) | 77.4 | 22.6 |
| 만성이환 유무 | | | |
| 없음 | 100.0(4,857) | 74.3 | 25.7 |
| 있음 | 100.0(1,623) | 90.5 | 9.5 |
| 이환의 수 | | | |
| 없음 | 100.0(3,779) | 72.8 | 27.2 |
| 1개 | 100.0(1,732) | 84.6 | 15.4 |
| 2개 이상 | 100.0( 969) | 89.3 | 10.7 |

註: 1) 무응답 434명 제외

## 3. 青少年(15～24歲)

〈附表 Ⅰ-65〉 社會經濟的 特性別 主觀的 健康認識 狀態

(單位: %)

| | 계(N) | 매우좋음 | 좋 음 | 보 통 | 안좋음 |
|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(1,472) | 15.7 | 44.0 | 33.5 | 6.9 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,202) | 16.1 | 43.2 | 33.6 | 7.0 |
| 군지역 | 100.0( 270) | 13.6 | 47.3 | 33.0 | 6.0 |
| 성 | | | | | |
| 남자 | 100.0( 672) | 19.0 | 44.9 | 31.2 | 5.0 |
| 여자 | 100.0( 800) | 12.9 | 43.2 | 35.5 | 8.4 |
| 연령 | | | | | |
| 15～19세 | 100.0( 763) | 17.9 | 44.3 | 33.0 | 4.8 |
| 20～24세 | 100.0( 709) | 13.3 | 43.6 | 34.1 | 9.1 |
| 교육수준 | | | | | |
| 국졸 | 100.0( 10) | 24.3 | 7.6 | 68.1 | - |
| 중졸 | 100.0( 163) | 20.3 | 43.9 | 32.4 | 3.4 |
| 고졸 | 100.0( 873) | 15.3 | 45.7 | 32.3 | 6.6 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 426) | 14.5 | 41.2 | 35.6 | 8.8 |
| 주관적 생활수준 | | | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 420) | 11.9 | 40.7 | 38.5 | 8.9 |
| 보통 | 100.0( 947) | 16.4 | 45.4 | 32.3 | 5.8 |
| 잘사는 편 | 100.0( 105) | 23.3 | 44.0 | 24.8 | 7.9 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 112) | 11.0 | 38.8 | 44.1 | 6.1 |
| 51～100만원 | 100.0( 382) | 13.9 | 48.2 | 30.4 | 7.5 |
| 101～150만원 | 100.0( 369) | 14.3 | 45.0 | 31.3 | 9.4 |
| 151～200만원 | 100.0( 326) | 14.2 | 48.1 | 32.4 | 5.3 |
| 201만원 이상 | 100.0( 283) | 20.6 | 35.5 | 39.3 | 4.5 |

〈附表 Ⅰ-66〉 社會經濟的 特性別 스트레스 與否[1)]

(單位: %)

| | 계(N) | 있 음 | 없 음 |
|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(1,465) | 82.0 | 18.0 |
| 거주지 | | | |
| 시지역 | 100.0(1,202) | 76.7 | 23.3 |
| 군지역 | 100.0( 263) | 79.4 | 20.6 |
| 성 | | | |
| 남자 | 100.0( 669) | 72.0 | 28.0 |
| 여자 | 100.0( 796) | 81.6 | 18.4 |
| 연령 | | | |
| 15~19세 | 100.0( 761) | 75.0 | 25.0 |
| 20~24세 | 100.0( 704) | 79.6 | 20.4 |
| 교육수준 | | | |
| 국졸 | 100.0( 9) | 90.7 | 9.3 |
| 중졸 | 100.0( 163) | 65.4 | 34.6 |
| 고졸 | 100.0( 869) | 80.5 | 19.5 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 424) | 74.7 | 25.3 |
| 주관적 생활수준 | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 419) | 77.0 | 23.0 |
| 보통 | 100.0( 943) | 77.2 | 22.8 |
| 잘사는 편 | 100.0( 103) | 78.0 | 22.0 |
| 가구소득수준(월평균) | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 111) | 82.6 | 17.4 |
| 51~100만원 | 100.0( 381) | 78.9 | 21.1 |
| 101~150만원 | 100.0( 366) | 77.1 | 22.9 |
| 151~200만원 | 100.0( 325) | 79.5 | 20.5 |
| 201만원 이상 | 100.0( 281) | 71.0 | 29.0 |

註: 1) 무응답 7명 제외

〈附表 Ⅰ-67〉 社會經濟的 特性別 吸煙實態

(單位: %)

| | 계(N) | 현 흡연 | 과거 흡연 | 흡연 무경험 |
|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(1,472) | 19.8 | 5.6 | 74.6 |
| 거주지 | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,202) | 20.8 | 5.4 | 73.8 |
| 군지역 | 100.0( 270) | 15.0 | 6.7 | 78.3 |
| 성 | | | | |
| 남자 | 100.0( 672) | 38.4 | 7.3 | 54.3 |
| 여자 | 100.0( 800) | 4.1 | 4.2 | 91.6 |
| 연령 | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 10.4 | 4.8 | 84.9 |
| 20~24세 | 100.0( 709) | 29.9 | 6.6 | 63.5 |
| 교육수준 | | | | |
| 국졸 | 100.0( 10) | - | 45.7 | 54.3 |
| 중졸 | 100.0( 163) | 17.2 | 3.7 | 79.1 |
| 고졸 | 100.0( 873) | 17.4 | 6.3 | 76.2 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 426) | 26.0 | 4.0 | 70.0 |
| 주관적 생활수준 | | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 420) | 20.7 | 8.2 | 71.1 |
| 보통 | 100.0( 947) | 19.1 | 5.1 | 75.8 |
| 잘사는 편 | 100.0( 105) | 22.6 | - | 77.4 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 112) | 26.6 | 4.9 | 68.4 |
| 51~100만원 | 100.0( 382) | 20.0 | 7.7 | 72.3 |
| 101~150만원 | 100.0( 369) | 18.0 | 3.9 | 78.1 |
| 151~200만원 | 100.0( 326) | 18.0 | 7.1 | 74.9 |
| 201만원 이상 | 100.0( 283) | 20.8 | 4.4 | 74.8 |

〈附表 Ⅰ-68〉 社會經濟的 特性別 現吸煙者의 吸煙期間

(單位: %)

| | 계(N) | 4년 이하 | 5~9년 | 10~19년 |
|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(291) | 65.1 | 34.2 | 0.7 |
| 거주지 | | | | |
| 시지역 | 100.0(250) | 64.3 | 34.9 | 0.8 |
| 군지역 | 100.0( 41) | 70.2 | 29.8 | - |
| 성 | | | | |
| 남자 | 100.0(258) | 63.2 | 36.4 | 0.3 |
| 여자 | 100.0( 33) | 79.6 | 16.8 | 3.6 |
| 연령 | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 79) | 100.0 | - | - |
| 20~24세 | 100.0(212) | 51.1 | 47.9 | 1.0 |
| 교육수준 | | | | |
| 국졸 | - | - | - | - |
| 중졸 | 100.0( 28) | 39.6 | 57.1 | 3.3 |
| 고졸 | 100.0(152) | 66.3 | 32.9 | 0.8 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(111) | 69.5 | 30.5 | - |
| 주관적 생활수준 | | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 86) | 67.2 | 31.8 | 1.0 |
| 보통 | 100.0(181) | 60.5 | 38.8 | 0.7 |
| 잘사는 편 | 100.0( 24) | 90.4 | 9.6 | - |
| 가구소득수준(월평균) | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 29) | 52.1 | 47.9 | - |
| 51~100만원 | 100.0( 77) | 68.2 | 31.8 | - |
| 101~150만원 | 100.0( 67) | 59.6 | 38.5 | 1.8 |
| 151~200만원 | 100.0( 59) | 63.5 | 36.5 | - |
| 201만원 이상 | 100.0( 59) | 71.6 | 28.4 | - |

〈附表 Ⅰ-69〉 社會經濟的 特性別 現吸煙者의 지난 1個月間 吸煙日數

(單位: %)

| | 계(N) | 9일 이하 | 10~19일 | 20~29일 | 매 일 |
|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(291) | 3.3 | 3.2 | 8.4 | 85.1 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(250) | 3.1 | 2.9 | 8.5 | 85.6 |
| 군지역 | 100.0( 41) | 4.8 | 5.3 | 8.0 | 81.8 |
| 성 | | | | | |
| 남자 | 100.0(258) | 3.5 | 1.6 | 8.8 | 86.0 |
| 여자 | 100.0( 33) | 1.6 | 16.0 | 4.7 | 77.6 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 79) | 7.6 | 7.9 | 12.0 | 72.6 |
| 20~24세 | 100.0(212) | 1.7 | 1.4 | 7.0 | 89.9 |
| 교육수준 | | | | | |
| 국졸 | - | - | - | - | - |
| 중졸 | 100.0( 28) | - | 3.7 | 7.4 | 88.8 |
| 고졸 | 100.0(152) | 4.2 | 1.3 | 10.4 | 84.1 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(111) | 3.1 | 5.5 | 6.1 | 33.5 |
| 주관적 생활수준 | | | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 86) | 2.8 | 2.2 | 10.9 | 84.1 |
| 보통 | 100.0(181) | 3.4 | 1.9 | 8.1 | 86.5 |
| 잘사는 편 | 100.0( 24) | 4.7 | 18.2 | - | 77.0 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 29) | 6.9 | 2.0 | 8.3 | 82.8 |
| 51~100만원 | 100.0( 77) | 5.1 | 6.1 | 10.1 | 78.7 |
| 101~150만원 | 100.0( 67) | 4.0 | - | 11.5 | 84.5 |
| 151~200만원 | 100.0( 59) | 1.8 | - | 6.9 | 91.3 |
| 201만원 이상 | 100.0( 59) | - | 7.3 | 4.7 | 88.0 |

〈附表 Ⅰ-70〉 社會經濟的 特性別 現吸煙者의 지난 1個月間 1日 平均吸煙量

(單位: %)

| | 계(N) | 반 갑 이하 | 한 갑 | 한 갑 반 | 두 갑 이상 |
|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(291) | 39.0 | 48.4 | 10.2 | 2.4 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(250) | 37.7 | 48.5 | 11.5 | 2.3 |
| 군지역 | 100.0( 41) | 47.1 | 47.9 | 1.9 | 3.1 |
| 성 | | | | | |
| 남자 | 100.0(258) | 37.8 | 50.2 | 9.7 | 2.4 |
| 여자 | 100.0( 33) | 48.2 | 35.0 | 14.2 | 2.5 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 79) | 58.8 | 31.6 | 7.5 | 2.0 |
| 20~24세 | 100.0(212) | 31.6 | 54.7 | 11.2 | 2.5 |
| 교육수준 | | | | | |
| 국졸 | - | - | - | - | - |
| 중졸 | 100.0( 28) | 38.3 | 39.5 | 22.2 | - |
| 고졸 | 100.0(152) | 36.8 | 52.7 | 6.8 | 3.7 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(111) | 42.2 | 44.9 | 11.7 | 1.1 |
| 주관적 생활수준 | | | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 86) | 44.8 | 45.3 | 8.1 | 1.8 |
| 보통 | 100.0(181) | 36.1 | 50.5 | 10.5 | 2.9 |
| 잘사는 편 | 100.0( 24) | 39.8 | 44.6 | 15.5 | - |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 29) | 34.7 | 47.7 | 9.2 | 8.5 |
| 51~100만원 | 100.0( 77) | 43.2 | 52.0 | 3.0 | 1.8 |
| 101~150만원 | 100.0( 67) | 34.7 | 43.5 | 17.0 | 4.8 |
| 151~200만원 | 100.0( 59) | 45.2 | 48.8 | 6.0 | - |
| 201만원 이상 | 100.0( 59) | 36.5 | 47.0 | 16.5 | - |

〈附表 Ⅰ-71〉 社會經濟的 特性別 現吸煙者의 禁煙試圖率 및 禁煙에 대한 認識狀態

(單位: %)

| | 계(N) | 금연시도율 | 금연 필요성 인식 정도 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 끊을 필요 없음 | 반드시 끊어야 함 | 모르겠음 |
| 전 체 | 100.0(291) | 58.1 | 13.7 | 39.8 | 46.4 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(250) | 56.4 | 13.6 | 40.1 | 46.3 |
| 군지역 | 100.0( 41) | 68.6 | 14.3 | 38.3 | 47.5 |
| 성 | | | | | |
| 남자 | 100.0(258) | 59.0 | 13.2 | 38.8 | 48.0 |
| 여자 | 100.0( 33) | 51.1 | 18.0 | 47.8 | 34.2 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 79) | 65.1 | 9.4 | 45.3 | 45.3 |
| 20~24세 | 100.0(212) | 55.5 | 15.3 | 37.8 | 46.9 |
| 교육수준 | | | | | |
| 국졸 | - | - | - | - | - |
| 중졸 | 100.0( 28) | 63.5 | 5.0 | 48.6 | 46.4 |
| 고졸 | 100.0(152) | 59.9 | 13.9 | 44.0 | 42.1 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(111) | 54.3 | 15.7 | 31.9 | 52.4 |
| 주관적 생활수준 | | | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 86) | 49.5 | 18.2 | 35.0 | 46.8 |
| 보통 | 100.0(181) | 64.0 | 10.9 | 42.4 | 46.7 |
| 잘사는 편 | 100.0( 24) | 45.2 | 18.4 | 38.3 | 43.2 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 29) | 63.7 | 11.5 | 51.8 | 36.8 |
| 51~100만원 | 100.0( 77) | 64.2 | 16.2 | 38.1 | 45.7 |
| 101~150만원 | 100.0( 67) | 48.9 | 15.9 | 37.0 | 47.1 |
| 151~200만원 | 100.0( 59) | 56.1 | 10.6 | 39.9 | 49.5 |
| 201만원 이상 | 100.0( 59) | 59.9 | 14.2 | 44.9 | 40.8 |

〈附表 Ⅰ-72〉 社會經濟的 特性別 飲酒實態

(單位: %)

| | 계(N) | 현음주 | 과거음주 | 무음주 |
|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(1,472) | 24.3 | 6.5 | 69.3 |
| 거주지 | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,202) | 26.4 | 6.7 | 66.9 |
| 군지역 | 100.0( 270) | 14.8 | 5.4 | 79.9 |
| 성 | | | | |
| 남자 | 100.0( 672) | 31.4 | 5.3 | 63.4 |
| 여자 | 100.0( 800) | 18.3 | 7.5 | 74.2 |
| 연령 | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 9.6 | 3.8 | 86.6 |
| 20~24세 | 100.0( 709) | 40.1 | 9.3 | 50.6 |
| 교육수준 | | | | |
| 국졸 | 100.0( 10) | 39.0 | - | 61.0 |
| 중졸 | 100.0( 163) | 9.9 | 8.2 | 81.9 |
| 고졸 | 100.0( 873) | 20.5 | 6.0 | 73.5 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 426) | 37.3 | 6.9 | 55.9 |
| 주관적 생활수준 | | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 420) | 22.7 | 5.3 | 72.0 |
| 보통 | 100.0( 947) | 24.7 | 7.1 | 68.2 |
| 잘사는 편 | 100.0( 105) | 27.1 | 5.1 | 67.8 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 112) | 27.7 | 2.1 | 70.1 |
| 51~100만원 | 100.0( 382) | 19.5 | 6.2 | 74.4 |
| 101~150만원 | 100.0( 369) | 27.7 | 5.0 | 67.3 |
| 151~200만원 | 100.0( 326) | 18.3 | 9.1 | 72.7 |
| 201만원 이상 | 100.0( 283) | 33.6 | 8.3 | 58.1 |

〈附表 Ⅰ-73〉 社會經濟的 特性別 現飲酒者의 飲酒頻度

(單位: %)

| | 계(N) | 월 1회 이하 | 월 2~4회 | 주 2~4회 | 거의 매일 |
|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(357) | 8.4 | 52.6 | 34.5 | 4.5 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(317) | 8.4 | 51.8 | 35.6 | 4.2 |
| 군지역 | 100.0( 40) | 9.1 | 58.5 | 25.3 | 7.0 |
| 성 | | | | | |
| 남자 | 100.0(211) | 4.7 | 53.5 | 35.8 | 6.1 |
| 여자 | 100.0(146) | 13.8 | 51.3 | 31.6 | 2.3 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 73) | 14.3 | 45.7 | 35.1 | 4.9 |
| 20~24세 | 100.0(284) | 6.9 | 54.4 | 34.3 | 4.4 |
| 교육수준 | | | | | |
| 국졸 | 100.0( 4) | - | ** | ** | - |
| 중졸 | 100.0( 16) | 22.7 | 37.4 | 32.2 | 7.7 |
| 고졸 | 100.0(178) | 6.9 | 47.6 | 37.7 | 7.7 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(159) | 8.9 | 60.3 | 30.1 | 0.7 |
| 주관적 생활수준 | | | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 95) | 13.2 | 48.0 | 35.2 | 3.6 |
| 보통 | 100.0(234) | 6.8 | 50.9 | 36.9 | 5.4 |
| 잘사는 편 | 100.0( 28) | 6.1 | 82.9 | 10.9 | - |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 30) | 2.6 | 39.1 | 47.0 | 11.2 |
| 51~100만원 | 100.0( 74) | 14.5 | 46.0 | 33.3 | 6.2 |
| 101~150만원 | 100.0(101) | 7.4 | 60.4 | 26.9 | 5.3 |
| 151~200만원 | 100.0( 59) | - | 51.1 | 46.3 | 2.6 |
| 201만원 이상 | 100.0( 93) | 11.7 | 57.0 | 30.7 | 0.7 |

註: ** 5건 이하임.

〈附表 Ⅰ-74〉 社會經濟的 特性別 現飲酒者의 지난 1年間 過飲頻度

(單位: %)

| | 계(N) | 없음 | 연간 3회 이내 | 3개월에 1~3회 | 1개월에 1~3회 | 주 1회 이상 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(357) | 44.5 | 27.1 | 14.2 | 10.6 | 3.6 |
| 거주지 | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(317) | 43.5 | 27.4 | 13.8 | 11.3 | 4.1 |
| 군지역 | 100.0( 40) | 53.0 | 24.8 | 17.2 | 5.0 | - |
| 성 | | | | | | |
| 남자 | 100.0(211) | 40.2 | 24.1 | 19.8 | 11.6 | 4.4 |
| 여자 | 100.0(146) | 50.6 | 31.4 | 6.1 | 9.2 | 2.6 |
| 연령 | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 73) | 54.5 | 27.6 | 7.9 | 4.9 | 5.1 |
| 20~24세 | 100.0(284) | 41.9 | 27.0 | 15.8 | 12.1 | 3.3 |
| 교육수준 | | | | | | |
| 국졸 | 100.0( 4) | - | - | ** | ** | - |
| 중졸 | 100.0( 16) | 42.2 | 12.9 | 21.0 | 18.8 | 5.1 |
| 고졸 | 100.0(178) | 41.3 | 30.5 | 10.3 | 11.1 | 6.9 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(159) | 49.5 | 25.4 | 16.4 | 8.8 | - |
| 주관적 생활수준 | | | | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 95) | 45.4 | 25.8 | 15.3 | 11.0 | 2.5 |
| 보통 | 100.0(234) | 40.9 | 28.1 | 15.4 | 11.0 | 4.6 |
| 잘사는 편 | 100.0( 28) | 71.1 | 22.9 | - | 5.9 | - |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 30) | 49.4 | 26.7 | 7.3 | 16.6 | - |
| 51~100만원 | 100.0( 74) | 41.9 | 19.2 | 14.3 | 15.4 | 9.3 |
| 101~150만원 | 100.0(101) | 49.2 | 22.9 | 17.8 | 9.0 | 1.1 |
| 151~200만원 | 100.0( 59) | 28.8 | 40.8 | 25.3 | 5.1 | - |
| 201만원 이상 | 100.0( 93) | 48.1 | 30.5 | 6.1 | 10.6 | 4.8 |

註: ** 5건 이하임.

〈附表 Ⅰ-75〉 社會經濟的 特性別 現飲酒者의 節酒 및 禁酒 試圖 與否

(單位: %)

| | 계( N) | 있 음 | 없 음 |
|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(357) | 27.1 | 72.9 |
| 거주지 | | | |
| 시지역 | 100.0(317) | 26.5 | 73.5 |
| 군지역 | 100.0( 40) | 31.4 | 68.6 |
| 성 | | | |
| 남자 | 100.0(211) | 32.3 | 67.7 |
| 여자 | 100.0(146) | 19.3 | 80.7 |
| 연령 | | | |
| 15~19세 | 100.0( 73) | 18.3 | 81.7 |
| 20~24세 | 100.0(284) | 29.2 | 70.8 |
| 교육수준 | | | |
| 국졸 | 100.0( 4) | - | ** |
| 중졸 | 100.0( 16) | 37.0 | 63.0 |
| 고졸 | 100.0(178) | 33.8 | 66.2 |
| 전문대졸 이상 | 100.0(159) | 19.0 | 81.0 |
| 주관적 생활수준 | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 95) | 20.1 | 79.9 |
| 보통 | 100.0(234) | 31.5 | 68.5 |
| 잘사는 편 | 100.0( 28) | 11.2 | 88.8 |
| 가구소득수준(월평균) | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 30) | 20.7 | 79.3 |
| 51~100만원 | 100.0( 74) | 21.1 | 78.9 |
| 101~150만원 | 100.0(101) | 37.2 | 62.8 |
| 151~200만원 | 100.0( 59) | 17.9 | 82.1 |
| 201만원 이상 | 100.0( 93) | 29.8 | 70.2 |

註: ** 5건 이하임.

〈附表 Ⅰ-76〉 社會經濟的 特性別 主觀的 體重認識 分布

(單位: %)

| | 계(N) | 여윈 편 | 보 통 | 비만한 편 |
|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(1,472) | 20.6 | 55.4 | 24.1 |
| 거주지 | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,202) | 20.9 | 54.1 | 25.0 |
| 군지역 | 100.0( 270) | 19.1 | 61.1 | 19.8 |
| 성 | | | | |
| 남자 | 100.0( 672) | 33.1 | 52.5 | 14.4 |
| 여자 | 100.0( 800) | 9.9 | 57.8 | 32.3 |
| 연령 | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 21.6 | 52.9 | 25.5 |
| 20~24세 | 100.0( 709) | 19.4 | 58.0 | 22.6 |
| 교육수준 | | | | |
| 국졸 | 100.0( 10) | 13.8 | 58.4 | 27.8 |
| 중졸 | 100.0( 163) | 30.4 | 49.0 | 20.5 |
| 고졸 | 100.0( 873) | 19.4 | 56.1 | 24.5 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 426) | 19.4 | 56.3 | 24.4 |
| 주관적 생활수준 | | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 420) | 21.4 | 53.7 | 24.9 |
| 보통 | 100.0( 947) | 21.2 | 55.6 | 23.2 |
| 잘사는 편 | 100.0( 105) | 12.0 | 59.5 | 28.4 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 112) | 23.9 | 54.5 | 21.6 |
| 51~100만원 | 100.0( 382) | 15.5 | 61.5 | 23.0 |
| 101~150만원 | 100.0( 369) | 29.6 | 45.7 | 24.7 |
| 151~200만원 | 100.0( 326) | 17.7 | 56.5 | 25.9 |
| 201만원 이상 | 100.0( 283) | 16.8 | 60.1 | 23.1 |

〈附表 Ⅰ-77〉 社會經濟的 特性別 지난 1年間 體重調節 與否

(單位: %)

| | 계(N) | 예 | 아니오 |
|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(1,472) | 33.9 | 66.1 |
| 거주지 | | | |
| 시지역 | 100.0(1,202) | 34.8 | 65.2 |
| 군지역 | 100.0( 270) | 29.5 | 70.5 |
| 성 | | | |
| 남자 | 100.0( 672) | 21.8 | 78.2 |
| 여자 | 100.0( 800) | 44.1 | 55.9 |
| 연령 | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 31.8 | 68.2 |
| 20~24세 | 100.0( 709) | 36.1 | 63.9 |
| 교육수준 | | | |
| 국졸 | 100.0( 10) | 27.8 | 72.2 |
| 중졸 | 100.0( 163) | 33.2 | 66.8 |
| 고졸 | 100.0( 873) | 33.4 | 66.6 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 426) | 35.3 | 64.7 |
| 주관적 생활수준 | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 420) | 35.5 | 64.5 |
| 보통 | 100.0( 947) | 34.4 | 65.6 |
| 잘사는 편 | 100.0( 105) | 23.3 | 76.7 |
| 가구소득수준(월평균) | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 112) | 34.0 | 66.0 |
| 51~100만원 | 100.0( 382) | 30.5 | 69.5 |
| 101~150만원 | 100.0( 369) | 35.7 | 64.3 |
| 151~200만원 | 100.0( 326) | 28.5 | 71.5 |
| 201만원 이상 | 100.0( 283) | 41.8 | 58.2 |

〈附表 Ⅰ-78〉 社會經濟的 特性別 規則的 運動頻度

(單位: %)

| | 계(N) | 안한다 | 가끔 | 주 1회 | 주 2~3회 | 주 4~5회 | 거의 매일 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(1,472) | 36.8 | 27.5 | 11.4 | 13.7 | 4.3 | 6.3 |
| 거주지 | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,202) | 36.0 | 27.8 | 11.7 | 13.4 | 4.4 | 6.7 |
| 군지역 | 100.0( 270) | 40.3 | 26.3 | 10.2 | 14.7 | 3.8 | 4.7 |
| 성 | | | | | | | |
| 남자 | 100.0( 672) | 22.7 | 25.8 | 13.9 | 20.4 | 6.3 | 10.9 |
| 여자 | 100.0( 800) | 48.6 | 29.0 | 9.3 | 8.1 | 2.5 | 2.5 |
| 연령 | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 31.7 | 25.1 | 11.5 | 19.2 | 5.3 | 7.3 |
| 20~24세 | 100.0( 709) | 42.4 | 30.2 | 11.3 | 7.7 | 3.2 | 5.3 |
| 교육수준 | | | | | | | |
| 국졸 | 100.0( 10) | 29.3 | 70.7 | - | - | - | - |
| 중졸 | 100.0( 163) | 30.7 | 25.1 | 9.8 | 22.6 | 7.8 | 4.0 |
| 고졸 | 100.0( 873) | 38.2 | 25.1 | 11.0 | 14.3 | 3.7 | 7.8 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 426) | 36.5 | 32.4 | 13.2 | 9.2 | 4.2 | 4.5 |
| 주관적 생활수준 | | | | | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 420) | 35.3 | 30.2 | 10.1 | 12.4 | 5.8 | 6.2 |
| 보통 | 100.0( 947) | 37.2 | 26.8 | 12.2 | 13.5 | 3.9 | 6.4 |
| 잘사는 편 | 100.0( 105) | 38.9 | 23.4 | 9.4 | 20.5 | 1.6 | 6.2 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 112) | 40.8 | 19.8 | 16.6 | 7.7 | 2.2 | 12.9 |
| 51~100만원 | 100.0( 382) | 42.0 | 26.8 | 7.8 | 12.6 | 5.5 | 5.4 |
| 101~150만원 | 100.0( 369) | 36.0 | 31.8 | 10.6 | 12.1 | 3.1 | 6.5 |
| 151~200만원 | 100.0( 326) | 35.2 | 25.3 | 15.1 | 14.9 | 3.5 | 6.0 |
| 201만원 이상 | 100.0( 283) | 33.9 | 32.2 | 10.8 | 14.5 | 3.3 | 5.4 |

〈附表 Ⅰ-79〉 社會經濟的 特性別 平素 健康維持 方法

(單位: %)

| | 계(N) | 운동 | 식사 조절 | 금연/ 금주 | 영양제 복용 | 목욕 | 없음 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(1,472) | 32.1 | 17.7 | 1.9 | 3.3 | 8.7 | 36.3 |
| 거주지 | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,202) | 32.1 | 17.6 | 2.0 | 3.7 | 8.5 | 36.2 |
| 군지역 | 100.0( 270) | 32.3 | 17.7 | 1.6 | 1.8 | 9.5 | 37.8 |
| 성 | | | | | | | |
| 남자 | 100.0( 672) | 50.7 | 6.9 | 3.2 | 2.3 | 6.1 | 30.7 |
| 여자 | 100.0( 800) | 16.5 | 26.7 | 0.8 | 4.2 | 10.9 | 41.0 |
| 연령 | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 35.9 | 15.0 | 2.4 | 3.3 | 5.4 | 38.0 |
| 20~24세 | 100.0( 709) | 28.0 | 20.5 | 1.4 | 3.4 | 12.2 | 34.5 |
| 교육수준 | | | | | | | |
| 국졸 | 100.0( 10) | 13.8 | 45.7 | - | - | - | 40.5 |
| 중졸 | 100.0( 163) | 40.6 | 13.0 | 0.7 | 6.9 | 6.1 | 32.9 |
| 고졸 | 100.0( 873) | 33.1 | 17.9 | 20. | 2.9 | 8.3 | 35.8 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 426) | 27.2 | 18.4 | 2.2 | 2.9 | 10.7 | 38.6 |
| 주관적 생활수준 | | | | | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 420) | 32.3 | 19.0 | 1.4 | 2.2 | 7.6 | 37.5 |
| 보통 | 100.0( 947) | 32.8 | 17.5 | 1.7 | 2.8 | 9.0 | 36.2 |
| 잘사는 편 | 100.0( 105) | 24.7 | 13.9 | 5.8 | 13.2 | 10.3 | 32.1 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 112) | 38.6 | 10.8 | 4.0 | 4.3 | 5.0 | 37.3 |
| 51~100만원 | 100.0( 382) | 30.1 | 16.3 | 2.0 | 2.4 | 9.4 | 39.8 |
| 101~150만원 | 100.0( 369) | 29.8 | 20.1 | 0.6 | 1.5 | 9.4 | 38.5 |
| 151~200만원 | 100.0( 326) | 30.8 | 15.7 | 1.0 | 3.3 | 8.5 | 40.6 |
| 201만원 이상 | 100.0( 283) | 34.6 | 21.1 | 3.7 | 7.1 | 9.3 | 24.1 |

〈附表 Ⅰ-80〉 社會經濟的 特性別 아침食事 與否 및 不規則的 食事率

(單位: %)

| | 계(N) | 아침식사 여부 | | | 불규칙적 식사율 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 꼭 먹음 | 가끔 먹음 | 안 먹음 | |
| 전 체 | 100.0(1,472) | 46.9 | 38.0 | 15.1 | 65.5 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,202) | 44.6 | 39.0 | 16.4 | 67.6 |
| 군지역 | 100.0( 270) | 57.5 | 33.4 | 9.1 | 56.3 |
| 성 | | | | | |
| 남자 | 100.0( 672) | 52.7 | 35.4 | 12.0 | 62.5 |
| 여자 | 100.0( 800) | 42.2 | 40.2 | 17.6 | 68.1 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 50.9 | 36.1 | 13.0 | 62.3 |
| 20~24세 | 100.0( 709) | 42.7 | 40.0 | 17.2 | 69.0 |
| 교육수준 | | | | | |
| 국졸 | 100.0( 10) | 25.5 | 35.5 | 39.0 | 82.1 |
| 중졸 | 100.0( 163) | 46.5 | 37.3 | 16.2 | 65.3 |
| 고졸 | 100.0( 873) | 47.7 | 36.1 | 16.2 | 64.3 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 426) | 46.1 | 42.3 | 11.7 | 67.7 |
| 주관적 생활수준 | | | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 420) | 43.5 | 39.3 | 17.1 | 71.1 |
| 보통 | 100.0( 947) | 48.2 | 37.1 | 14.7 | 63.4 |
| 잘사는 편 | 100.0( 105) | 48.8 | 41.2 | 10.1 | 62.4 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 112) | 48.6 | 42.1 | 9.3 | 64.7 |
| 51~100만원 | 100.0( 382) | 47.5 | 32.4 | 20.1 | 65.6 |
| 101~150만원 | 100.0( 369) | 46.1 | 39.8 | 14.1 | 67.0 |
| 151~200만원 | 100.0( 326) | 51.8 | 36.8 | 11.5 | 64.2 |
| 201만원 이상 | 100.0( 283) | 41.6 | 42.3 | 16.0 | 63.4 |

〈附表 Ⅰ-81〉 社會經濟的 特性別 過食頻度

(單位: %)

| | 계(N) | 전혀 하지 않음 | 가끔 함 | 항상 함 |
|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(1,472) | 17.8 | 78.6 | 3.5 |
| 거주지 | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,202) | 17.6 | 78.4 | 4.0 |
| 군지역 | 100.0( 270) | 19.0 | 79.5 | 1.5 |
| 성 | | | | |
| 남자 | 100.0( 672) | 20.8 | 75.9 | 3.3 |
| 여자 | 100.0( 800) | 15.3 | 80.9 | 3.8 |
| 연령 | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 15.2 | 80.0 | 4.8 |
| 20~24세 | 100.0( 709) | 20.7 | 77.1 | 2.2 |
| 교육수준 | | | | |
| 국졸 | 100.0( 10) | - | 100.0 | - |
| 중졸 | 100.0( 163) | 26.0 | 72.6 | 1.4 |
| 고졸 | 100.0( 873) | 16.1 | 80.0 | 3.9 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 426) | 18.7 | 77.6 | 3.7 |
| 주관적 생활수준 | | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 420) | 19.3 | 77.8 | 2.9 |
| 보통 | 100.0( 947) | 17.6 | 78.4 | 4.0 |
| 잘사는 편 | 100.0( 105) | 13.2 | 84.9 | 1.9 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 112) | 19.3 | 80.0 | 0.7 |
| 51~100만원 | 100.0( 382) | 22.0 | 74.2 | 3.8 |
| 101~150만원 | 100.0( 369) | 17.5 | 80.8 | 1.7 |
| 151~200만원 | 100.0( 326) | 14.3 | 80.2 | 5.4 |
| 201만원 이상 | 100.0( 283) | 16.5 | 79.5 | 4.0 |

〈附表 Ⅰ-82〉 社會經濟的 特性別 間食頻度

(單位: %)

| | 계(N) | 전혀 하지 않음 | 가끔 함 | 항상 함 |
|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(1,472) | 9.6 | 75.6 | 14.8 |
| 거주지 | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,202) | 8.9 | 75.4 | 15.7 |
| 군지역 | 100.0( 270) | 12.6 | 76.5 | 10.9 |
| 성 | | | | |
| 남자 | 100.0( 672) | 14.6 | 73.5 | 11.9 |
| 여자 | 100.0( 800) | 5.4 | 77.3 | 17.2 |
| 연령 | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 8.3 | 73.5 | 18.1 |
| 20~24세 | 100.0( 709) | 11.0 | 77.8 | 11.2 |
| 교육수준 | | | | |
| 국졸 | 100.0( 10) | - | 78.3 | 21.7 |
| 중졸 | 100.0( 163) | 12.9 | 75.4 | 11.7 |
| 고졸 | 100.0( 873) | 8.4 | 75.4 | 16.3 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 426) | 11.1 | 76.1 | 12.8 |
| 주관적 생활수준 | | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 420) | 7.8 | 77.5 | 14.7 |
| 보통 | 100.0( 947) | 10.6 | 75.2 | 14.2 |
| 잘사는 편 | 100.0( 105) | 7.2 | 72.2 | 20.6 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 112) | 10.7 | 79.4 | 9.8 |
| 51~100만원 | 100.0( 382) | 10.6 | 78.0 | 11.3 |
| 101~150만원 | 100.0( 369) | 9.8 | 77.5 | 12.8 |
| 151~200만원 | 100.0( 326) | 8.6 | 73.2 | 18.2 |
| 201만원 이상 | 100.0( 283) | 9.7 | 68.5 | 21.8 |

〈附表 Ⅰ-83〉 社會經濟的 特性別 外食頻度

(單位: %)

| | 계(N) | 거의 안함 | 월 1~2회 | 주 1회 | 주 2~3회 | 주 4~5회 | 거의 매일 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(1,472) | 30.5 | 36.1 | 14.1 | 8.8 | 4.0 | 6.5 |
| 거주지 | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,202) | 27.9 | 36.4 | 14.8 | 8.6 | 4.7 | 7.6 |
| 군지역 | 100.0( 270) | 42.2 | 34.8 | 10.8 | 9.8 | 0.9 | 1.7 |
| 성 | | | | | | | |
| 남자 | 100.0( 672) | 32.7 | 38.2 | 11.0 | 7.9 | 3.2 | 7.1 |
| 여자 | 100.0( 800) | 28.7 | 34.4 | 16.6 | 9.7 | 4.6 | 6.0 |
| 연령 | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 39.9 | 36.7 | 12.8 | 5.3 | 1.7 | 3.7 |
| 20~24세 | 100.0( 709) | 20.4 | 35.5 | 15.4 | 12.7 | 6.4 | 9.5 |
| 교육수준 | | | | | | | |
| 국졸 | 100.0( 10) | 46.7 | 25.5 | 27.8 | - | - | - |
| 중졸 | 100.0( 163) | 44.7 | 42.4 | 11.2 | 1.6 | - | 1.2 |
| 고졸 | 100.0( 873) | 33.0 | 40.3 | 12.4 | 7.5 | 2.3 | 4.5 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 426) | 19.7 | 25.4 | 18.2 | 14.9 | 9.0 | 12.8 |
| 주관적 생활수준 | | | | | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 420) | 35.0 | 35.6 | 10.0 | 11.2 | 2.3 | 5.8 |
| 보통 | 100.0( 947) | 29.0 | 37.0 | 15.9 | 7.0 | 4.1 | 7.0 |
| 잘사는 편 | 100.0( 105) | 26.1 | 30.5 | 13.3 | 15.8 | 9.5 | 4.8 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 112) | 39.4 | 34.8 | 8.9 | 6.9 | 3.0 | 7.0 |
| 51~100만원 | 100.0( 382) | 37.0 | 34.6 | 11.8 | 8.2 | 2.7 | 5.7 |
| 101~150만원 | 100.0( 369) | 29.3 | 40.1 | 13.8 | 9.1 | 3.7 | 4.0 |
| 151~200만원 | 100.0( 326) | 30.6 | 30.9 | 19.3 | 7.7 | 5.3 | 6.1 |
| 2010만원 이상 | 100.0( 283) | 21.9 | 39.2 | 13.7 | 9.3 | 4.5 | 11.5 |

〈附表 Ⅰ-84〉 社會經濟的 特性別 牛乳를 마시는 程度

(單位: %)

| | 계(N) | 안마심 | 가끔 마심 | 주 2~3팩 | 하루 1컵 | 일 2컵 이상 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(1,472) | 17.7 | 38.6 | 12.4 | 24.4 | 7.0 |
| 거주지 | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,202) | 16.6 | 38.7 | 13.2 | 24.4 | 7.1 |
| 군지역 | 100.0( 270) | 22.7 | 38.0 | 8.8 | 24.1 | 6.4 |
| 성 | | | | | | |
| 남자 | 100.0( 672) | 16.4 | 34.2 | 10.9 | 27.3 | 11.2 |
| 여자 | 100.0( 800) | 18.8 | 42.2 | 13.6 | 21.9 | 3.5 |
| 연령 | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 13.7 | 35.8 | 11.9 | 28.3 | 10.3 |
| 20~24세 | 100.0( 709) | 22.1 | 41.5 | 12.9 | 20.1 | 3.4 |
| 교육수준 | | | | | | |
| 국졸 | 100.0( 10) | - | 73.1 | 13.8 | 13.1 | - |
| 중졸 | 100.0( 163) | 17.9 | 39.1 | 14.4 | 21.7 | 6.9 |
| 고졸 | 100.0( 873) | 18.5 | 37.1 | 9.5 | 26.2 | 8.7 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 426) | 16.5 | 40.4 | 17.4 | 21.9 | 3.7 |
| 주관적 생활수준 | | | | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 420) | 19.0 | 43.4 | 14.2 | 18.9 | 4.5 |
| 보통 | 100.0( 947) | 17.5 | 37.2 | 10.9 | 26.2 | 8.2 |
| 잘사는 편 | 100.0( 105) | 14.8 | 30.9 | 18.4 | 30.3 | 5.7 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 112) | 19.3 | 51.8 | 7.4 | 18.8 | 2.8 |
| 51~100만원 | 100.0( 382) | 25.6 | 40.0 | 11.5 | 15.6 | 7.3 |
| 101~150만원 | 100.0( 369) | 14.7 | 41.0 | 13.0 | 25.7 | 5.6 |
| 151~200만원 | 100.0( 326) | 18.1 | 31.5 | 9.6 | 31.2 | 9.6 |
| 201만원 이상 | 100.0( 283) | 9.4 | 36.9 | 17.7 | 29.8 | 6.2 |

〈附表 Ⅰ-85〉 社會經濟的 特性別 熟眠與否

(單位: %)

| | 계(N) | 충분하다 | 보통이다 | 부족하다 |
|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(1,472) | 36.4 | 45.8 | 17.8 |
| 거주지 | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,202) | 35.2 | 45.8 | 19.0 |
| 군지역 | 100.0( 270) | 41.9 | 45.5 | 12.6 |
| 성 | | | | |
| 남자 | 100.0( 672) | 33.1 | 46.9 | 20.0 |
| 여자 | 100.0( 800) | 39.2 | 44.8 | 16.0 |
| 연령 | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 37.6 | 43.2 | 19.2 |
| 20~24세 | 100.0( 709) | 35.2 | 48.6 | 16.2 |
| 교육수준 | | | | |
| 국졸 | 100.0( 10) | - | 100.0 | - |
| 중졸 | 100.0( 163) | 33.1 | 56.1 | 10.8 |
| 고졸 | 100.0( 873) | 31.1 | 46.5 | 22.5 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 426) | 49.5 | 39.1 | 11.3 |
| 주관적 생활수준 | | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 420) | 38.2 | 43.9 | 18.0 |
| 보통 | 100.0( 947) | 36.6 | 44.9 | 18.5 |
| 잘사는 편 | 100.0( 105) | 28.4 | 61.1 | 10.5 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 112) | 47.1 | 36.4 | 16.6 |
| 51~100만원 | 100.0( 382) | 37.0 | 47.4 | 15.7 |
| 101~150만원 | 100.0( 369) | 36.6 | 46.5 | 16.9 |
| 151~200만원 | 100.0( 326) | 35.8 | 40.0 | 24.3 |
| 201만원 이상 | 100.0( 283) | 32.0 | 51.6 | 16.4 |

〈附表 Ⅰ-86〉 社會經濟的 特性別 睡眠時間 分布

(單位: %)

| | 계(N) | 6시간 이하 | 7~8시간 | 9시간 이상 |
|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(1,472) | 37.4 | 50.9 | 11.7 |
| 거주지 | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,202) | 37.7 | 50.8 | 11.5 |
| 군지역 | 100.0( 270) | 36.2 | 51.4 | 12.4 |
| 성 | | | | |
| 남자 | 100.0( 672) | 40.8 | 45.8 | 13.4 |
| 여자 | 100.0( 800) | 34.5 | 55.2 | 10.3 |
| 연령 | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 41.6 | 47.5 | 10.9 |
| 20~24세 | 100.0( 709) | 32.8 | 54.6 | 12.6 |
| 교육수준 | | | | |
| 국졸 | 100.0( 10) | 54.6 | 20.2 | 25.2 |
| 중졸 | 100.0( 163) | 21.3 | 66.6 | 12.1 |
| 고졸 | 100.0( 873) | 45.1 | 45.5 | 9.4 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 426) | 27.4 | 56.7 | 15.9 |
| 주관적 생활수준 | | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 420) | 35.3 | 50.6 | 14.1 |
| 보통 | 100.0( 947) | 38.3 | 50.6 | 11.1 |
| 잘사는 편 | 100.0( 105) | 37.5 | 54.4 | 8.1 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 112) | 40.2 | 43.8 | 16.0 |
| 51~100만원 | 100.0( 382) | 37.8 | 49.8 | 12.4 |
| 101~150만원 | 100.0( 369) | 34.0 | 56.1 | 9.9 |
| 151~200만원 | 100.0( 326) | 42.0 | 45.4 | 12.6 |
| 201만원 이상 | 100.0( 283) | 35.6 | 53.7 | 10.7 |

〈附表 Ⅰ-87〉 社會經濟的 特性別 充分한 休息與否

(單位: %)

| | 계(N) | 충분하다 | 보통이다 | 부족하다 |
|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(1,472) | 23.0 | 53.6 | 23.5 |
| 거주지 | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,202) | 22.0 | 52.6 | 25.4 |
| 군지역 | 100.0( 270) | 27.3 | 57.8 | 14.9 |
| 성 | | | | |
| 남자 | 100.0( 672) | 22.6 | 56.2 | 21.2 |
| 여자 | 100.0( 800) | 23.3 | 51.3 | 25.3 |
| 연령 | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 23.6 | 51.6 | 24.8 |
| 20~24세 | 100.0( 709) | 22.3 | 55.6 | 22.1 |
| 교육수준 | | | | |
| 국졸 | 100.0( 10) | - | 47.9 | 52.1 |
| 중졸 | 100.0( 163) | 24.8 | 57.2 | 18.0 |
| 고졸 | 100.0( 873) | 20.0 | 53.2 | 26.9 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 426) | 29.0 | 53.1 | 17.9 |
| 주관적 생활수준 | | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 420) | 25.8 | 50.3 | 23.9 |
| 보통 | 100.0( 947) | 21.6 | 54.4 | 24.0 |
| 잘사는 편 | 100.0( 105) | 23.8 | 59.3 | 17.0 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 112) | 36.0 | 39.9 | 24.1 |
| 51~100만원 | 100.0( 382) | 26.2 | 50.7 | 23.1 |
| 101~150만원 | 100.0( 369) | 21.2 | 55.6 | 23.2 |
| 151~200만원 | 100.0( 326) | 21.7 | 53.5 | 24.8 |
| 201만원 이상 | 100.0( 283) | 18.5 | 56.2 | 25.3 |

〈附表 Ⅰ-88〉 社會經濟的 特性別 하루 칫솔질 頻度

(單位: %)

| | 계(N) | 3번 이상 | 2번 | 1번 | 닦지 않음 |
|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(1,472) | 28.1 | 55.7 | 15.8 | 0.4 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,202) | 27.7 | 55.4 | 16.5 | 0.4 |
| 군지역 | 100.0( 270) | 29.9 | 56.7 | 12.8 | 0.6 |
| 성 | | | | | |
| 남자 | 100.0( 672) | 19.2 | 54.8 | 25.3 | 0.6 |
| 여자 | 100.0( 800) | 35.8 | 56.3 | 8.0 | 0.2 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 21.0 | 58.4 | 19.9 | 0.8 |
| 20~24세 | 100.0( 709) | 25.8 | 52.7 | 11.5 | - |
| 교육수준 | | | | | |
| 국졸 | 100.0( 10) | 36.4 | 63.6 | - | - |
| 중졸 | 100.0( 163) | 18.2 | 60.1 | 20.8 | 0.9 |
| 고졸 | 100.0( 873) | 28.1 | 54.5 | 17.1 | 0.2 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 426) | 31.6 | 56.1 | 11.7 | 0.6 |
| 주관적 생활수준 | | | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 420) | 21.4 | 58.0 | 19.6 | 0.9 |
| 보통 | 100.0( 947) | 31.3 | 54.3 | 14.2 | 0.2 |
| 잘사는 편 | 100.0( 105) | 26.5 | 58.0 | 15.6 | - |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 112) | 29.8 | 49.8 | 19.0 | 1.4 |
| 51~100만원 | 100.0( 382) | 29.7 | 55.8 | 14.5 | - |
| 101~150만원 | 100.0( 369) | 18.8 | 59.8 | 20.2 | 1.2 |
| 151~200만원 | 100.0( 326) | 33.7 | 52.5 | 13.8 | - |
| 201만원 이상 | 100.0( 283) | 31.4 | 55.9 | 12.7 | - |

〈附表 Ⅰ-89〉 社會經濟的 特性別 아침 칫솔질 時期

(單位: %)

| | 계(N) | 식사 전 | 식사 후 | 식사 전후 | 닦지 않음 |
|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(1,472) | 35.1 | 56.5 | 6.3 | 2.2 |
| 거주지 | | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,202) | 36.5 | 54.6 | 6.5 | 2.4 |
| 군지역 | 100.0( 270) | 28.7 | 64.5 | 5.3 | 1.4 |
| 성 | | | | | |
| 남자 | 100.0( 672) | 30.3 | 61.1 | 4.4 | 4.2 |
| 여자 | 100.0( 800) | 39.1 | 52.6 | 7.7 | 0.6 |
| 연령 | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 33.2 | 57.3 | 6.1 | 3.5 |
| 20~24세 | 100.0( 709) | 37.2 | 55.6 | 6.5 | 0.8 |
| 교육수준 | | | | | |
| 국졸 | 100.0( 10) | 68.3 | 17.9 | 13.8 | - |
| 중졸 | 100.0( 163) | 26.0 | 67.4 | 2.0 | 4.6 |
| 고졸 | 100.0( 873) | 38.2 | 52.7 | 6.8 | 2.3 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 426) | 31.4 | 61.0 | 6.5 | 1.1 |
| 주관적 생활수준 | | | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 420) | 36.9 | 53.9 | 6.9 | 2.4 |
| 보통 | 100.0( 947) | 34.3 | 58.0 | 6.3 | 1.4 |
| 잘사는 편 | 100.0( 105) | 35.3 | 52.4 | 3.5 | 8.7 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 112) | 21.2 | 66.4 | 7.4 | 5.0 |
| 51~100만원 | 100.0( 382) | 35.5 | 57.6 | 5.1 | 1.8 |
| 101~150만원 | 100.0( 369) | 39.1 | 51.4 | 7.4 | 2.1 |
| 151~200만원 | 100.0( 326) | 33.3 | 58.5 | 6.7 | 1.5 |
| 201만원 이상 | 100.0( 283) | 37.3 | 55.2 | 5.9 | 1.5 |

〈附表 Ⅰ-90〉 社會經濟的 特性別 저녁 혹은 잠자기전 칫솔질 與否

(單位: %)

| | 계(N) | 닦지 않음 | 가끔 닦음 | 꼭 닦음 |
|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(1,472) | 7.6 | 36.9 | 55.5 |
| 거주지 | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,202) | 8.0 | 37.8 | 54.2 |
| 군지역 | 100.0( 270) | 5.8 | 33.3 | 60.9 |
| 성 | | | | |
| 남자 | 100.0( 672) | 11.6 | 46.3 | 42.0 |
| 여자 | 100.0( 800) | 4.3 | 29.1 | 66.6 |
| 연령 | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 8.5 | 46.0 | 45.5 |
| 20~24세 | 100.0( 709) | 6.6 | 27.1 | 66.2 |
| 교육수준 | | | | |
| 국졸 | 100.0( 10) | - | - | 100.0 |
| 중졸 | 100.0( 163) | 8.6 | 47.8 | 43.5 |
| 고졸 | 100.0( 873) | 8.2 | 40.0 | 51.9 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 426) | 6.3 | 27.5 | 66.3 |
| 주관적 생활수준 | | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 420) | 10.2 | 40.8 | 49.0 |
| 보통 | 100.0( 947) | 6.5 | 36.3 | 57.2 |
| 잘사는 편 | 100.0( 105) | 7.1 | 27.4 | 65.5 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 112) | 5.9 | 39.5 | 54.6 |
| 51~100만원 | 100.0( 382) | 4.9 | 42.4 | 52.7 |
| 101~150만원 | 100.0( 369) | 8.9 | 38.8 | 52.3 |
| 151~200만원 | 100.0( 326) | 9.1 | 32.6 | 58.4 |
| 201만원 이상 | 100.0( 283) | 8.0 | 32.9 | 59.1 |

〈附表 Ⅰ-91〉 社會經濟的 特性別 齒科 訪問頻度

(單位: %)

| | 계(N) | 가지 않음 | 치아 문제시 | 몇 년에 한 번 | 1년에 한 번 | 1년에 두 번 | 1년에 3 번+ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(1,472) | 36.3 | 52.5 | 5.3 | 2.9 | 1.8 | 1.3 |
| 거주지 | | | | | | | |
| 시지역 | 100.0(1,202) | 36.2 | 51.4 | 5.7 | 3.4 | 1.9 | 1.5 |
| 군지역 | 100.0( 270) | 36.6 | 57.2 | 3.5 | 0.7 | 1.4 | 0.6 |
| 성 | | | | | | | |
| 남자 | 100.0( 672) | 44.9 | 45.8 | 4.6 | 2.5 | 0.9 | 1.4 |
| 여자 | 100.0( 800) | 29.1 | 58.0 | 5.8 | 3.2 | 2.6 | 1.3 |
| 연령 | | | | | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 34.8 | 53.9 | 6.3 | 1.8 | 1.9 | 1.3 |
| 20~24세 | 100.0( 709) | 37.8 | 51.0 | 4.1 | 4.0 | 1.7 | 1.4 |
| 교육수준 | | | | | | | |
| 국졸 | 100.0( 10) | 25.5 | 63.3 | - | - | - | 11.2 |
| 중졸 | 100.0( 163) | 37.1 | 50.1 | 7.1 | 4.0 | 0.6 | 1.1 |
| 고졸 | 100.0( 873) | 39.3 | 51.2 | 4.7 | 1.9 | 1.6 | 1.3 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 426) | 30.0 | 55.8 | 5.8 | 4.5 | 2.6 | 1.3 |
| 의료보장 | | | | | | | |
| 공교의료보험 | 100.0( 154) | 36.1 | 53.6 | 4.5 | 1.4 | 4.5 | - |
| 직장의료보험 | 100.0( 506) | 32.6 | 51.1 | 8.4 | 4.7 | 1.7 | 1.5 |
| 지역의료보험 | 100.0( 767) | 38.1 | 53.2 | 3.6 | 2.1 | 1.4 | 1.5 |
| 의료보호 | 100.0( 20) | 27.3 | 72.7 | - | - | - | - |
| 없음 | 100.0( 25) | 62.7 | 34.4 | - | - | - | 2.9 |
| 주관적 생활수준 | | | | | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 420) | 38.4 | 53.5 | 3.9 | 2.5 | 1.1 | 0.5 |
| 보통 | 100.0( 947) | 37.2 | 51.1 | 5.4 | 2.6 | 2.2 | 1.6 |
| 잘사는 편 | 100.0( 105) | 19.2 | 61.4 | 8.9 | 6.8 | 1.3 | 2.5 |
| 가구소득수준(월평균) | | | | | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 112) | 33.2 | 59.3 | 3.9 | 2.6 | 0.5 | 0.5 |
| 51~100만원 | 100.0( 382) | 43.9 | 47.2 | 4.7 | 1.8 | 1.8 | 0.7 |
| 101~150만원 | 100.0( 369) | 32.9 | 58.9 | 2.5 | 3.9 | 0.7 | 1.1 |
| 151~200만원 | 100.0( 326) | 35.8 | 48.8 | 8.6 | 2.1 | 2.4 | 2.3 |
| 201만원 이상 | 100.0( 283) | 33.0 | 52.4 | 7.0 | 4.3 | 3.3 | - |

〈附表 Ⅰ-92〉 社會經濟的 特性別 健康檢診 與否

(單位: %)

| | 계(N) | 예 | 아니오 |
|---|---|---|---|
| 전 체 | 100.0(1,472) | 35.5 | 64.5 |
| 거주지 | | | |
| 시지역 | 100.0(1,202) | 35.1 | 64.9 |
| 군지역 | 100.0( 270) | 37.0 | 63.0 |
| 성 | | | |
| 남자 | 100.0( 672) | 34.6 | 65.4 |
| 여자 | 100.0( 800) | 36.2 | 63.8 |
| 연령 | | | |
| 15~19세 | 100.0( 763) | 39.4 | 60.6 |
| 20~24세 | 100.0( 709) | 31.2 | 68.8 |
| 교육수준 | | | |
| 국졸 | 100.0( 10) | 26.9 | 73.1 |
| 중졸 | 100.0( 163) | 41.8 | 58.2 |
| 고졸 | 100.0( 873) | 38.7 | 61.3 |
| 전문대졸 이상 | 100.0( 426) | 26.6 | 73.4 |
| 의료보장 | | | |
| 공교의료보험 | 100.0( 154) | 40.0 | 60.0 |
| 직장의료보험 | 100.0( 506) | 41.1 | 58.9 |
| 지역의료보험 | 100.0( 767) | 31.5 | 68.5 |
| 의료보호 | 100.0( 20) | 22.8 | 77.2 |
| 없음 | 100.0( 25) | 22.6 | 77.4 |
| 주관적 생활수준 | | | |
| 못사는 편 | 100.0( 420) | 34.4 | 65.6 |
| 보통 | 100.0( 947) | 36.3 | 63.7 |
| 잘사는 편 | 100.0( 105) | 32.3 | 67.7 |
| 가구소득수준(월평균) | | | |
| 50만원 이하 | 100.0( 112) | 22.2 | 77.8 |
| 51~100만원 | 100.0( 382) | 29.8 | 70.2 |
| 101~150만원 | 100.0( 369) | 38.7 | 61.3 |
| 151~200만원 | 100.0( 326) | 41.9 | 58.1 |
| 201만원 이상 | 100.0( 283) | 35.7 | 64.3 |

## 4. 年度別 推移(20～59歲)

〈附表 Ⅰ-93〉 性 및 年齡別 吸煙率 推移(1989～1995)

(單位: %)

| | 1989 | 1992 | 1995 |
|---|---|---|---|
| 전체 표본수 | (5,199) | (2,799) | (5,154) |
| 전 체 | 35.8 | 33.9 | 35.5 |
| 연령 | | | |
| 20～29세 | 30.4 | 29.6 | 35.1 |
| 30～39세 | 39.8 | 36.4 | 35.6 |
| 40～49세 | 36.9 | 35.3 | 37.1 |
| 50～59세 | 36.6 | 34.5 | 33.8 |
| 남자 | (70.8) | (68.9) | (67.7) |
| 20～29세 | 72.9 | 68.5 | 69.7 |
| 30～39세 | 74:2 | 71.9 | 68.7 |
| 40～49세 | 68.7 | 68.8 | 67.4 |
| 50～59세 | 62.8 | 64.4 | 63.4 |
| 여자 | (3.9) | (3.4) | (5.0) |
| 20～29세 | 1.4 | 3.0 | 5.0 |
| 30～39세 | 1.2 | 2.0 | 3.5 |
| 40～49세 | 5.8 | 3.5 | 6.2 |
| 50～59세 | 11.9 | 6.3 | 6.4 |

〈附表 Ⅰ-94〉 男子의 年齡別 禁煙率, 禁煙試圖率 및 禁煙必要性 認識率 推移(1989～1995)

(單位: %)

| | 1989 | 1992 | 1995 |
|---|---|---|---|
| 전체 표본수 | (5,199) | (2,799) | (5,154) |
| 금연율[1] | | | |
| 20～29세 | 6.2 | 10.9 | 10.1 |
| 30～39세 | 12.1 | 14.6 | 15.4 |
| 40～49세 | 16.3 | 14.6 | 19.1 |
| 50～59세 | 27.1 | 22.6 | 21.1 |
| 현흡연자수 | (1,733) | (949) | (1,829) |
| 금연시도율[2] | | | |
| 20～29세 | 50.3 | 48.4 | 58.7 |
| 30～39세 | 57.0 | 50.0 | 62.8 |
| 40～49세 | 60.1 | 57.7 | 65.3 |
| 50～59세 | 56.3 | 50.2 | 64.4 |
| 금연필요성 인식률[3] | | | |
| 20～29세 | 32.8 | 30.4 | 41.1 |
| 30～39세 | 39.8 | 37.8 | 49.4 |
| 40～49세 | 37.4 | 47.5 | 57.9 |
| 50～59세 | 33.3 | 40.5 | 48.4 |

註: 1) {과거흡연자 ÷ 흡연경험자(과거흡연자 + 현흡연자)} × 100
2) (금연시도자 ÷ 현흡연자) × 100
3) (금연필요성 인식자 ÷ 현흡연자) × 100

〈附表 Ⅰ-95〉 性別 飮酒率 推移(1989～1995)

(單位: %)

| | 1989 | 1992 | 1995 |
|---|---|---|---|
| 전체 표본수 | (5,199) | (2,799) | (5,154) |
| 음주율[1] | | | |
| 전체 | 49.3 | 46.8 | 35.5 |
| 남자 | 77.5 | 74.6 | 56.7 |
| 여자 | 23.6 | 22.6 | 15.4 |
| 매일음주율[2] | | | |
| 전체 | 6.8 | 6.0 | 6.6 |
| 남자 | 13.2 | 12.2 | 12.8 |
| 여자 | 0.9 | 0.6 | 1.2 |
| 절주 및 금주시도율[3] | | | |
| 남자 | - | 32.0 | 45.8 |
| 여자 | - | 9.1 | 19.2 |

註: 1) (음주자 ÷ 조사대상자) × 100
2) (매일음주자 ÷ 조사대상자) × 100
3) (절주 및 금주시도자 ÷ 현음주자) × 100

〈附表 Ⅰ-96〉 性 및 年齡別 食習慣 推移(1989～1995)

(單位: %)

| | 1989 | 1992 | 1995 |
|---|---|---|---|
| 전체 표본수 | (5,199) | (2,799) | (5,154) |
| 아침식사 결식률 | | | |
| 전 체 | 26.0 | 28.1 | 34.6 |
| 성 | | | |
| 남자 | 23.1 | 24.0 | 31.1 |
| 여자 | 28.7 | 31.7 | 37.9 |
| 연령 | | | |
| 20～29세 | 34.4 | 41.8 | 51.9 |
| 30～39세 | 24.2 | 28.0 | 36.5 |
| 40～49세 | 23.7 | 23.7 | 26.1 |
| 50～59세 | 17.0 | 13.2 | 15.3 |
| 불규칙적 식사비율 | | | |
| 전 체 | 35.2 | 39.3 | 47.6 |
| 성 | | | |
| 남자 | 31.8 | 32.7 | 44.3 |
| 여자 | 38.3 | 45.1 | 50.8 |
| 연령 | | | |
| 20～29세 | 42.7 | 53.7 | 65.0 |
| 30～39세 | 34.0 | 39.6 | 49.6 |
| 40～49세 | 33.8 | 35.1 | 39.2 |
| 50～59세 | 25.2 | 22.6 | 28.1 |

〈附表 Ⅰ-97〉 性 및 年齡別 體重調節 實踐率 및 健康檢診率 推移(1989～1995)

(單位: %)

| | 1989 | 1992 | 1995 |
|---|---|---|---|
| 전체 표본수 | (5,199) | (2,799) | (5,154) |
| 체중조절 실천율 | | | |
| 전 체 | 13.6 | 15.7 | 25.9 |
| 성 | | | |
| 남자 | 13.4 | 14.4 | 21.2 |
| 여자 | 13.9 | 16.7 | 30.2 |
| 연령 | | | |
| 20～29세 | 14.4 | 16.3 | 32.7 |
| 30～39세 | 14.6 | 16.7 | 26.0 |
| 40～49세 | 12.1 | 15.9 | 22.8 |
| 50～59세 | 12.3 | 12.5 | 18.9 |
| 건강검진율 | | | |
| 전 체 | 22.5 | 34.6 | 36.3 |
| 성 | | | |
| 남자 | 34.0 | 48.4 | 42.8 |
| 여자 | 11.9 | 22.5 | 30.1 |
| 연령 | | | |
| 20～29세 | 22.4 | 37.7 | 42.8 |
| 30～39세 | 25.8 | 36.1 | 34.5 |
| 40～49세 | 22.1 | 37.1 | 42.7 |
| 50～59세 | 16.3 | 24.7 | 38.1 |

〈附表 Ⅰ-98〉 性 및 年齡別 7~8時間 睡眠 與否 推移(1992~1995)

(單位: %)

| | 1992 | 1995 |
|---|---|---|
| 전체 표본수 | (2,799) | (5,154) |
| 전 체 | 56.4 | 53.7 |
| 성 | | |
| 남자 | 59.0 | 54.8 |
| 여자 | 54.2 | 52.6 |
| 연령 | | |
| 20~29세 | 59.9 | 56.5 |
| 30~39세 | 59.2 | 55.4 |
| 40~49세 | 62.1 | 49.1 |
| 50~59세 | 54.0 | 52.1 |

〈附表 Ⅰ-99〉 性 및 年齡別 間食與否 推移(1989~1995)

(單位: %)

| | 1989 | 1992 | 1995 |
|---|---|---|---|
| 전체 표본수 | (5,199) | (2,799) | (5,154) |
| 전 체 | 45.6 | 59.6 | 77.5 |
| 성 | | | |
| 남자 | 44.6 | 56.8 | 74.9 |
| 여자 | 46.5 | 62.0 | 79.9 |
| 연령 | | | |
| 20~29세 | 56.3 | 77.1 | 86.1 |
| 30~39세 | 41.0 | 57.9 | 77.9 |
| 40~49세 | 38.5 | 51.3 | 73.0 |
| 50~59세 | 43.9 | 46.4 | 69.0 |

〈附表 Ⅰ-100〉 性 및 年齡別 運動實踐率 推移(1989～1995)

(單位: %)

| | 1989 | 1992 | 1995 |
|---|---|---|---|
| 전체 표본수 | (5,199) | (2,799) | (5,154) |
| 전 체 | 21.2 | 23.9 | 39.9 |
| 성 | | | |
| 남자 | 28.1 | 30.9 | 49.5 |
| 여자 | 14.9 | 17.7 | 31.0 |
| 연령 | | | |
| 20～29세 | 25.5 | 27.5 | 51.9 |
| 30～39세 | 20.2 | 24.6 | 42.0 |
| 40～49세 | 18.5 | 20.2 | 32.6 |
| 50～59세 | 18.6 | 21.4 | 27.4 |

# 附錄 Ⅱ. 標本設計 槪要

## 1. 調査의 企劃段階에서 標本抽出과 關聯하여 決定된 事項

### 가. 調査 母集團

標本調査區는 全國을 調査對象地域으로 하여 抽出하는 것이 바람직하지만, 交通이 不便한 섬地域에서 標本調査區가 抽出되면 調査費用이 많이 所要될 뿐만 아니라 現地調査가 곤란하게 되는 경우가 있으므로, 各 市道의 섬地域은 모두 除外시키기로 하였다(各 市·道의 섬地域의 總家口數는 全國 家口數의 1% 未滿에 불과함).

調査對象家口에는 普通家口, 1人家口, 非血緣家口가 모두 包含되어야 하지만, 非血緣家口의 경우에는 家口員 서로가 다른 사람의 醫療利用, 罹患 등에 관한 事項을 알지 못하는 경우가 大部分이기 때문에 現實的으로 調査가 不可能 하여, 非血緣家口는 調査對象家口에서 除外시키기로 하였다.

調査對象 家口員에는 家口員이 모두 包含되어야 하지만, 위와 같은 이유로 非血緣家口員은 調査對象 家口員에서 除外시키기로 하였다.

그리고 保健意識行態部門의 경우에는 調査의 特殊性을 考慮하여 15~69歲의 家族員으로 調査對象을 制限하기로 하였다.

### 나. 調査規模

調査規模는 적어도 1992年度 調査規模를 維持하도록 하고, 주어진 豫算을 考慮하여 調査區數를 110個 調査區로 하고 家口數는 約 7,700

家口를 目標로 하였다. 따라서 調査區當 家口數는 平均 70家口 정도가 되어야 한다.

國民健康調査는 각 標本調査區에서 全數調査로 實施하며, 不適格家口(非血緣家口)를 除外한 適格家口數는 7,600家口 程度 될 것으로 期待하였다. 그리고 家口基本調査의 調査完了率을 最小 90%로 보면 적어도 6,900家口에 대하여 調査를 完了할 수 있을 것으로 예상하였다.

保健意識行態調査는 家口基本調査가 完了된 家口에서 各各 15~69歲의 家族員 1사람씩을 抽出하여 調査하기로 하였으며, 調査對象者가 없는 家口를 除外하면 實際 調査對象者는 6,500名이 될 것으로 期待하였다. 그리고 調査完了率을 最小 90%로 보면 5,800名에 대하여 調査를 完了할 수 있을 것으로 예상하였다.

### 다. 標本調査區 抽出 基礎資料

標本調査區는 1993~1996年까지 韓國保健社會硏究院의 각종 家口單位 統計調査에 多目的으로 使用하기 위한 400個의 基本標本調査區를 利用하여 抽出키로 하였다.

基本標本調査區는 調査區當 1990年 人口總調査의 4~6個 調査區로 構成되었으며, 人口總調査의 家口數로는 240家口 以上이 되는 規模이다.

따라서 400個의 基本標本調査區 중에서 다시 110個의 基本標本調査區를 抽出하고, 標本으로 抽出된 各 基本標本調査區 內에서는 1개씩의 人口總調査 調査區를 抽出하면 된다.

그러나 標本으로 抽出된 調査區 境界線 안에 1990年 人口總調査 以後에 住宅이 많이 新築되었을 때(특히 아파트가 新築되었을 때)에는 家口數가 많이 增加되어도 境界線 안의 모든 家口를 다 調査하여야 하지만, 家口數가 너무 많이 增加한 경우에는 모든 家口를 調査하는 것이 現實的으로 困難하게 되는 경우가 있을 뿐만 아니라, 標本誤差도 增加하게 된다.

이에 대한 對策으로 調査區 內의 家口 中에서 一部의 家口를 標本으로 抽出하여 調査하는 方法도 있지만 節次가 복잡하고 標本誤差가 增加하는 것은 마찬가지이다.

이러한 負擔을 조금이라도 減少시키기 위하여, 資料蒐集이 가능한 1990年 人口總調査 이후의 新築아파트에 대하여는 별도로 標本調査區를 抽出하기로 하였다.

### 라. 新築아파트에서 抽出되는 標本調査區數

1990年 人口總調査의 調査區 중에서 各 市·道의 섬地域 調査區와 施設單位 調査區를 除外한 나머지의 185,149個 調査區에 대하여, 基本標本調査區 抽出過程에서 各 調査區의 家口數를 10으로 나누어 반올림하여 크기의 測度로 賦與한 結果의 총 크기의 측도는 1,135,836이었다. 그리고 1990年 人口總調査 이후 1994년 12월말까지의 新築아파트 家口數를 蒐集하여 정리한 결과의 全體 規模는 1,099,210家口分으로 集計되었다. 이 規模를 10가구를 1單位의 크기의 測度로 하면 新築아파트의 총 크기의 측도는 109,921이 된다.

따라서 110個의 標本調査區를 이들 크기의 測度에 比例配分하면 人口總調査 調査區 部門과 新築아파트 部門에는 各各 100個 調査區와 10個의 調査區가 配分되므로, 110個의 標本調査區 중에서 10個의 調査區는 新築아파트에서 抽出키로 하였다.

### 마. 市部·郡部別 標本調査區數

110個의 標本調査區를 市部·郡部(1994年末 行政區域 基準)의 家口數에 比例하는 77:23으로 配分하면 市部에 85個 調査區와 郡部에 25個 調査區가 配分된다.

그런데 市部·郡部別 集計가 필수적임을 고려하면 郡部의 경우에는 標本調査區數가 근본적으로 적기 때문에 實際로 活用價値가 있는

資料의 生産이 곤란한 것으로 판단되어, 郡部에는 2培의 加重値를 주어 63:37(77+23×2=123, 市部 77/123=63, 郡部 23×2/123=37)이 되도록 市部에서 69個 調査區와 郡部에서 41個 調査區를 抽出키로 하였다.

## 2. 基本標本調査區를 利用한 實査 標本調査區의 抽出

### 가. 基本標本調査區의 抽出槪要

#### 1) 人口總調査 調査區의 層化 및 分類

1990年 人口總調査의 調査區別 要計表 資料가 수록된 전산화일에서 施設單位 調査區와 各 市·道의 섬地域의 調査區를 除外한 185,149個의 普通調査區를 行政區域番號를 基準으로 다음과 같이 3개 層으로 層化하였다.

- 第 1層: 6大 市(서울, 釜山, 大邱, 仁川, 光州, 大田)
- 第 2層: 其他 市(各道의 모든 市)
- 第 3層: 郡部

이때 1990年 人口總調査 當時의 京畿道 高陽郡은 高陽市로 昇格되었으므로 其他 市로 포함시켰다. 여기서 人口總調査 調査區를 6大 市, 其他 市, 郡部의 3個 層으로 層化하였다고 層別 推定値의 사용을 전제로 하는 것은 아니며, 일반적으로 家口調査에서 조사하고자 하는 內容에 관한 特性은 地域에 따라 差異가 나게 마련이므로 標本誤差를 減少시키기 위한 하나의 方法으로 이와 같이 層化하였을 뿐이다.

#### 2) 人口總調査 調査區의 分類

6大 市와 其他 市의 2個 層에서는 各各 單獨住宅이 가장 많은 調査區, 아파트가 가장 많은 調査區, 聯立 및 多世帶住宅이 가장 많은

調査區, 其他 調査區의 順序로 1次分類 하였으며, 各 1次分類 內에서는 다시 洞邑面 單位까지의 行政區域番號 및 調査區番號 순서로 2次分類하였다. 郡部의 경우에는 먼저 邑部와 面部의 순서로 분류한 다음에 각각 위와 같은 순서로 다시 분류하였다.

이와 같이 各 層別로 調査區를 分類한 다음, 各 調査區의 一般 家口數를 10으로 나누어 반올림한 結果를 各 調査區의 크기의 測度로 賦與하고, 이를 累積하였다.

3) 1次 抽出單位 調査區의 設定

各 層別로 처음 調査區부터 차례로 크기 測度의 合計가 24를 超過할 때까지의 調査區를 統合하여 하나의 1次 抽出單位 調査區로 設定하였다. 이 때, 1次 抽出單位 調査區에 포함되는 人口總調査의 調査區數가 4個 未滿이 되는 경우에는 그 다음의 調査區를 包含시켜 4個의 調査區로 하였다. 그리고 1次 抽出單位 調査區 크기의 測度는 人口總調査 調査區 크기의 測度의 合計로 賦與하였다.

4) 層別 基本標本調査區數의 決定

基本標本調査區의 數를 400個 調査區로 하고, 層別 크기의 測度에 比例하도록 配分하면 〈附表 II-1〉의 第1案과 같다.

〈附表 II-1〉 層別 基本標本調査區數 配分內譯

| 層 | 人口總調査 | | 基本標本調査區數 | |
|---|---|---|---|---|
| | 調査區數 | 크기의 測度 | 第1案 | 第2案 |
| 6大 市 | 89,987 | 548,114 (48.26) | 194 (48.50) | 155 (38.75) |
| 其他 市 | 50,077 | 310,747 (27.36) | 108 (27.00) | 88 (22.00) |
| 郡部 | 45,085 | 276,975 (24.38) | 98 (24.50) | 157 (39.25) |
| 계 | 185,149 | 1,135,836(100.00) | 400 (100.0) | 400 (100.0) |

그런데 大部分의 調査에서는 調査結果의 市部·郡部別 推定이 필수적이나 100個 調査區를 조사하는 경우에는 郡部의 調査區數는 24個 調査區 밖에 되지 않으며, 150個 調査區의 경우에는 37個 調査區 밖에 되지 않아 郡部의 調査區數가 기본적으로 작기 때문에 郡部 推定値의 精度(precision)는 낮게 되어 分析段階에서 郡部에 대하여 언급하는 것은 별다른 의미를 찾을 수 없게 된다.

이와 같은 問題點을 조금이나마 해소하기 위하여 郡部에는 두 培의 加重値를 適用하여 配分한 結果는 〈附表 Ⅱ-1〉의 第2案과 같다. 즉 市部:郡部의 基本標本調査區의 構成比를 第1案은 크기의 測度에 비례하는 76:24가 되도록 한 것이며, 第2案은 郡部에 두 培의 加重値를 適用한 61:39가 되도록 한 것이다.

第2案에서 100個 調査區를 調査하는 경우에 郡部의 調査區數는 39個 調査區가 되며, 150個 調査區의 경우에는 59個의 調査區가 되어 第1案의 경우보다는 第2案의 경우가 보다 合理的이다. 따라서 層別 基本標本調査區의 數는 第2案을 擇하였다.

5) 基本標本調査區의 抽出

〈附表 Ⅱ-1〉의 第2案의 內容대로 6大 市에서 155個, 其他 市에서 88個, 郡部에서 157個의 1次抽出單位 調査區를 크기의 測度에 比例하는 確率로 系統抽出하여 基本標本調査區로 하였다. 이와 같이 抽出한 結果의 細部 內譯은 〈附表 Ⅱ-2〉와 같다.

〈附表 II-2〉 層別 基本標本 規模

| 層 | 基本標本 調査區數 | 人口總調査 調査區數 | 크기의 測度 | 家口數[1] |
|---|---|---|---|---|
| 6大 市 | 155 | 753 (36.37) | 4,738 (38.09) | 47,249 (38.21) |
| 其他 市 | 88 | 427 (20.63) | 2,729 (21.94) | 27,134 (21.95) |
| 郡部 | 157 | 890 (43.00) | 4,971 (39.97) | 49,262 (39.84) |
| 계 | 400 | 2,070(100.00) | 12,438(100.00) | 123,645(100.00) |

註: 1) 1990年 人口總調査 家口數임.

## 나. 基本標本調査區를 利用한 標本調査區의 抽出

### 1) 層別 標本調査區數의 決定

層別 標本調査區數는 郡部의 크기의 測度에 두 배를 하여 各層의 크기의 測度에 比例하도록 100個의 標本調査區를 配分하였다. 따라서 層別 標本調査區數는 6大 市의 39個 調査區, 其他 市의 22個 調査區, 郡部의 39個 調査區가 된다.

### 2) 標本調査區의 抽出

層別 基本標本調査區 名簿에서 각각 위에서 決定된 數의 基本標本調査區를 系統抽出하였다. 그리고 標本으로 抽出된 基本標本調査區에서는 1個의 人口總調査 調査區를 크기의 測度에 比例하는 確率로 任意抽出하였다.

이때 標本으로 抽出된 基本標本調査區 內에 50가구 미만인 人口總調査 調査區가 있을 때에는 50가구 이상이 되도록 隣接調査區와 統合하여 하나의 調査區로 취급하였다. 이에 관한 地域別 細部內譯은 〈附表 II-3〉과 같다.

〈附表 II-3〉 基本標本調査區를 利用한 標本調査區 抽出結果

| 層 | 母集團 크기의 測度 | 標本 | | | 標本 比率 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査區數 | 크기의 測度 | 家口數[1] | |
| 6大 市 | 548,114 (48.2) | 39 | 260 (38.2) | 2,634 | 1/2,108 |
| 其他 市 | 310,747 (27.4) | 22 | 149 (21.9) | 1,488 | 1/2,085 |
| 郡部 | 276,975 (24.4) | 39 | 272 (39.9) | 2,722 | 1/1,018 |
| 全 國 | 1,135,836(100.0) | 100 | 681(100.0) | 6,844 | 1/1,668 |

註: 1) 1990年 人口總調査 家口數임.

## 3. 新築아파트의 標本調査區 抽出

1990年 人口總調査 이후 1994年 12月까지의 新築아파트 資料를 蒐集하여 整理한 結果의 全體 規模는 1,099,210家口分으로 集計되었다.

이 新築아파트를 6大 市, 其他 市, 郡部(1994年말 行政區域 基準)의 3個 層으로 나누어 10家口分을 1單位로 하는 크기의 測度를 賦與하면, 層別 크기의 測度는 6大 市의 경우 41,720(37.9%)이 되며, 其他 市와 郡部의 경우에는 各各 54,698(49.8%) 및 13,503(12.3%)이 된다.

層別 標本調査區數는 郡部의 크기의 測度에 두 배를 하고 各 層의 크기의 測度에 比例하도록 10個의 標本調査區를 配分하였다. 따라서 層別 標本調査區數는 6大 市의 3個 調査區, 其他 市의 5個 調査區, 郡部의 2個 調査區가 된다.

標本調査區의 抽出은 新築아파트를 6大 市, 其他 市, 郡部의 3個 層으로 層化하고, 10家口를 1單位로 하는 크기의 測度에 比例하는 確率로 위에서 정해진 數의 아파트를 系統抽出하였다.

그리고 標本으로 抽出된 아파트에서는 棟 및 層(또는 階段)을 경계로 60~80가구 범위의 調査區를 設定하고 그 중에서 하나의 調査區를 크기의 測度에 比例하는 確率로 抽出하여 標本調査區로 하였다. 이와 같이 抽出한 結果의 標本規模는 〈附表 Ⅱ-4〉와 같다.

〈附表 Ⅱ-4〉 新築아파트 標本調査區 抽出結果

| 層 | 母集團 크기의 測度 | 標本 | | | 標本 比率 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査區數 | 크기의 測度 | 家口數[1] | |
| 6大 市 | 41,720 (37.9) | 3 | 21 (27.5) | 210 | 1/1,987 |
| 其他 市 | 54,698 (49.8) | 5 | 39 (52.5) | 378 | 1/1,403 |
| 郡部 | 13,503 (12.3) | 2 | 13 (20.0) | 134 | 1/1,039 |
| 全 國 | 109,921(100.0) | 10 | 73(100.0) | 722 | 1/1,506 |

註: 1) 竣工檢査 家口數임.

## 4. 標本調査區 抽出結果의 標本規模

이와 같이 總 110個의 標本調査區를 抽出한 結果의 全國 크기의 測度는 754가 되었으며, 基礎資料의 家口數는 7,566家口가 되었다. 이에 관한 地域別 細部內譯은 〈附表 II-5〉와 같다.

〈附表 II-5〉 地域別 標本調査區 抽出結果 細部內譯

| 層 | 母集團 크기의 測度 | 標本 | | | 標本 比率 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査區數 | 크기의 測度 | 家口數[1] | |
| 6大 市 | 589,834 (47.4) | 42 | 281 (37.3) | 2,844 | 1/2,099 |
| 其他 市 | 365,445 (29.3) | 27 | 188 (24.9) | 1,866 | 1/1,944 |
| 郡部 | 290,478 (23.3) | 41 | 285 (37.8) | 2,856 | 1/1,019 |
| 全 國 | 1,245,757(100.0) | 110 | 754(100.0) | 7,566 | 1/1,652 |

註: 1) 標本調査區 抽出 基礎資料의 家口數임.

## 5. 調査結果 家口數 및 調査對象者數

標本調査區에서는 모든 家口에 대하여 全數調査토록 하였으며, 이를 위하여 指導員은 3名의 調査員에게 각 調査員이 擔當하여야 할 區域을 設定하여 주었다. 각 調査員은 擔當 區域 內의 家口를 順序대로 訪問하면서 家口名簿에 각 家口에 관한 事項을 記入한 다음, 家口基本調査標를 먼저 作成하고, 이에 따라 해당 個人調査票를 作成토록 하였다.

그런데, 住宅의 新築으로 家口가 많이 增加한 調査區, 낮에는 應答者를 만날 수 없는 경우가 특히 많은 調査區, 不應家口가 많아 說得에 많은 時間이 所要되는 調査區에서는 모든 家口를 다 調査할 경우에 수반되는 豫算 및 行政上의 문제가 있어, 調査區別로 정해진 期間 內에 調査를 못하게 된 家口는 허락을 받아 家口名簿만 作成토록 하였다.

現地調査 結果, 110個 標本調査區의 家口名簿에 記入된 總家口數는 7,696家口가 되었으며, 이 중 家口基本調査를 위하여 訪問한 家口數는 7,320家口가 되었다. 家口基本調査를 위하여 訪問한 家口 중에서 58家口는 不適格家口(非血緣家口)이었으며 適格家口는 7,262家口가 되었다. 이 適格家口 중에서 實際로 調査를 完了한 家口는 6,791家口이었다. 이에 관한 細部內譯은 〈附表 Ⅱ-6, 附表 Ⅱ-7〉과 같다. 그리고 각 家口에서는 15~69세의 家族員 한 사람씩을 抽出하여 調査하였으며, 6,480명 중에서 5,805명에 대하여 조사를 완료하였다.

〈附表 Ⅱ-6〉 調査結果 家口數

| 地 域 | 調査區數 | 家口數 | 未訪問家口數 | 訪問 家口數 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 計 | 不適格 | 適格 |
| 市 部 | 69 | 4,840 | 328 | 4,512 | 51 | 4,461 |
| 郡 部 | 41 | 2,856 | 48 | 2,808 | 7 | 2,801 |
| 全 國 | 110 | 7,696 | 376 | 7,320 | 58 | 7,262 |

〈附表 Ⅱ-7〉 家口基本調査結果

| 地 域 | 調査區數 | 適格家口數 | 調査完了 | 調査未完 | 調査完了率 |
|---|---|---|---|---|---|
| 市 部 | 69 | 4,461 | 4,119 | 342 | 92.3 |
| 郡 部 | 41 | 2,801 | 2,672 | 129 | 95.4 |
| 全 國 | 110 | 7,262 | 6,791 | 471 | 93.5 |

## 6. 推定方法

이 調査結果에 의한 各種 統計値는 加重標本合計値와 이를 基礎로 한 平均 및 構成比이다. 여기서 實際 調査結果를 그대로 合算한 單純

標本合計値를 사용하지 않고 加重標本合計値를 사용한 이유는 각 標本調査區가 標本으로 抽出된 確率이 다를 뿐만 아니라 未訪問家口率, 適格家口率 및 家口基本調査 調査完了率이 調査區마다 다르기때문에 이를 반영한 加重値를 적용하는 것이 妥當하기 때문이다.

### 가. 加重標本合計値

이 調査結果의 加重標本合計値는 다음과 같이 算出한 것이다.

$$Y' = \sum_h \sum_i \sum_j M'_{hij} Y_{hij}$$

$$M'_{hij} = M''_{hij} (C / P'')$$

$$C = \sum_h \sum_i C_{hi}$$

$$P'' = \sum_h \sum_i \sum_j M''_{hij} P_{hij}$$

$$M'_{hij} = M_{hi} (C_{hi} / C'_{hi}) P_{hij}$$

$$M_{hi} = (S_h / n_h S_{hi}) (A_{hi} / A'_{hi}) (B_{hi} / B'_{hi})$$

위의 公式에서

$Y'$ = 어떤 特性 $y$ 를 갖는 人口의 推定値

$h$ = 層을 나타내는 添字

$i$ = 標本調査區를 나타내는 添字

$j$ = 家口를 나타내는 添字

$M'$ = 加重標本合計値 算出用 乘數

$M''$ = 總數推定用 乘數

$Y$ = 特性 $y$ 에 관하여 調査된 값

(사람수의 경우 特性 $y$ 를 가지면 Y=1, 이니면 Y=0)

$M$ = 家口基本調査 完了家口數를 基準으로 한 總數 推定用 乘數

B = 適格家口數

B' = 家口基本調査 完了家口數

S = 크기의 測度

n = 標本調査區數

A = 家口數

A' = 家口基本調査를 위하여 訪問한 家口數

C = 標本으로 抽出된 人口數

C' = 標本으로 抽出된 人口 중에서 調査完了 人口數

P = 調査對象 人口數

P" = 調査母集團의 調査對象 總人口數 推定値

### 나. 構成比, 比率 및 平均

特性 $x$에 대한 特性 $y$의 構成比, 比率 및 平均의 推定値는 다음과 같이 算出하였다.

$$R' = Y' / X'$$

위의 公式에서

R = 特性 X에 대한 特性 Y의 構成比, 比率 및 平均의 推定値

Y' = 特性 Y에 대한 加重標本合計値

X' = 特性 X에 대한 加重標本合計値

### 다. 單純標本合計値와 加重標本合計値의 比較

앞에서 제시한 推定方法으로 算出한 加重標本合計値와 實際 調査結果를 그대로 合算한 單純標本合計値는 全國의 標本 對象者數를 除外하고는 어느 경우에도 모두 다르게 된다. 單純標本合計値와 加重標本合計値는 〈附表 Ⅱ-8〉과 같다.

〈附表 II-8〉 保健意識行態 調査結果

| 地域 | 調査結果 | | | | 加重標本合計値 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 計 | 調査完了 | 調査未完 | 調査完了率 | |
| 市部 | 4,033 | 3,503 | 530 | 86.9 | 5,089 |
| 郡部 | 2,447 | 2,302 | 145 | 94.1 | 1,391 |
| 全國 | 6,480 | 5,805 | 675 | 89.6 | 6,480 |

# 附錄 Ⅲ. 職業分類表

| 직업분류 | 정 의 | 예 |
|---|---|---|
| 입법공무원 고위임직원 관리자 | 정부나 특수 이익단체의 정책을 결정, 지휘·조언하며, 법령을 제정하고 정부를 대표하며, 정부정책 및 법령의 해석·적용을 감독하거나 기업, 단체 또는 내부 부서의 정책과 활동을 기획, 지휘 및 조정 | 국회의원, 감사원장, 중앙선거관리위원(장), 도지사, 시장, 군수, 시·도의회의원, 국회 비서실, 장·차관, 대사, 영사, 각 부처 국·실장, 부지사, 부군수, 부시장, 구청장, 정당의 총재, 정당고위관리자, 지도자 및 사무총장, 경제이익단체 고위 임직원, 기업의 회장, 대표이사, 정부투자기관 이사장, 대학교 총장, 정부기관 생산부서 관리자, 병원장, 음악제작자, 영화제작자, 도매기업 최고 경영자, 무역회사 경영자, 연구개발단체 경영자, 관리자 등 |
| 전문가 | 기존의 지식을 증진시키고, 과학적 또는 예술적 개념과 이론을 응용하며 체계적으로 교수하고, 때로는 이들 활동을 병행 | 물리학자, 화학자, 천문학자, 수학자, 보험회계사, 경영연구분석가, 통계학자, 표본전문가, 컴퓨터시스템분석가, 데이타베이스 관리자, 시스템 프로그래머, 건물·실내·조경건축가, 도시설계가, 토목·전기 기술자, 동식물학자, 병리학자, 유전학자, 약학자/의사(일반, 전문), 공중보건의사, 한의사, 치과의사, 수의사, 약사, 간호사, 학교 양호사, 조산전문가, 대학교수(강사 포함), 중·고등학교 교사, 초등교육 교사, 학령전 교육교사, 특수학교 교사(맹아, 농아학교 교사), 장학사, 회계사, 공인회계사, 회계감사, 세무사, 홍보담당·PR·시장조사 전문가, 변호사, 검사, 판사, 법무사, 법률고문, 기록보관원, 박물관 관장, 화랑관장, 사서, 정보학자, 경제학자, 사회학자, 인류학자, 지리·역사학자, 정치학자, 번역자, 통역가, 사회사업전문가, 보호관찰소 소장, 비행선도관, 아동복지상담 전문가, 작가, 평론가, 편집가, 저널리스트, 소설가, 시인, 수필가, 기자, 신문·정기간행물 서적 등 편집자, 광고문 작성자, 작곡가, 조각가, 화가, 만화가, 안무가, 무용가, 영화·무대배우 및 감독, 성직자, 선교사 등 |

| 직업분류 | 정 의 | 예 |
|---|---|---|
| 기술공 및 준전문가 | 조사, 연구와 과학적, 예술적 개념 및 운영기법과 관리 또는 실무규정의 응용 등에 관련된 기술적 업무를 수행 | 화학, 물리학, 기상학, 지질학, 천문학, 토목공학, 전기공학, 전자 및 전기통신공학 등의 기술공 도안사(기계, 토목공학, 건축, 지도), 제도사, 컴퓨터설계기술공, 라디오·TV장비기술공, 자동차기술공, 컴퓨터프로그램 작성 준전문가, 컴퓨터 보조원 및 조작원, 사진사, 녹화, 녹음장비 조작원, 사진기자, 영화, 비디오 촬영기사, 방송 및 전기통신장비 조작원, 의료장비 조작원(방사선사, 임상병리사), 선박기관장, 선박기관사, 선장, 항해사, 항공기 기장, 항법사, 항공·선박·교통관제사, 건물 및 화재감식원, 제품품질 검사원, 산업안전·보건 감사원, 전자제품 및 전기제품 품질검사원, 생물학 기술공, 박제사, 농업 및 영림자문가, 원예기술공, 임업기술공, 의료보조원, 위생사, 영양사, 검안사, 안경사, 치과보조원, 치과기공사, 물리치료사, 안마사, 병원간호 준전문가, 초등교육·학령전 교육·특수교육 준교사, 자동차 운전교관, 비행교관, 항해술 교관, 외환 및 증권중개인, 보험 및 부동산 대리인 여행상담원, 감정사, 상품중개인, 경기(sports) 프로모터, 연예인관리자, 속기사, 통신수, 보험증권·보험 사무원, 정부조세 및 세무공무원, 여권발급 공무원, 경찰수사관, 상업디자이너, 실내장식가, 의상디자이너, 아나운서, 직업운동선수, 디스크자키, 경기심판, 바둑기사, 업소 등의 가수, 무용수, 전도사, 종교교단 종사자 |
| 사무직원 | 당해 작업에 관련된 정보기록, 보관, 계산 및 검색을 하며 특히 금전취급활동, 여행알선, 정보요청 및 약정에 관련된 여러가지 사무적인 업무를 주로 수행 | 비서, 타자원, 속기타자수, 천공타자원, 워드프로세서 조작원, 회계 및 부기 사무원, 컴퓨터 자료입력 사무원, 항공·철도 운송 사무원, 자재관리·생산사무원, 도서 및 서류정리 사무원, 우편물 및 우편분류 사무원, 우편물집배원, 인쇄교정 사무원, 경리사원, 매표사무원, 은행출납원, 요금징수 사무원, 여행사 사원, 호텔, 병원 접수계원, 전화교환원, 전화번호 안내원 |

| 직업분류 | 정 의 | 예 |
|---|---|---|
| 서비스 근로자 및 판매 근로자 | 여행, 기사, 조리, 신변보호, 불법적인 행위에 대한 보호에 관련된 대인 및 보호 서비스를 제공하며, 예술창작과 진열을 위하여 모델 활동을 하며, 매점과 시장, 도매 또는 소매상점이나 유사 사업체에서 상품을 선전하고 판매 | 공항안내원, 선실공무원, 항공기내 승무원, 열차차장, 여행안내원, 관광안내원, 버스안내원, 지하철 안내원, 가정부, 기숙사 관리인, 호텔집사, 조리사, 웨이터, 주방장, 보모, 유모, 간병인, 간호조무사, 구급요원, 가정개인보호 근로자, 약사보조원, 이용사, 미용사, 욕실종사원, 장의사, 점성가, 소방관, 경찰관, 청원경찰, 교도관, 모델, 상점점원, 선전원, 주유원, 시장판매원, 거리매점판매원 |
| 농업 및 어업 숙련근로자 | 그들 자신과 가족을 위하여 주거지 및 소득을 마련코자, 전답작물 또는 과수작물을 재배·수확하고 야생과일, 식물을 채취하며, 동물을 번식·사육 및 사냥하며, 여러가지 목축산물을 생산하고 산림을 경작, 보존 및 개발하며 물고기를 번식·채취 또는 기타 형태의 수생 동물·식물을 양식·채취 | 곡식작물·채소·과수재배자, 정원사, 원예사, 낙농 및 가축생산자, 병아리 감별사, 양봉가, 양잠가, 동물원 사육사, 임업근로자, 어업근로자 및 수렵원(물고기양식, 굴양식, 해녀, 연안 어부), 원양어업 근로자 등 |
| 기능원 및 관련 기능 근로자 | 광업, 건설업 분야에서 이들의 전문지식과 기술을 응용하여 금속을 성형하고, 금속구조물 또는 각종 기계공구 등을 조립, 설치하거나 식료품, 섬유, 수공예 제품과 목재, 금속 및 기타 제품을 가공, 생산하고 기계장비 또는 공구를 제작, 설치, 정비 및 수리하며 인쇄작업을 수행한다. 작업은 손과 수지공구를 사용하거나 제품의 질적 개선을 시키고 특정업무수행에 필요한 일정량의 육체적인 노력과 시간을 줄이는데 필요한 도구를 가지고 수행하며, 이러한 업무는 생산과정의 모든 공정과 사용되는 재료, 공구 및 최종 제품의 성격과 목적을 이해할 수 있어야 한다. | 광원, 발파원, 채석원, 석공재 부설원 및 조각원, 기념비 조각조립원, 목수, 목공, 타일부착원, 미장공, 배관단열원, 차량도장원, 상하수도 배관원, 도배원, 열쇠제작원, 가스용접원, 잠수원, 대장원, 자동차·항공기 등 정비원, 전신전화 설치 및 수리원, 전자계산기 수리원, 시계·카메라 제조원 및 수리원, 악기 제조원 및 수리원, 조율사, 보석세공원, 간판도장원, 수공예근로자, 식자원, 인쇄제판원, 제본원, 사진처리 및 관련 근로자(사진현상, 인화근로자, 제빵원, 제과원, 가구제조원 및 관련근로자, 섬유, 의복 및 관련 기능 근로자(방적원, 직조원), 양장원, 기성복 제조원, 맞춤 양복 제조원, 제화원, 자수원 등 |

| 직업분류 | 정 의 | 예 |
|---|---|---|
| 장치·기계 조작원 및 조립원 | 한지점 또는 원격조정을 통하여 산업용, 농업용 기계장비, 열차, 자동차, 이동기계 장비를 운전 및 조작하거나 명세서의 절차에 따라 구성부품을 가지고 제품을 조립하는 자로서 작업은 기계 주도식 조작을 극복하고 기술적 혁신에 적응할 수 있는 능력을 포함하며, 주로 산업용 및 농업용 기계 및 장비에 대한 경험과 이해가 요구된다. | 굴착기·분쇄기 조작원, 보일러·난방장치 조작원, 금속가공장치조작원, 유리·도기 및 관련 장치 조작원, 목재가공 및 제기 장치조작원, 발전장치 조작원, 사전제품용 기계·필름현상기 조작원, 인쇄기·제본기 조작원, 섬유혼합기·편직기·직조기 조작원, 식품 및 관련 제품용 기계조작원(냉동기 조작원), 열차 및 지하철 기관사, 철도신호원, 자동차·불도저 운전원, 선박갑판승무원, 갑판장, 선원, 등대지기 등 |
| 단순노무직 근로자 | 단순노무직 근로자는 주로 손도구의 사용과 육체노동이 요청되는 단순하고 일상적인 업무로 이루어진다. | 식품행상인, 열차객실 및 신문가두 판매원, 방문외판원, 구두미화원, 세차원, 가사보조원, 건물청소원, 세탁원 및 다림질원, 드라이크리닝원, 아파트관리인, 건물, 빌딩관리인, 신문배달원, 수하물 운반원, 승강기 안내원, 골프장 캐디, 수위, 휴대품보관소 접수원, 경비원, 집표원, 자동판매기 수금원, 쓰레기·분뇨 수거원, 환경미화원, 연탄운반원, 농장 단순노무자, 과실채취원, 목동, 조개채취원, 토목건설·도로건설·도로정비 등 단순노무자, 화물취급원, 가구운반원, 부두하역인부 등 |
| 군인(직업군인, 방위포함) | | |
| 학생/재수생 | | |
| 주부(집안 일, 가사) | | |
| 무직 | | |
| 비해당(만 14세 이하의 가구원) | | |

# 附錄 Ⅳ. 調査票

정보승인통계

지 정 번 호
제 33102 호

| 가 구 조 사 표 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 구분 | 조사구번호 | | | 거처번호 | | | 가구번호 | | 응답자 가구원번호 | |
| 1 | | | | | | | | | | |

## 1995년도

## 국민건강 및 보건의식행태조사

| 주 소 | 시 · 도 구 · 군 동 · 시 읍 면 아파트 · 리 동 · 번지 호 ( 통 반) | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 가구주성명 | | 응답자성명 | | 전화번호 | |

| 방문횟수 | 방문일시 | 방문결과 | | 지도원검토결과 |
|---|---|---|---|---|
| 1차 | 월 일<br>시 분부터<br>시 분까지 | ☐ 1. 완료<br>☐ 2. 부분완료<br>☐ 3. 장기출타 | ☐ 4. 외출<br>☐ 5. 응답거절<br>☐ 6. 기타( ) | ☐ 양호<br>☐ 약간 수정<br>☐ 재방문 지시 |
| 2차 | 월 일<br>시 분부터<br>시 분까지 | ☐ 1. 완료<br>☐ 2. 부분완료<br>☐ 3. 장기출타 | ☐ 4. 외출<br>☐ 5. 응답거절<br>☐ 6. 기타( ) | ☐ 양호<br>☐ 약간 수정<br>☐ 재방문 지시 |
| 3차 | 월 일<br>시 분부터<br>시 분까지 | ☐ 1. 완료<br>☐ 2. 부분완료<br>☐ 3. 장기출타 | ☐ 4. 외출<br>☐ 5. 응답거절<br>☐ 6. 기타( ) | ☐ 양호<br>☐ 약간 수정<br>☐ 재방문 지시 |
| 조사원성명 | ㊞ | 지도원성명 | ㊞ | |

보 건 복 지 부

한국보건사회연구원

| 1-13 구분 | 조사구번호 | 거처번호 | 가구번호 | 응답자 가구원번호 | 조사표번호 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | |

| 기본사항 | | | | | | | | | | | | | | | 60세 이상 활동상태 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1. 이 름 | 2. 가구주와의 관계 | 3. 성 | 4. 연 령 | | 5. 교육정도 | 6. 결혼상태 | 7. 경제활동 | | 8. 의료보장상태 | | 9. 평소 건강상태 | 10. 욕내활동상태 | 11. 욕외활동상태 | 12. 지난 2주간 외래이용 |
| | | | 생년월일 | 만 나이 | | | 활동분야 | 종사상의 지위 | 종류 | 혜택여부 | | | | |
| 이 댁에서 현재 (3개월 이전부터) 함께 살고 있는 가족의 이름을 가구주부터 차례로 말씀하여 주십시오. | 이분은 가구주와 어떤 관계입니까? | 이분은 남자입니까 여자입니까? | 이분의 생년월일은 언제입니까? 양력입니까? 음력입니까? (※ 조사원은 출생년도를 모를 경우 미룬 뒤에서 정확한 생년월일을 기재하십시오). | 조사원은 음력인 경우 연령조견표를 확인하여 기재하십시오 | 이분은 학교를 어디까지 다녔습니까? | 이분은 결혼하셨습니까? 사실상의 결혼상태를 말씀해 주십시오. | 현재 어떤 일에 종사하고 계십니까? (조사원은 다니고 있는 직장과 하는 일을 질문하여 지침서의 직업분류표를 보고 기입하십시요) | 현재 어떤 위치에서 일하고 있습니까? | 이분은 어떤 의료보험에 가입되어 있습니까? | (카드가 있는 경우) 이 카드로 오늘 현재 혜택받을 수 있습니까?? | 이분은 연령에 비추어 어느 정도 건강하다고 생각합니까? | 이분은 혼자서 목욕, 식사, 옷 갈아입기, 대소변보기, 자리 이동하기 등을 할 수 있습니까? | 이분은 혼자서 장보기, 가벼운 집안일 돕기, 버스나 기차타기 등을 할 수 있습니까? | 지난 2주간 가족중에서 병의원이나 약국 등의 의료기관을 이용한 분이 있습니까? |
| | 1. 가구주<br>2. 배우자<br>3. 자녀<br>4. 자녀의 배우자<br>5. 부모<br>6. 손자(녀)<br>7. 형제자매<br>8. 조부모<br>9. 기타 친척 | 1. 남<br>2. 여 | | | 1. 미취학<br>2. 안다녔음<br>3. 국민학교<br>4. 중학교<br>5. 고등학교<br>6 전문대<br>7. 대학(교)<br>8. 대학원 이상 | 1. 미 혼<br>2. 유배우<br>3. 사 별<br>4. 이 혼<br>5. 별 거<br>8. 비해당 (만14세 이하) | 01. 입법공무원, 고위임직원 및 관리자<br>02. 전문가<br>03. 기술공 및 준전문가<br>04. 사무직원<br>05. 서비스근로자 및 판매근로자<br>06. 농업 및 어업 숙련근로자<br>07. 기능원 및 관련기능 근로자<br>08. 장치, 기계조작원 및 조립원<br>09. 단순노무직 근로자<br>10. 군인<br>11. 학생/재수생<br>12. 주부(집안일, 가사)<br>13. 무직<br>88. 비해당(만 14세 이하) | 1. 자영업자<br>2. 고용주<br>3. 상용근로자 (전일제) ,<br>4. 상용근로자 (시간제)<br>5. 임시근로자<br>6. 일용근로자<br>7. 무급가족 종사자<br>8. 비해당 | 1. 공교보험<br>2. 직장보험<br>3. 지역보험<br>4. 의료보호<br>☐ 미가입<br>↓<br>의료보험에 가입하지 않은 이유는 무엇입니까?<br>5. 불필요<br>6. 제도반대<br>7. 타지역 주민등록<br>8. 실직/퇴직으로 인한 일시적 미가입상태<br>9. 모름 | 1. 예<br>☐ 아니오<br>↓<br>오늘 현재 사용할 수 없다면 그 이유는 무엇입니까?<br>2. 보험료연체<br>3. 카드분실<br>4. 기타<br>8. 비해당 (미가입자)<br>9. 모름 | 1. 매우 건강<br>2. 건강한편<br>3. 보통<br>4. 건강치 못한편<br>5. 매우 약함 | 1. 혼자 할 수 있음<br>2. 도움 필요<br>3. 전혀 할 수 없음<br>8. 비해당(60세 미만) | 1. 혼자 할 수 있음<br>2. 도움 필요<br>3. 전혀 할 수 없음<br>8. 비해당(60세 미만) | 1. 예<br>2. 아니오<br>'예'<br>↓<br>외래이용조사표 |
| 14-15 | 16 | 17 | | 18-19 | 20 | 21 | 22-23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 01 | | | 19 년 월 일 ☐양☐음 | | | | | | | | | | | |
| 02 | | | 19 년 월 일 ☐양☐음 | | | | | | | | | | | |
| 03 | | | 19 년 월 일 ☐양☐음 | | | | | | | | | | | |
| 04 | | | 19 년 월 일 ☐양☐음 | | | | | | | | | | | |
| 05 | | | 19 년 월 일 ☐양☐음 | | | | | | | | | | | |
| 06 | | | 19 년 월 일 ☐양☐음 | | | | | | | | | | | |
| 07 | | | 19 년 월 일 ☐양☐음 | | | | | | | | | | | |
| 08 | | | 19 년 월 일 ☐양☐음 | | | | | | | | | | | |
| 09 | | | 19 년 월 일 ☐양☐음 | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | 19 년 월 일 ☐양☐음 | | | | | | | | | | | |

| 연간 입원 및 외래 이용 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 13. 입 원 | 14. 병의원 | 15. 한방 병의원 | 16. 치 과 | 17. 보건소(지)소 | 18. 보건진료소 | 19. 조사대상구분 |
| 지난 1년간 가족중에서 병의원등에 1일 이상 입원했던 분이 있습니까? 있다면 누구입니까? | 지난 1년간 가족중에서 병의원 외래진료를 받은 분이 있습니까? 있다면, 누구입니까? 몇 번이나 방문하였 습니까? | 지난 1년간 가족중에서 한방병의원 외래진료를 받은 분이 있습니까? 있다면, 누구입니까? 몇 번이나 방문하였 습니까? | 지난 1년간 가족중에서 치과진료를 받은 분이 있습니까? 있다면, 누구입니까? 몇 번이나 방문하였 습니까? | 지난 1년간 가족중에서 보건(지)소를 이용한 분이 있습니까? 있다면 누구입니까? 다음 중 어떤 서비스를 받았습니까? | 지난 1년간 가족중에서 보건진료소를 이용한 분이 있습니까? 있다면 누구입니까? 다음 중 어떤 서비스를 받았습니까? | 1. 이환조사<br>2. 외래이용조사<br>3. 입원이용조사<br>4. 보건의식 행태조사 |
| 1. 예<br>2. 아니오<br>'예'<br>↓<br>입원이용 조사표 | 1. 없다<br>2. 1번<br>3. 2~20번<br>4. 21번 이상<br>9. 모름 | 1. 없다<br>2. 1번<br>3. 2~4번<br>4. 5번 이상<br>9. 모름 | 1. 없다<br>2. 1번<br>3. 2~4번<br>4. 5번 이상<br>9. 모름 | ① 예방접종<br>② 건강검진<br>③ 일반진료<br>④ 치과진료<br>각각에 대하여<br>1. 예<br>2. 아니오 | ① 예방접종<br>② 일반진료<br>③ 모자보건 /가족계획<br>④ 기타상담<br>각각에 대하여<br>1. 예<br>2. 아니오<br>8. 비해당 (시거주자) | 각각에 대해<br>1. 대상<br>2. 대상아님<br>7. 미완 |
| 31 | 32 | 33 | 34 | 35-38 | 39-42 | 43-46 |
| 01 | | | | | | |
| 02 | | | | | | |
| 03 | | | | | | |
| 04 | | | | | | |
| 05 | | | | | | |
| 06 | | | | | | |
| 07 | | | | | | |
| 08 | | | | | | |
| 09 | | | | | | |
| 10 | | | | | | |

**가 구 사 항**

20. (상응치료원)
가족중에서 병이 있을 때 정해놓고 상담하거나 치료하는 곳이 있습니까?

1. 없음
2. 병의원
3. 한방병의원
4. 보건지소
5. 보건진료소
6. 약국(방)
7. 기타(어디: )
9. 모름

47 ☐

21. (생활수준)
댁의 생활수준은 어느 정도라고 생각하십니까?

1. 아주 못사는 편
2. 못사는 편
3. 보통
4. 잘사는 편
5. 아주 잘사는 편

48 ☐

22. (소득)
댁의 월간 평균 총소득은 대략 얼마입니까?

1. 50만원 이하
2. 51~100만원
3. 101~150만원
4. 151~200만원
5. 201~250만원
6. 250만원 이상

49 ☐

지정번호
제33102호

1-13

| 구 분 | 조사구번호 | 거처번호 | 가구번호 | 가구원 번호 | 조사표 번호 |
|---|---|---|---|---|---|
| 5 | | | | | |

# 보 건 의 식 행 태 조 사

안녕하십니까?

『1995년도 보건의식행태 조사』를 실시함에 인사의 말씀을 드리게 된 것을 기쁘게 생각합니다.

이 조사는 우리나라 국민의 건강생활 실천정도를 파악하고 국민각자에게 있을 수 있는 건강위협요인을 밝혀내어 그에 근거한 국민건강증진정책을 수립하기 위해 정부가 지정통계(통계청고시 제1994-2호)로 고시하여 정기적으로 실시하는 것입니다..

이번에 귀댁이 표본으로 선정되었습니다. 잠시 번거로우시겠지만 본 조사의 중요성을 이해하셔서 적극 협조해 주시면 감사하겠습니다.

이 조사결과는 통계적으로 정리되어 정책개발에 사용할 뿐 다른 어떤 목적에도 사용될 수 없도록 "통계법"에 의하여 엄격히 통제받고 있습니다. 귀하가 생각하고 계신 그대로 설문지에 표시하여 주시면 감사하겠습니다.

귀댁의 적극적인 협조로 전 국민의 삶의 질 향상에 도움이 될 수 있기를 바라며, 댁내 건강과 행복이 함께 하시기를 바랍니다.

감사합니다.

1995. 7
한국보건사회연구원장

## 설문지 작성상 참고사항

1. 설문지는 본인이 직접 작성하도록 되어 있습니다.
2. 설문지 우측의 □은 통계처리용 관련란으로 빈칸으로 그대로 두시고 질문을 읽고 해당 번호에 ☑ 표시해 주시면 되겠습니다.
3. 귀 댁에서 작성해 주신 설문지는 본 연구원의 조사원이 귀댁을 방문하여 기재내용을 검토한 후 회수할 것입니다.
4. 만일 설문지가 작성되지 않을 경우에는 본 연구원의 조사원이 귀댁을 방문하여 직접 뵙고 관련 사항을 기재할 것이오니 이 때에도 적극 협조해 주시기 바랍니다.

| 기 재 방 법 | 응답자 성명 | |
|---|---|---|
| □ 1. 조사자 입회 하에 자가기재<br>□ 2. 유치, 자가기재<br>□ 3. 면접 | 전 화 번 호 | |

보 건 복 지 부 · 한 국 보 건 사 회 연 구 원

## 주관적 건강인식

14 [1]

1. 스스로 생각하시기에 같은 연세의 다른 사람과 비교하여 건강이 어떻다고 생각하십니까?

15 ☐

☐ ① 매우 건강하다 ☐ ② 건강한 편이다
☐ ③ 보통이다 ☐ ④ 건강하지 못한 편이다
☐ ⑤ 매우 건강하지 못하다

16 ☐

2. 자신의 건강에 대하여 얼마나 자주 걱정을 하십니까?

☐ ① 항상 걱정한다 ☐ ② 가끔 걱정한다 ☐ ③ 전혀 걱정하지 않는다

## 사회·심리적 건강

17 ☐

3. 현재 일상생활에서 고민이나 스트레스가 있습니까?

☐ ① 예 ☐ ② 아니오(⇒ 4번 문항으로)

18-19 ☐☐

3-1. (있다면) 그 원인은 무엇입니까? 아래 항목 중 해당되는 번호에 모두 표시하시고 가장 중요하다고 생각되는 원인의 번호를 기입하여 주시기 바랍니다

| | | |
|---|---|---|
| ☐ ① 인간관계 | ☐ ② 건강과 질병 | ☐ ③ 노후문제 |
| ☐ ④ 가족의 우환 | ☐ ⑤ 임신·출산·육아 | ☐ ⑥ 자녀교육 |
| ☐ ⑦ 자녀 문제 | ☐ ⑧ 직장생활 | ☐ ⑨ 학업 진학 |
| ☐ ⑩ 경제적 어려움 | ☐ ⑪ 주거나 생활환경 | ☐ ⑫ 근무·통학의 어려움 |
| ☐ ⑬ 가까운 사람의 죽음 | ☐ ⑭ 기타(무엇: ) | ☐ ⑧ 비해당 |
| | | ☐ ⑨ 모름 |

가장 중요하다고 생각되는 원인의 번호 기입 ➡ ☐☐ 번

20 ☐

3-2. 지난 1년동안 스트레스로 인하여 건강에 영향이 있었다고 생각하십니까?

☐ ① 매우 많았다 ☐ ② 조금 있었다 ☐ ③ 전혀 없었다

21-29 ☐ 30-38 ☐

4. 아주 가깝게 지내며, 개인적 비밀을 털어 놓거나 속사정이나 감정을 얘기할 수 있는 신뢰할 만한 사람이 있습니까? 누구입니까?(있는대로 모두 표시)

☐ ① 없음 ☐ ② 부모 ☐ ③ 형제, 자매
☐ ④ 배우자 ☐ ⑤ 자녀 ☐ ⑥ 시부모 및 처부모
☐ ⑦ 친구, 애인 ☐ ⑧ 친척 ☐ ⑨ 기타(누구: )

5. 어려움에 처해서 도움이 필요할 때 기꺼이 나서서 수고를 아끼지 않고 도와줄 수 있다고 생각되는 사람이 있습니까? 누구입니까?(있는 대로 모두 표시)

☐ ① 없음 ☐ ② 부모 ☐ ③ 형제, 자매
☐ ④ 배우자 ☐ ⑤ 자녀 ☐ ⑥ 시부모 및 처부모
☐ ⑦ 친구, 애인 ☐ ⑧ 친척 ☐ ⑨ 기타(누구: )

6. 주위 사람들로 부터 얼마나 사랑받고 있다고 생각하십니까? 아래 눈금 중 현재의 자신의 처지에 해당한다고 생각되는 곳에 V표시를 하십시오. 39 ☐

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|
| ☐ 전혀 사랑받고 있지 않다 | ☐ 사랑받지 못하는 편이다 | ☐ 그저 그렇다 | ☐ 사랑받고 있는 편이다 | ☐ 많이 사랑 받고 있다 |

7. 지난 1년간 일어난 일이나 가까운 미래에 일어날 일들을 고려해 볼 때 현재 자신의 생활과 삶에 대해 어떻게 느끼고 계신지 생각되는 한 곳에만 V표시를 하십시오. 40 ☐

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ☐ 아주 끔직하다 | ☐ 불행 하다 | ☐ 대체로 불만족하다 | ☐ 그저 그렇다 | ☐ 대체로 만족스럽다 | ☐ 행복 하다 | ☐ 아주 즐겁고 행복하다 |

8. 다음은 우울한 정도를 묻는 질문입니다. 아래의 일들이 지난 1주일 동안 얼마나 자주 일어났었는지 해당번호에 V표시를 하십시오. 41-60

| 지난 일주일간 | ① 1일 이내 (극히 드물다) | ② 1~2일 (가끔 있었다) | ③ 3~4일 (종종 있었다) | ④ 5일 이상 (대부분 그랬다) |
|---|---|---|---|---|
| 1. 평소에는 아무렇지도 않던 일들이 괴롭고 귀찮게 느껴졌다 | | | | |
| 2. 먹고 싶지 않고 식욕이 없었다 | | | | |
| 3. 어느 누가 도와준다 하더라도 나의 울적한 기분을 떨쳐 버릴 수 없을 것 같았다 | | | | |
| 4. 무슨 일을 하든 정신을 집중하기가 힘들었다 | | | | |
| 5. 비교적 잘 지냈다 | | | | |
| 6. 상당히 우울했다 | | | | |
| 7. 모든 일들이 힘들게 느껴졌다 | | | | |
| 8. 앞 일이 암담하게 느껴졌다 | | | | |
| 9. 지금까지의 내 인생은 실패작이라는 생각이 들었다 | | | | |
| 10. 적어도 보통 사람들 만큼의 능력은 있었다고 생각한다 | | | | |
| 11. 잠을 설쳤다(잠을 잘 이루지 못하였다) | | | | |
| 12. 두려움을 느꼈다 | | | | |
| 13. 평소에 비해 말수가 적었다 | | | | |
| 14. 세상에 홀로 있는 듯한 외로움을 느꼈다 | | | | |
| 15. 큰 불만 없이 생활했다 | | | | |
| 16. 사람들이 나에게 차갑게 대하는 것 같았다 | | | | |
| 17. 갑자기 울음이 나왔다 | | | | |
| 18. 마음이 슬펐다 | | | | |
| 19. 사람들이 나를 싫어하는 것 같았다 | | | | |
| 20. 도무지 무슨 일이든 해 나갈 엄두가 나지 않았다 | | | | |

9. 지난 1년 동안 죽고 싶다는 생각을 해 본 적이 있습니까? 61

☐ ① 예 ☐ ② 아니오(⇒ 11번 문항으로)

10. 지난 1년 동안 실제로 자살시도를 해 본 적이 있습니까? 62

☐ ① 예 ☐ ② 아니오 ☐ ⑧ 비해당

10-1. 몇 번이나 시도를 하였습니까?
☐ ① 1번 ☐ ② 2~3번 ☐ ③ 4~5번
☐ ④ 6번 이상 ☐ ⑧ 없음

10-2. 당시 병원을 방문하였습니까? 64
☐ ① 예 ☐ ② 아니오 ☐ ⑧ 없음

## 흡 연

11. 담배를 피운 적이 있습니까? 65
☐ ① 현재 피우고 있다
☐ ② 과거에는 피웠으나 현재 피우지 않는다
☐ ③ 피운적이 없다 (⇒ 23번 문항으로)

12. 처음으로 피운 것은 몇 세입니까? 66-67
_____ 세
☐ ⊗ 피운적 없음 ☐ ⊗ 모름

13. 습관적으로 피우기 시작한 것은 몇 세부터 입니까? 68-69
_____ 세
☐ ⊗ 피운적 없음 ☐ ⊗ 모름

14. 처음 피우기 시작한 동기는 무엇입니까?(한 가지만 표시) 70
☐ ① 호기심 ☐ ② 주위사람의 권유
☐ ③ 욕구불만 또는 스트레스 해소 ☐ ④ 기분이 좋기 위해
☐ ⑤ 기타(무엇: ) ☐ ⑧ 피운적 없음

※ **15~19번** 문항은 **현재 담배를 피우는 분**만 응답하여 주시기 바랍니다
**(질문 11의 ① 응답).**

15. 몇 년째 피우고 계십니까? 71-72
흡연기간:_____ 년
☐ ⊗ 피우지 않음 ☐ ⊗ 모름

16 지난 한 달(30일)간 담배를 피운 날은 며칠입니까? 73-74
_____ 일
☐ ⊗ 피우지 않음 ☐ ⊗ 모름

17. 지난 한달간 하루 평균 어느 정도나 피웠습니까? 75

☐ ① 반갑 이하(1~10개피) ☐ ② 약 한 갑(11~20개피)
☐ ③ 한 갑 반 ☐ ④ 두 갑 이상
☐ ⑧ 피우지 않음

18. 그 동안 담배를 끊고자 시도를 해 보았습니까? 76

☐ ① 예 ☐ ② 아니오 ☐ ⑧ 피우지 않음

19. 앞으로 담배를 끊어야 한다고 생각하십니까? 77

☐ ① 끊을 필요없다 ☐ ② 반드시 끊어야 한다
☐ ③ 모르겠다 ☐ ⑧ 피우지 않음

※ **20~22번** 문항은 **과거에 담배를 피운 적이 있는 분**만 응답하여 주시기 바랍니다.
**(질문 11의 ② 응답)**

20. 과거에 몇년이나 피우셨습니까? 78-79

과거 흡연기간: ____ 년
☐ ⊗ 현재 흡연 ☐ ⊗ 모름

21. 담배를 끊기 전까지 하루 평균 어느 정도나 피우셨습니까? 80

☐ ① 반갑 이하(1~10개피) ☐ ② 약 한 갑(11~20개피)
☐ ③ 한 갑 반 ☐ ④ 두 갑 이상
☐ ⑧ 현재 흡연

22. 담배를 끊은 주된 이유는 무엇입니까? (한 가지만 표시) 81

☐ ① 건강이 나빠져서 ☐ ② 건강에 해가 될까봐
☐ ③ 경제적인 이유로 ☐ ④ 종교적인 이유로
☐ ⑤ 타인의 권유(의사 포함) ☐ ⑥ 기타(무엇: )
☐ ⑧ 현재 흡연

## 음 주

23. 술을 즐겨 드시는 편입니까? 82

☐ ① 즐겨 마시는 편이다
☐ ② 과거에는 마셨으나 현재는 마시지 않는다 (➡ 31번 문항으로)
☐ ③ 전혀 마시지 않거나 권할 때 극소량으로 마신다 (➡ 35번 문항으로)

※ **24~30번** 문항은 **즐겨 마시는 분**만 표시하여 주시기 바랍니다**(질문 23의 ① 응답)**.

24. 주로 어떤 술을 즐겨 드십니까? (한 가지만 표시) 83

☐ ① 종류를 가리지 않음 ☐ ② 맥주 ☐ ③ 소주
☐ ④ 정종, 포도주 ☐ ⑤ 백알, 양주 ☐ ⑥ 막걸리
☐ ⑦ 기타(무엇: ) ☐ ⑧ 안마신다

25. 술을 즐겨 마시기 시작한 것은 몇 세입니까? 84-85

____ 세
☐ ⊗ 안마신다 ☐ ⊗ 모름

26. 술을 얼마나 자주 드십니까? 86 □

□ ① 월 1회 이하 □ ② 월 2~4회
□ ③ 주 2~4회 □ ④ 거의 매일
□ ⑧ 안마신다

27. 지난 한 달 동안 최소한 한잔이라도 마신 날은 며칠이나 됩니까? 87 □

□ ① 없다
□ ② 지난 한 달간 한번 이하
□ ③ 지난 한 달간 2~4회
□ ④ 주 2~4회
□ ⑤ 거의 매일
□ ⑧ 안마신다

27-1. 지난 한 달 동안 대체로 한 번에 어느 정도 드셨습니까? 88 □

□ ① 소주 1~2잔(맥주 1병 이하) 정도
□ ② 2홉소주 반병(맥주1~2병) 정도
□ ③ 2홉소주 1병(맥주 3~4병) 정도
□ ④ 2홉소주 2병 정도
□ ⑤ 2홉 소주 3병 이상
□ ⑧ 마신 적 없음

28. 지난 1년간 대략 몇 번이나 과음(몸을 가눌 수 없을 정도로)을 하셨습니까? 89 □

□ ① 없다
□ ② 1년에 3회 이내
□ ③ 3개월에 1~3회
□ ④ 1개월에 1~3회
□ ⑤ 주 1회 이상
□ ⑧ 안마신다

28-1. 과음했을 때 대체로 한 번에 어느 정도 드셨습니까? 90 □

□ ① 2홉소주 반병(맥주1~2병) 정도
□ ② 2홉소주 1병(맥주 3~4병) 정도
□ ③ 2홉소주 2~3병 정도
□ ④ 2홉소주 4~5병 정도
□ ⑤ 2홉소주 6병 이상
□ ⑧ 마신 적 없음

29. 실제로 절주나 금주를 시도하신 적이 있습니까? 91 □

□ ① 예 □ ② 아니오 □ ⑧ 비해당(13번 문항의 ②, ③ 응답자)

30. 다음은 알콜의존에 관한 문항입니다. 각각에 대하여 모두 응답하여 주십시오 (해당난에 V표시).

| | ① 예 | ② 아니오 | ⑧ 술을 안마심 | |
|---|---|---|---|---|
| 1) 술을 끊어야 한다고 생각한 적이 있습니까? | | | | 92-95 □ |
| 2) 당신이 술 마시는 것을 비난하는 사람들 때문에 귀찮을 때가 있습니까? | | | | □ |
| 3) 음주때문에 죄책감을 느끼거나 기분이 나쁠 때가 있습니까? | | | | □ |
| 4) 술마신 다음날 아침 불쾌감을 없애고 기운을 차리기 위해 해장술을 마실 때가 있습니까? | | | | □ |

※ 31~34번 문항은 과거에 마셨으나 현재 마시지 않는 분만 표시하여 주시기 바랍니다(질문 23의 ② 응답).

31. 과거에 주로 어떤 종류의 술을 드셨습니까?(한 가지만 표시) 96 □

□ ① 종류를 가리지 않음 □ ② 맥주 □ ③ 소주
□ ④ 정종, 포도주 □ ⑤ 백알, 양주 □ ⑥ 막걸리
□ ⑦ 기타(무엇: ) □ ⑧ 현재 마신다

32. 평균적으로 얼마나 자주 술을 드셨습니까? 97 □

□ ① 월 1회 이하 □ ② 월 2~4회
□ ③ 주 2~4회 □ ④ 거의 매일
□ ⑧ 현재 마신다

33. 습관적으로 드시기 시작한 것은 몇 세입니까? 98-99 □□

_____ 세
□ ⑧ 현재 마신다 □ ⑨ 모름

34. 술을 끊은 주된 이유는 무엇입니까?(한 가지만 표시) 100 □

□ ① 건강이 나빠져서 □ ② 건강에 해가 될까봐
□ ③ 경제적인 이유로 □ ④ 종교적인 이유로
□ ⑤ 타인의 권유(의사 포함) □ ⑥ 기타(무엇: )
□ ⑧ 현재 마신다

## 비만 및 체중조절

14 2

35. 당신의 키는 몇 Cm 입니까? 15-16 □□

_____ Cm □ ⑨ 모름

36. 당신의 체중은 얼마입니까?(임산부의 경우 임신 전의 통상적인 체중을 말함) 17-18 □□

_____ Kg □ ⑨ 모름

37. 연령과 신장을 감안할 때 자신의 체중이 어느 정도라고 생각하십니까? 19 □

□ ① 매우 여윈 편이다 □ ② 여윈 편이다 □ ③ 보통이다
□ ④ 비만한 편이다 □ ⑤ 매우 비만한 편이다 □ ⑨ 모름

38. 지난 1년간 원하는 몸무게가 되기 위해 체중조절을 해 보았습니까? 20 □

□ ① 예 □ ② 아니오 (⇒ 40번 문항으로)

39. 현재 체중을 줄이거나 늘리려는 노력을 하고 계십니까?

☐ ① 체중을 줄이려고 하고 있다
☐ ② 체중을 늘리려고 하고 있다
☐ ③ 현 체중을 유지하고 있다
☐ ④ 아무 노력도 하고 있지 않다
☐ ⑧ 체중조절하지 않음

39-1. 지난 1주일 동안 체중을 줄이기 위해 무엇을 하셨습니까?
(가장 주된 것 **한 가지만** 표시하십시오)

☐ ① 없다 ☐ ② 식이요법
☐ ③ 운동 ☐ ④ 다이어트약 복용
☐ ⑧ 비해당

39-2. 체중을 줄이시는 이유는 무엇입니까?
(가장 주된 원인 **한 가지만** 표시하시오)

☐ ① 현재의 건강유지
☐ ② 질병치료(질병명:_____)
☐ ③ 균형있는 외모유지
☐ ④ 기타(무엇: _____)
☐ ⑧ 체중조절하지 않음
☐ ⑨ 모름

21 ☐
22 ☐
23 ☐

## 운 동

40. 평소에 땀에 젖고 숨이 가쁜 운동을 얼마나 자주 하십니까?

☐ ① 전혀 하지 않는다
☐ ② 주당 하지 않고 가끔 한다
☐ ③ 주 1회
☐ ④ 주 2~3회
☐ ⑤ 주 4~5회
☐ ⑥ 매일

40-1. 그 운동은 매번 몇 분정도 하십니까?

☐ ① 10~14분 ☐ ② 15~19분
☐ ③ 20분 이상 ☐ ⑧ 안한다

40-2. 몇 년이나 그 운동을 하셨습니까?

_____ 년
☐ ⊗ 안한다 ☐ ⊗ 모름

24 ☐
25 ☐
26-27 ☐☐

41. 일상생활에서 육체적인 일을 많이 하시는 편입니까?

☐ ① 전혀 하지 않는 편이다 ☐ ② 약간 하는 편이다
☐ ③ 보통 하는 편이다 ☐ ④ 많이 하는 편이다

28 ☐

42. 평소 건강유지를 위하여 주로 어떤 방법을 행하고 계십니까?(한 가지만 표시)

☐ ① 운동(등산, 조깅 포함)을 한다 ☐ ② 식사를 조절한다
☐ ③ 담배, 술 등을 절제한다 ☐ ④ 보약 또는 영양제 등을 먹는다
☐ ⑤ 목욕, 사우나 등을 자주한다 ☐ ⑥ 기타(무엇: )
☐ ⑦ 아무 것도 하지 않는다

29 ☐

## 식생활

43. 아침식사를 드십니까? 30 □
□ ① 꼭먹는다 □ ② 가끔 먹는다 □ ③ 안 먹는다

44. 평소에 하루 세끼 식사를 규칙적으로 하십니까? 31 □
□ ① 예 □ ② 아니오

45. 평소에 과식을 자주 하시는 편입니까? 32 □
□ ① 전혀 하지 않는다 □ ② 가끔한다 □ ③ 항상 한다

46. 평소에 간식을 늘 하시는 편입니까? 33 □
□ ① 전혀 하지 않는다 □ ② 가끔한다 □ ③ 항상 한다

47. 평소 음식을 짜게 드시는 편입니까? 34 □
(반 음식, 밑반찬, 젓갈류, 장아찌, 자반, 김치 등을 많이 드시거나
식탁에서 간장, 소금을 추가로 사용하는 정도로 구분)
□ ① 매우 싱겁게 □ ② 싱겁게 □ ③ 보통
□ ④ 짜게 □ ⑤ 매우 짜게

48. 평소 단음식을 많이 드시는 편입니까? 35 □
(과자, 초콜렛, 아이스크림, 꿀, 청량음료, 설탕이 많이 들어있는 음식을 먹는 정도로 구분)
□ ① 전혀 안달게 □ ② 안달게 □ ③ 보통
□ ④ 달게 □ ⑤ 매우 달게

49. 건강을 위해서 비타민 등 영양제류를 드십니까? 36 □
□ ① 안먹는다 □ ② 가끔 먹는다
□ ③ 자주 먹는다 □ ④ 매일 일정하게 먹는다

50. 평상시 육식(생선 제외)과 기름기 많은 동물성 식품을 즐겨 드시는 편입니까? 37 □
□ ① 매우 그렇다 □ ② 그런 편이다 □ ③ 보통이다
□ ④ 그렇지 않은 편이다 □ ⑤ 전혀 그렇지 않다

51. 평상시 채식을 많이 하시는 편입니까? 38 □
□ ① 매우 그렇다 □ ② 그런 편이다 □ ③ 보통이다
□ ④ 그렇지 않은 편이다 □ ⑤ 전혀 그렇지 않다

52. 외식(매식 포함)은 어느 정도 자주 하시는 편입니까? 39 □
□ ① 거의 하지 않는다 □ ② 한달에 1~2번
□ ③ 1주일에 1번 정도 □ ④ 1주일에 2~3번
□ ⑤ 1주일에 4~5번 □ ⑥ 거의 매일

53. 커피는 하루에 얼마나 드십니까? 40 □
□ ① 안마신다 □ ② 경우에 따라(대접받거나 친구에 어울려)
□ ③ 하루 1잔 □ ④ 2~4잔 □ ⑤ 5잔 이상

54. 우유는 하루에 얼마나 드십니까? 41 □

□ ① 안마신다 □ ② 가끔 마신다 □ ③ 1주일에 2~3컵
□ ④ 하루에 1컵(1팩) □ ⑤ 하루에 2컵 이상

## 수 면

55. 평소 충분한 시간의 잠을 주무시는 편입니까? 42 □

□ ① 충분하다 □ ② 보통이다 □ ③ 부족하다

56. 하루 평균 몇시간 정도 주무십니까? 43-44 □□

_____ 시간 □ ⑧ 모름

57. 일하는 것과 잠자는 것 이외에 휴식을 충분히 취하시는 편입니까? 45 □

□ ① 충분하다 □ ② 보통이다 □ ③ 부족하다

## 구강보건

58. 하루에 이를 몇 번 닦습니까? 46 □

□ ① 3번 이상 □ ② 2번 □ ③ 1번 □ ④ 전혀 닦지않음

59. 아침에 이는 언제 닦습니까? 47 □

□ ① 식사전 □ ② 식사후 □ ③ 식사전후 □ ④ 닦지 않음

60. 저녁식사 후 또는 잠자기 전에 이를 닦습니까? 48 □

□ ① 닦지 않는다 □ ② 가끔 닦는다 □ ③ 꼭 닦는다

61. 치과에 얼마나 자주 가십니까? 49 □

□ ① 전혀 가지 않는다 □ ② 치아에 문제 있을 때
□ ③ 몇 년에 한 번 정도 □ ④ 1년에 1번
□ ⑤ 1년에 두 번 □ ⑥ 1년에 3번 이상

## 건강진단 및 기타 예방활동

62. 지난 1년동안 건강을 위해 신체검사 또는 건강검진을 받은 적이 있습니까?(산전진찰 제외) 50

☐ ① 예 ☐ ② 아니오(➡ 63번 문항으로)

62-1. 어떠한 이유에서 받았습니까?(해당 항목에 모두 체크) 51-57

☐ ① 보건소에서 안내(홍보, 통지 등)를 받음
☐ ② 직장에서 단체로(본인, 가족)
☐ ③ 학교에서 단체로
☐ ④ 건강관리와 질병예방을 위해
☐ ⑤ 건강에 이상을 느껴서
☐ ⑥ 타인의 권유에 의해
☐ ⑦ 기타(무엇: _____)
☐ ⑧ 비해당(받은 적 없음)

63. 지난 1년간 질병의 조기발견이나 예방을 위해 다음의 검사를 받은 적이 있습니까? 각각에 대하여 모두 응답하여 주십시오 (해당난에 V표시). 58-64

| | 1) 위암 | 2) 간암 | 3) 폐암 | 4) 장암 | 5) 유방암 | 6) 자궁암 | 7) 에이즈 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① 예 | | | | | | | |
| ② 아니오 | | | | | | | |
| ⑧ 비해당 (남자) | | | | | | | |

64. 지금까지 혈압을 한 번이라도 재어 보신 적이 있습니까? 65

☐ ① 예 ☐ ② 아니오(➡ 65번 문항으로)

64-1. 가장 최근에 재어 본 것은 언제입니까? 66

☐ ① 2주이내 ☐ ② 2주~1개월전
☐ ③ 1~3개월전 ☐ ④ 3~6개월전
☐ ⑤ 6개월~1년 이내 ☐ ⑥ 1년 이상
☐ ⑧ 혈압을 재어 본 적이 없음 ☐ ⑨ 모름

64-2. 그 곳은 어디입니까? 67

☐ ① 병의원 ☐ ② 보건(지)소
☐ ③ 한의원(방) ☐ ④ 보건진료소
☐ ⑤ 약국(방) ☐ ⑥ 기타(어디: )
☐ ⑧ 혈압을 재어 본 적이 없음 ☐ ⑨ 모름

## 건강 관련 지식

65. 평소 건강에 관한 지식은 어디서 가장 많이 얻고 있습니까?(하나만 표시) 68 □

□ ① 없다 □ ② 대중매체(TV, 라디오, 신문, 잡지)
□ ③ 가족(부모, 형제 친척) □ ④ 학교선생
□ ⑤ 전문가(의사, 간호사, 보건요원) □ ⑥ 책자/포스터
□ ⑦ 기타(무엇:_____)

66. 에이즈(후천성 면역결핍증)에 대하여 들어보신 적이 있습니까 ? 69 □

□ ① 예 □ ② 아니오(➡ 68번 문항으로)

66-1. 주로 어디서 정보를 들으셨습니까 ? (한 가지만 표시) 70 □

□ ① 라디오 □ ② TV □ ③ 신문/잡지
□ ④ 보건소 □ ⑤ 교회/종교기관 □ ⑥ 병의원
□ ⑦ 가족 □ ⑧ 친구/동료 □ ⑨ 학교/교사
□ ⑩ 포스터/팜프렛 □ ⑪ 기타(어디: )
□ ⑧ 들어본 적 없음

67. 다음은 에이즈에 관한 내용입니다. 각각에 대하여 모두 예, 아니오로 응답하여 주십시오. (해당난에 V표시). 71-79

| 내 용 | ① 예 | ② 아니오 | ③ 모름 |
|---|---|---|---|
| 1) 에이즈는 남녀의 성관계를 통하여 전파될 수 있다 | | | |
| 2) 산모가 에이즈에 감염된 경우, 출생할 아이가 감염될 수 있다 | | | |
| 3) 수혈을 통하여 에이즈에 감염될 수 있다 | | | |
| 4) 에이즈 환자와 악수를 하거나 포옹을 하면 에이즈에 감염될 수 있다 | | | |
| 5) 에이즈에 감염된 사람도 정상인과 같이 건강하게 보일 수 있다 | | | |
| 6) 에이즈는 예방할 수 있는 질환이다 | | | |
| 7) 우리나라의 에이즈 문제는 심각하다고 생각한다 | | | |
| 8) 학교에서 에이즈 예방에 관한 교육을 강화시켜야 한다 | | | |
| 9) 나도 에이즈에 걸릴 가능성이 있다고 생각한다 | | | |

68. 다음은 흡연과 음주에 관한 내용입니다. 각 내용에 관한 견해를 표시하십시오. (해당난에 V표시).

| 내 용 | ① 확실히 그렇다 | ② 대체로 그렇다 | ③ 그저 그렇다 | ④ 별로 그렇지 않다 | ⑤ 전혀 그렇지 않다 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1) 흡연은 깊은 사고를 할 때 집중력을 증가시켜 준다 | | | | | |
| 2) 흡연은 흥분된 감정을 가라앉히는데 효과적이다 | | | | | |
| 3) 흡연은 피로를 회복시켜준다 | | | | | |
| 4) 흡연이나 음주에 대해 법이나 규칙으로 금지하는 것은 잘한 일이다 | | | | | |
| 5) 술이나 담배에 대한 광고는 법에 의해 반드시 규제되어야 한다 | | | | | |
| 6) 임산부의 흡연은 유산, 조산, 태아 사망의 위험을 증가시킨다 | | | | | |
| 7) 흡연자가 내뿜는 담배연기를 마실 경우에도 폐암발생률이 높아진다 | | | | | |

80-86 □□□□□□□

## 음용수

69. 현재 집에서 어떤 물을 먹고 있습니까?

□ ① 수도물 □ ② 우물물(펌프, 간이수도) □ ③ 약수
□ ④ 시판 생수 □ ⑤ 기타(_____)

87 □

69-1. 그 물은 위생상 안전하다고 생각하십니까?

□ ① 예 □ ② 아니오 □ ③ 그저그렇다 □ ⑨ 모르겠다

88 □

69-2. 그 물은 어떻게 드십니까?

□ ① 그냥 먹는다 □ ② 끓여 먹는다 □ ③ 정수기 사용

89 □

**안전의식**

70. 현재 운전을 하고 계십니까? 90 □

□ ① 예 □ ② 아니오(➡ 71번 문항으로)

70-1. 운전할 때 안전벨트를 맵니까? 91 □

□ ① 절대로 매지 않는다 □ ② 거의 매지 않는 편이다
□ ③ 가끔 매는 편이다 □ ④ 대체로 매는 편이다
□ ⑤ 항상 맨다
□ ⑧ 비해당(운전을 하지 않음)

70-2. 지난 한 달 동안 몇 번쯤 음주운전을 하였습니까? 92 □

□ ① 없다 □ ② 1번 □ ③ 2~3번
□ ④ 4~5번 □ ⑤ 6번 이상
□ ⑧ 비해당(운전을 하지 않음)

71. 다른 사람이 운전하는 자동차(택시포함)에 탔을 때 안전벨트를 맵니까? 93 □

□ ① 절대로 매지 않는다 □ ② 거의 매지 않는 편이다
□ ③ 가끔 매는 편이다 □ ④ 대체로 매는 편이다
□ ⑤ 항상 맨다

72. 지난 한 달 동안 술에 취한 사람이 운전하는 자동차를 몇 번이나 탔습니까? 94 □

□ ① 없다 □ ② 1번 □ ③ 2~3번
□ ④ 4~5번 □ ⑤ 6번 이상

※ 만성질환 □ ① 없음 □ ② 있음 95 □

73. **만성질환이 있는 경우** 다음과 같은 행위를 하고 계십니까? 언제부터 하시고 계십니까? 96-100 □

| | ① 전혀하지 않는다 | ② 병이 있기 전부터 | ③ 병이 생긴 후부터 | ⑧ 비해당 (만성이환 없음) |
|---|---|---|---|---|
| 1) 금연 | | | | |
| 2) 절주 | | | | |
| 3) 체중조절 | | | | |
| 4) 운동 | | | | |
| 5) 식사조절 | | | | |

◀ 협조해 주셔서 감사합니다 ▶

# 刊行物 案內

## 研究報告書

94-11 우리나라 家口構造의 變動과 市·道別 家口數 推計
A5新 / 158쪽 / 定價 4,000원 / 金柔敬·曺大熙 著

94-12 2010年의 醫師人力 需給 展望
A5新 / 84쪽 / 定價 2,000원 / 宋建鏞·崔晶秀·金東奎 外

94-13 未婚男性의 性行態에 關한 硏究
A5新 / 224쪽 / 定價 5,000원 / 林鍾權·金惠蓮·張東鉉 外

94-14 21世紀에 對備한 韓國製藥産業의 發展方向과 保險藥價 管理制度 改善方案
A5新 / 296쪽 / 定價 7,000원 / 李儀卿·曺在國·金元重 外

94-15 障碍人福祉의 現況과 政策課題
A5新 / 357쪽 / 定價 8,000원 / 朴玉喜·權重燉 著

94-16 性比의 不均衡 變動推移와 對應方案
A5新 / 144쪽 / 定價 3,000원 / 趙南勳·徐文姬 著

94-17 老人生活 實態分析 및 政策課題
A5新 / 577쪽 / 定價 13,000원 / 李佳玉·徐美卿·高敬煥 外

94-18 開放化에 對備한 食品産業의 構造改善 및 發展方案
A5新 / 242쪽 / 定價 6,000원 / 金元重·李相暎·金惠蓮 外

94-19 最低生計費 計測調査 硏究
A5新 / 297쪽 / 定價 7,000원 / 朴純一·金美坤 外

94-20 醫藥品 臨床試驗 管理基準 導入方案 研究

A5新 / 159쪽 / 定價 5,000원 / 李儀卿 · 張善美 外

94-21 韓國 家族保健事業의 現況과 政策課題

A5新 / 125쪽 / 定價 3,000원 / 文顯相 · 張英植 外

94-22 母乳授乳實態 分析과 支援政策의 課題

A5新 / 115쪽 / 定價 3,000원 / 朴仁和 · 黃那美 著

94-23 國民健康診斷調査 設計에 關한 研究

A5新 / 145쪽 / 定價 3,000원 / 李順英 · 金善祐 著

94-24 少年/少女家長家族의 生活實態와 政策課題

A5新 / 186쪽 / 定價 4,000원 / 金應錫 · 李尙憲 著

94-25 1994年 全國 出産力 및 家族保健 實態調査

A5新 / 328쪽 / 定價 7,000원 / 洪文植 · 李相暎 · 張英植 外

94-26 21世紀를 향한 保健醫療 政策課題

A5新 / 220쪽 / 定價 5,000원 / 金秀春 · 金銀珠 編著

94-27 精神保健의 現況과 政策課題

A5新 / 453쪽 / 定價 10,000원 / 南貞子 · 韓英子 · 崔晶秀 外

94-28 診療圈別 醫療資源의 適正配分과 政策課題

A5新 / 143쪽 / 定價 3,000원 / 金東奎 · 金銀珠 著

94-29 墓地制度에 관한 國民 意識行態調査 研究

A5新 / 117쪽 / 定價 3,000원 / 林鍾權 · 張東鉉 · 趙洪滉 著

94-30 家族領域의 삶의 質과 政策課題

A5新 / 213쪽 / 定價 5,000원 / 張玄燮 · 金顯玉 · 裵花玉 著

94-31 地域醫療保險의 保險料 賦課體系 改善方案 研究
A5新 / 223쪽 / 定價 5,000원 / 金基玉 · 魯仁喆 · 柳美女 著

94-32 韓國의 保健 · 社會福祉 政策研究
- 1994年度 研究結果 要約報告 -
A5新 / 261쪽 / 定價 6,000원

94-33 健康增進示範保健所 運營을 위한 技術支援 研究
A5新 / 350쪽 / 定價 7,000원 / 卞鐘和 · 李順英 · 鄭基惠 編著

95-01 赤十字會費 募金制度 改善方案
A5新 / 149쪽 / 定價 4,000원 / 韓惠卿 · 魯仁喆 · 姜惠圭 著

95-02 化粧品 價格表示의 適正化 方案
A5新 / 134쪽 / 定價 4,000원 / 曺在國 · 李相暎 · 金銀珠 著

95-03 家族缺損의 類型別 特徵과 家族政策의 接近方案
A5新 / 467쪽 / 定價 11,000원 / 孔世權 · 曺愛姐 · 許美暎 著

95-04 葬儀制度의 現況과 發展方向
A5新 / 187쪽 / 定價 5,000원 / 李顯松 · 李必道 著

95-05 出産率豫測과 人口構造 安定을 위한 適正出産水準
A5新 / 217쪽 / 定價 6,000원 / 文顯相 · 張英植 · 金柔敬 著

95-06 低所得層 實態變化와 政策課題
A5新 / 472쪽 / 定價 11,000원 / 魯仁喆 · 李成基 外

95-07 血漿分劃製劑의 公共管理政策에 관한 研究
A5新 / 162쪽 / 定價 5,000원 / 韓惠卿 · 鄭宇鎭 著

95-08 嬰兒死亡率 算出을 위한 調査方法 開發研究
A5新 / 180쪽 / 定價 5,000원 / 韓英子 · 都世綠 外

95-09 公家保健醫師 職務敎育 改善方案

A5新 / 177쪽 / 定價 5,000원 / 李大熙 · 李熙龍 · 鄭沇 著

95-10 醫藥品 再評價制度 改善方案

A5新 / 158쪽 / 定價 5,000원 / 李儀卿 · 張善美 著

95-11 保育施設 評價基準 및 評價體系 開發

A5新 / 141쪽 / 定價 4,000원 / 鄭基源 · 吳美暎 · 安賢愛 著

95-12 醫療部門의 情報利用 活性化

A5新 / 166쪽 / 定價 5,000원 / 金東奎 外

95-13 韓國의 社會指標 體系改編 硏究(Ⅰ)-總括編-

A5新 / 362쪽 / 定價 9,000원 / 趙南勳 外

韓國의 社會指標 體系改編 硏究(Ⅱ)-解說編-

A5新 / 366쪽 / 定價 9,000원 / 趙南勳 外

95-14 特殊醫藥品 開發 및 需給戰略

A5新 / 276쪽 / 定價 7,000원 / 李儀卿 · 張善美 · 柳承欽 著

95-15 1995年度 障碍人 實態調査

A5新 / 454쪽 / 定價 11,000원 / 鄭基源 · 權善進 · 桂勳邦 著

95-16 韓國의 에이즈管理 및 監視體系의 效率的 運營方案

A5新 / 167쪽 / 定價 5,000원 / 李順英 著

95-17 地域醫療保險 國庫支援方式의 評價와 改善方案

A5新 / 136쪽 / 定價 4,000원 / 崔秉浩 著

95-18 産災保險 서비스 傳達體系의 改善方案

A5新 / 447쪽 / 定價 10,000원 / 金龍夏 · 崔秉浩 · 李忠燮 外

95-19 '94年度 遠隔診療 示範事業 分析・評價
A5新 / 283쪽 / 定價 7,000원 / 曺在國・宋泰玟・金銀珠 外

95-20 地方自治時代의 主要 保健・福祉事業 評價體系 開發
A5新 / 231쪽 / 定價 6,000원 / 洪文植・張英植・吳英姬 著

95-21 人口規模 및 構造變動에 따른 政策課題와 對應方案
A5新 / 279쪽 / 定價 7,000원 / 趙南勳・洪文植・李相暎 著

95-22 老人福祉의 現況과 政策課題
A5新 / 301쪽 / 定價 8,000원 / 金秀春・林鍾權・徐美卿 外

95-23 兒童福祉收容施設 運營評價 및 改善方案
A5新 / 475쪽 / 定價 11,000원 / 金應錫・金顯玉・李尙憲 外

95-24 末期患者 管理를 위한「호스피스」의 制度化 方案
A5新 / 199쪽 / 定價 5,000원 / 黃那美・魯仁喆 著

95-25 韓國人의 健康과 醫療利用實態
- 1995年度 國民健康 및 保健意識行態調査 -
A5新 / 297쪽 / 定價 7,000원 / 崔晶秀・南貞子・金泰貞 外

95-27 齒科醫師人力 需要와 供給 推計
A5新 / 99쪽 / 定價 4,000원 / 白和宗・崔晶秀 著

95-28 醫療保險組合의 經營評價 現況과 發展方向
A5新 / 170쪽 / 定價 5,000원 / 李忠燮 著

95-30 保健福祉事務所 模型開發 및 一次年度 運營評價
A5新 / 310쪽 / 定價 8,000원 / 李成基・金成禧・박인아 著

96-01 OECD國家의 社會保障制度 比較硏究
A5新 / 183쪽 / 定價 5,000원 / 李成基 著

## 政策報告書

94-01 老人生活實態와 老人福祉의 政策課題 李佳玉 著

94-02 低出産時代의 人口問題와 政策方向 洪文植 著

94-04 醫療서비스市場 對外開放에 따른 政策課題 魯仁喆 著

94-05 專門醫 人力需給 展望과 政策課題 宋建鏞 著

94-06 醫藥品 品質管理制度의 現況과 政策課題 李儀卿 著

94-07 國民年金基金의 效率的 運用方案 高喆基・鄭敬培・李佳玉 外

94-08 癡呆老人의 扶養實態와 對應戰略 權重燉 著

94-09 社會福祉事業基金 運營改善을 위한 共同募金制度의 導入方案 鄭基源・韓惠卿・張玄燮 著

94-10 社會保障基本法의 政策構想 鄭敬培・李成基 著

94-11 地域保健情報體系 開發研究 金善祐・鄭永澈 著

94-12 農村福祉의 主要 政策課題 朴純一・金鎭順・李佳玉 著

94-13 公家保健醫師 敎育 및 活動改善에 관한 研究 金鎭順・趙成晋・崔成旭 著

94-14 西獨의 分斷管理政策과 統一後 所得保障政策에 관한 研究 金振洙 著

95-01 國際社會保障協定 締結의 對應方向 金龍夏・崔秉浩 著

95-02 人口變動에 따른 勞動人力 需給展望과 政策課題
鄭宇鎭 著

95-03 地方化時代의 保健福祉政策 方向
金元重 · 鄭基源 · 張英植 外

95-04 生活保護對象者의 永久賃貸아파트 現況과 政策課題
朴純一 著

95-05 高齡化 社會를 향한 老人福祉의 實踐課題
金秀春 · 林鍾權 · 徐美卿 · 吳京錫 著

95-06 PROPOSALS FOR ENLARGING INTER-KOREAN ECONOMIC RELATIONS
延河淸 著

95-07 偏父母 家口의 生活實態와 福祉對策
孔世權 · 曺愛姐 著

96-01 低出産 時代의 人口問題와 政策課題
趙南勳 · 洪文植 · 李相暎 · 張英植 著

96-02 障碍人 實態調査 結果와 政策課題
鄭基源 · 權善進 · 鄭宇鎭 著

## 政策研究資料

94-01 아시아 地域의 老人福祉政策 및 老人生活實態 比較
李佳玉 · 徐美卿 · 金基玉 外

94-02 兒童權利의 增進을 위한 法的 · 制度的 · 行政的 措置
鄭基源 · 吳美暎 著

94-03 低所得層의 醫療福祉 硏究 朴純一 · 高喆基 · 高敬煥 外

94-04 人口 · 保健 · 社會 書誌 朴熙淑 · 宋泰玟 編著

94-05 缺損家族의 類型別 福祉需要에 관한 研究
孔世權 · 曹愛姐 著

94-06 綜合病院의 家庭看護 示範事業 開發 및 基礎調査 研究
柳好信 著

94-07 國民健康增進을 위한 實踐方案 卞鐘和 · 鄭基惠 著

94-08 國民醫療費 計定의 構造와 改善方向 白和宗 · 洪程基 著

94-09 國內 및 國外入養의 懸案課題 鄭基源 · 安賢愛 著

94-10 自願奉仕 管理體系 改善方案 韓惠卿 · 韓忠吉 · 張玄燮 外

95-01 老人 保健 · 醫療의 現況과 改善方案 徐美卿 著

95-02 RESEARCH ON HEALTH AND SOCIAL WELFARE IN KOREA
- 1994 SUMMARY REPORT OF KOREA - 研究調整室 編著

95-03 保健産業統計 情報體系 構築을 위한 研究
洪程基 · 鄭永澈 著

95-04 韓國人의「삶의 質」-人間開發을 中心으로- 李顯松 著

95-05 人口 · 保健 · 社會 書誌 朴熙淑 · 宋泰玟 編著

95-06 韓國的 福祉模型의 定立과 政策方向

95-07 保健醫療産業 技術開發 支援現況과 政策課題
金元重 · 朴泳澤 著

# 著 者 略 歷


● 南 貞 子

가톨릭大學校 看護學科 卒業

世宗大學校 敎育學 博士(敎育社會學 專攻)

現 韓國保健社會硏究院 責任硏究員

〈主要 著書〉

『情神保健의 現況과 政策課題』. 硏究報告書 94-27, 1994. (共著)

『地域社會 情神保健 施行方案 硏究』, 1993, (共著)

『'92 國民健康 및 保健意識行態調査』, 1993. (共著)

● 崔 晶 秀

서울大學校 看護學科 卒業

서울大學校 保健大學院 保健學 碩士

現 韓國保健社會硏究院 責任硏究員

● 桂 勳 邦

서울大學校 數學科 卒業

延世大學校 保健大學院 保健學 碩士

現 韓國保健社會硏究院 調査統計室長

研究報告書 95-26

# 韓國人의 保健意識行態

- 1995年度 國民健康 및 保健意識行態調査 -

1995年 12月 日 印刷 값: 8,000원
1995年 12月 日 發行

著 者 南 貞 子 外
發行人 延 河 清
發行處 韓國保健社會研究院
서울特別市 恩平區 佛光洞 山42-14
代表電話 : 02) 355-8003
登 錄 1994年 7月 1日 (第8-142號)
印 刷 大明文化社

ⓒ 韓國保健社會研究院 1995

ISBN 89-8187-044-6 93510